

# 第1部

## 質問紙による調査 結果の概要

## 調査結果① 校長

### ■校種・性別・年代・着任年

調査対象はコミュニティ・スクールに指定された学校（以下、指定校）22校と指定されていない学校（以下、「非指定校」）22校。校種別の内訳は、「小学校」の校長が50.0%、「中学校」の校長が47.8%、「小・中一貫教育校の中学校」が2.3%となっている（図1-1）。

性別は「男性」が81.8%、「女性」が18.2%となっており、小学校の方がやや女性の割合が多い（図1-2）。年代別では、小中学校ともに「55～59歳」が最も多く全体で68.2%、次いで「50～54歳」が全体の25.0%、「60歳代」が6.8%となっている（図1-3）。

また、グラフには無いが、着任した年度は平成「21.9」年が平均値となっている。なお、校種・性別・年代・着任年におけるコミュニティ・スクール指定校と非指定校の間の差異はほとんどない。

図1-1 校種

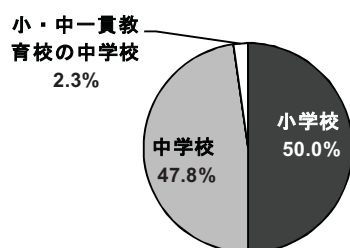


図1-2 性別

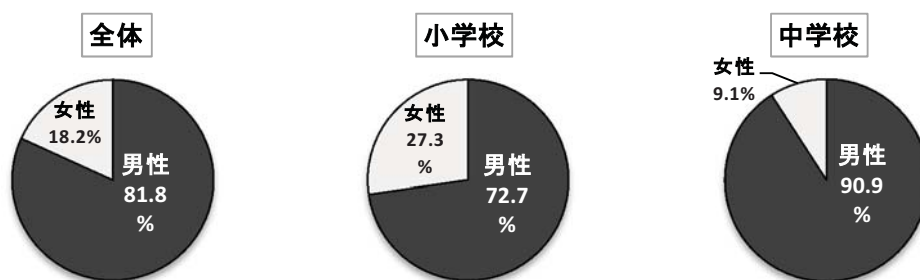
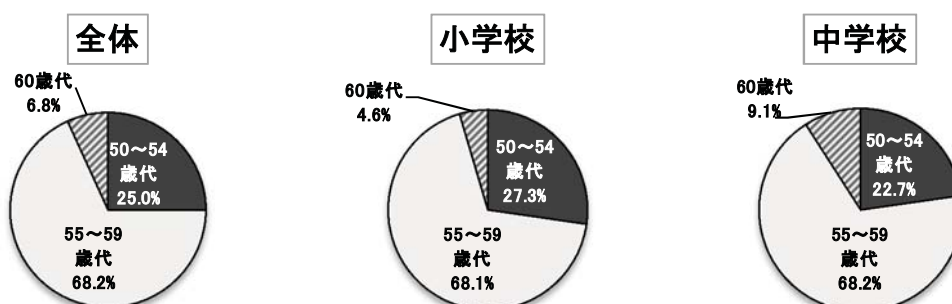


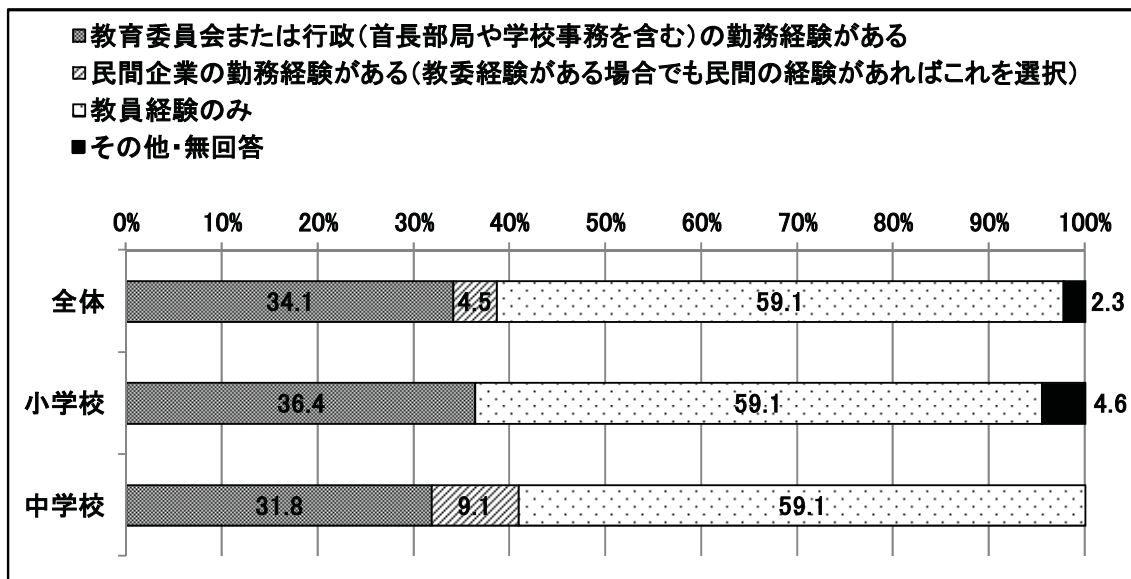
図1-3 年代



## ■勤務履歴

回答した校長の勤務履歴については、「教員経験のみ」が最も多く全体で59.1%。「教育委員会または行政（首長部局や学校事務を含む）の勤務経験がある」が34.1%、「民間企業の勤務経験がある（教委経験がある場合でも民間の経験があればこれを選択）」が4.5%となっている。

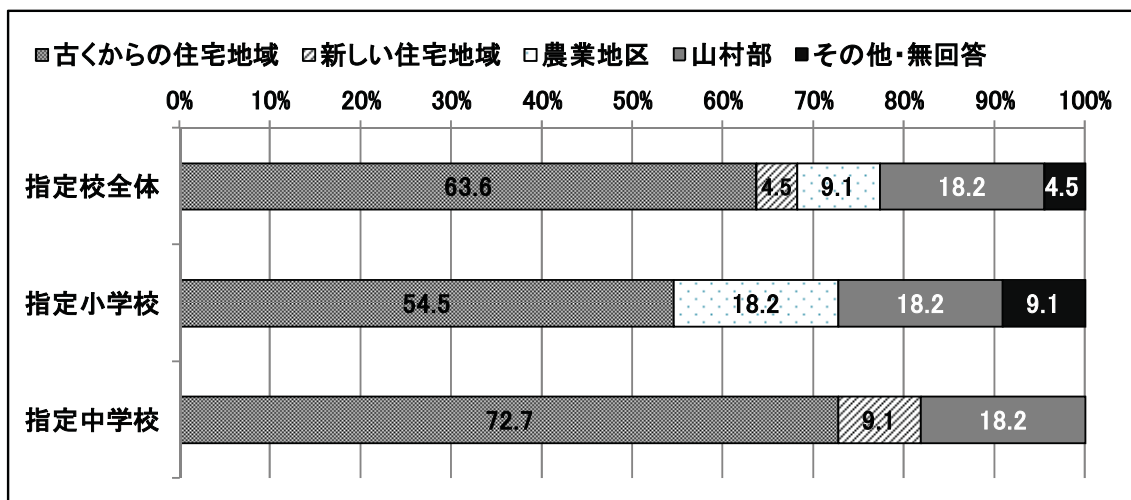
図 1-4 勤務履歴



## ■地域環境（指定校）

コミュニティ・スクール指定校における学校の地域環境については、「古くからの住宅地域」が最も多く全体の63.6%。以下、「山村部」が18.2%、「農業地区」が9.1%、「新しい住宅地域」が4.5%と続いている。

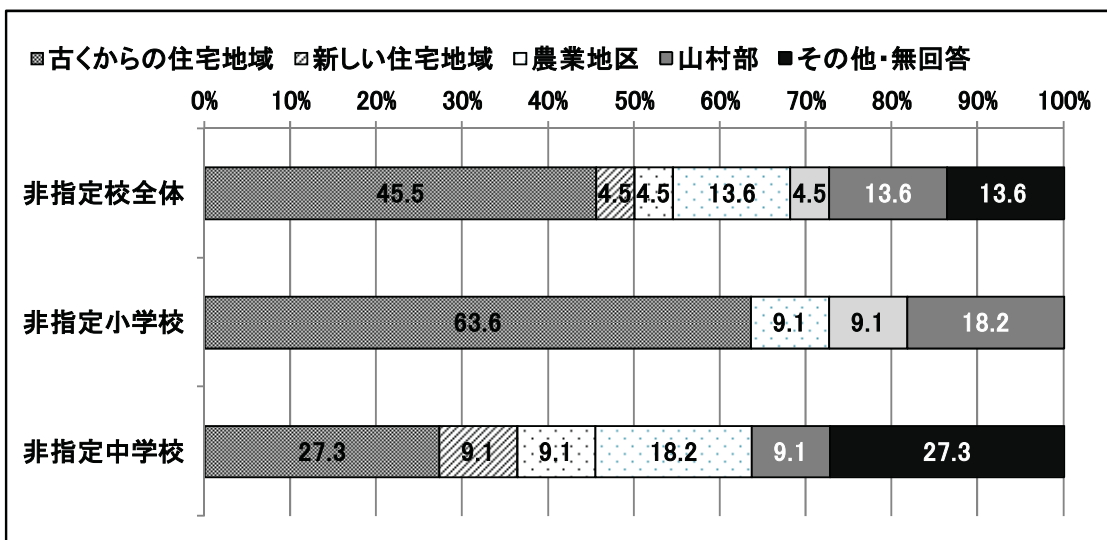
図 1-5 地域環境



■地域環境（非指定校）

学校がある地域の環境については、「古くからの住宅地域」が最も多く全体の45.5%。以下、「山村部」「農業地区」が各13.6%、「新しい住宅地域」「商業地域」が各4.5%となっている。

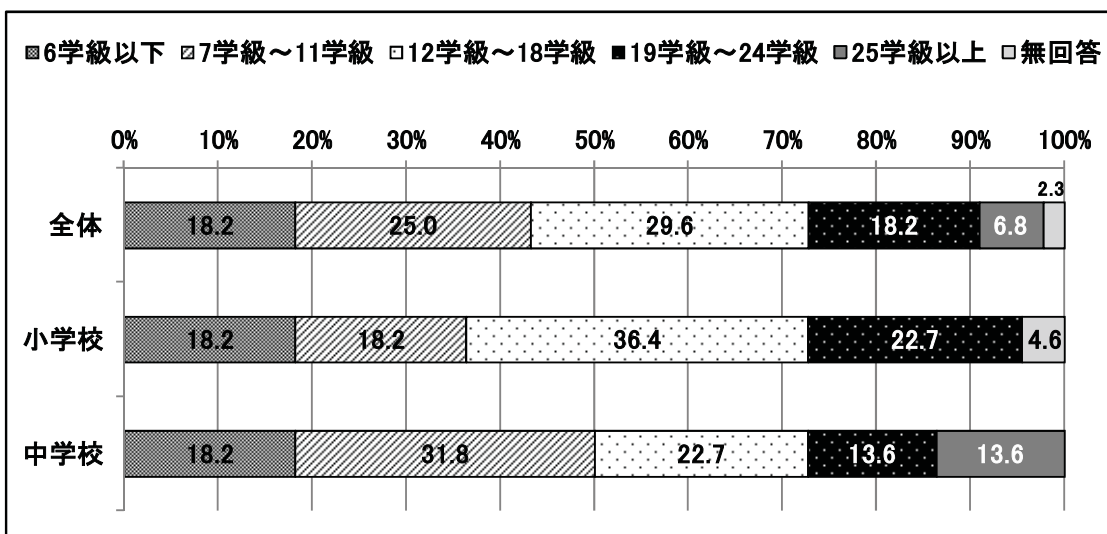
図 1-6 地域環境



■学校規模

学校の規模は、「12学級～18学級」が最も多く、全体で29.6%。以下「7学級～11学級」が25.0%、「6学級以下」と「19学級～24学級」がいずれも18.2%、「25学級以上」が6.8%となっている。

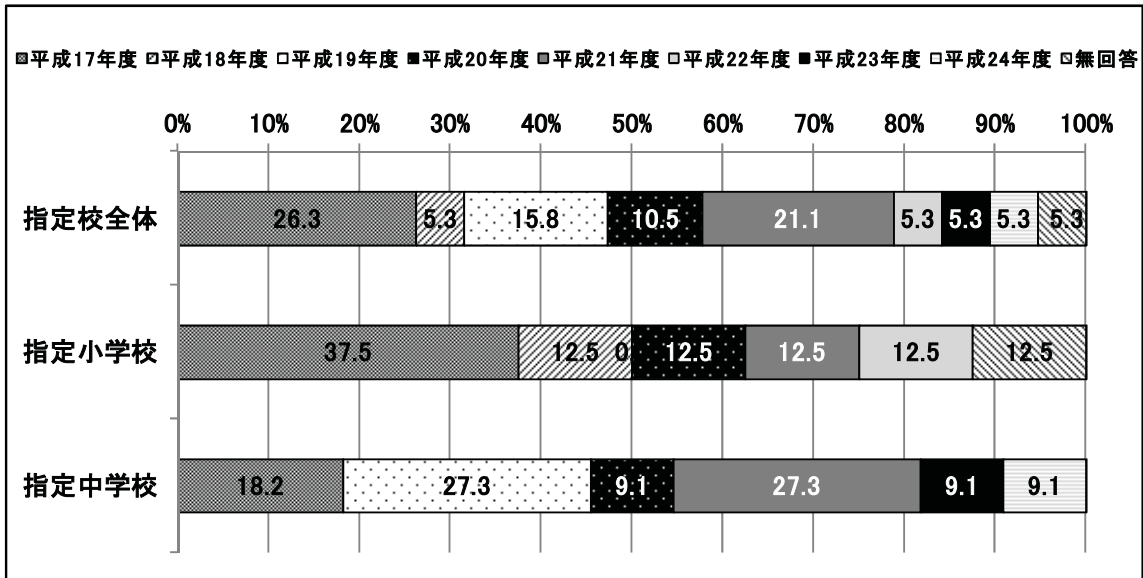
図 1-7 学校規模



### ■指定年度（指定校のみ）

学校がコミュニティ・スクールに指定された年度については、「平成17年度」が最も多く全体の26.3%。以下「平成21年度」が21.1%、「平成19年度」が15.8%と続いている。平成21年度以前の指定が全体の79%を占め、平成22年度以降の指定は15.9%と少ない。

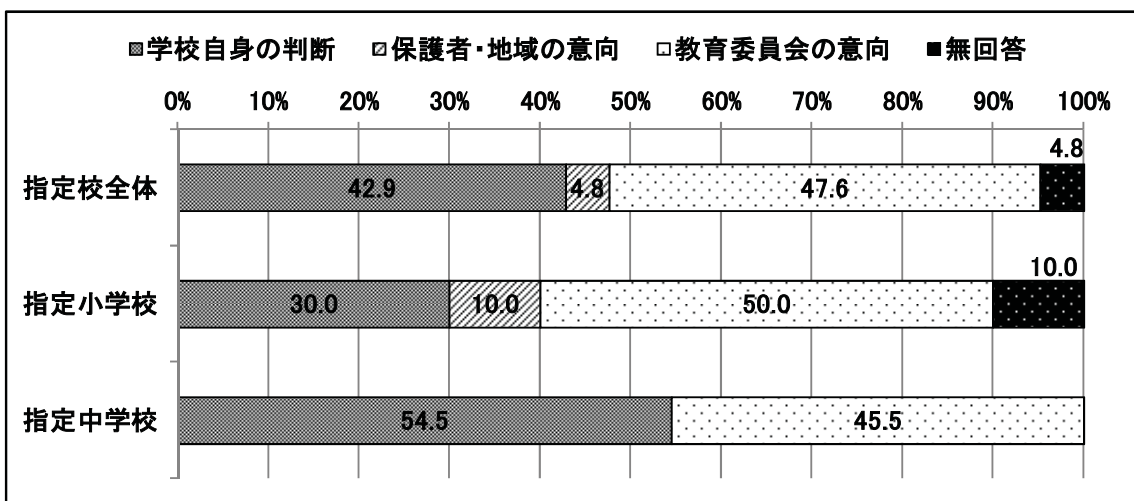
図1-8 指定年度（指定校のみ）



### ■指定の経緯（指定校のみ）

コミュニティ・スクールに指定された経緯については、「教育委員会の意向」が最も多く全体の47.6%、以下「学校自身の判断」が42.9%、「保護者・地域の意向」が4.8%となっている。

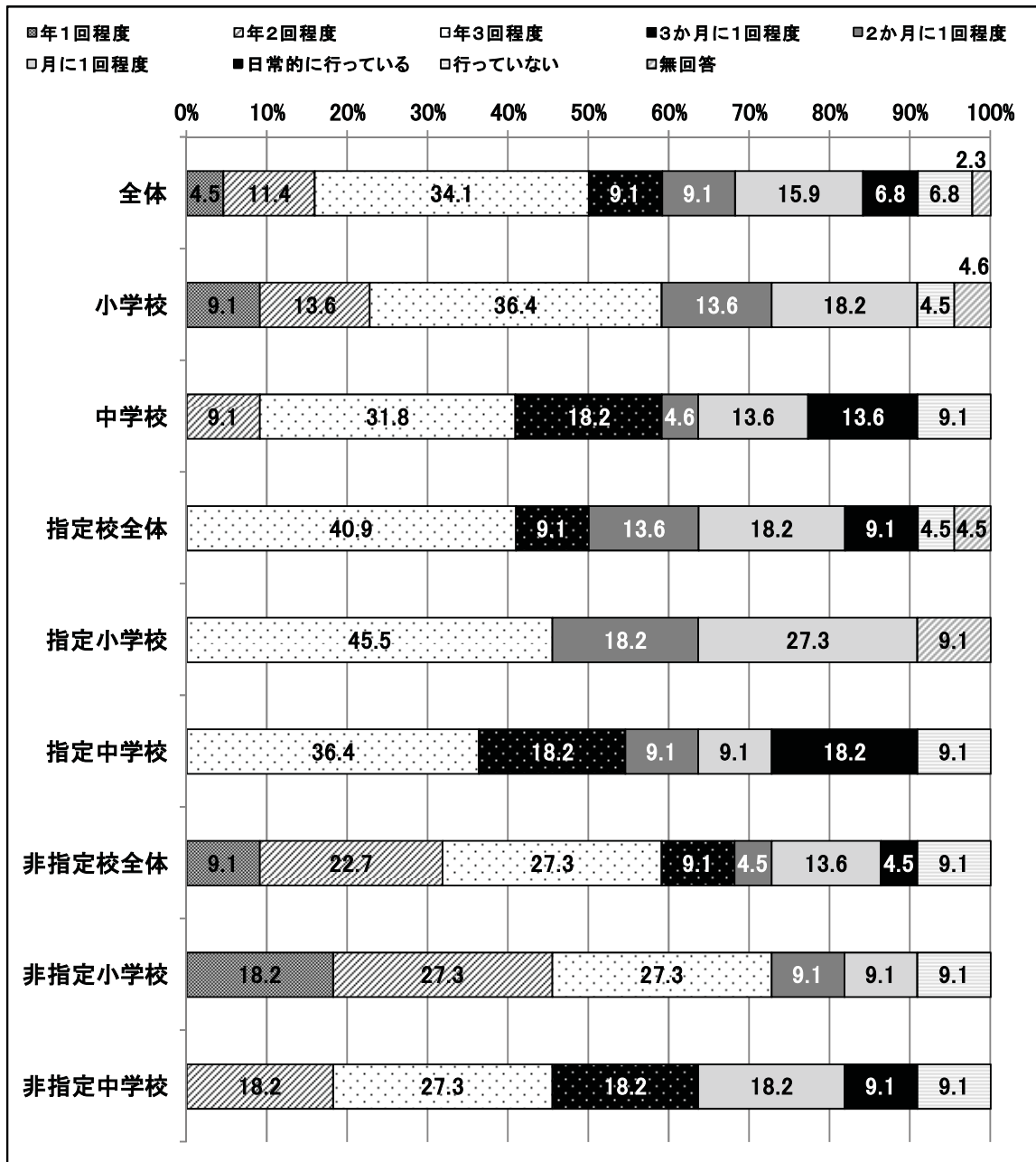
図1-9 指定の経緯



### ■「小・中一貫」または「小・中連携」教育の実施頻度

学校において、小中一貫または小中連携教育を実施している頻度については、「年3回程度」が最も多く全体の34.1%。以下、「月に1回程度」が15.9%、「2か月に1回程度」と「3か月に1回程度」がいずれも9.1%、「日常的に行っている」と「行っていない」が6.8%、「年1回程度」が4.5%と続いている。指定校・非指定校別に見ると、「日常的に行っている」が指定校全体で9.1%なのに対し、非指定校では4.5%にとどまっているのをはじめ、全体的に指定校の方がやや小・中連携教育を活発に行っている様子が把握できる。

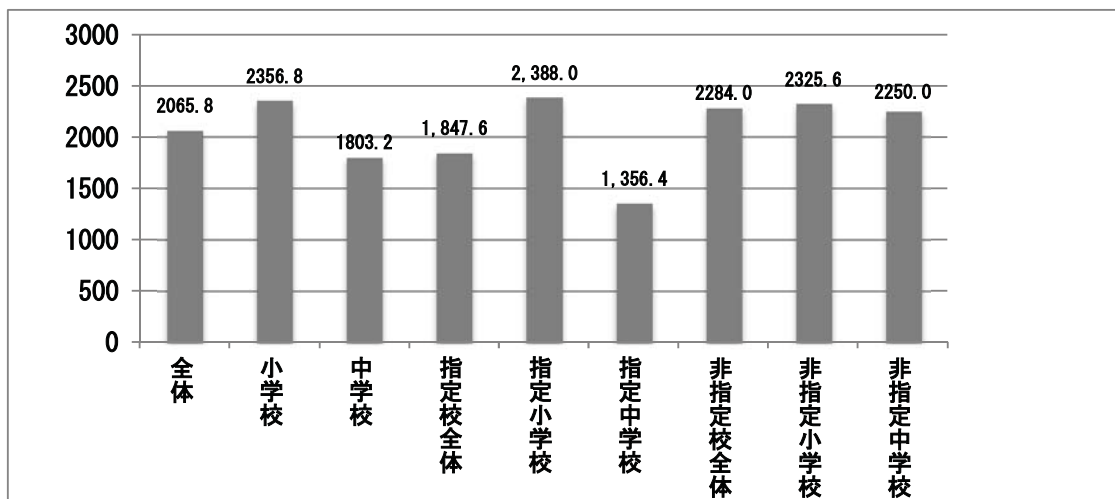
図1-10 「小・中一貫」または「小・中連携」教育の実施頻度



### ■授業公開等での年間来校者数

授業公開等での保護者を含む来校者の延べ人数は、全体平均で 2065.8 人。校種別では、小学校が 2356.8 人、中学校が 1803.2 人と、やや小学校の方が多い。指定校・非指定校間の比較では、指定校 1847.6 人に対し、非指定校 2284.0 人と、非指定校が大きく上回っている。

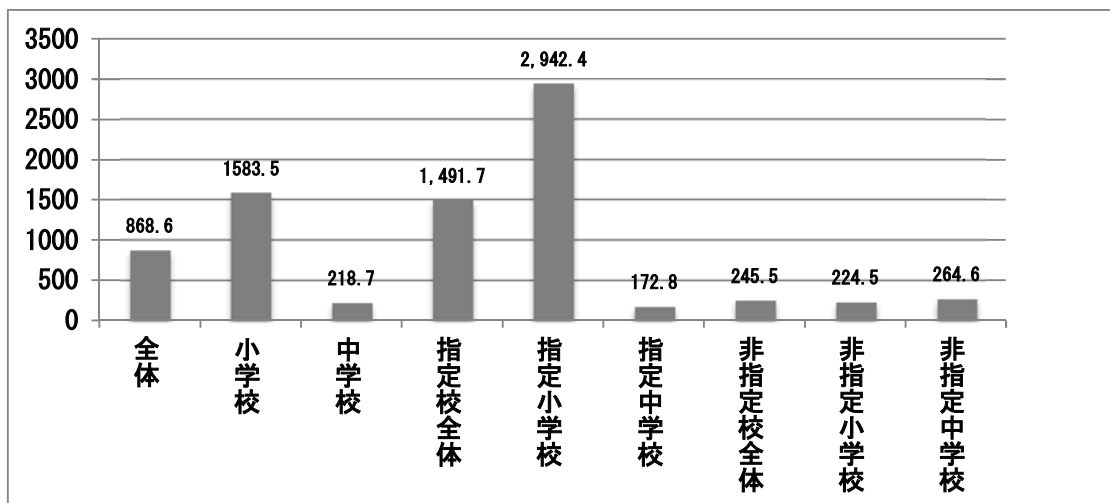
図 1-11 授業公開等での来校者数（年平均/人）



### ■学校支援ボランティアの年間参加者数

学校支援ボランティアに参加者の年間延べ人数は、全体平均で 868.6 人。校種別では小学校の方が圧倒的に多く 1583.5 人に上り、中学校 218.7 人の約 7 倍に上っている。指定校・非指定校間の比較では、指定校 1491.7 人に対し非指定校 245.5 人と、指定校が大きく上回っている。

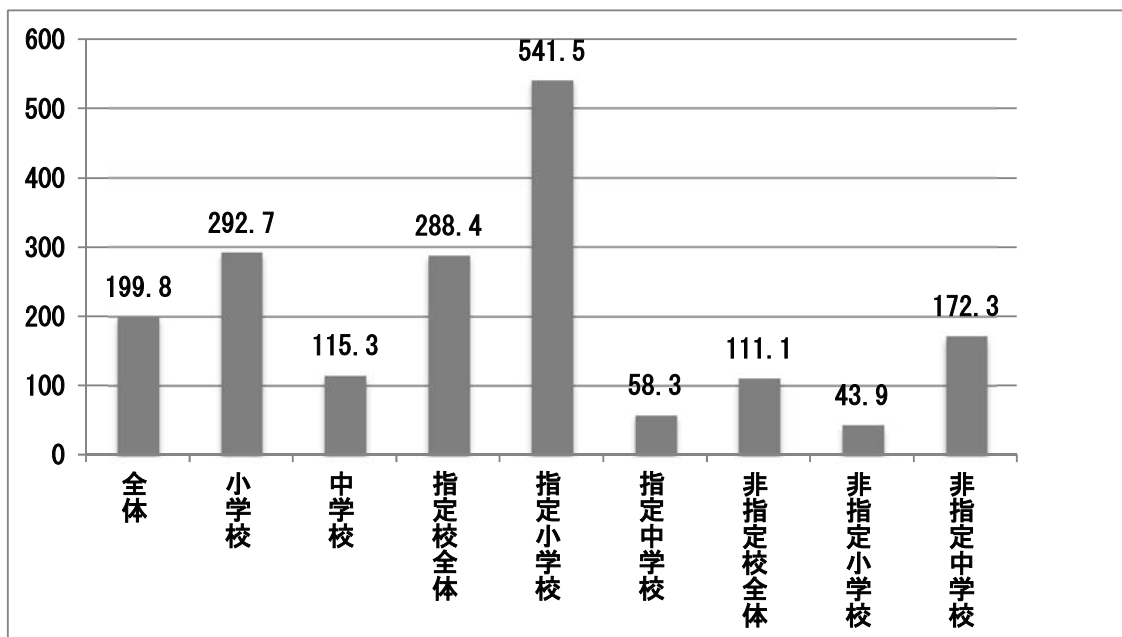
図 1-12 学校支援ボランティアの年間参加者数（年平均/人）



### ■学習支援に関するボランティアの年間参加者数

学校支援ボランティアのうち、学習支援にかかわる参加者の年間延べ人数は、全体平均で199.8人。校種別ではやはり小学校の方が多く292.7人で、中学校115.3人の約2.5倍に上っている。指定校・非指定校間の比較では、指定校288.4人に対し非指定校111.1人と、指定校が大きく上回っている。

図 1-13 学校支援ボランティアの年間参加者数（年平均/人）



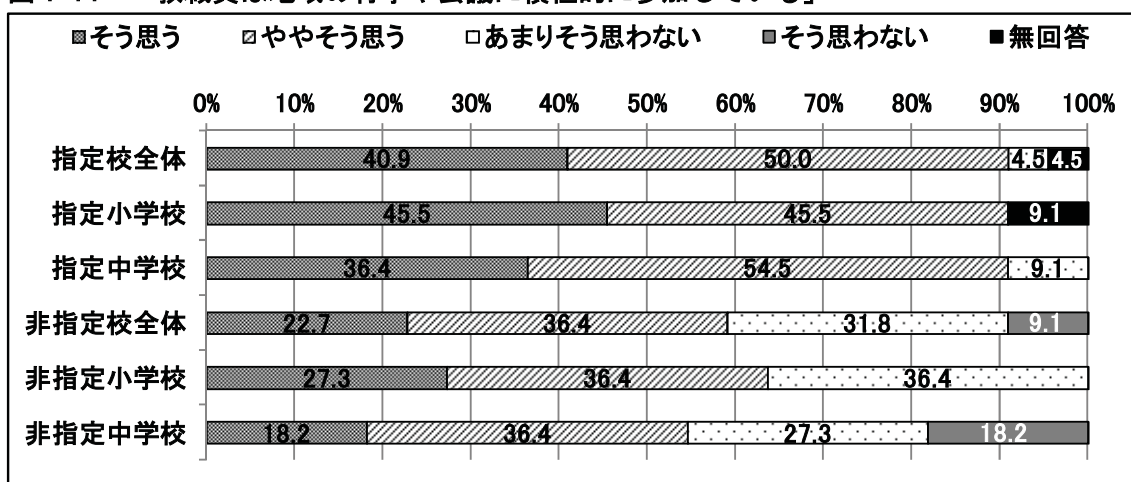


## I 教職員、児童・生徒、保護者や地域について

### ■「教職員は地域の行事や会議に積極的に参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で40.9%、非指定校全体で22.7%となっている。また「ややそう思う」と回答した学校も指定校全体で50.0%、非指定校全体で36.4%となるなど、全体的に指定校の方が、教職員が地域の行事や会議に積極的に参加している様子が伺える。

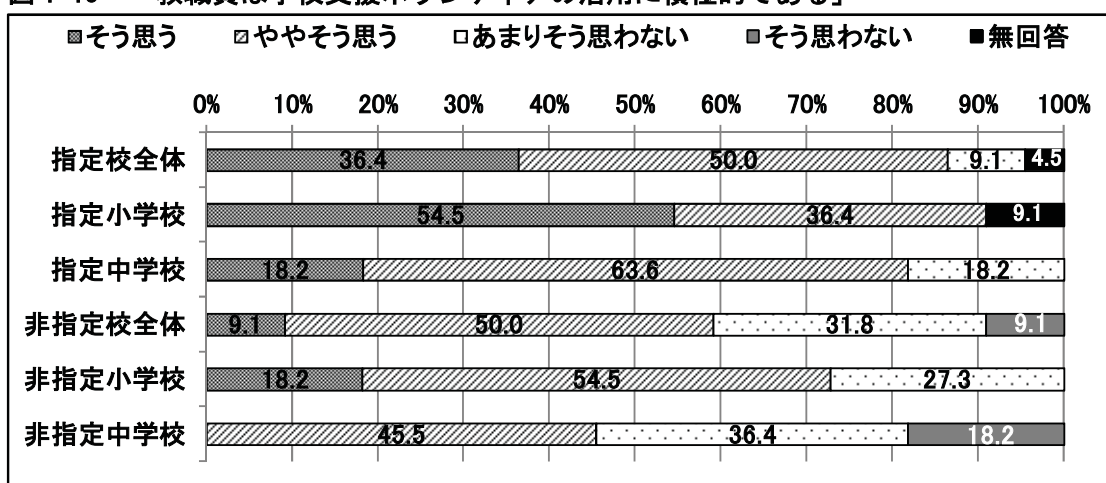
図 1-14 「教職員は地域の行事や会議に積極的に参加している」



### ■「教職員は学校支援ボランティアの活用に積極的である」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で9.1%と大きな差が出ている。また、「そう思わない」と回答した学校も指定校0%に対し、非指定校では9.1%に上っており、全体的に指定校の方が、教職員が学校支援ボランティアの活用に積極的な様子が伺える。

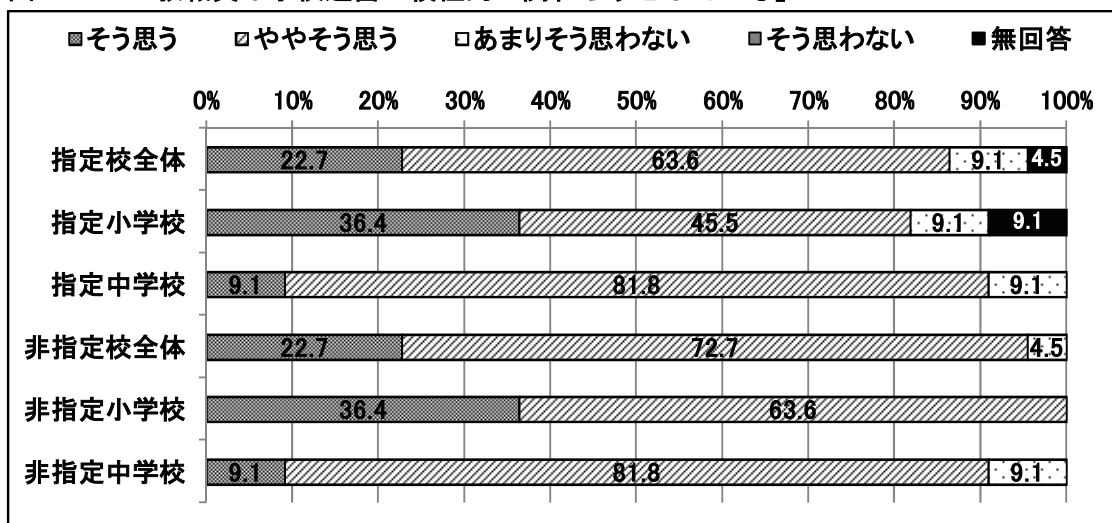
図 1-15 「教職員は学校支援ボランティアの活用に積極的である」



■「教職員は学校運営に積極的に関わろうとしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体でも22.7%と並んでいる。「ややそう思う」は指定校全体で63.6%、非指定校全体で72.7%とやや非指定校の方が高い。教職員の学校運営に対する姿勢に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

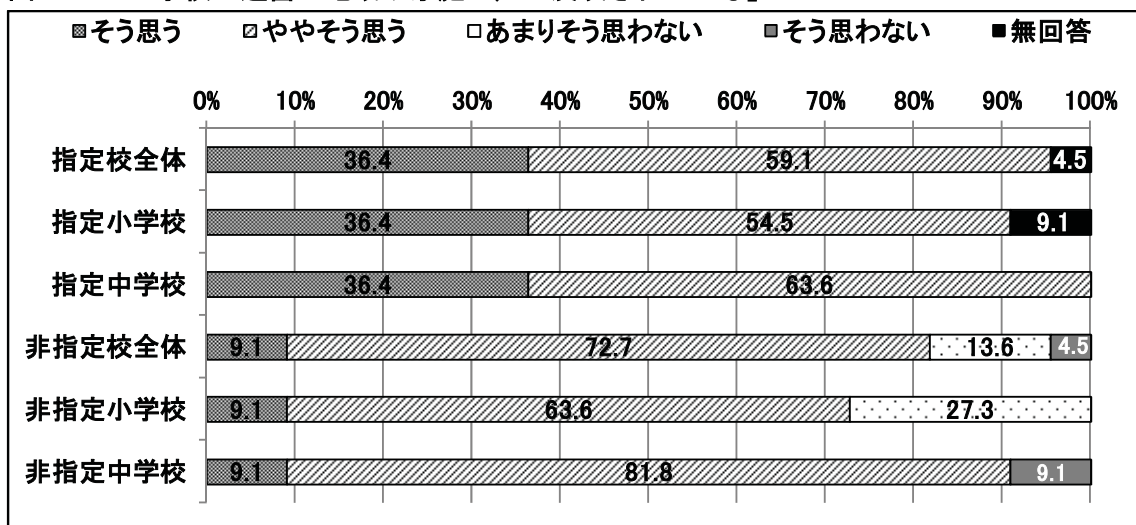
図 1-16 「教職員は学校運営に積極的に関わろうとしている」



■「学校の運営に地域や家庭の声が反映されている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で9.1%と大きな差が出ている。また、「そう思わない」と回答した学校も指定校0%に対し、非指定校では4.5%に上っており、全体的に指定校の方が、学校運営に地域や家庭の声が反映されている様子が伺える。

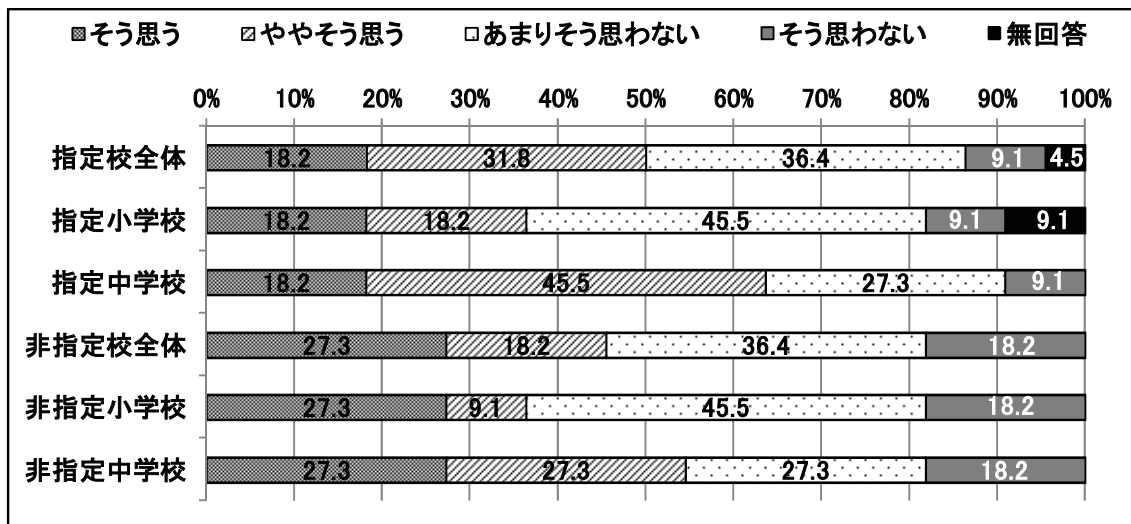
図 1-17 「学校の運営に地域や家庭の声が反映されている」



### ■「児童・生徒の学力は高い」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で27.3%と、非指定校の方が高くなっている。また、「そう思わない」と回答した学校は指定校全体で9.1%、非指定校全体で18.2%に上るなど、全体的に非指定校の方が児童・生徒の学力の高さを実感できている様子が伺える。

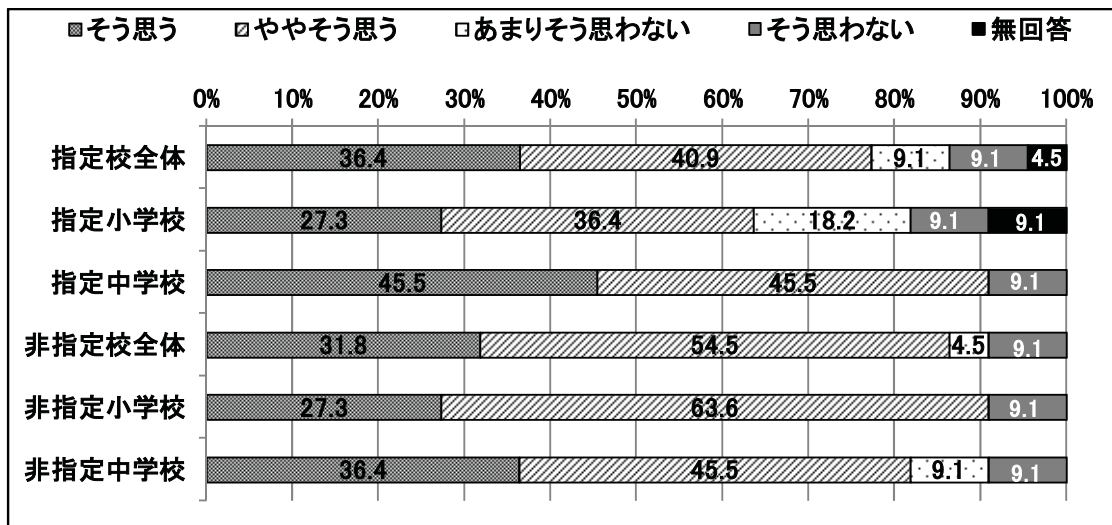
図1-18 「児童・生徒の学力は高い」



### ■「児童・生徒の問題行動は少ない」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で31.8%。「ややそう思う」と回答した学校は指定校全体で40.9%、非指定校全体で54.5%となっており、児童・生徒の問題行動に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

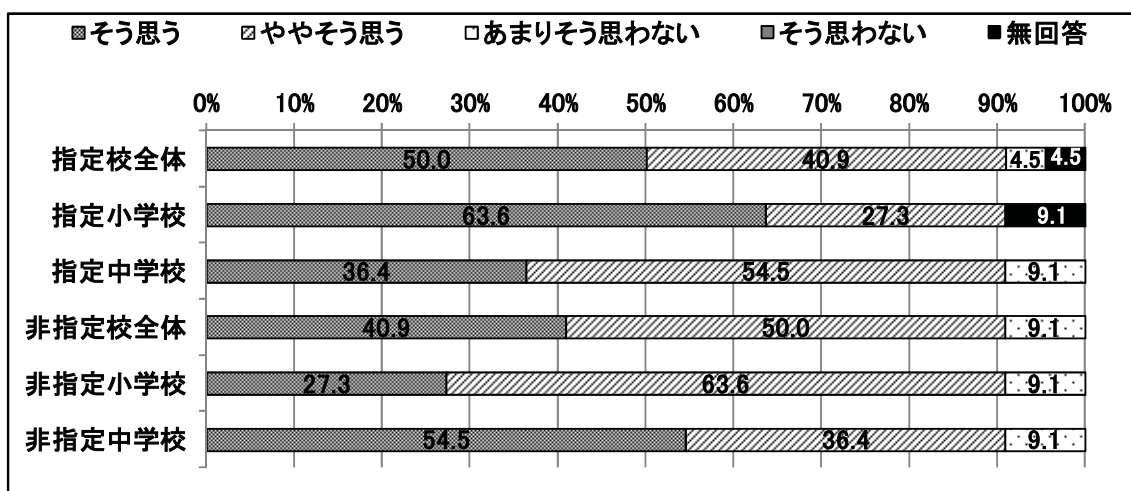
図1-19 「児童・生徒の問題行動は少ない」



■「児童・生徒は多様な体験活動に取り組んでいる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で40.9%と少しだけ指定校の方が高い。校種別では、小学校で指定校の63.6%が「そう思う」と回答したのに対し、非指定校では27.3%にとどまるなど、大きな差が出ている。一方で、中学校では非指定校の方が「そう思う」と回答した学校が多く、全体として児童生徒体験活動への取り組みに関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

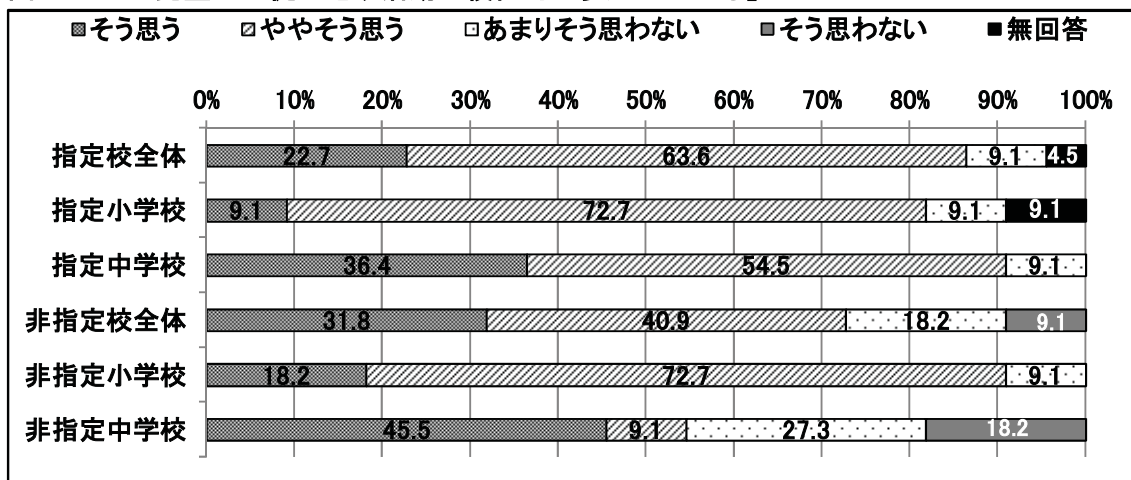
図 1-20 「児童・生徒は多様な体験活動に取り組んでいる」



■「児童・生徒は地域活動に積極的に参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体で31.8%と少しだけ非指定校の方が高い。しかし、「そう思う」「ややそう思う」の合計で見ると、指定校全体で86.3%、非指定校全体で72.7%と、指定校の方が高くなっている。全体として児童・生徒の地域活動への参加に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

図 1-21 「児童・生徒は地域活動に積極的に参加している」

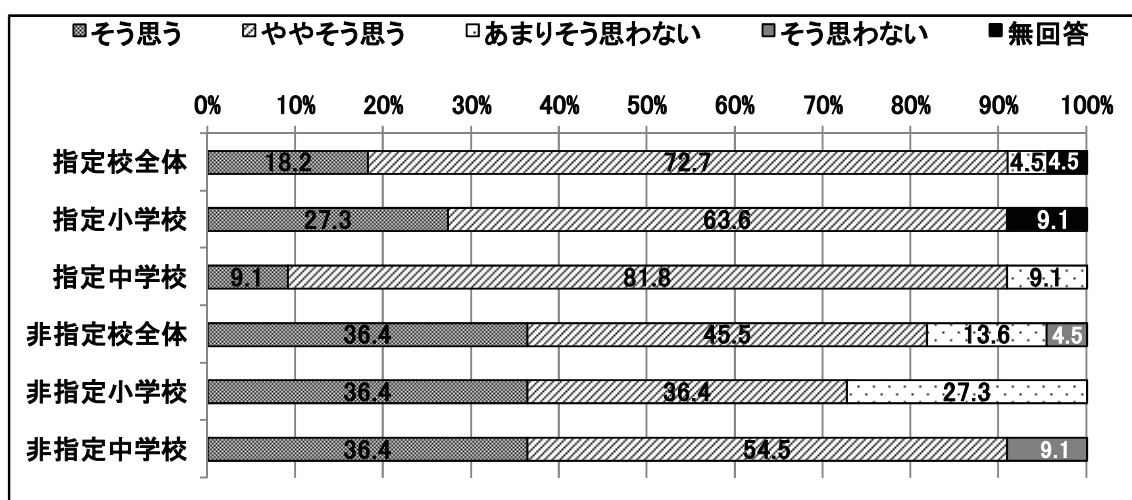




### ■「保護者は学校の活動に積極的に協力している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で36.4%と非指定校の方が高い。しかし、「そう思う」「ややそう思う」の合計で見ると、指定校全体で90.9%、非指定校全体で81.9%と、指定校の方が高くなっている。全体として保護者の学校の活動への協力に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

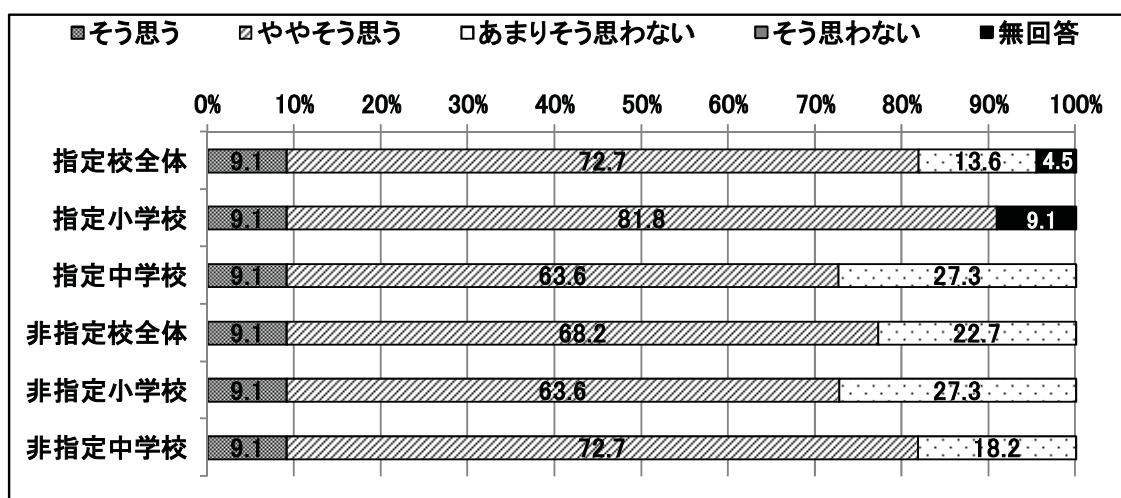
図 1-22 「保護者は学校の活動に積極的に協力している」



### ■「保護者は学校の実態を十分把握している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体・非指定校全体ともに9.1%。「ややそう思う」は指定校全体で72.7%、非指定校全体で68.2%と少しだけ指定校の方が高くなっているが、全体として保護者の学校実態の把握に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

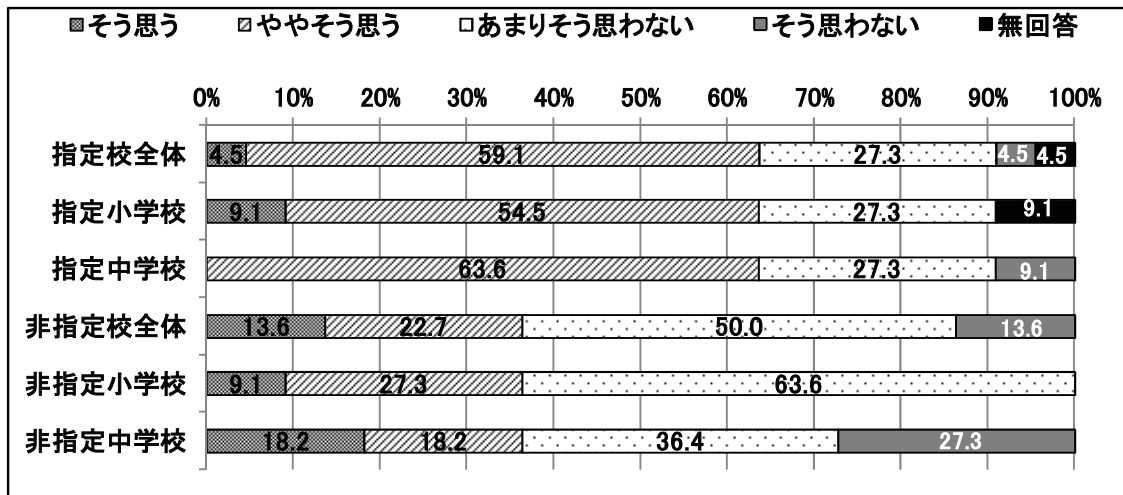
図 1-23 「保護者は学校の実態を十分把握している」



■「保護者は学校支援ボランティアを積極的に行っている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で4.5%、非指定校全体で13.6%と非指定校の方が高い。しかし、「そう思う」「ややそう思う」の合計で見ると、指定校全体で63.6%、非指定校全体で36.3%と、指定校の方が高い。全体として、やや指定校の方が、保護者が学校支援ボランティアを積極的に行っている様子が伺える。

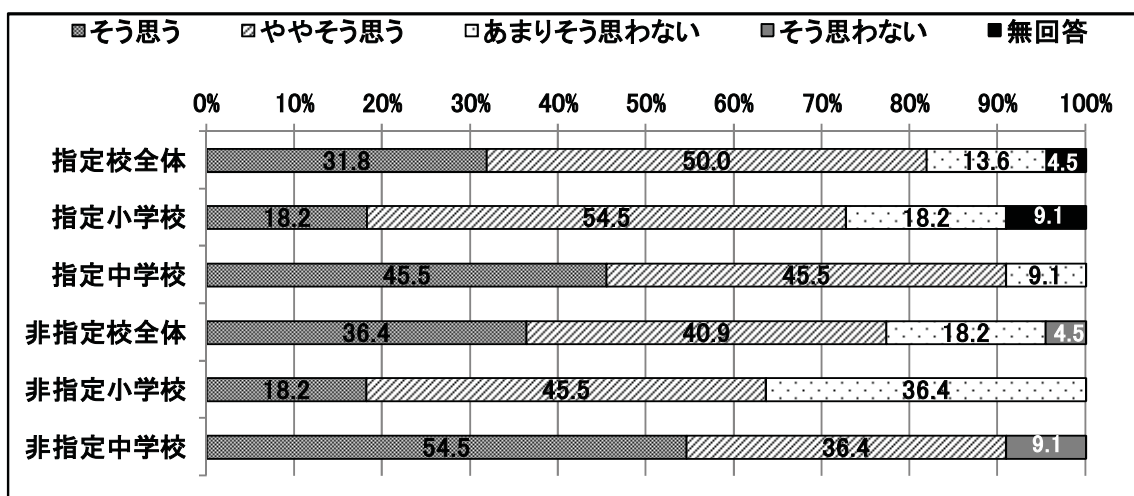
図 1-24 「保護者は学校支援ボランティアを積極的に行っている」



■「PTA活動は活発に行われている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で31.8%、非指定校全体で36.4%と非指定校の方が高い。しかし、「そう思う」「ややそう思う」の合計で見ると、指定校全体で81.8%、非指定校全体で77.3%と、やや指定校の方が高い。全体として、PTA活動の活発さに関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

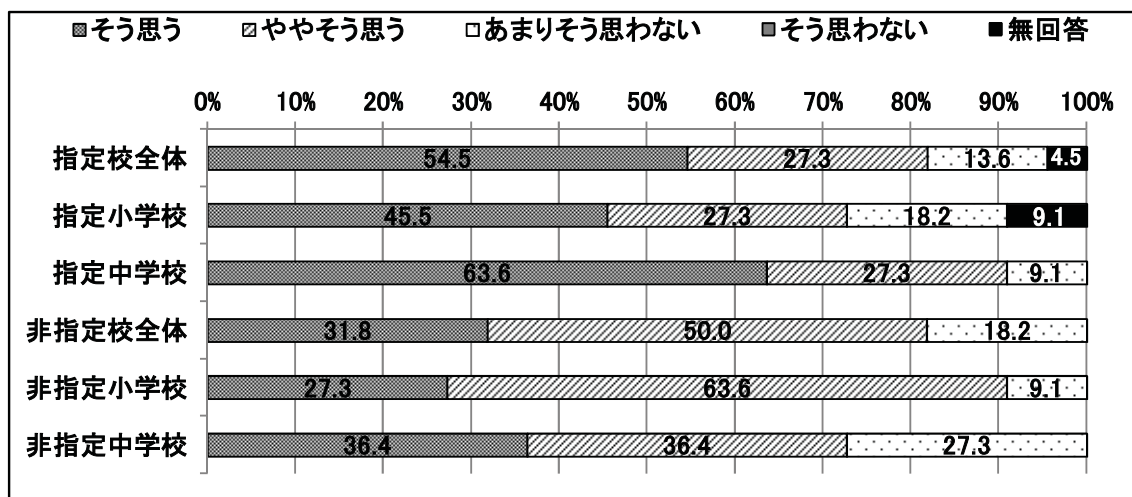
図 1-25 「PTA活動は活発に行われている」



■「保護者からの苦情は少ない方である」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で54.5%、非指定校全体で31.8%と指定校の方が高い。特に中学校では、「そう思う」と回答した学校が指定校で63.6%に上り、非指定校の36.4%を大きく上回っている。全体として指定校の方が、保護者からの苦情が少ない様子が伺える。

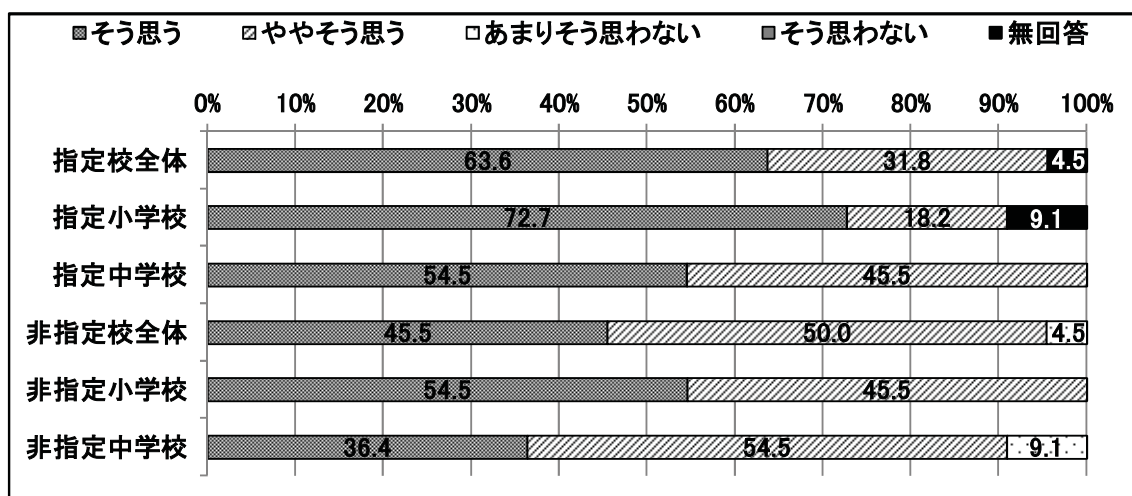
図 1-26 「保護者からの苦情は少ない方である」



■「地域の方は学校の活動に積極的に協力してくれる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で63.6%、非指定校全体で45.5%と指定校の方が高い。「そう思う」「ややそう思う」の合計でも指定校全体が非指定校全体を上回っており、全体として指定校の方が、地域の方が学校の活動に積極的に協力している様子が伺える。

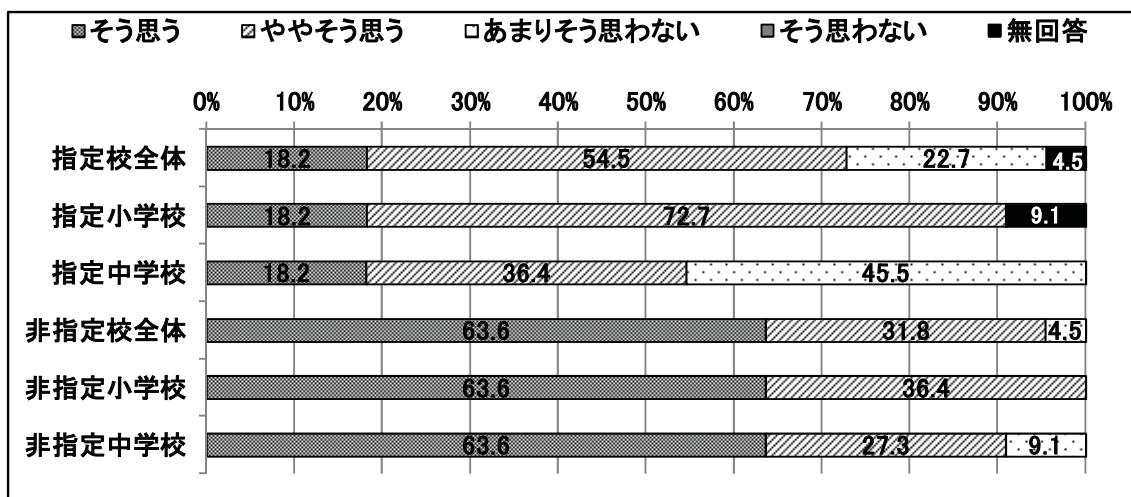
図 1-27 「地域の方は学校の活動に積極的に協力してくれる」



■「地域の方は学校の実態を十分把握している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で63.6%と圧倒的に非指定校の方が高い。「そう思う」「ややそう思う」の合計でも、非指定校全体が指定校全体を大きく上回り、全体として非指定校の方が、地域の人たちが学校の実態を把握している様子が伺える。

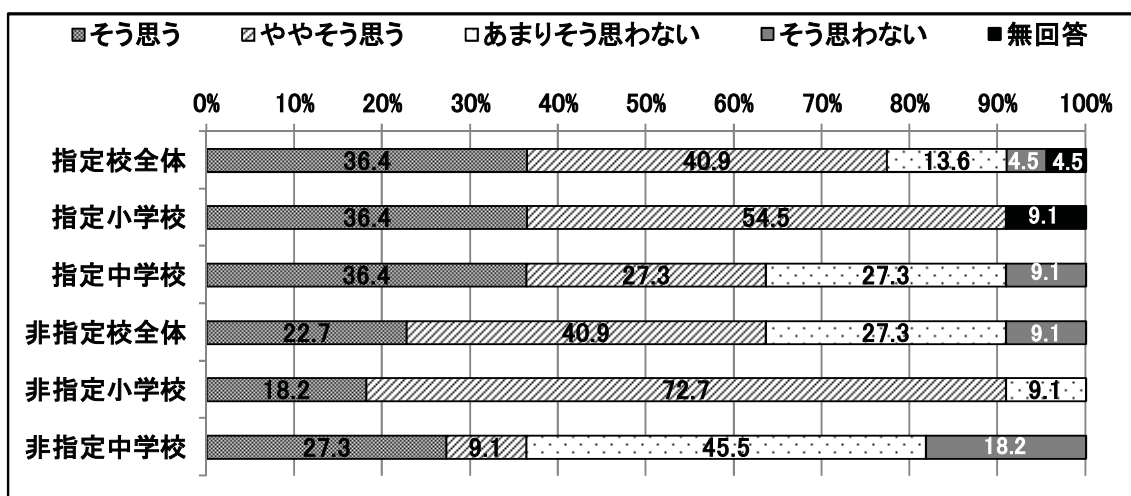
図 1-28 「地域の方は学校の実態を十分把握している」



■「地域の方による学校支援ボランティア活動が活発に行われている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で22.7%と指定校の方が高い。特に小学校では、「そう思う」が指定校36.4%、非指定校18.2%と大きな差が出ている。全体として指定校の方が、地域の人たちによって学校支援ボランティア活動が活発に行われている様子が伺える。

図 1-29 「地域の方による学校支援ボランティア活動が活発に行われている」

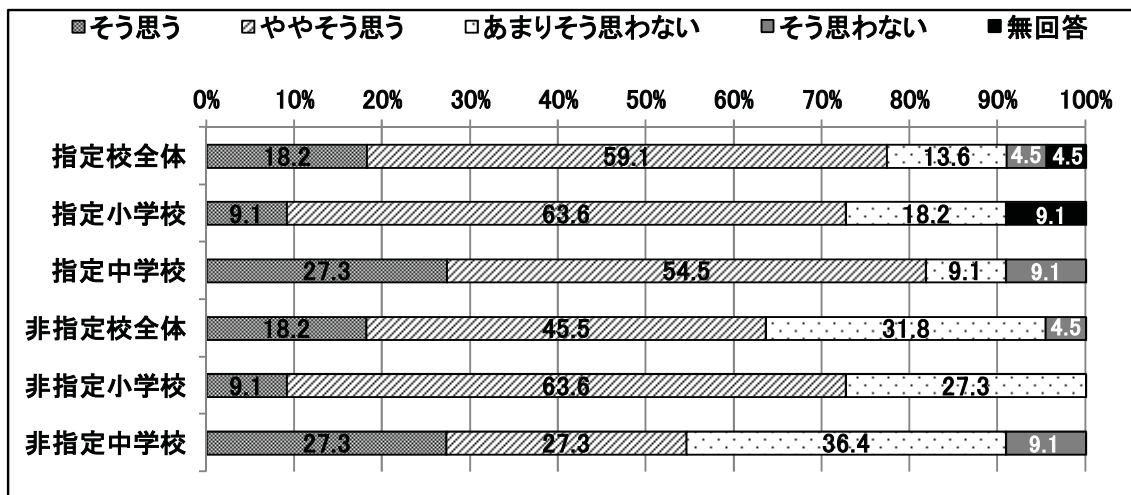




■「自治会や子供会などの地域活動が活発に行われている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体・非指定校全体ともに18.2%。  
「そう思う」「ややそう思う」の合計で見ると、指定校全体が77.3%、非指定校全体が63.7%と、やや指定校全体の方が高い。全体として指定校の方が、やや自治会や子供会などの地域活動が活発な様子が伺える。

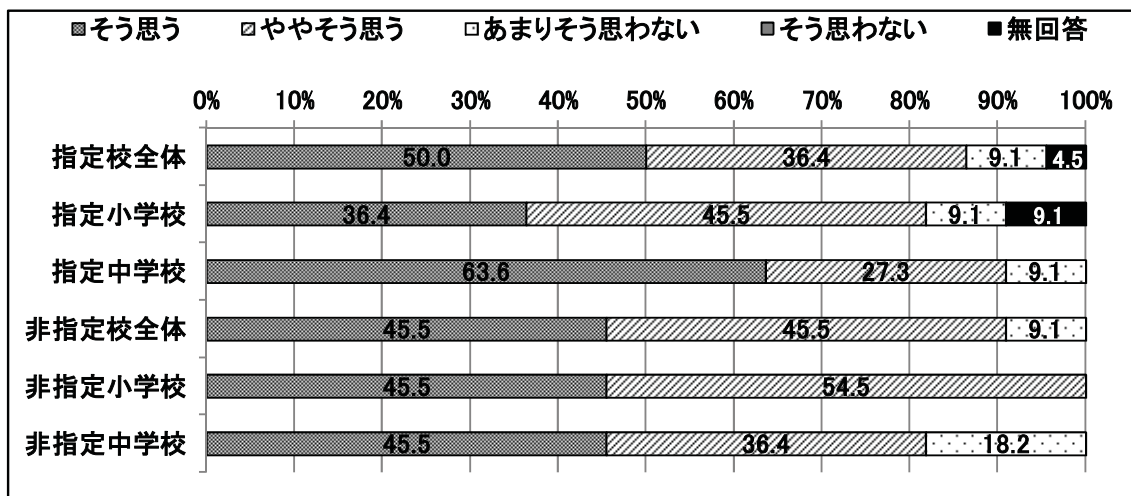
図 1-30 「自治会や子供会などの地域活動が活発に行われている」



■「地域からの苦情は少ない方である」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で45.5%と少しだけ指定校の方が高い。しかし、「そう思う」「ややそう思う」の合計では、指定校全体が86.4%、非指定校全体が91.0%と、やや非指定校全体の方が高い。全体として、地域からの苦情の数に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

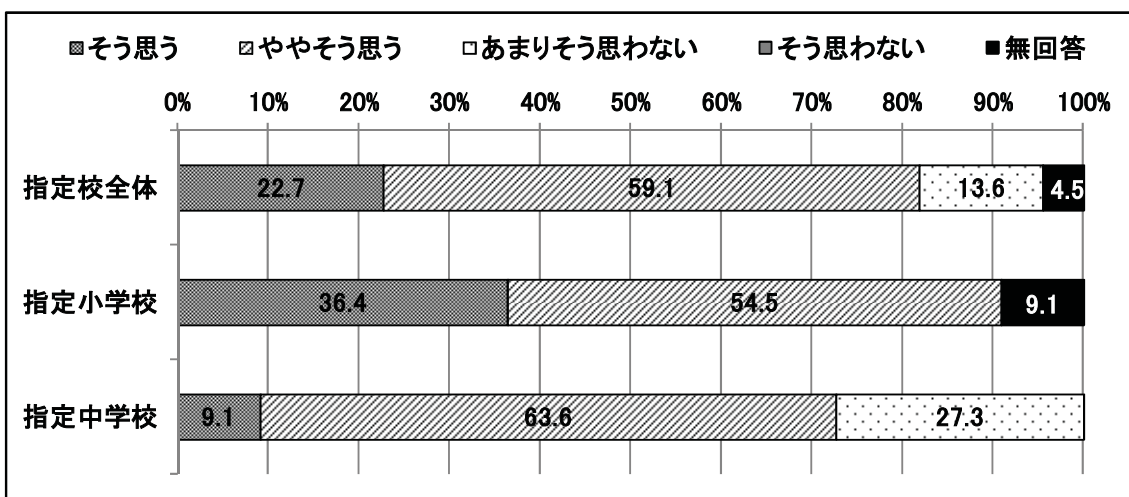
図 1-31 「地域からの苦情は少ない方である」



■「教職員はコミュニティ・スクールについて理解している」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体の22.7%。「ややそう思う」が全体の59.1%と最も多く、「あまりそう思わない」が13.6%、「そう思わない」が0%となっている。多くの学校で教職員のコミュニティ・スクール理解が進んでいる様子が伺え、特に小学校では「そう思う」「ややそう思う」と回答した学校が、合わせて90.9%に上っている。

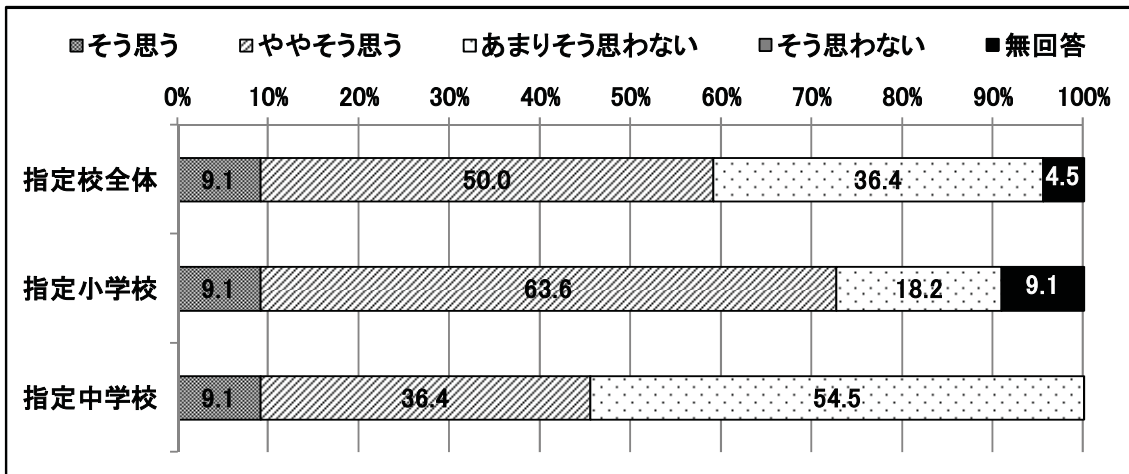
図 1-32 「教職員はコミュニティ・スクールについて理解している」（指定校のみ）



■「保護者や地域はコミュニティ・スクールについて理解している」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体の9.1%。「ややそう思う」が全体の50.0%と最も多く、「あまりそう思わない」が36.4%、「そう思わない」が0%となっている。多くの学校で、保護者や地域のコミュニティ・スクール理解が、ある程度進んでいる様子が伺え、特に小学校では「そう思う」「ややそう思う」と回答した学校が、合わせて72.7%に上っている。

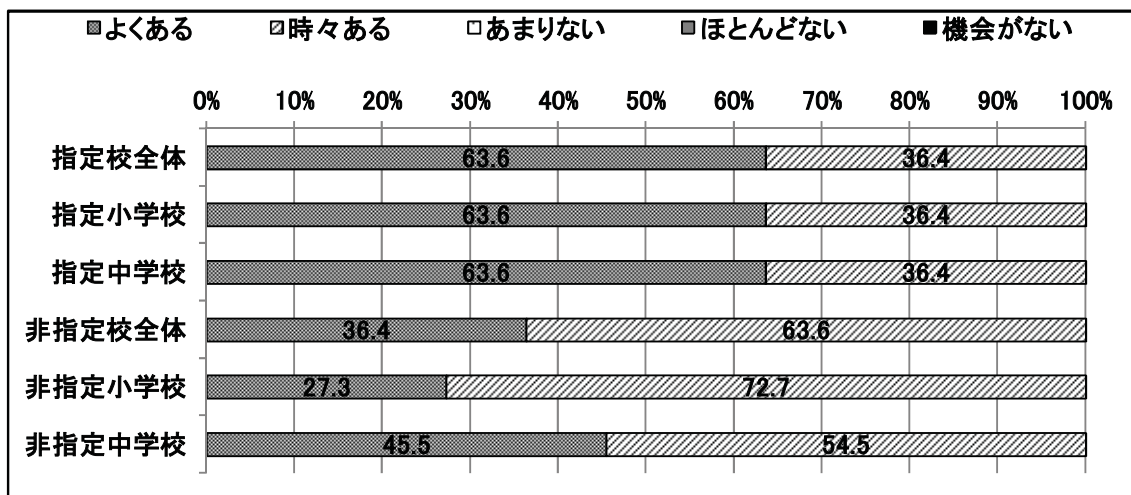
図 1-33 「保護者や地域はコミュニティ・スクールについて理解している」（指定校のみ）



### ■地域に学校の情報を提供する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で63.6%、非指定校全体で36.4%と指定校が大きく非指定校を上回っている。全体として指定校の方が、地域に学校の情報を積極的に発信している様子が伺える。

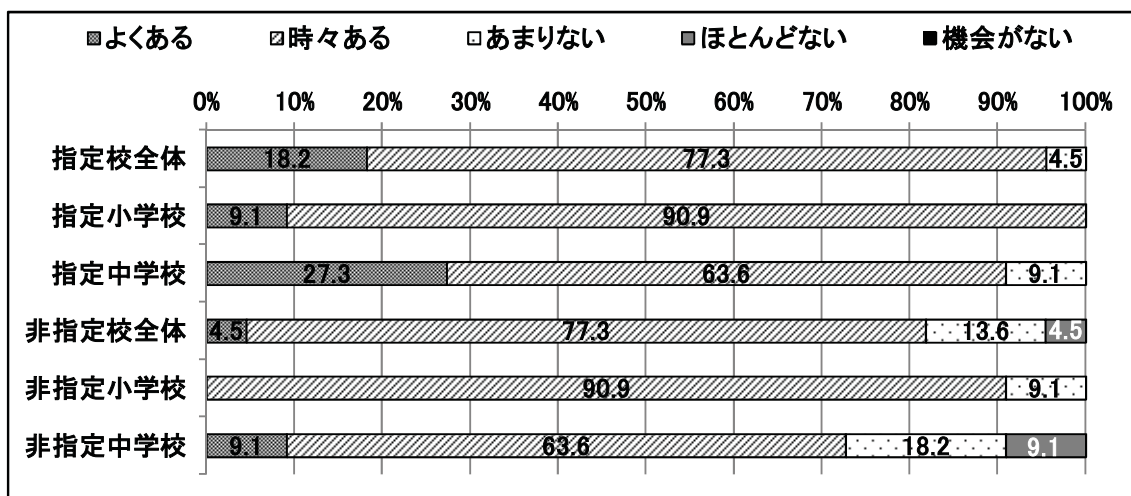
図 1-34 「地域に学校の情報を提供する機会」



### ■学校に地域の情報が伝えられる機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で4.5%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の情報が学校に伝わってきている様子が伺える。

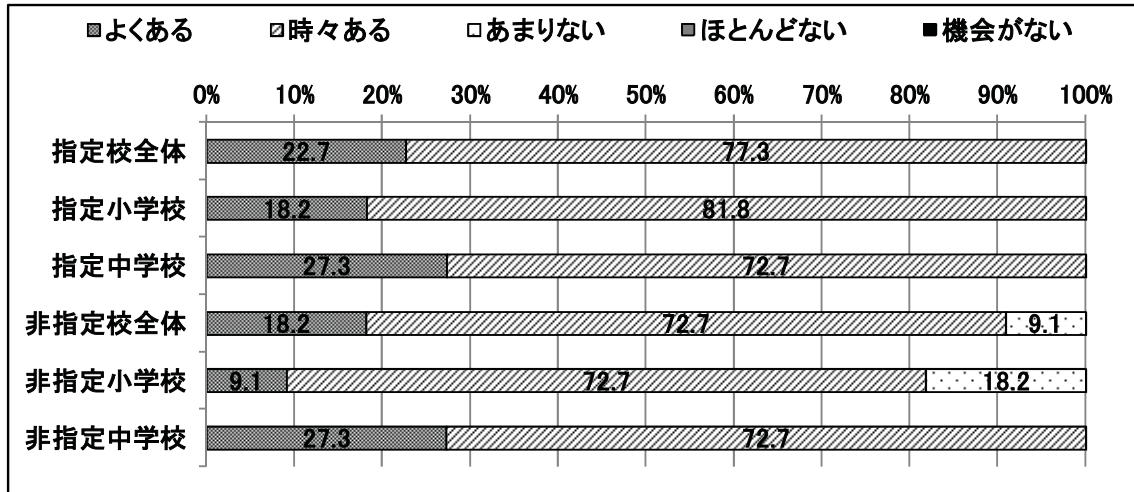
図 1-35 「学校に地域の情報が伝えられる機会」



### ■保護者や地域の意見やニーズを聞く機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体で18.2%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は9.1%に上るなど、全体として指定校の方が、保護者や地域の意見やニーズをよく聞いている様子が伺える。

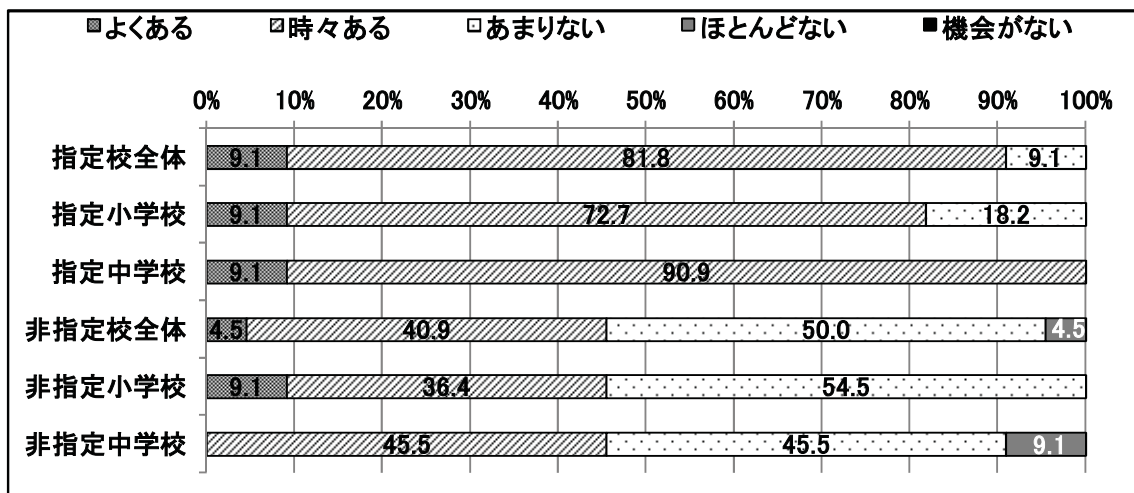
図 1-36 「保護者や地域の意見やニーズを聞く機会」



### ■地域の方の意見を反映した教育活動を行う機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で9.1%、非指定校全体で4.5%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は50.0%に達するなど、全体として指定校の方が、地域の人たちの意見を反映した教育活動が行われている様子が伺える。

図 1-37 「地域の方の意見を反映した教育活動を行う機会」

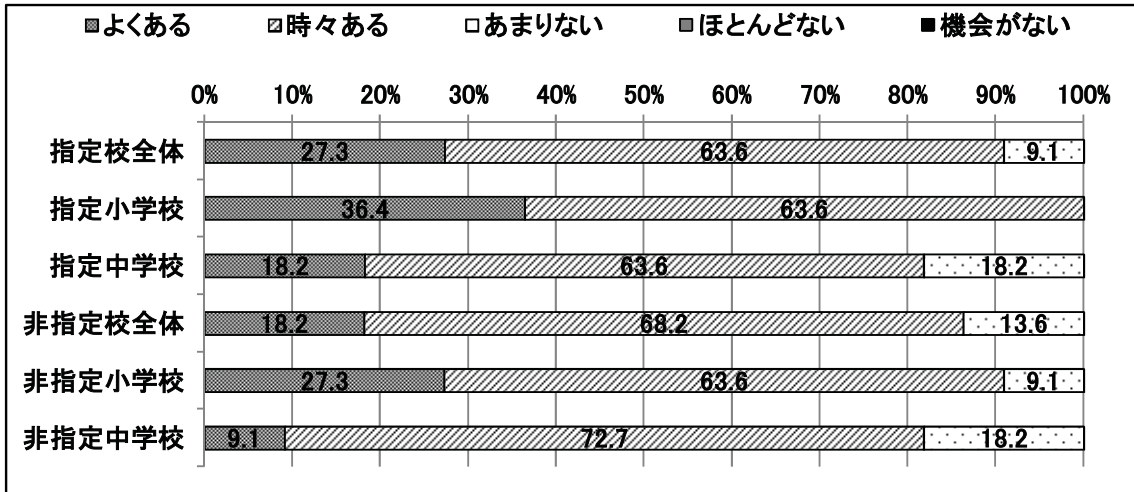




### ■学校でのイベントや企画に地域の方が参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で27.3%、非指定校全体で18.2%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の方が、学校でのイベントや企画に地域の人たちが参加している様子が伺える。

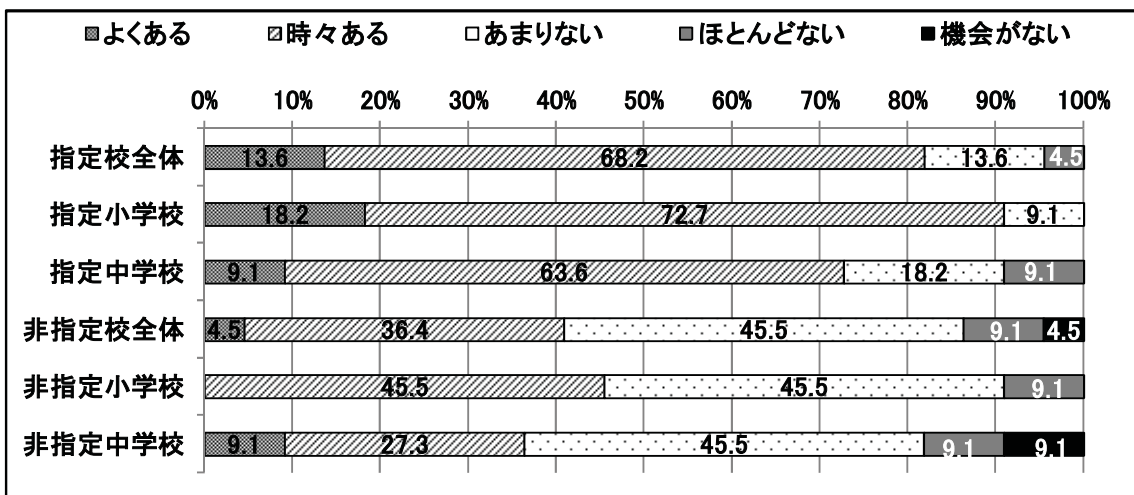
図 1-38 「学校でのイベントや企画に地域の方が参加する機会」



### ■学校の課題解決に地域の方が協力する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で13.6%、非指定校全体で4.5%と指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が18.1%であるのに対し、非指定校全体は54.6%に達するなど、全体として指定校の方が、学校の課題解決に地域の人たちが協力している様子が伺える。

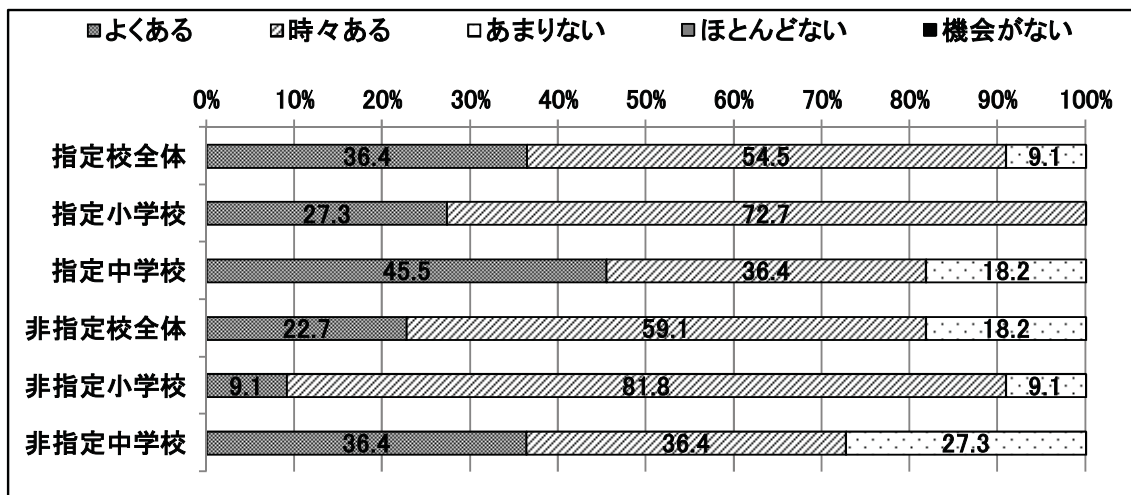
図 1-39 「学校の課題解決に地域の方が協力する機会」



### ■学校関係者評価に地域の方が参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で22.7%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は18.2%に上るなど、全体として指定校の方が、学校関係者評価に地域の人たちが参加している様子が伺える。

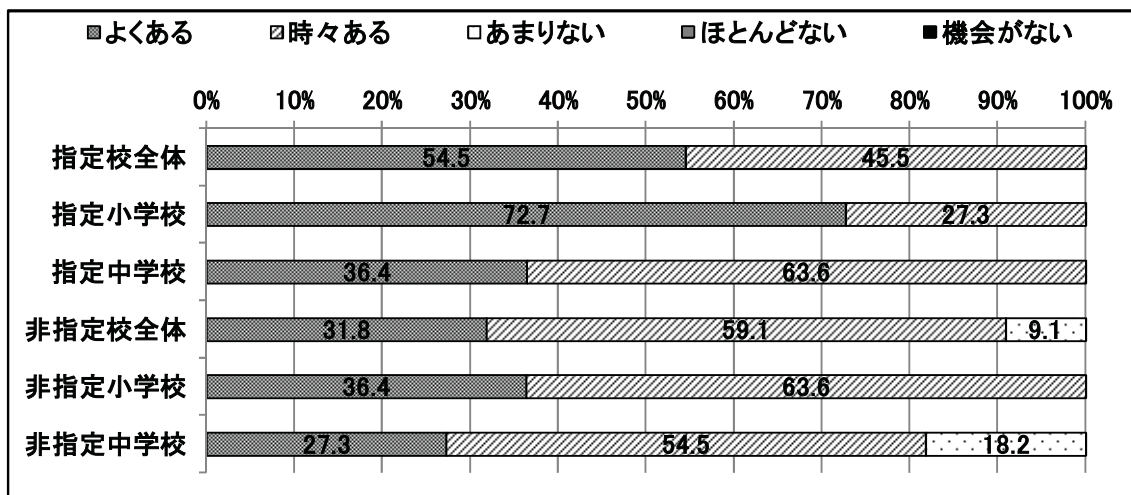
図 1-40 「学校関係者評価に地域の方が参加する機会」



### ■地域の方が学校に来る機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で54.5%、非指定校全体で31.8%と指定校の方が高い。「あまりない」と回答した学校についても、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は9.1%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが学校によく足を運んでいる様子が伺える。

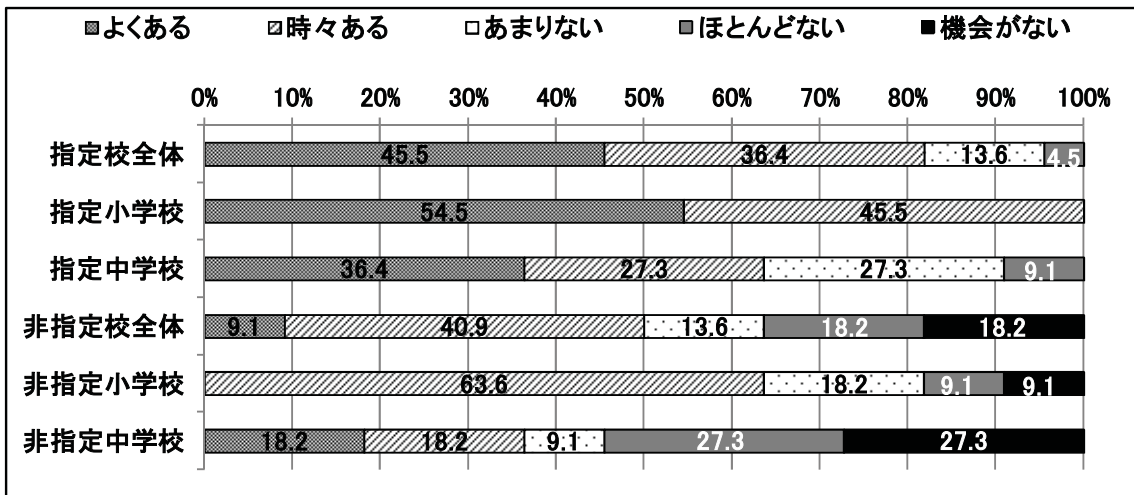
図 1-41 「地域の方が学校に来る機会」



■地域の方が学習支援のボランティアとして参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で45.5%、非指定校全体で9.1%と指定校が大きく非指定校を上回っている。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が18.1%であるのに対し、非指定校全体は31.8%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが学習支援ボランティアとしてよく参加している様子が伺える。

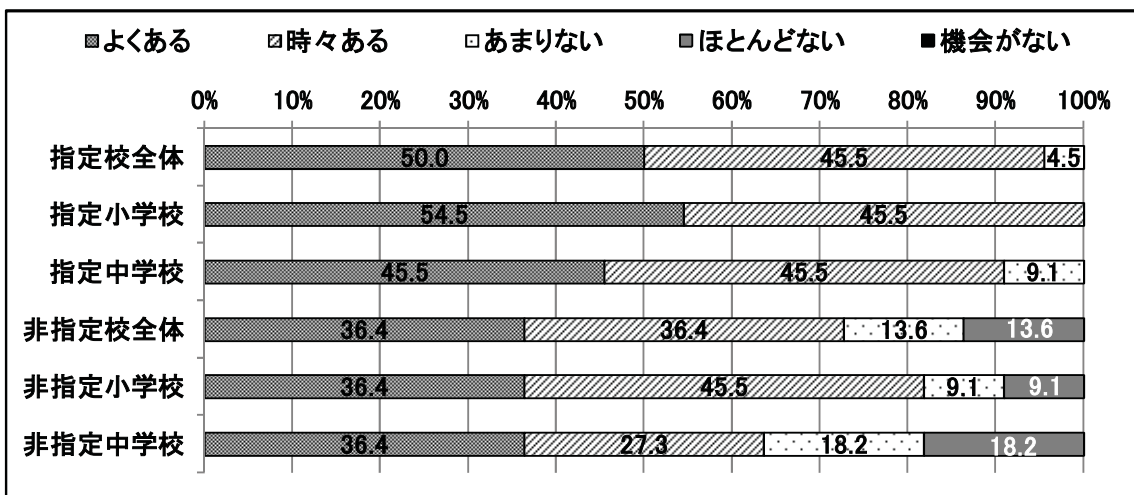
図 1-42 「地域の方が学習支援のボランティアとして参加する機会」



■地域の方が学習以外のボランティアとして参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で36.4%と指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は27.2%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが学習以外のボランティアとしてよく参加している様子が伺える。

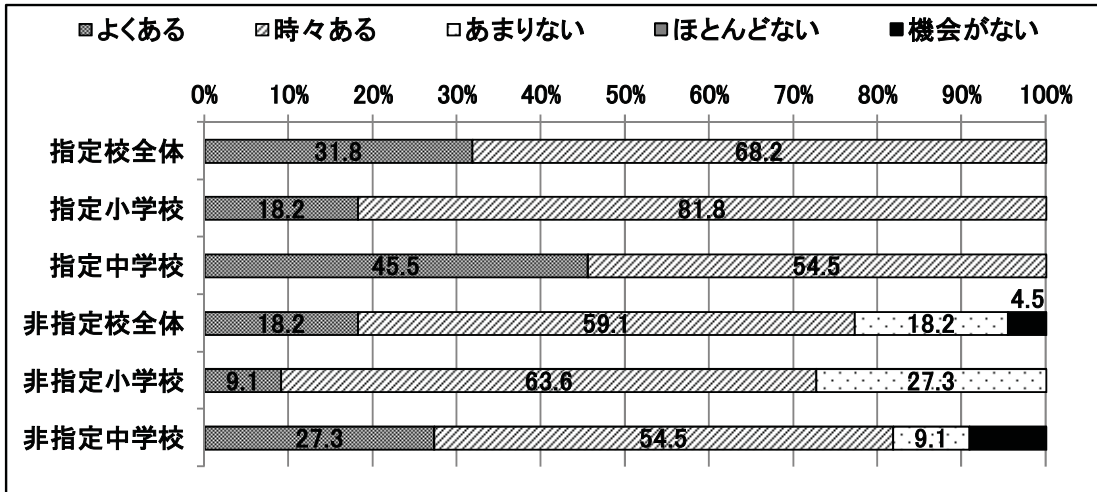
図 1-43 「地域の方が学習以外のボランティアとして参加する機会」



### ■地域の方が学校公開に参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で31.8%、非指定校全体で18.2%と指定校の方が高い。「あまりない」も、指定校全体が0.0%であるのに対し、非指定校全体は18.2%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが学校公開に参加する機会が多い様子が伺える。

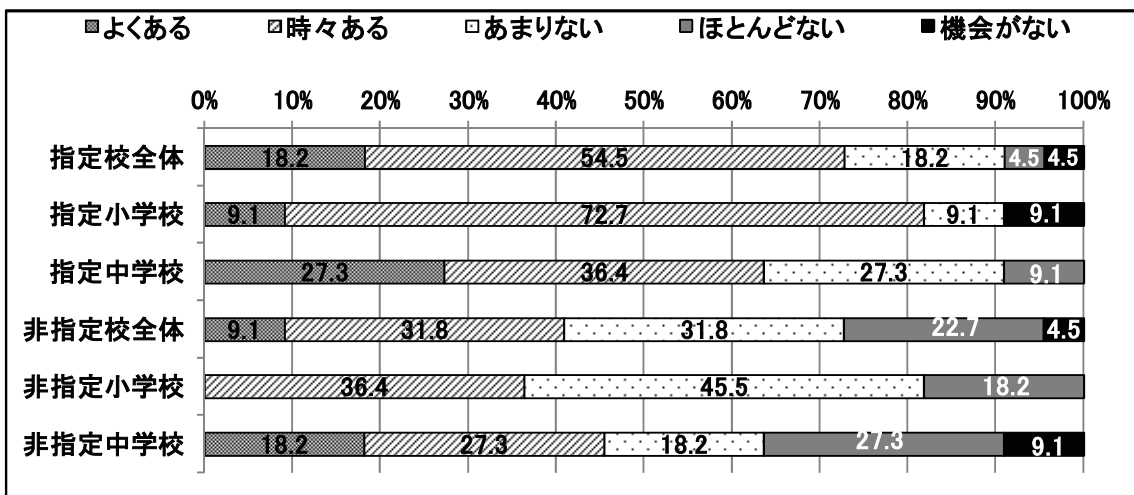
図 1-44 「地域の方が学校公開に参加する機会」



### ■地域と学校が共同で開催するイベントの機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で9.1%と指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が22.7%であるのに対し、非指定校全体は54.5%に上るなど、全体として指定校の方が、地域と学校が共同でイベントを開催する機会が多い様子が伺える。

図 1-45 「地域と学校が共同で開催するイベントの機会」

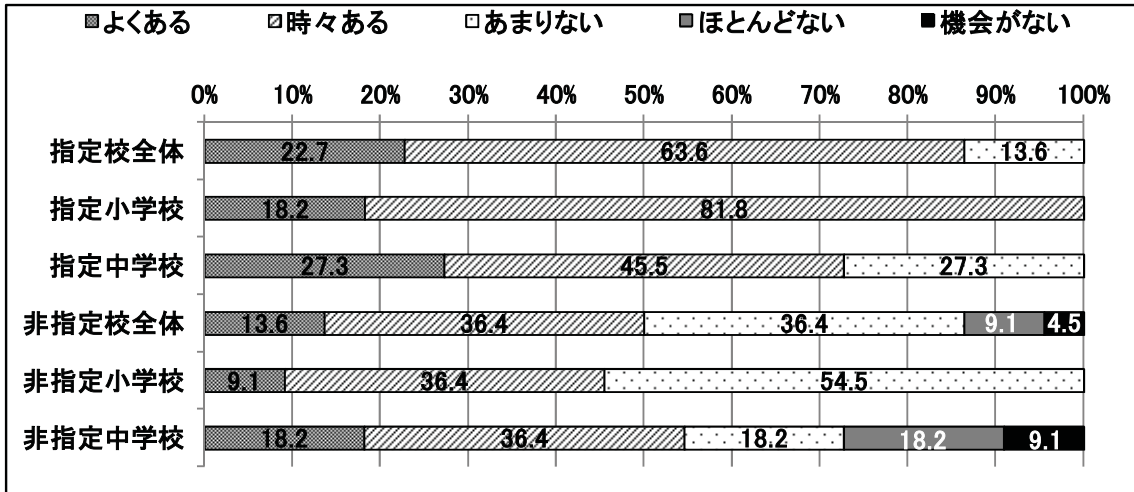




### ■地域の方が学校外で子どもたちと触れあう機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体で13.6%と指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が13.6%であるのに対し、非指定校全体は45.5%に達するなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが子どもとよく触れ合っている様子が伺える。

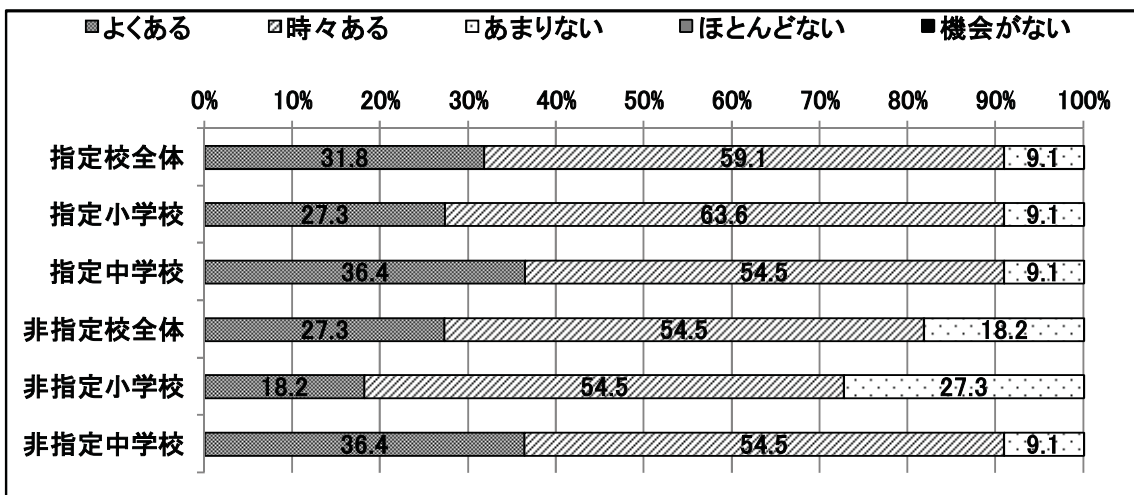
図 1-46 「地域の方が学校外で子どもたちと触れあう機会」



### ■地域の行事やイベントなどの情報が伝えられる機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で31.8%、非指定校全体で27.3%と少しだけ指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は18.2%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の行事やイベントなどの情報が伝わってきている様子が伺える。

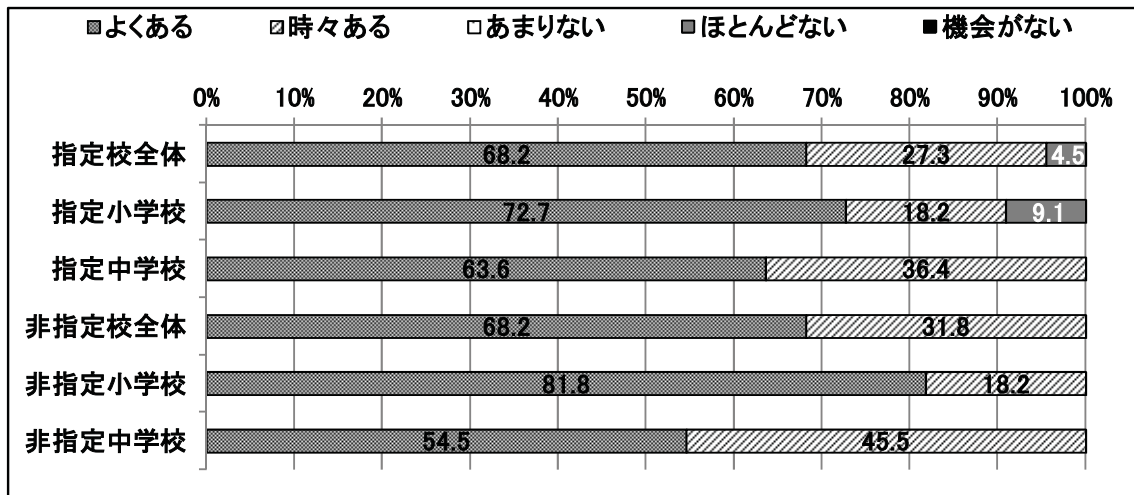
図 1-47 「地域の行事やイベントなどの情報が伝えられる機会」



### ■あなた自身が地域の行事に参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体・非指定校全体ともに68.2%。「時々ある」も、指定校全体が27.3%、非指定校全体が31.8%とさほど差は出ていない。校長自身の地域行事への参加頻度については、指定校と非指定校の間に、さほど差は出ていない様子が伺える。

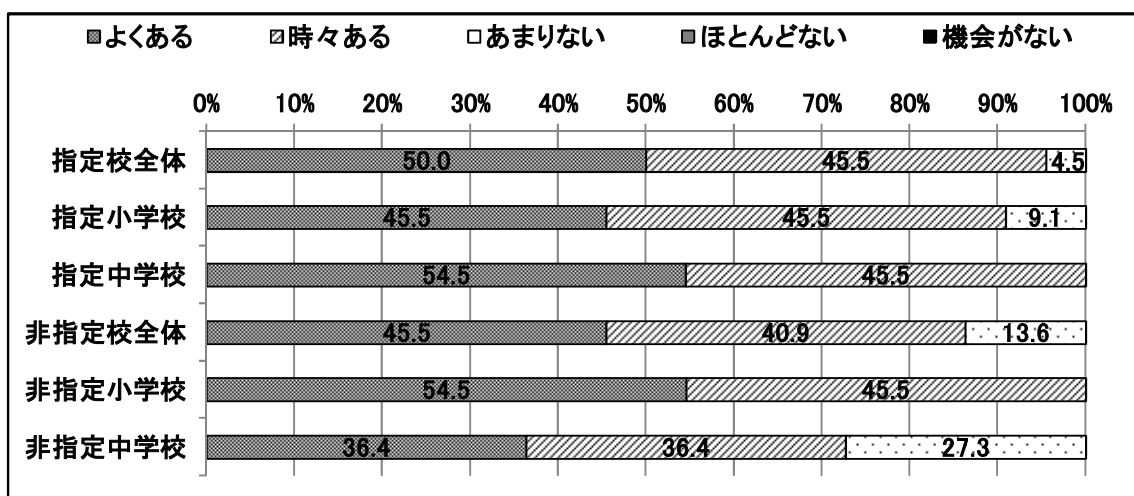
図 1-48 「あなた自身が地域の行事に参加する機会」



### ■地域の人子どもたちに声をかけてくれる機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で45.5%と少しだけ指定校の方が高い。「あまりない」も指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の方が、地域の人たちが子どもたちによく声をかけている様子が伺える。

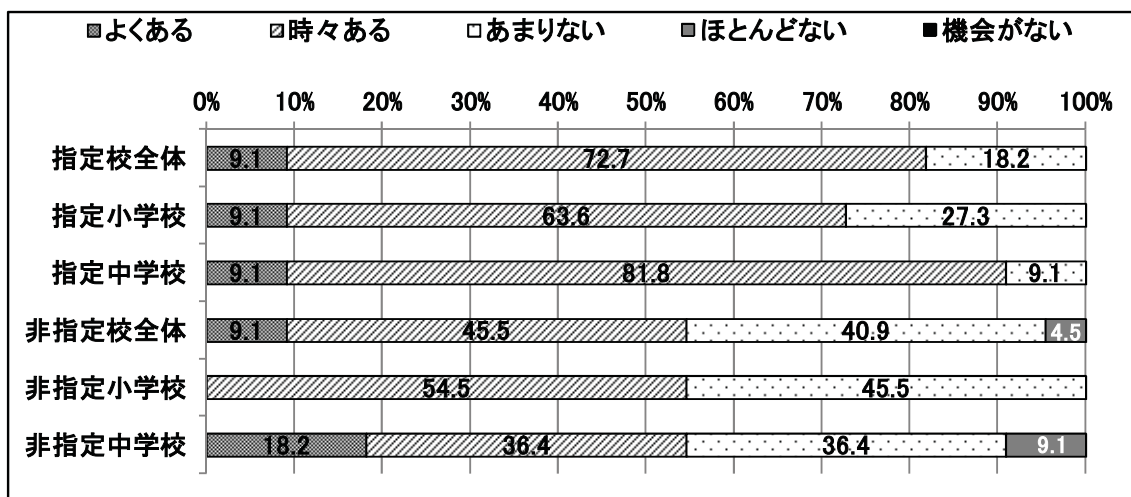
図 1-49 「地域の人子どもたちに声をかけてくれる機会」



### ■子どもの問題について地域の人と協議する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体・非指定校全体ともに9.1%。一方で、「あまりない」「ほとんどない」の合計は、指定校全体が18.2%であるのに対し、非指定校全体は45.4%に上るなど、全体として指定校の方が、子どもの問題について学校と地域がよく協議している様子が伺える。

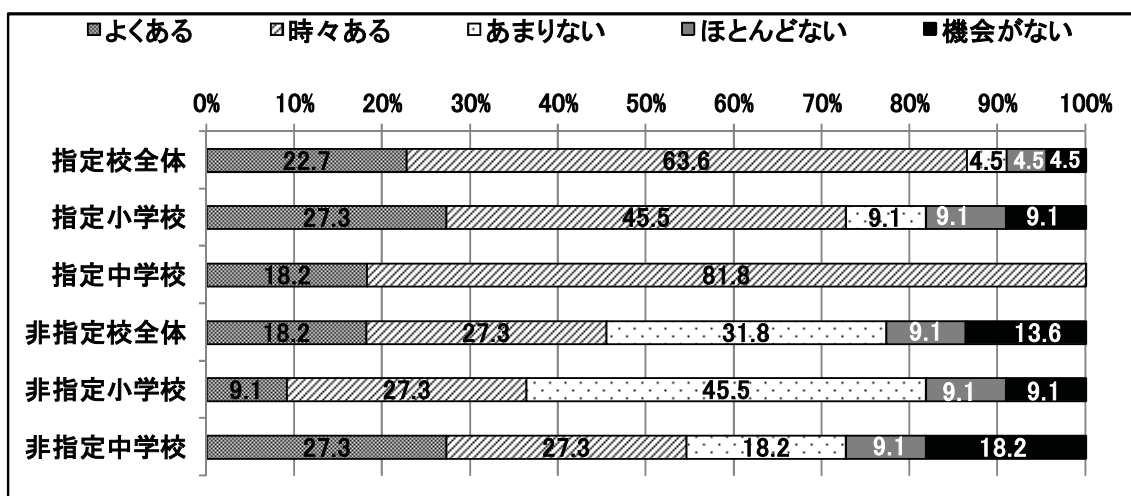
図 1-50 「子どもの問題について地域の人と協議する機会」



### ■健全育成について地域と学校と一緒にパトロール等を行う機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体で18.2%と指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が9.0%であるのに対し、非指定校全体は40.9%に達するなど、全体として指定校の方が、地域と学校と一緒によくパトロール等を行っている様子が伺える。

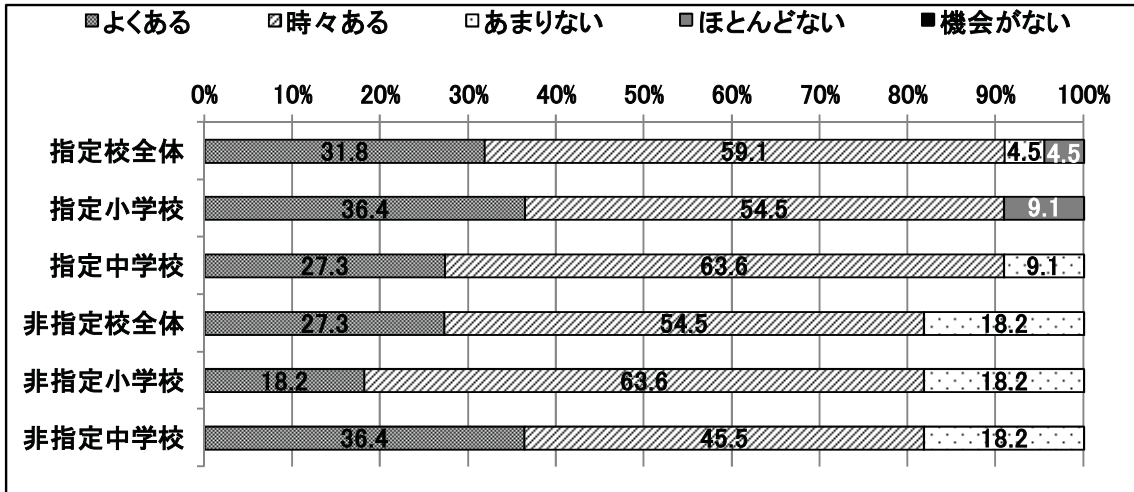
図 1-51 「健全育成について地域と学校と一緒にパトロール等を行う機会」



■子どもの問題について、他の関係機関との協議や情報共有をする機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で31.8%、非指定校全体で27.3%と少しだけ指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が9.0%であるのに対し、非指定校全体は18.2%に上るなど、全体として指定校の方が、子どもの問題について他の関係機関との協議・情報共有をよくしている様子が伺える。

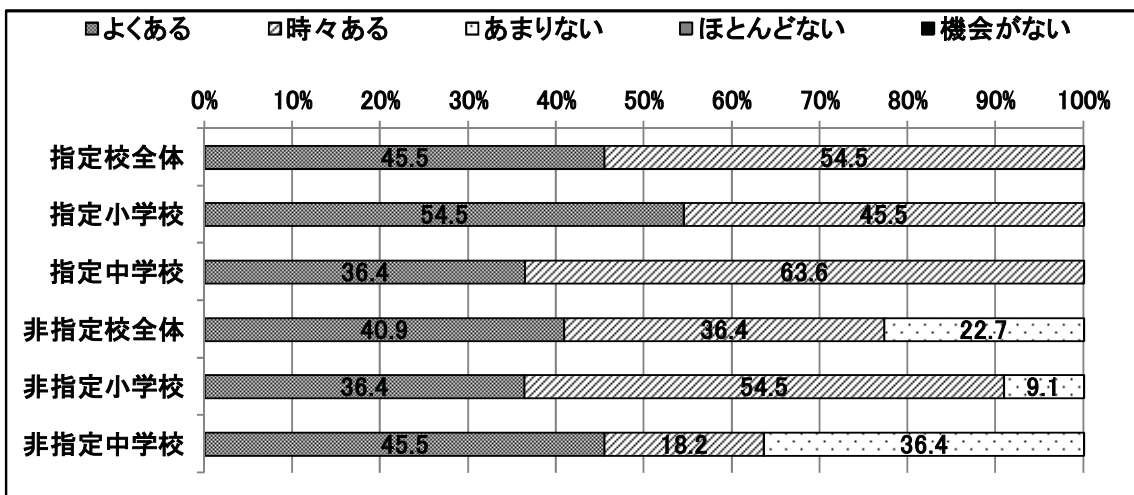
図 1-52 「子どもの問題について、他の関係機関との協議や情報共有をする機会」



■児童・生徒が地域行事に参加する機会

標題の質問に対し、「よくある」と回答した学校は指定校全体で45.5%、非指定校全体で40.9%と少しだけ指定校の方が高い。「あまりない」「ほとんどない」の合計も、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は22.7%に上るなど、全体として指定校の方が、児童・生徒が地域行事によく参加している様子が伺える。

図 1-53 「児童・生徒が地域行事に参加する機会」

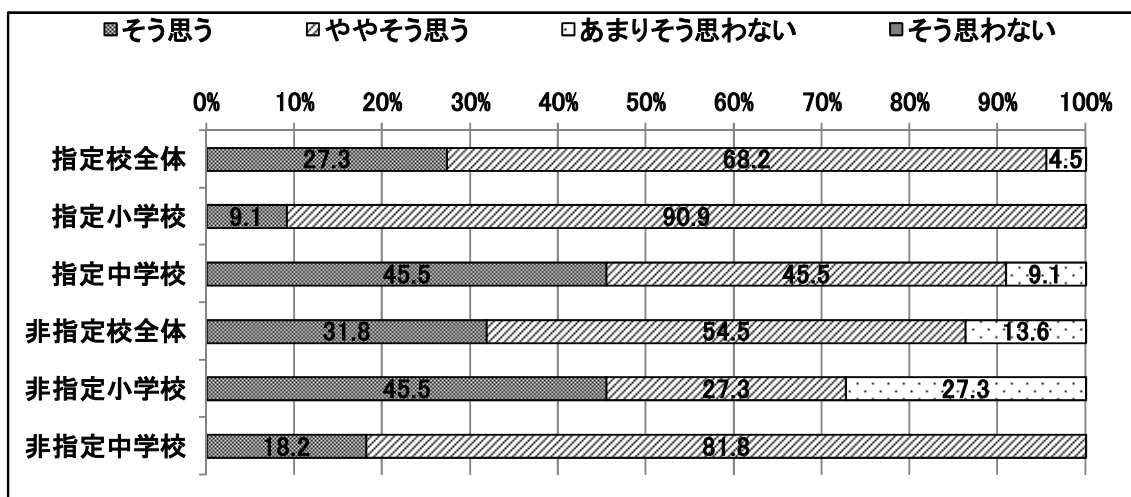




### ■「授業や行事が改善・充実された」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で27.3%、非指定校全体で31.8%と少しだけ非指定校の方が高い。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ると、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として授業や行事の改善・充実度に関しては、指定校・非指定校の校長間に、大きな意識の差は出ていない。

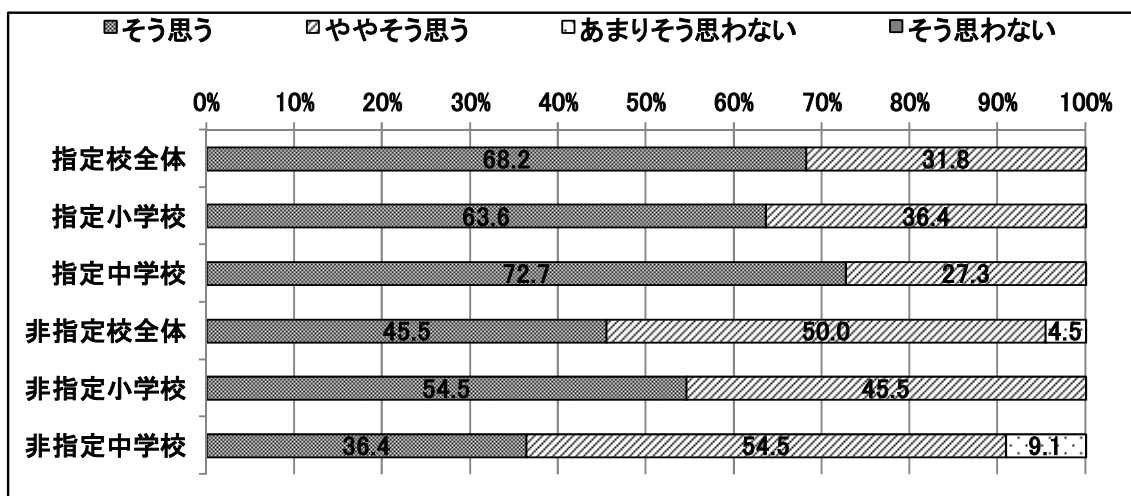
図 1-54 「授業や行事が改善・充実された」



### ■「学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で68.2%、非指定校全体で45.5%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」の回答も、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は4.5%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学校便りやホームページ等で意欲的に情報を発信するようになったと実感している様子が伺える。

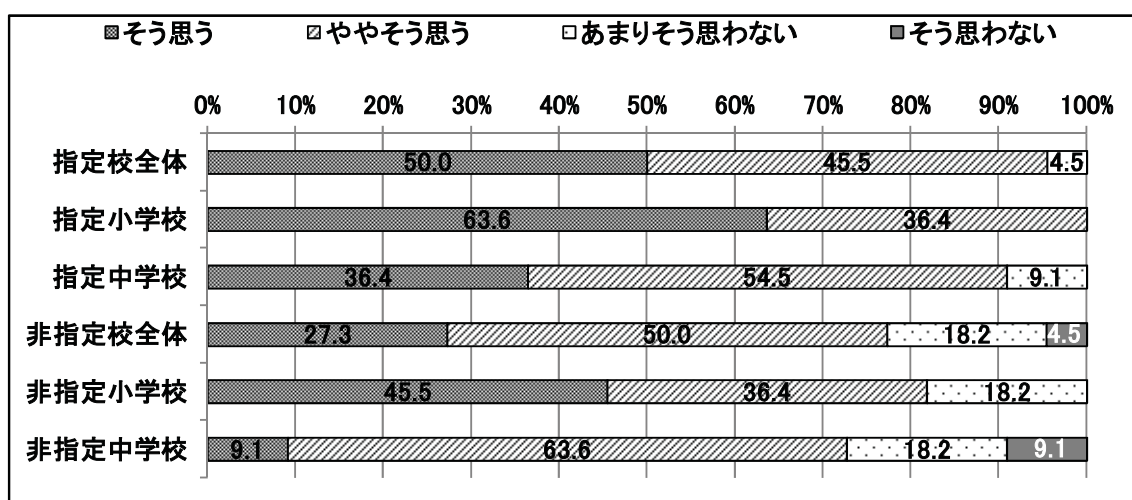
図 1-55 「学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった」



### ■「地域の特色を活かした学校づくりが進んだ」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で27.3%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は22.7%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、地域の特色を活かした学校づくりが進んだことを実感している様子が伺える。

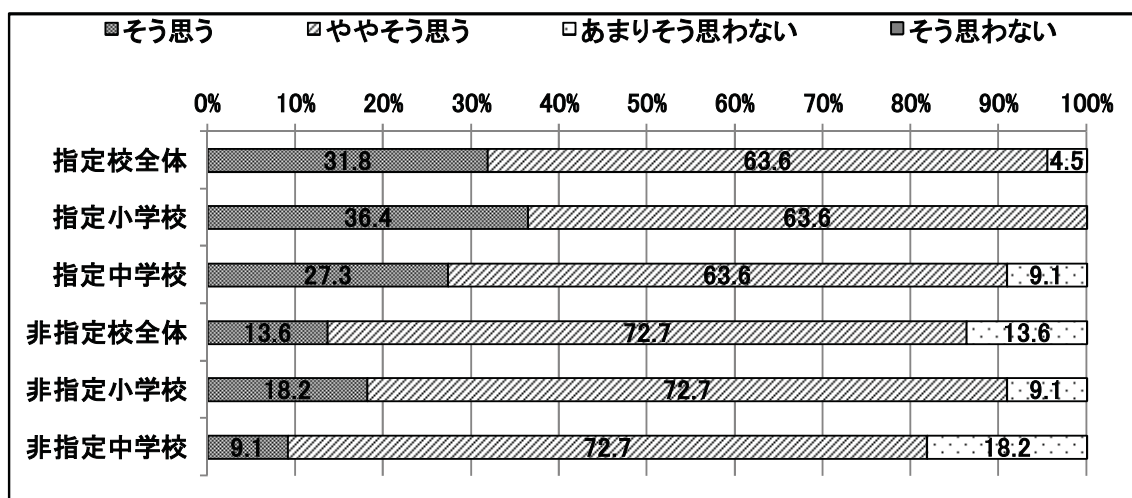
図 1-56 「地域の特色を活かした学校づくりが進んだ」



### ■「保護者や地域の方が学校に子どものことを相談しやすい学校になった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で31.8%、非指定校全体で13.6%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、保護者や地域の方が相談しやすい学校になったと実感している様子が伺える。

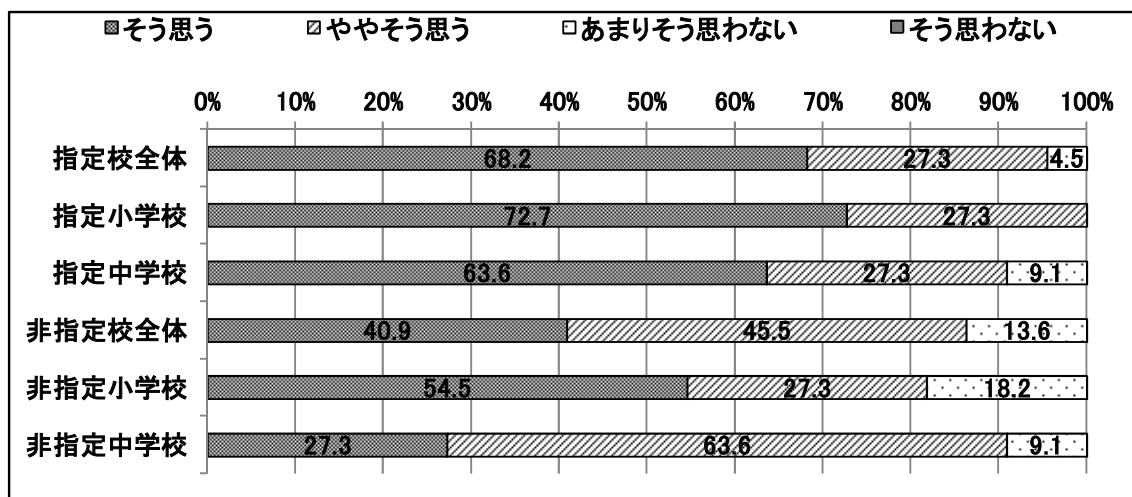
図 1-57 「保護者や地域の方が学校に子どものことを相談しやすい学校になった」



### ■「学校が活性化した」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で68.2%、非指定校全体で40.9%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学校の活性化を実感している様子が伺える。

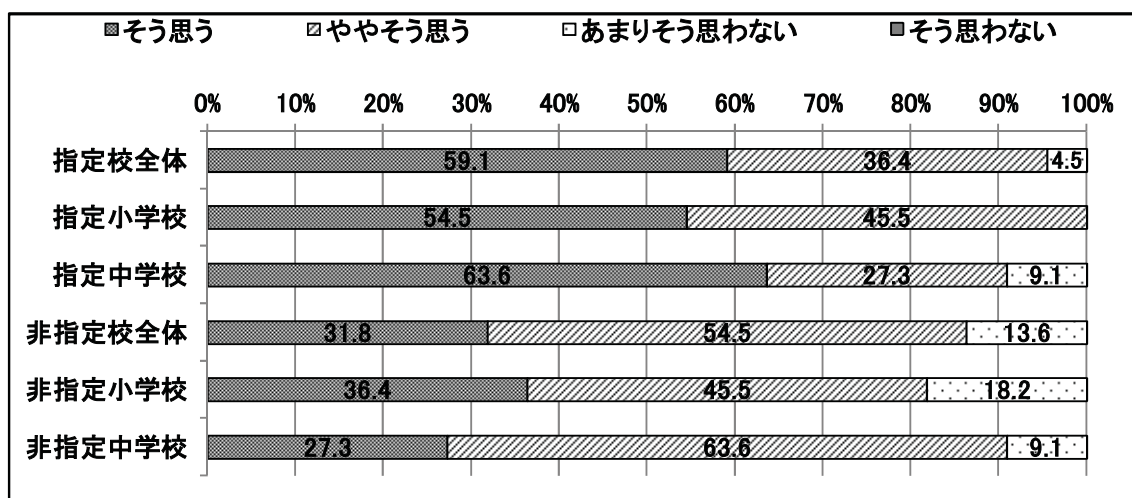
図 1-58 「学校が活性化した」



### ■「新たな教育活動を行いやすくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で59.1%、非指定校全体で31.8%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、新たな教育活動を行いやすくなったと感じている様子が伺える。

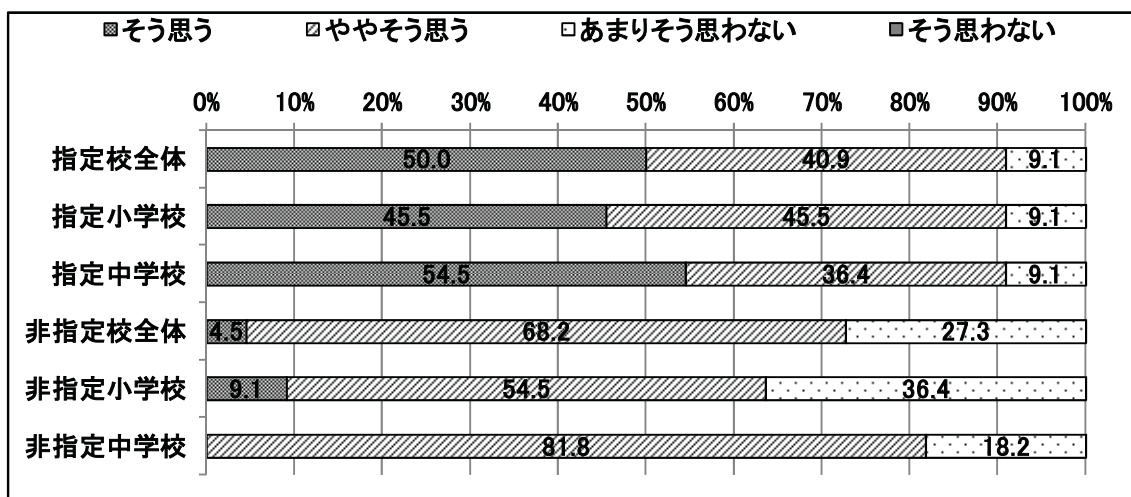
図 1-59 「新たな教育活動を行いやすくなった」



■「地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で4.5%と、指定校が非指定校を大きく上回っている。「あまりそう思わない」も、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は27.3%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、地域の大人が学校に入ることによって健全育成の効果が出ていると感じている様子が伺える。

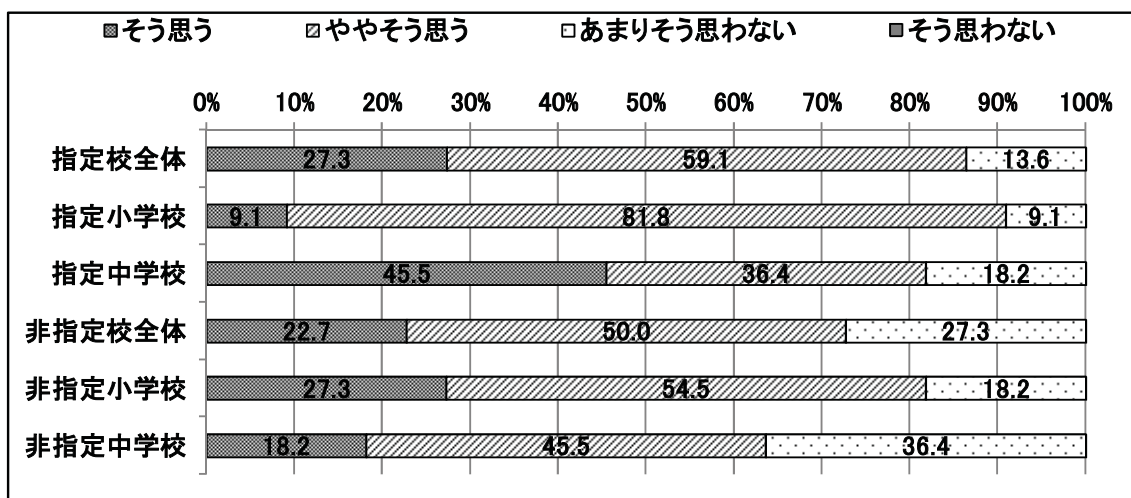
図 1-60 「地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている」



■「児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で27.3%、非指定校全体で22.7%と少しだけ指定校の方が高い。「あまりそう思わない」については、指定校全体が13.6%であるのに対し、非指定校全体は27.3%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、児童・生徒の問題行動が少なくなってきたと実感している様子が伺える。

図 1-61 「児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた」

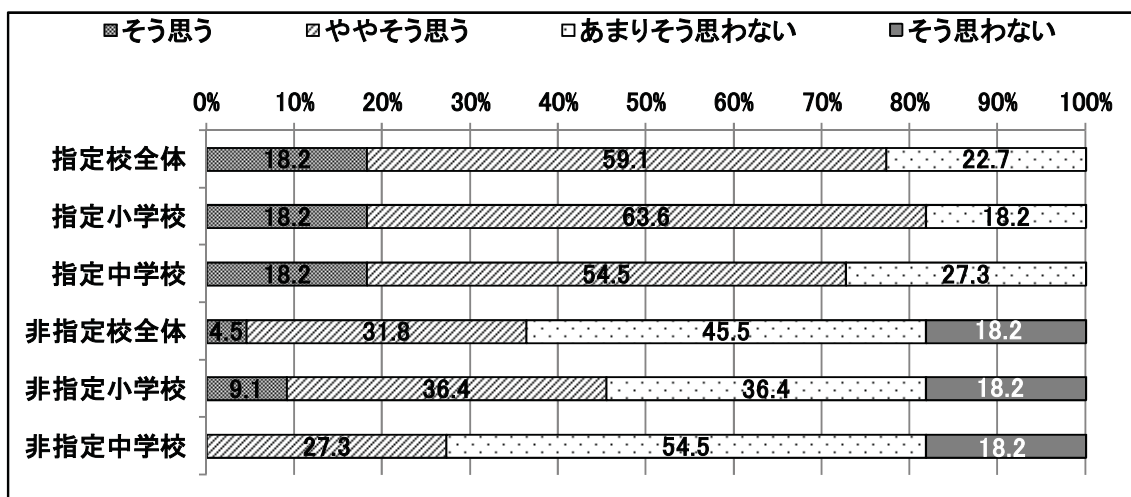




■「学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で4.5%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が22.7%であるのに対し、非指定校全体は63.7%に達するなど、全体として指定校の校長の方が、学習ボランティア等の支援によって学力の定着・向上の効果を実感している様子が伺える。

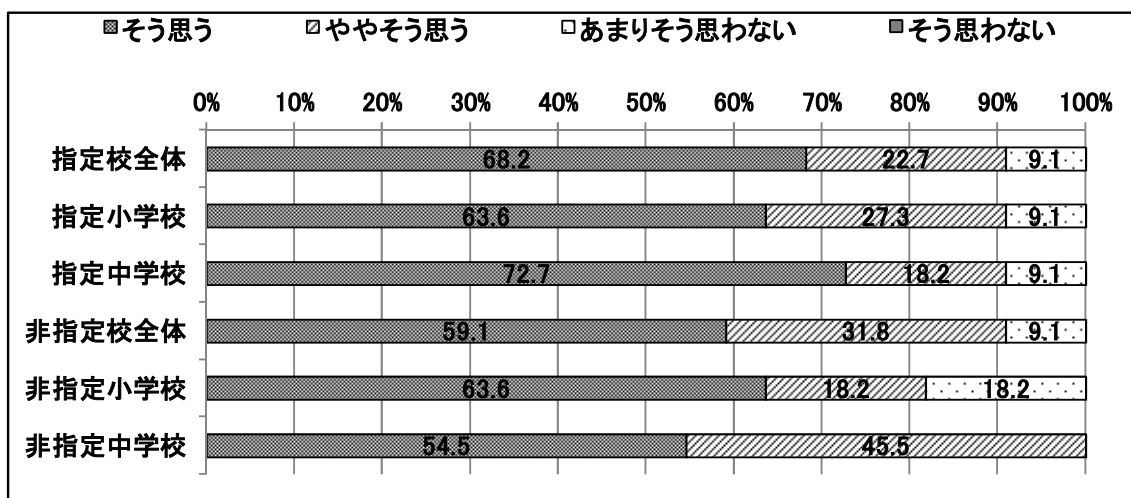
図 1-62 「学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている」



■「校長として地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で68.2%、非指定校全体で59.1%と少しだけ指定校の方が高い。一方で「あまりそう思わない」は指定校全体・非指定校全体ともに9.1%となっており、校長として地域や保護者の意向を意識しているかどうかに関しては、指定校・非指定校の校長間の差はさほど出ていない。

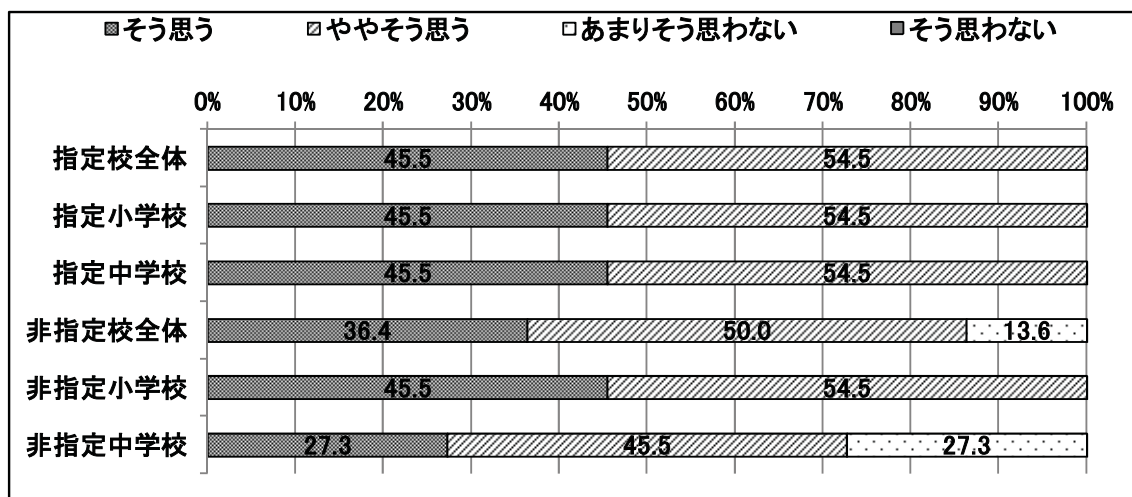
図 1-63 「校長として地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった」



■ 「地域や保護者を教育のパートナーとして信頼できるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で45.5%、非指定校全体で36.4%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、地域や保護者を教育のパートナーとして信頼している様子が伺える。

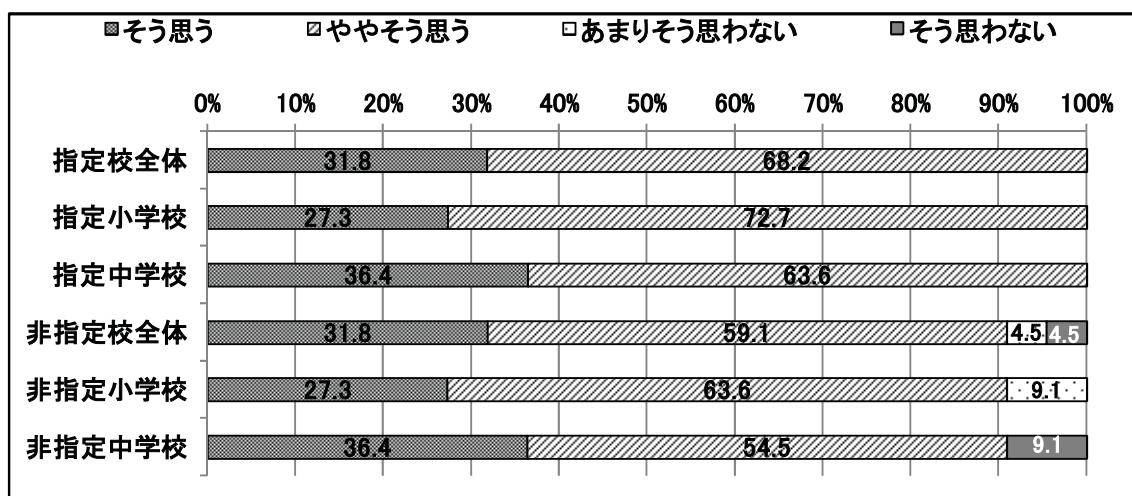
図 1-64 「地域や保護者を教育のパートナーとして信頼できるようになった」



■ 「地域の課題を当事者として受けとめるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体・非指定校全体ともに31.8%。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ると、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は9.0%に達してはいるが、地域の課題を当事者として受け止めているかについては、指定校・非指定校の校長間の意識にさほど差は出ていない。

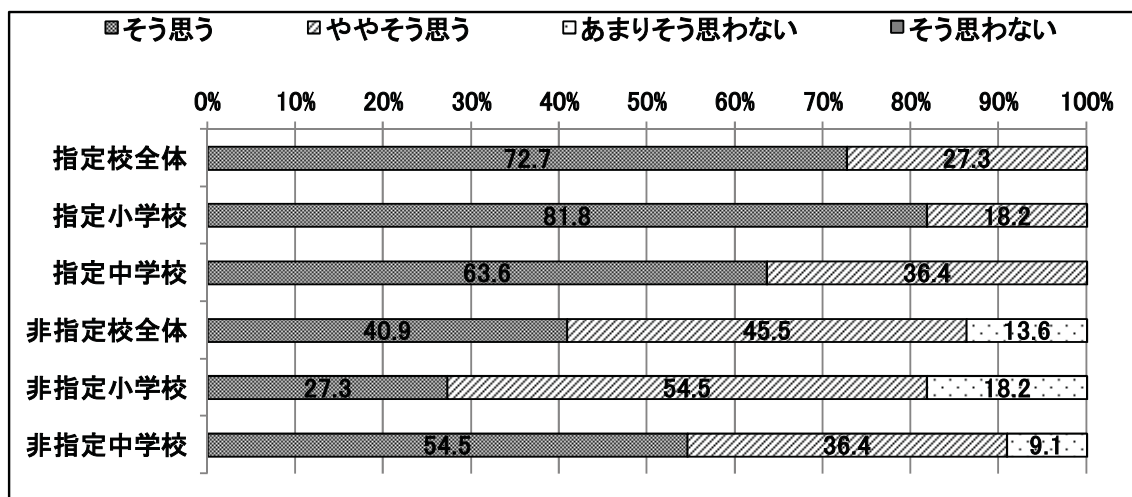
図 1-65 「地域の課題を当事者として受けとめるようになった」



### ■「学校と地域の風通しが良くなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で72.7%、非指定校全体で40.9%と、指定校が非指定校を大きく上回っている。「あまりそう思わない」も、指定校全体が0%であるのに対し、非指定校全体は13.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学校と地域の風通しの良さを実感している様子が伺える。

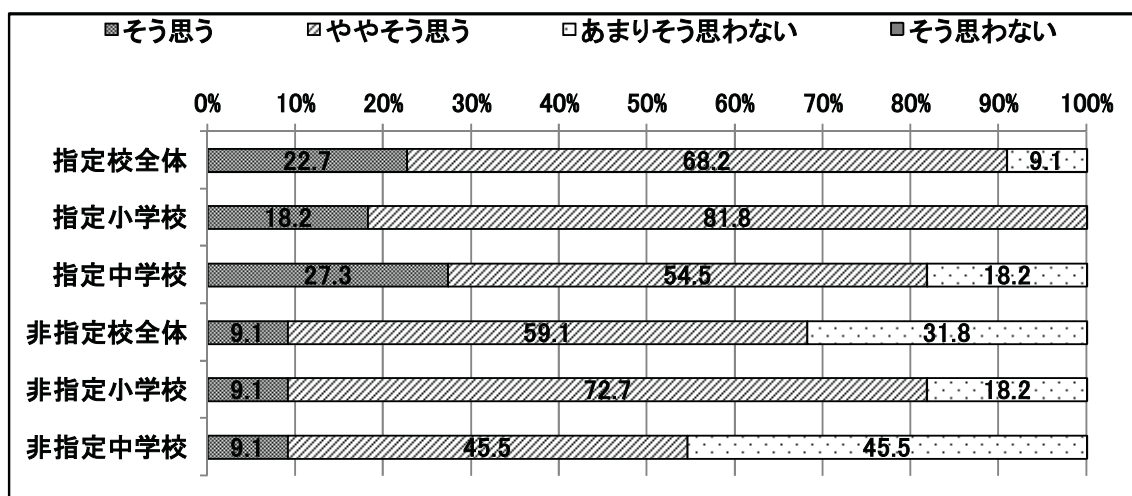
図 1-66 「学校と地域の風通しが良くなった」



### ■「児童・生徒が地域のことに興味をもつようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で22.7%、非指定校全体で9.1%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は31.8%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、児童・生徒が地域に関心を持つようになったと感じている様子が伺える。

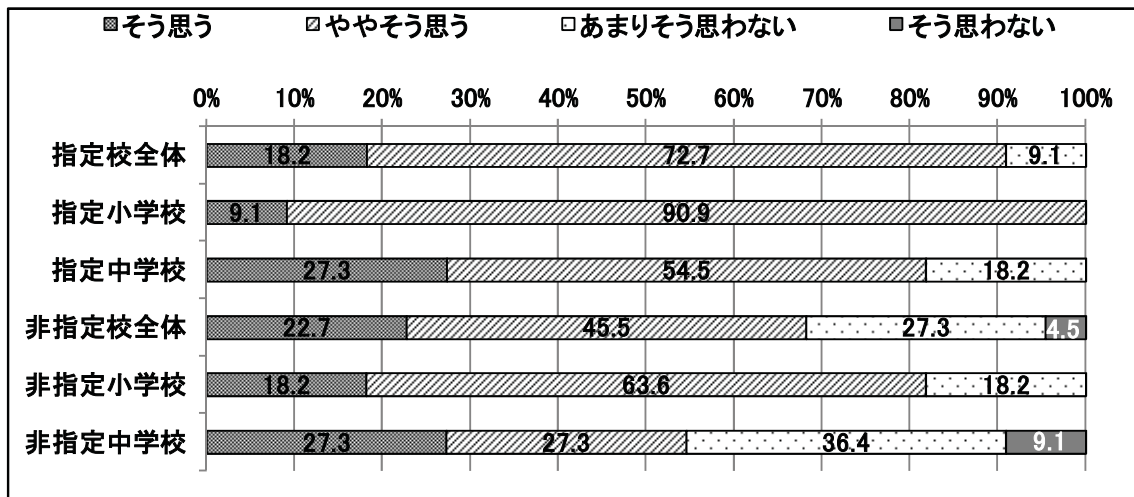
図 1-67 「児童・生徒が地域のことに興味をもつようになった」



■「児童・生徒が地域行事に参加するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で18.2%、非指定校全体で22.7%と少しだけ非指定校の方が高い。一方で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ると、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は31.8%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、児童・生徒の地域行事への参加が増えていると実感している様子が伺える。

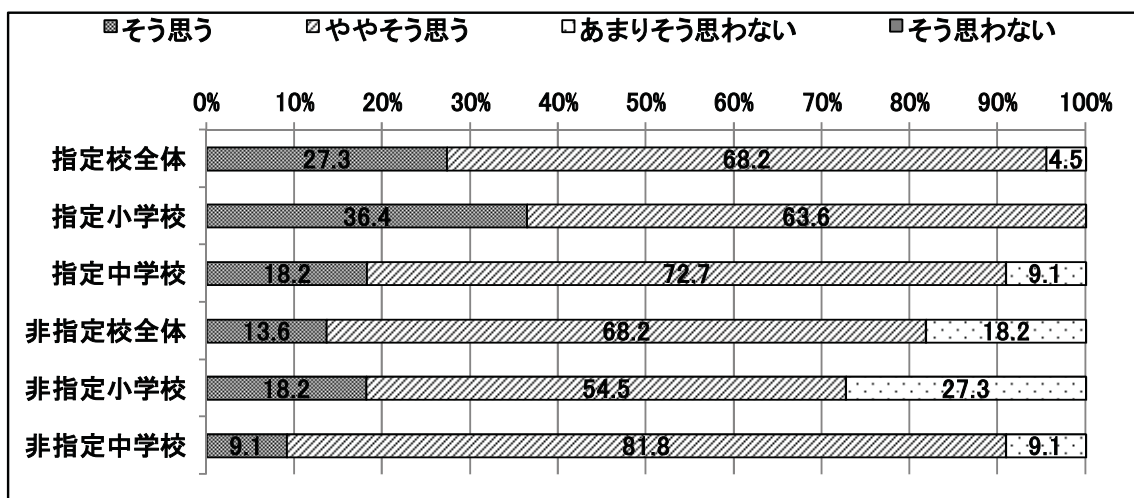
図 1-68 「児童・生徒が地域行事に参加するようになった」



■「教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で27.3%、非指定校全体で13.6%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は18.2%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、教育活動に地域や保護者の願い・意見が反映されていると実感している様子が伺える。

図 1-69 「教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった」

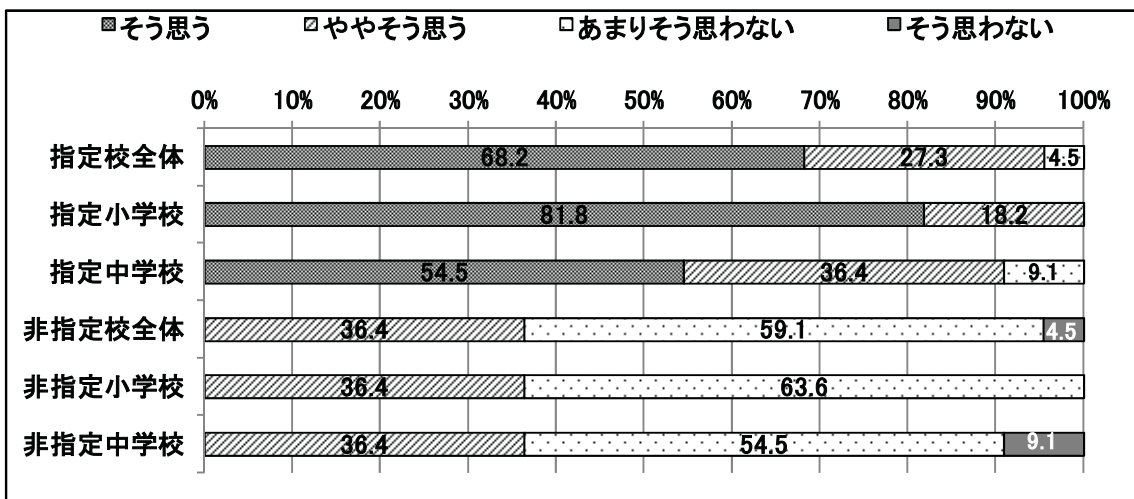




■「地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で 68.2%、非指定校全体で 0%と、指定校が非指定校を大きく上回っている。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が 4.5%であるのに対し、非指定校全体は 63.6%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、地域の方が近所の子どもたちを叱ってくれていると実感している様子が伺える。

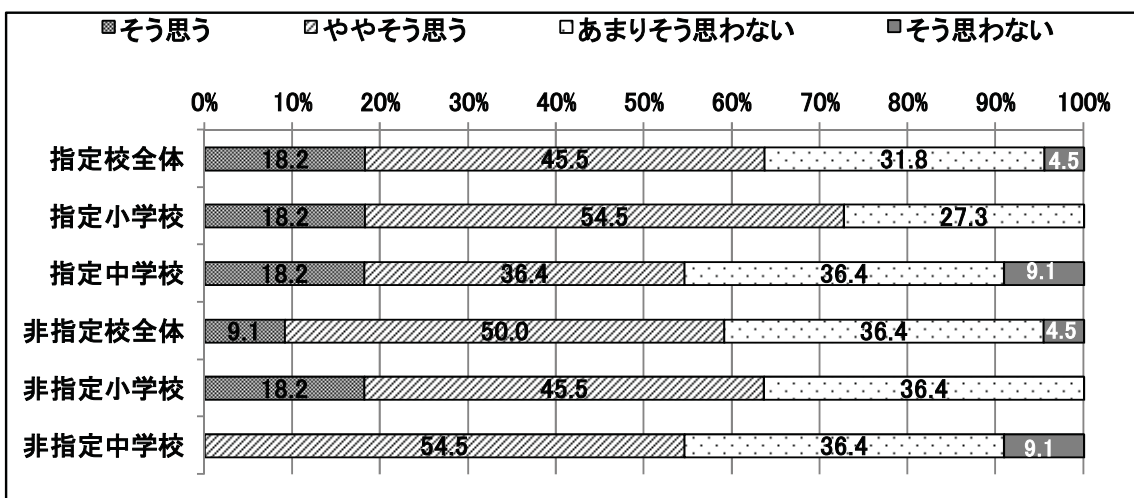
図 1-70 「地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった」



■「地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で 18.2%、非指定校全体で 9.1%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が 36.3%であるのに対し、非指定校全体は 40.9%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、地域団体同士の連携が進んだと実感している様子が伺える。

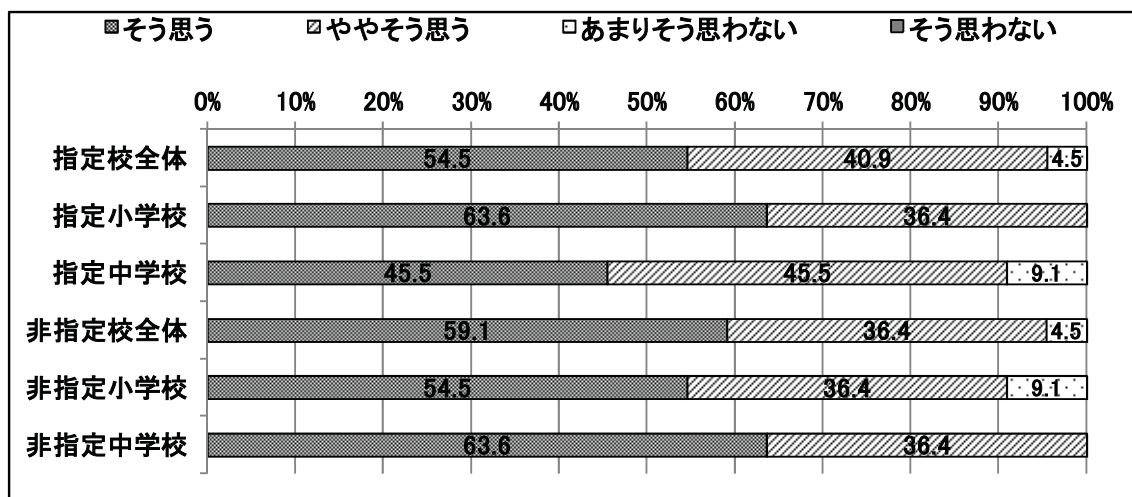
図 1-71 「地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた」



■「保護者や地域の方が学校に入ってくることに違和感をもたなくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で54.5%、非指定校全体で59.1%と非指定校の方が高い。一方で「あまりそう思わない」「そう思わない」は、指定校全体・非指定校全体ともに4.5%となっており、保護者や地域が学校に入ってくることへの違和感については、指定校・非指定校の校長間の意識にさほど差は出ていない。

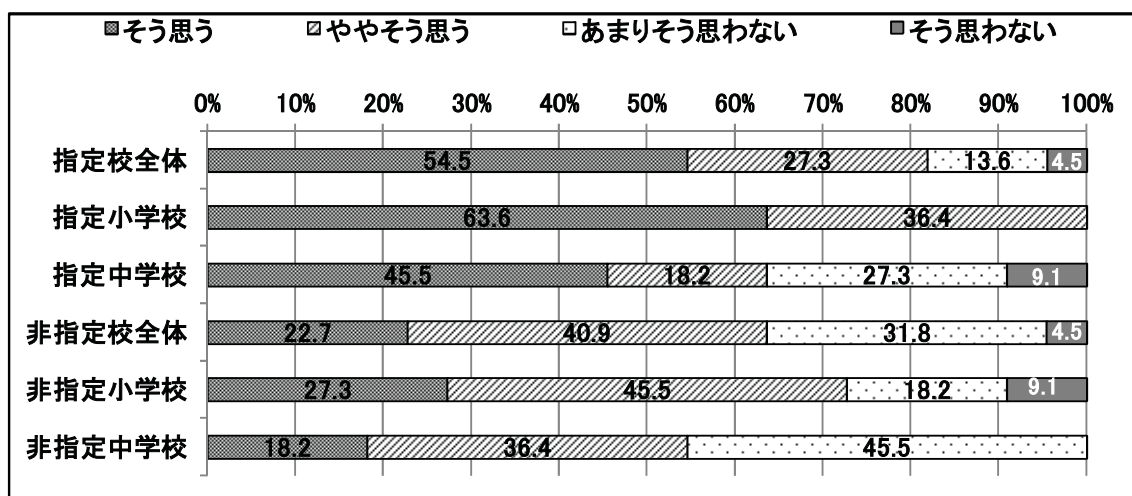
図 1-72 「保護者や地域の方が学校に入ってくることに違和感をもたなくなった」



■「学習支援ボランティアを活用することに積極的になった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で54.5%、非指定校全体で22.7%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が18.1%であるのに対し、非指定校全体は36.3%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学習支援ボランティアの活用に積極的な様子が伺える。

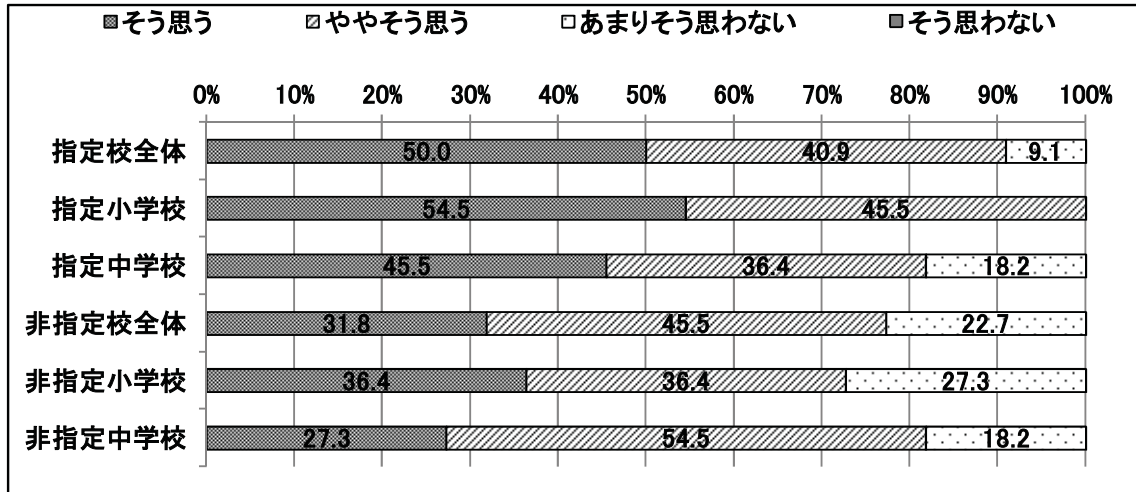
図 1-73 「学習支援ボランティアを活用することに積極的になった」



■「学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で50.0%、非指定校全体で31.8%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」を見ても、指定校全体が9.1%であるのに対し、非指定校全体は22.7%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなったと実感している様子が伺える。

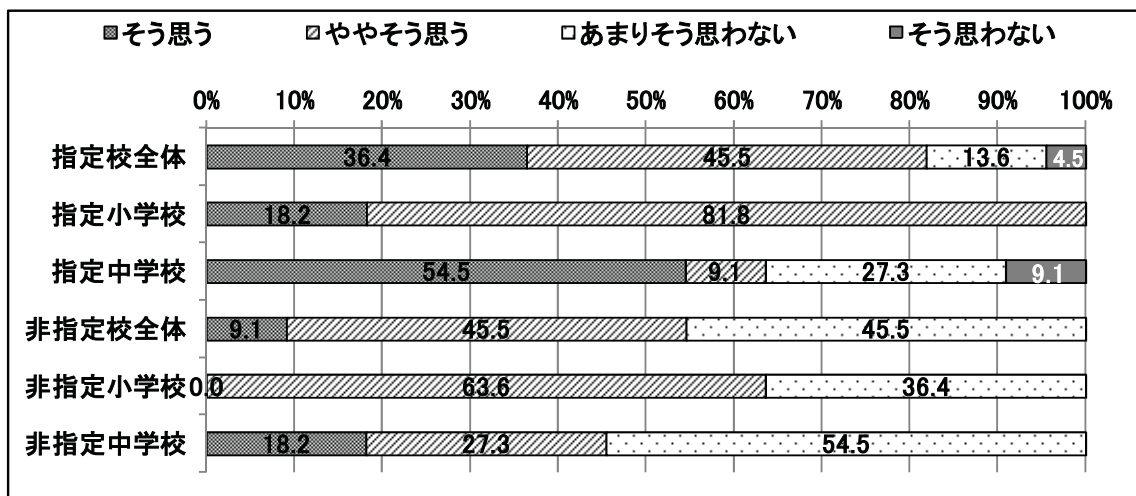
図 1-74 「学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなった」



■「保護者や地域の方が学校の課題解決に取り組んでくれるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で36.4%、非指定校全体で9.1%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が18.1%であるのに対し、非指定校全体は45.5%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、保護者や地域の方が学校の課題解決に取り組んでくれると実感している様子が伺える。

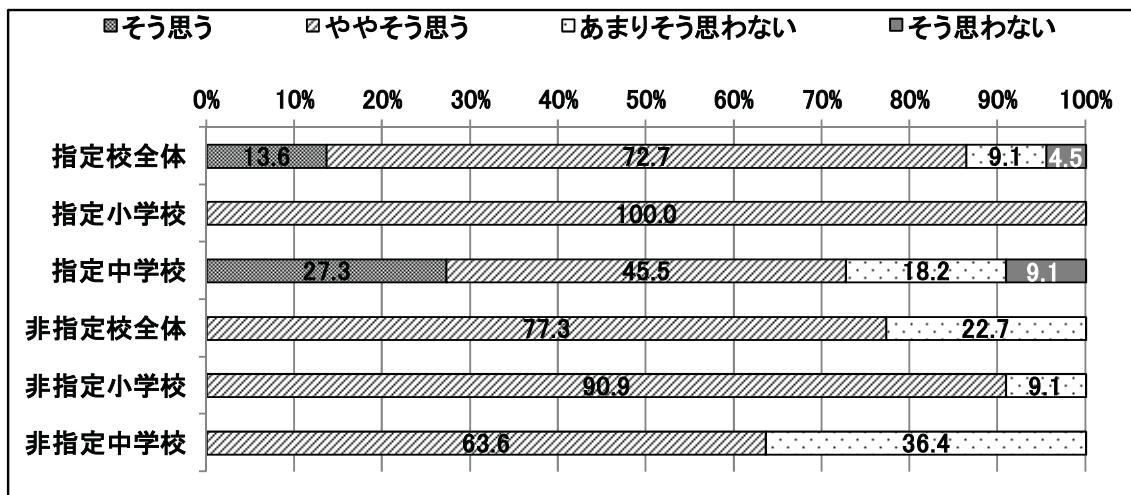
図 1-75 「保護者や地域の方が学校の課題解決に取り組んでくれるようになった」



■「保護者や地域の方の地域での活躍の様子がよく分かるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で13.6%、非指定校全体で0%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計で見ても、指定校全体が13.6%であるのに対し、非指定校全体は22.7%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、保護者や地域の人たちの活躍の様子を把握している様子が伺える。

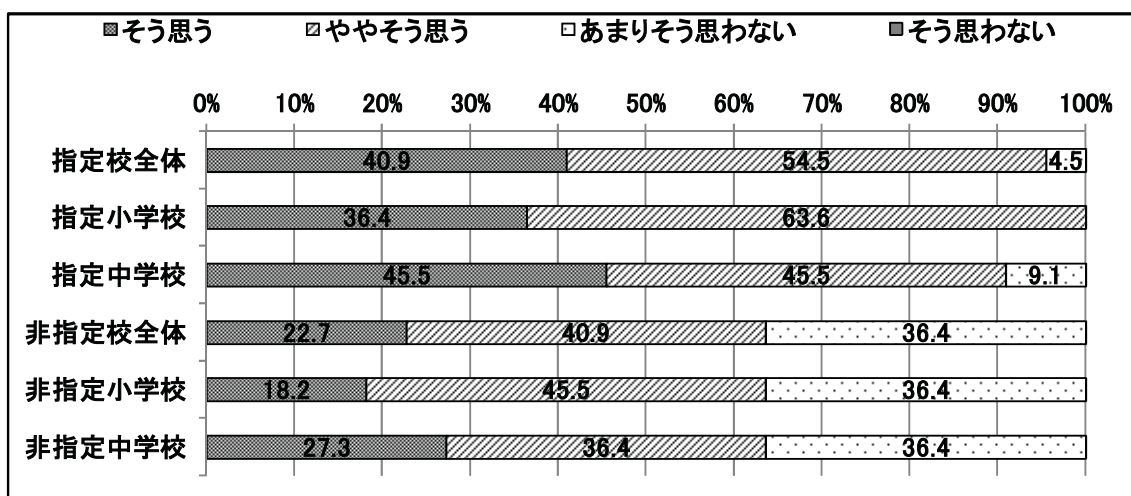
図 1-76 「保護者や地域の方の地域での活躍の様子がよく分かるようになった」



■「学校経営に関して校長が地域に相談できるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は指定校全体で40.9%、非指定校全体で22.7%と指定校の方が高い。「あまりそう思わない」も、指定校全体が4.5%であるのに対し、非指定校全体は36.4%に上るなど、全体として指定校の校長の方が、学校経営に関して地域に相談しやすさを感じている様子が伺える。

図 1-77 「学校経営に関して校長が地域に相談できるようになった」



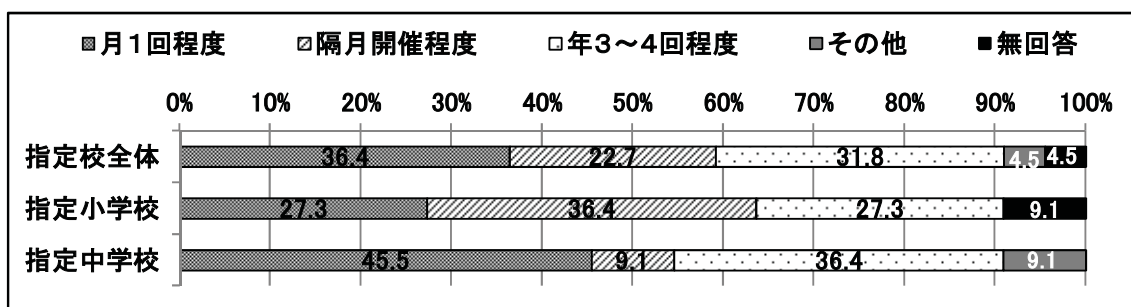


## Ⅱ コミュニティ・スクールについて

### ■学校運営協議会の会議の回数（指定校のみ）

指定校における学校運営協議会の開催頻度は「月1回程度」が最も多く全体で36.4%。次いで「年3～4回程度」が31.8%、以下「隔月開催程度」が22.7%、「その他」「無回答」が各4.5%となっている。全体として、中学校の方が小学校よりもやや開催頻度が高い。

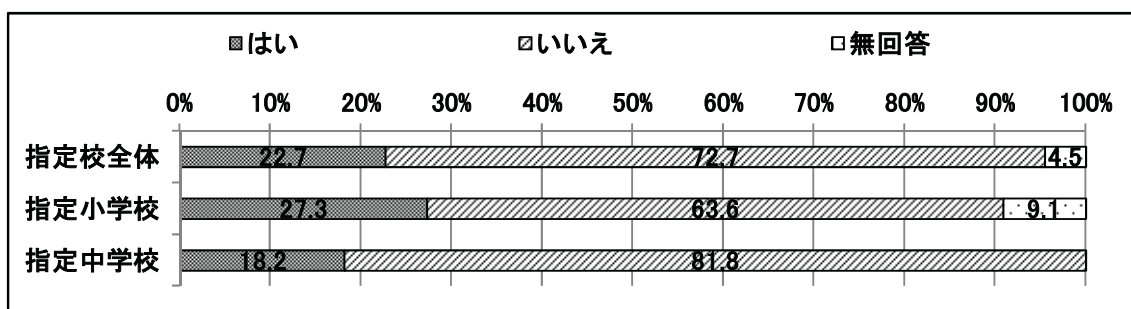
図1-78 学校運営協議会の会議の回数（指定校のみ）



### ■「希望した教職員が赴任してきた」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の22.7%。「いいえ」が72.7%と「はい」を大きく上回っており、コミュニティ・スクールの指定が、校長が希望する教職員の赴任にはさほどつながっていない様子が伺える。

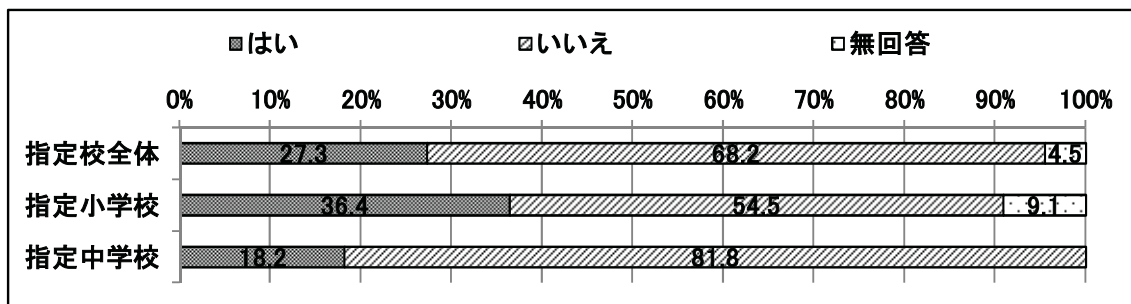
図1-79 「希望した教職員が赴任してきた」（指定校のみ）



### ■「校務分掌が改善された」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の27.3%。「いいえ」が68.2%と「はい」を大きく上回っており、コミュニティ・スクールの指定が、校務分掌の改善にはさほどつながっていない様子が伺える。校種別では、小学校の方が「はい」（36.4%）と回答した学校が多い。

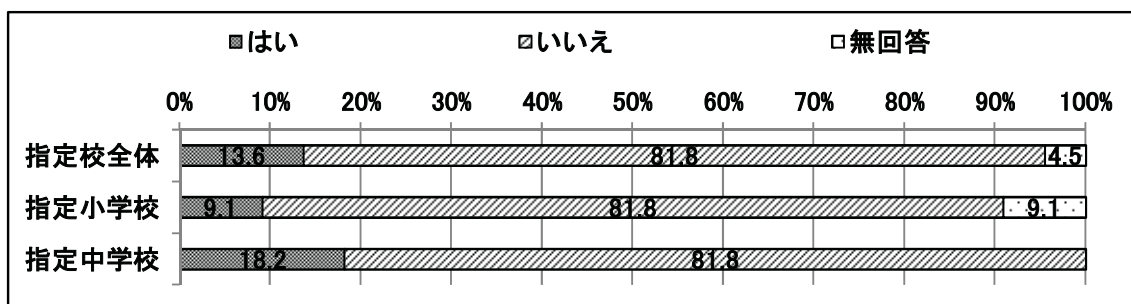
図 1-80 「校務分掌が改善された」(指定校のみ)



■ 「教員数(非常勤を含む)が増えた」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の13.6%。「いいえ」が81.8%と「はい」を大きく上回っており、コミュニティ・スクールの指定が、教員数の増加にはさほどつながっていない様子が伺える。

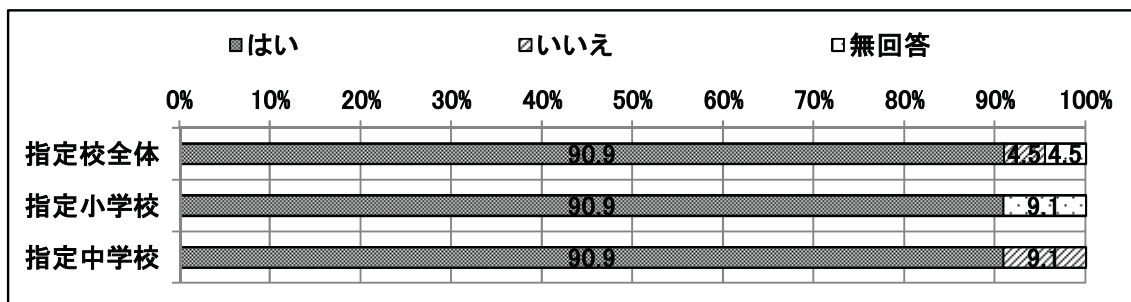
図 1-81 「教員数(非常勤を含む)が増えた」(指定校のみ)



■ 「地域人材が活用されるようになった」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の90.9%に上り、「いいえ」の4.5%を大きく上回っている。コミュニティ・スクールの指定が、地域人材の活用推進につながっている様子が伺える。

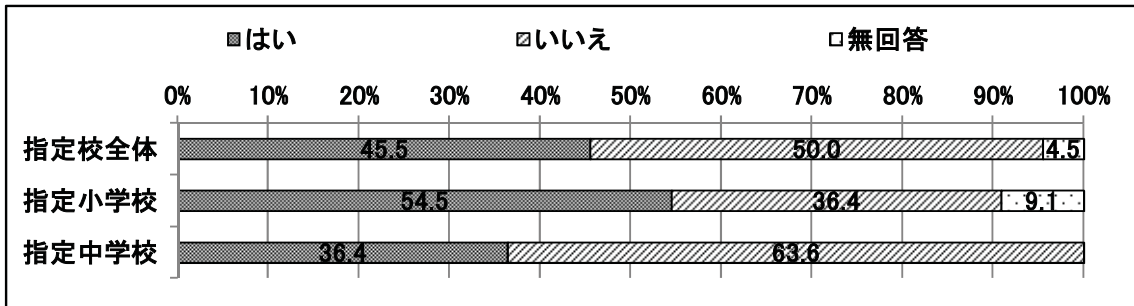
図 1-82 「地域人材が活用されるようになった」(指定校のみ)



■「教育課程が改善された」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の45.5%。「いいえ」が50.0%と、少しだけ「はい」を上回っている。コミュニティ・スクールの指定が、一部の学校では教育課程の改善につながっている様子が伺える。

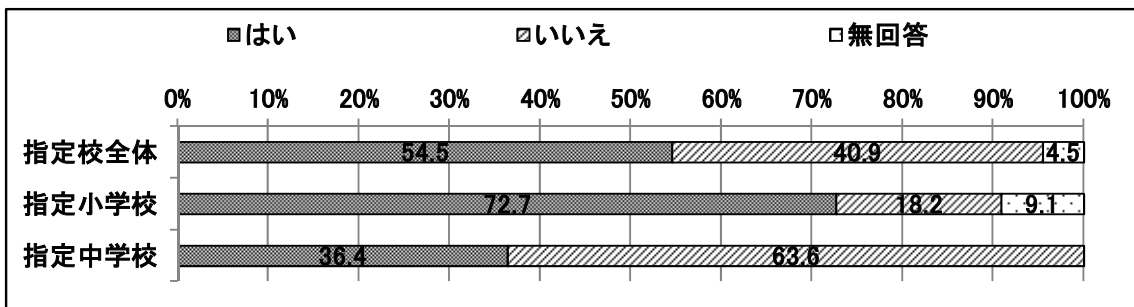
図 1-83 「教育課程が改善された」（指定校のみ）



■「新しい教育活動の時間が生まれた」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の54.5%と、「いいえ」の40.9%を少しだけ上回っている。コミュニティ・スクールの指定が、多くの学校で新しい教育活動につながっている様子が伺える。

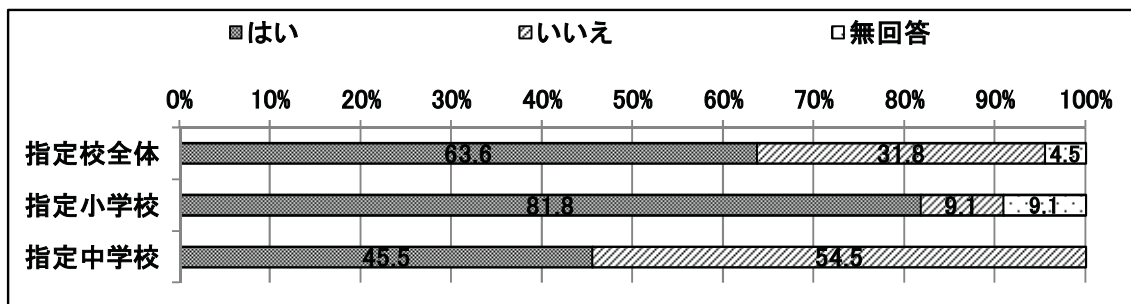
図 1-84 「新しい教育活動の時間が生まれた」（指定校のみ）



■「学習指導の創意工夫が図られた」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は全体の63.6%に上り、「いいえ」の31.8%を大きく上回っている。コミュニティ・スクールの指定により、多くの学校で学習指導の創意工夫が図られている様子が伺える。

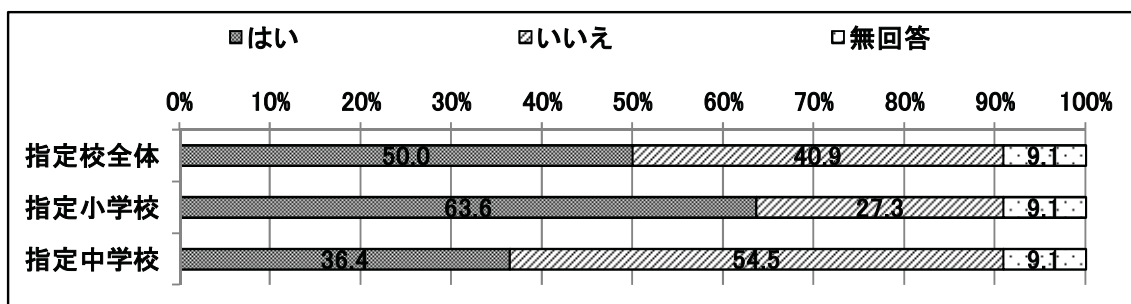
図 1-85 「学習指導の創意工夫が図られた」(指定校のみ)



■ 「生徒指導の創意工夫が図られた」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の50.0%と、「いいえ」の40.9%を少しだけ上回っている。コミュニティ・スクールの指定により、多くの学校で生徒指導の創意工夫が図られている様子が伺える。

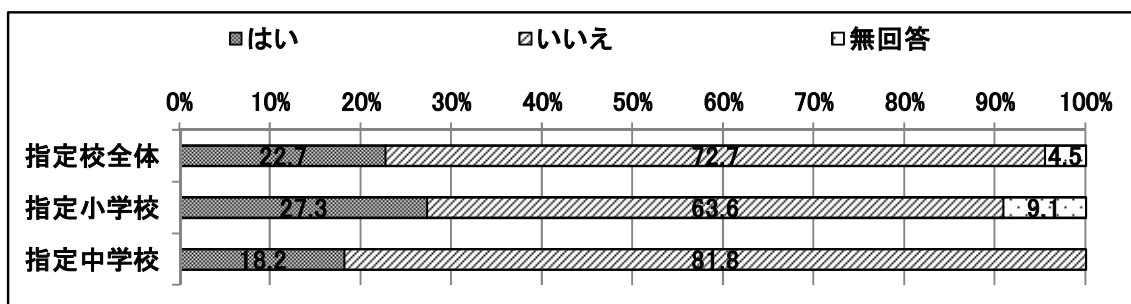
図 1-86 「生徒指導の創意工夫が図られた」(指定校のみ)



■ 「施設・設備の整理が図られた」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の22.7%。「いいえ」が72.7%をと、「はい」を大きく上回っている。コミュニティ・スクールの指定が、施設・設備の整備にはさほどつながっていない様子が伺える。

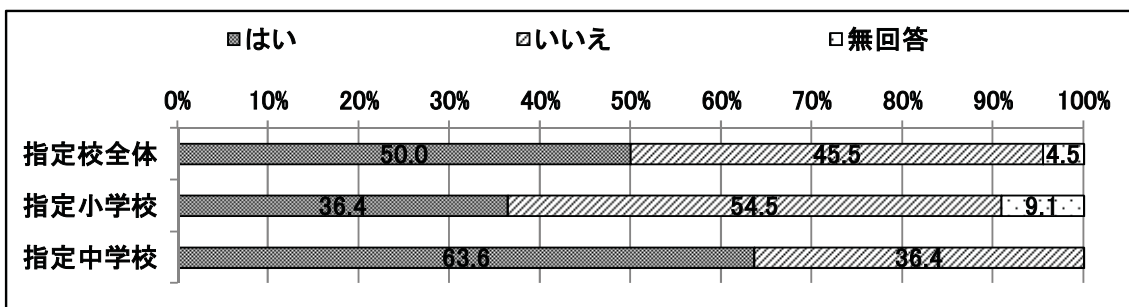
図 1-87 「施設・設備の整理が図られた」(指定校のみ)



■「適切な委員の確保・選定に苦勞する」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の50.0%と、「いいえ」の45.5%を少しだけ上回っている。学校運営協議会の運営において、多くの学校が適切な委員の確保・選定に苦勞している様子が伺える。

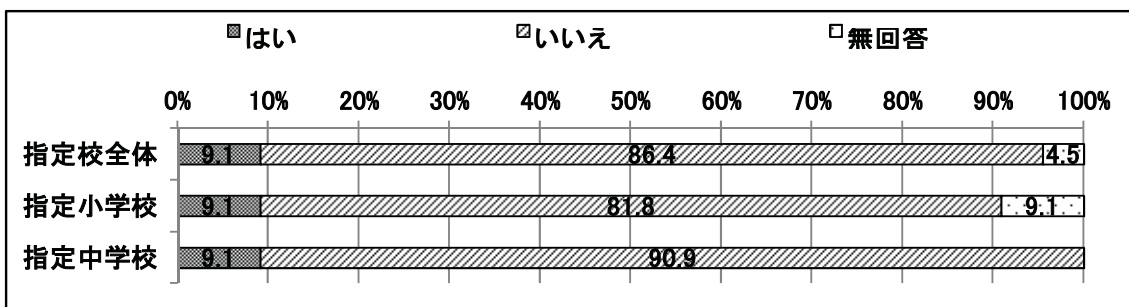
図 1-88 「適切な委員の確保・選定に苦勞する」（指定校のみ）



■「会議の日程調整・準備に苦勞する」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の9.1%。「いいえ」が86.4%と、「はい」を大きく上回っている。学校運営協議会の運営において、会議の日程調整・準備にはさほど苦勞していない様子が伺える。

図 1-89 「会議の日程調整・準備に苦勞する」（指定校のみ）

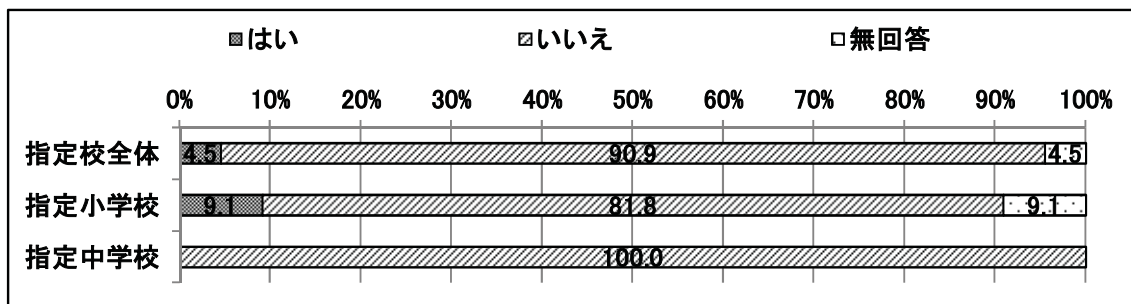


■「委員の出席状況がよくない」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は全体の4.5%。「いいえ」が90.9%と、「はい」を大きく上回っている。学校運営協議会において、委員が会議にしっかりと参加できている様子が伺える。



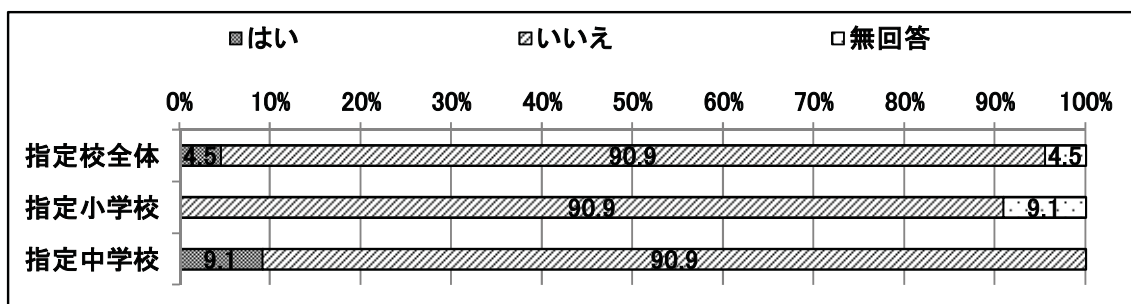
図 1-90 「委員の出席状況がよくない」（指定校のみ）



■ 「委員が学校の状況を十分理解していない」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の4.5%。「いいえ」が90.9%と、「はい」を大きく上回っている。学校運営協議会において、委員が学校の状況をしっかりと把握できている様子が伺える。

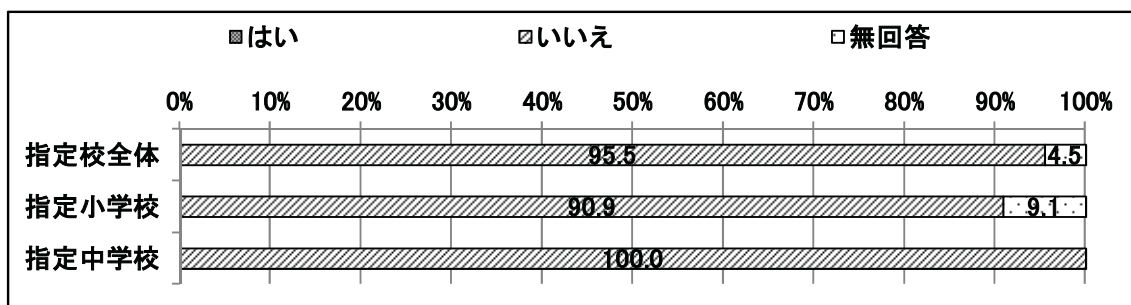
図 1-91 「委員が学校の状況を十分理解していない」（指定校のみ）



■ 「会議での議論が活発でない」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した指定校の校長はなし。「いいえ」が95.5%に上り、「無回答」が4.5%となっている。学校運営協議会において、活発な議論が行われている様子が伺える。

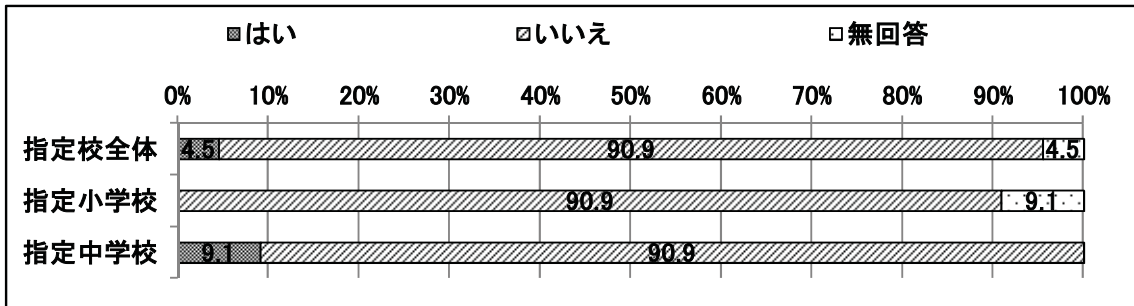
図 1-92 「会議での議論が活発でない」（指定校のみ）



■「一部の有力者等の意見に左右されがちである」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の4.5%。「いいえ」が90.9%と、「はい」を大きく上回っている。学校運営協議会において、一部の有力者等の意見に左右される状況はさほど生じていない様子が伺える。

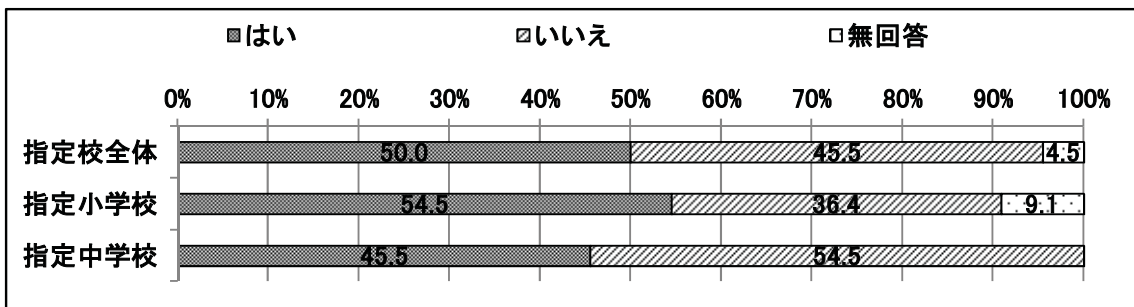
図 1-93 「一部の有力者等の意見に左右されがちである」(指定校のみ)



■「委員謝礼や活動費などの資金が十分でない」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の50.0%と、「いいえ」の45.5%と、「はい」を少しだけ上回っている。学校運営協議会の運営において、多くの校長が委員謝礼や活動費などの資金に不十分さを感じていることが分かる。

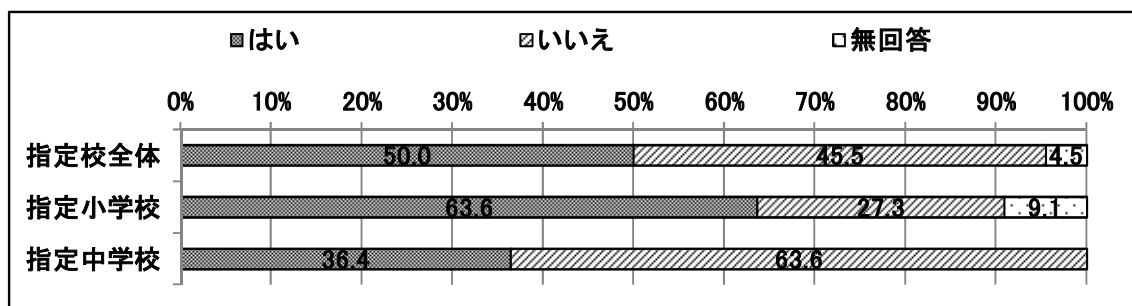
図 1-94 「委員謝礼や活動費などの資金が十分でない」(指定校のみ)



■「管理職や担当教職員の勤務負担が大きい」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の50.0%と、「いいえ」の45.5%と、「はい」を少しだけ上回っている。学校運営協議会の運営において、管理職や担当教職員が少なからず負担を感じている様子が伺える。

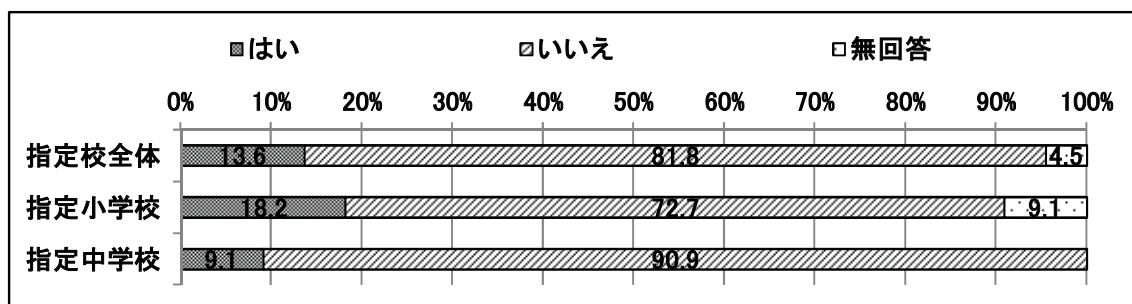
図 1-95 「管理職や担当教職員の勤務負担が大きい」(指定校のみ)



■ 「協議会の提案事項を遂行するために教職員が多忙になる」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の13.6%。「いいえ」が81.8%と、「はい」を大きく上回っている。学校運営協議会の運営において、協議会の提案事項の遂行にあたっては、さほど多忙になっていない様子が伺える。

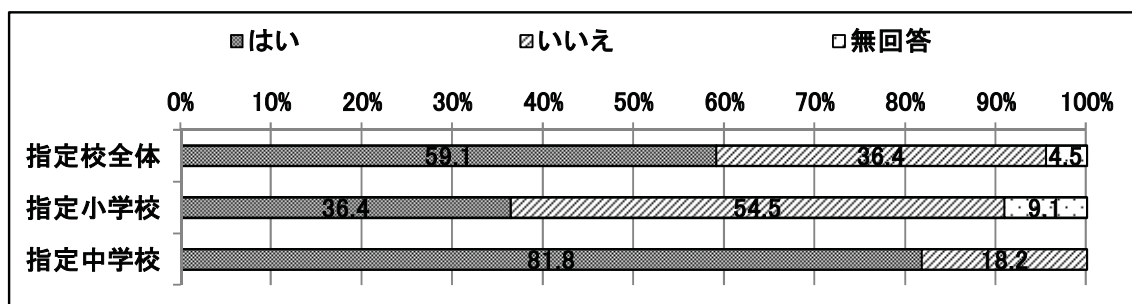
図 1-96 「協議会の提案事項を遂行するために教職員が多忙になる」(指定校のみ)



■ 「学校運営協議会に対する一般教職員の関心が低い」(指定校のみ)

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の59.1%と、「いいえ」の36.4%を上回っている。学校運営協議会に対し、一般教職員の中には関心の低い者もいる状況が伺える。

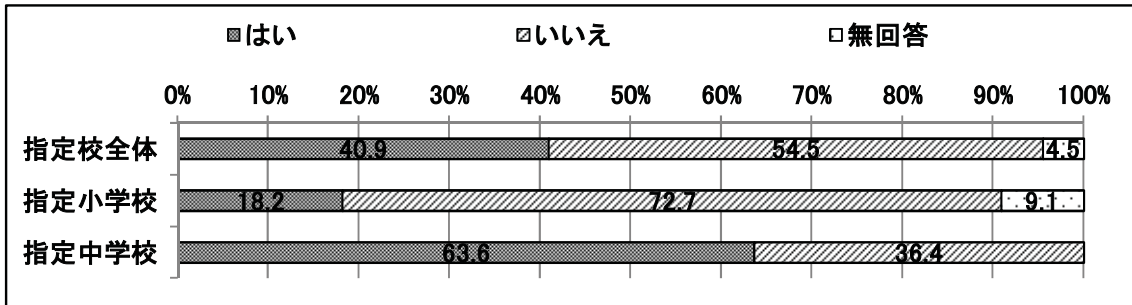
図 1-97 「学校運営協議会に対する一般教職員の関心が低い」(指定校のみ)



■「学校運営協議会の存在や活動が保護者・地域にあまり知られていない」（指定校のみ）

標題の質問に対し、「はい」と回答した校長は指定校全体の40.9%。「いいえ」は54.5%と、「はい」を少しだけ上回っている。学校運営協議会の存在や活動が、学校によっては地域にあまり周知されていない様子が伺える。

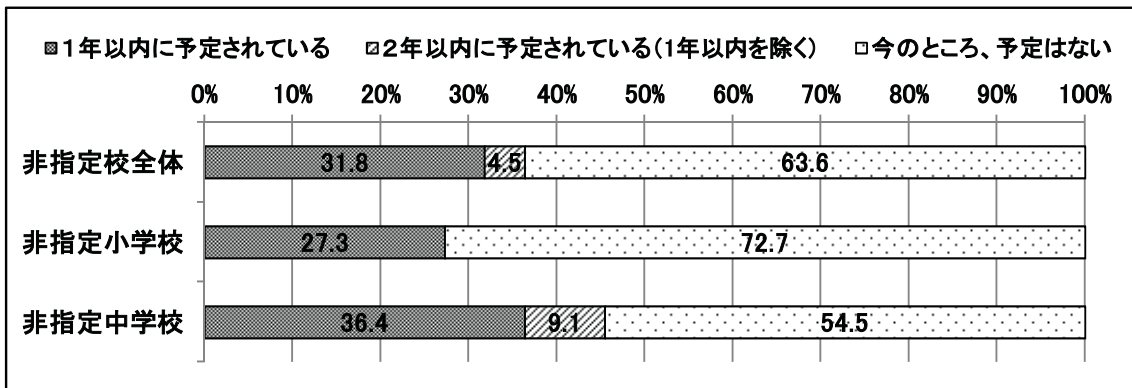
図 1-98 「学校運営協議会の存在や活動が保護者・地域にあまり知られていない」（指定校のみ）



■コミュニティ・スクール指定予定（非指定校のみ）

非指定校において、今後コミュニティ・スクールに指定される予定があるかについては、「今のところ、予定はない」が最も多く63.6%。「1年以内に予定されている」が31.8%、「2年以内に予定されている（1年以内を除く）」が4.5%となっている。

図 1-99 コミュニティ・スクール指定予定（非指定校のみ）



■コミュニティ・スクールの指定を受けていない理由（非指定校のみ）

非指定校において、コミュニティ・スクールの指定を受けない理由について、一番目として最も挙げられているのが「類似制度が設置されているから」で27.3%。次いで「教育委員会に設置の考えがないから」が22.7%となっている。また、二番目の理由としては、「学校運営協議会委員の人材が不足しているから」23.5%、「成果が不明確だから」11.8%などが挙げられている。

図 1-100 コミュニティ・スクールの指定を受けていない理由（非指定校のみ：1 番目）

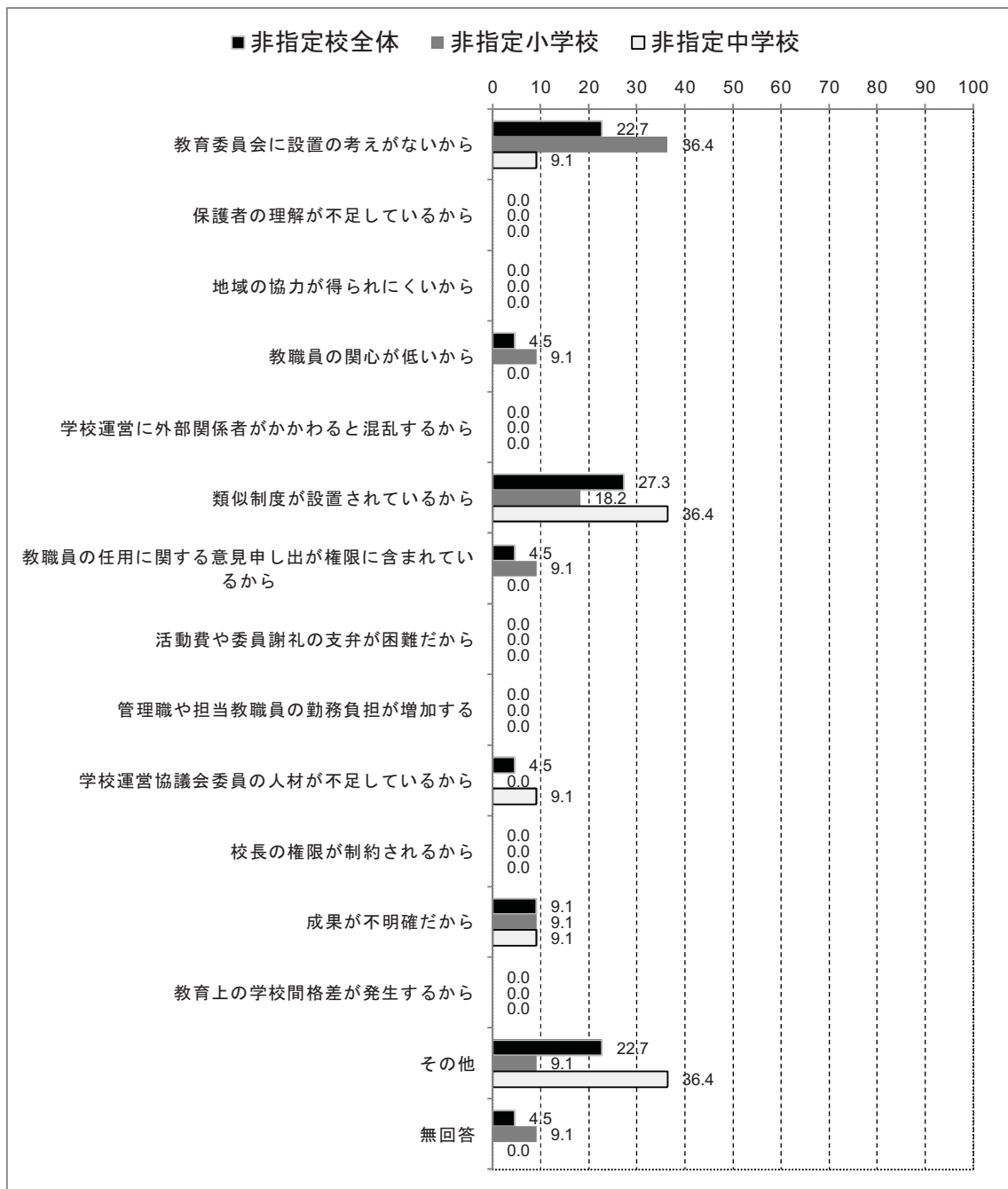




図 1-101 コミュニティ・スクールの指定を受けていない理由（非指定校のみ：2 番目）

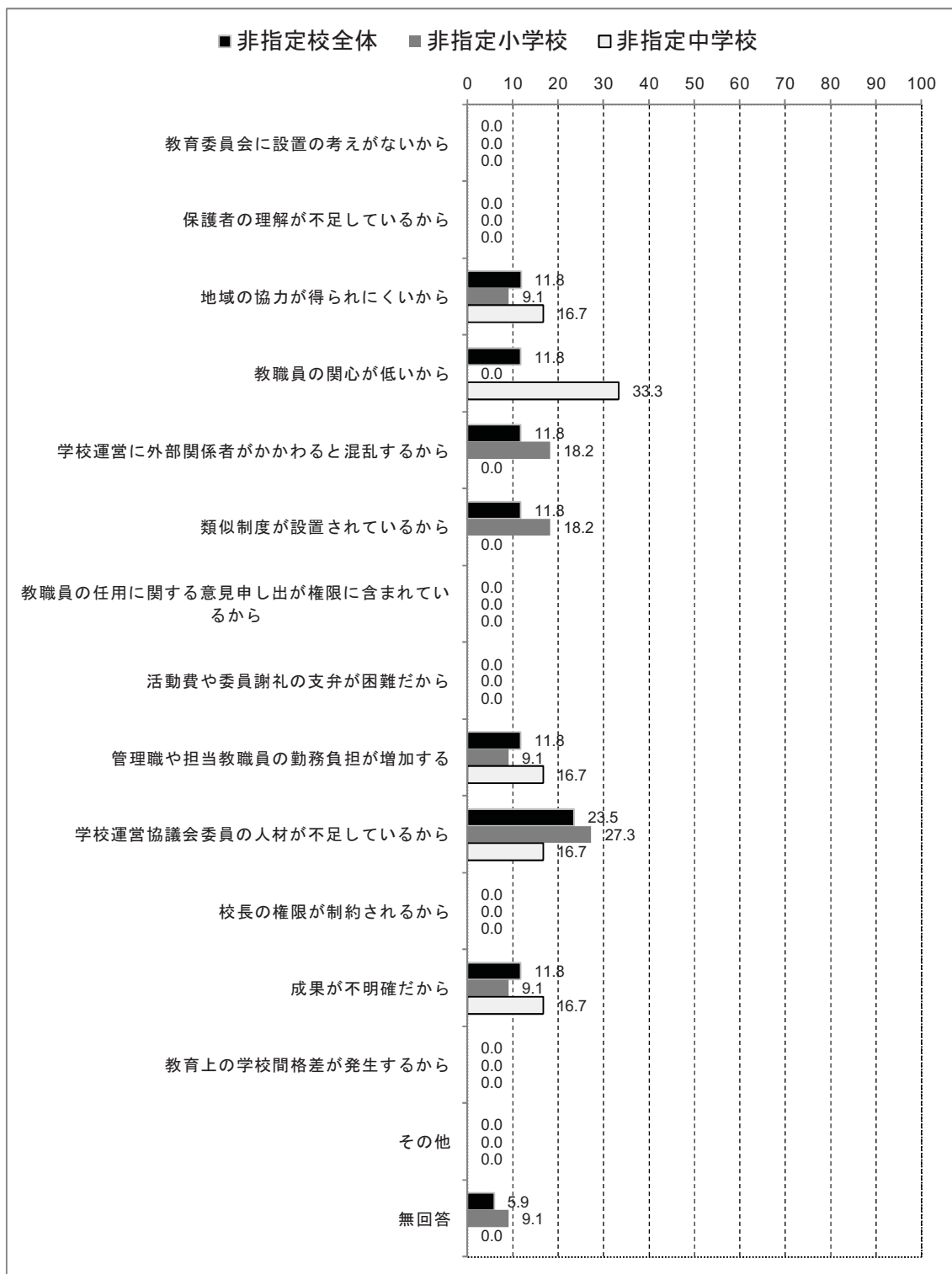
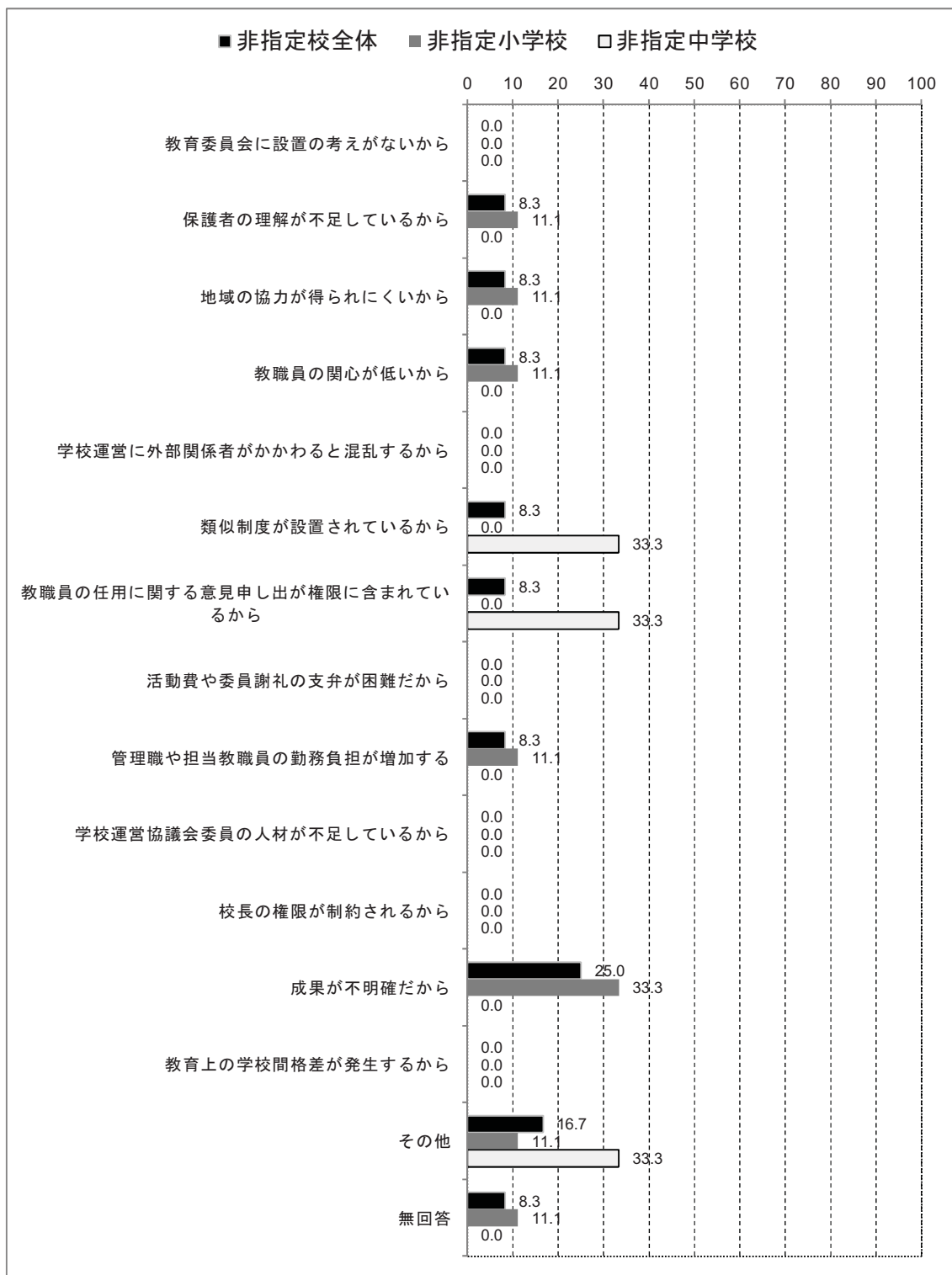


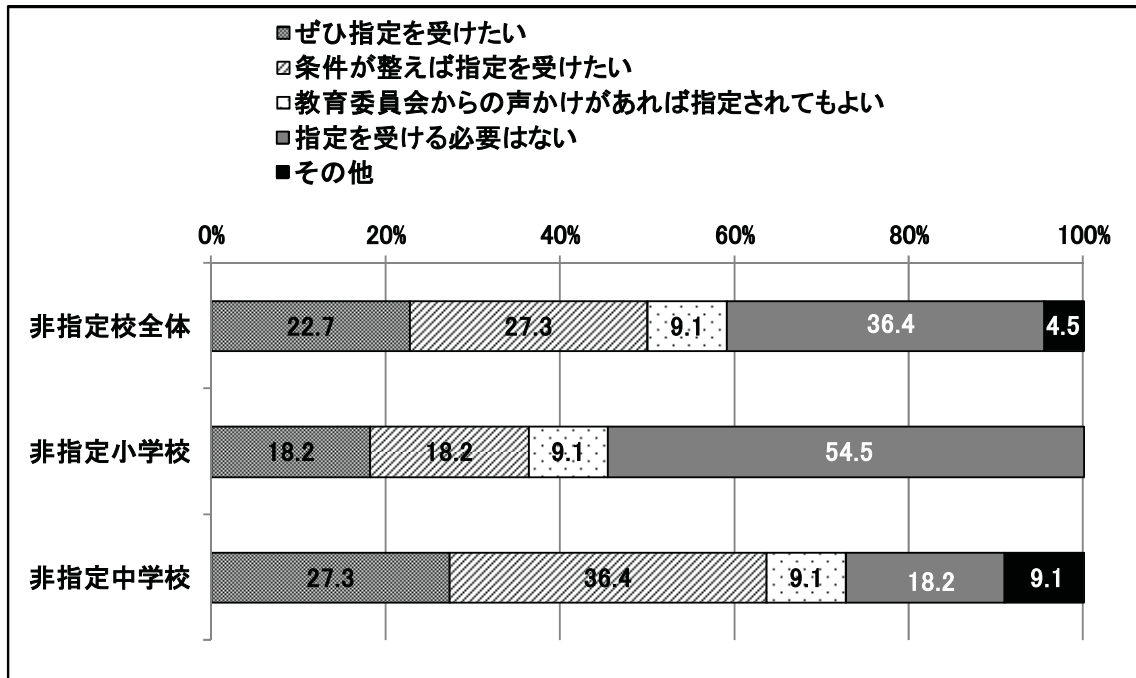
図 1-102 コミュニティ・スクールの指定を受けていない理由（非指定校のみ：3 番目）



### ■コミュニティ・スクール指定の要望（非指定校のみ）

非指定校において、コミュニティ・スクールの指定を受けたいかどうかについては、「指定を受ける必要はない」が最も多く36.4%。一方で、「ぜひ受けたい」が22.7%、「条件を整えば指定を受けたい」が27.3%と、半数の学校が指定に前向きな姿勢を示している。

図 1-103 コミュニティ・スクール指定の要望（非指定校のみ）



### ■コミュニティ・スクールの指定を受けたい理由

条件を整えばコミュニティ・スクールの指定を受けたいと考えている学校について、その一番目の理由として最も多く挙げられているのは、「教職員の理解が得られること」「地域の理解と協力が得られること」「教育委員会が指定する方針を示すこと」「担当人員が配置されること」「協議会委員の人材が確保されること」の5つで、いずれも16.7%となっている。

図 1-104 コミュニティ・スクール指定の要望（非指定校のみ：1 番目）

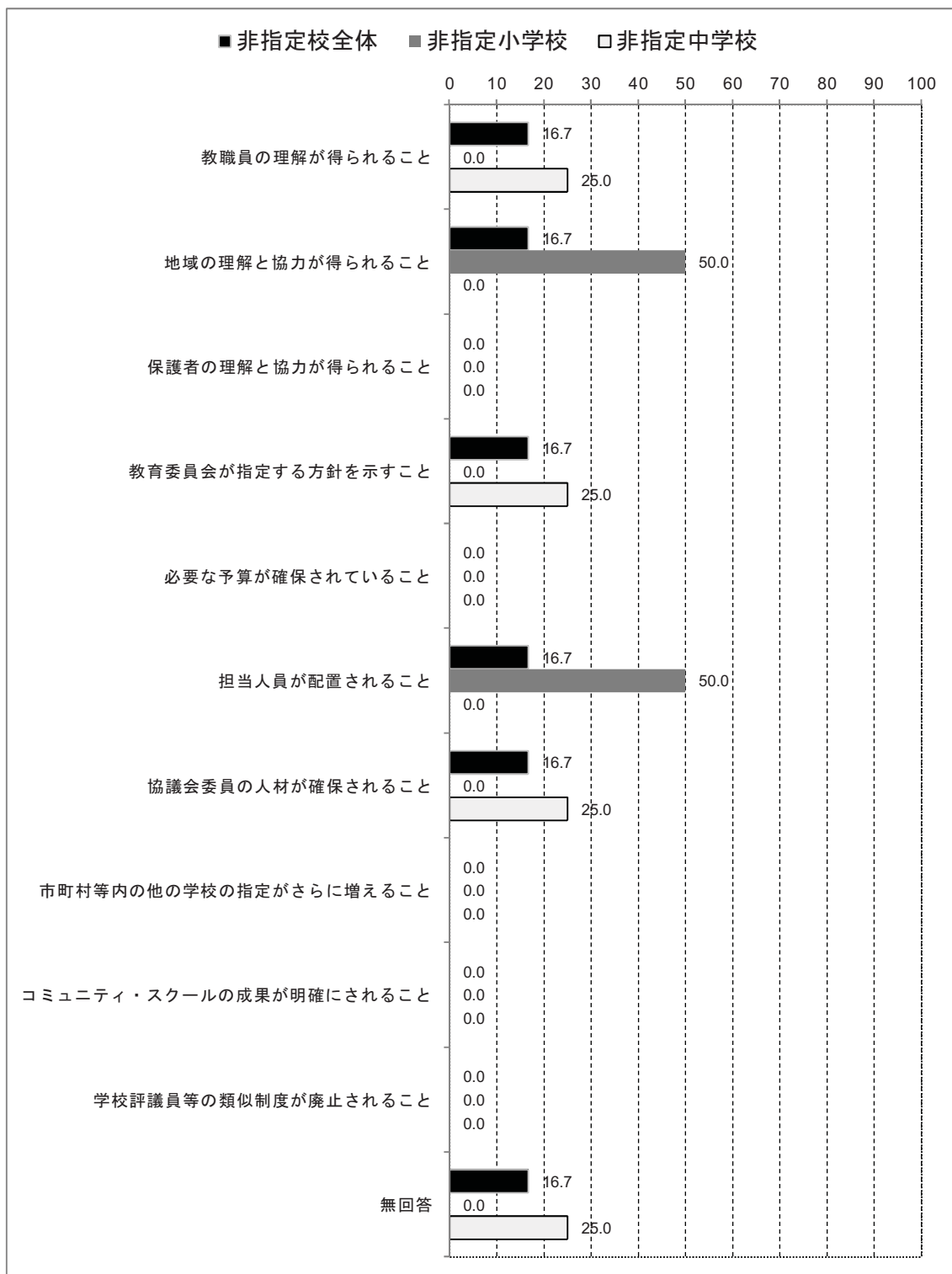


図 1-105 コミュニティ・スクール指定の要望（非指定校のみ：2 番目）

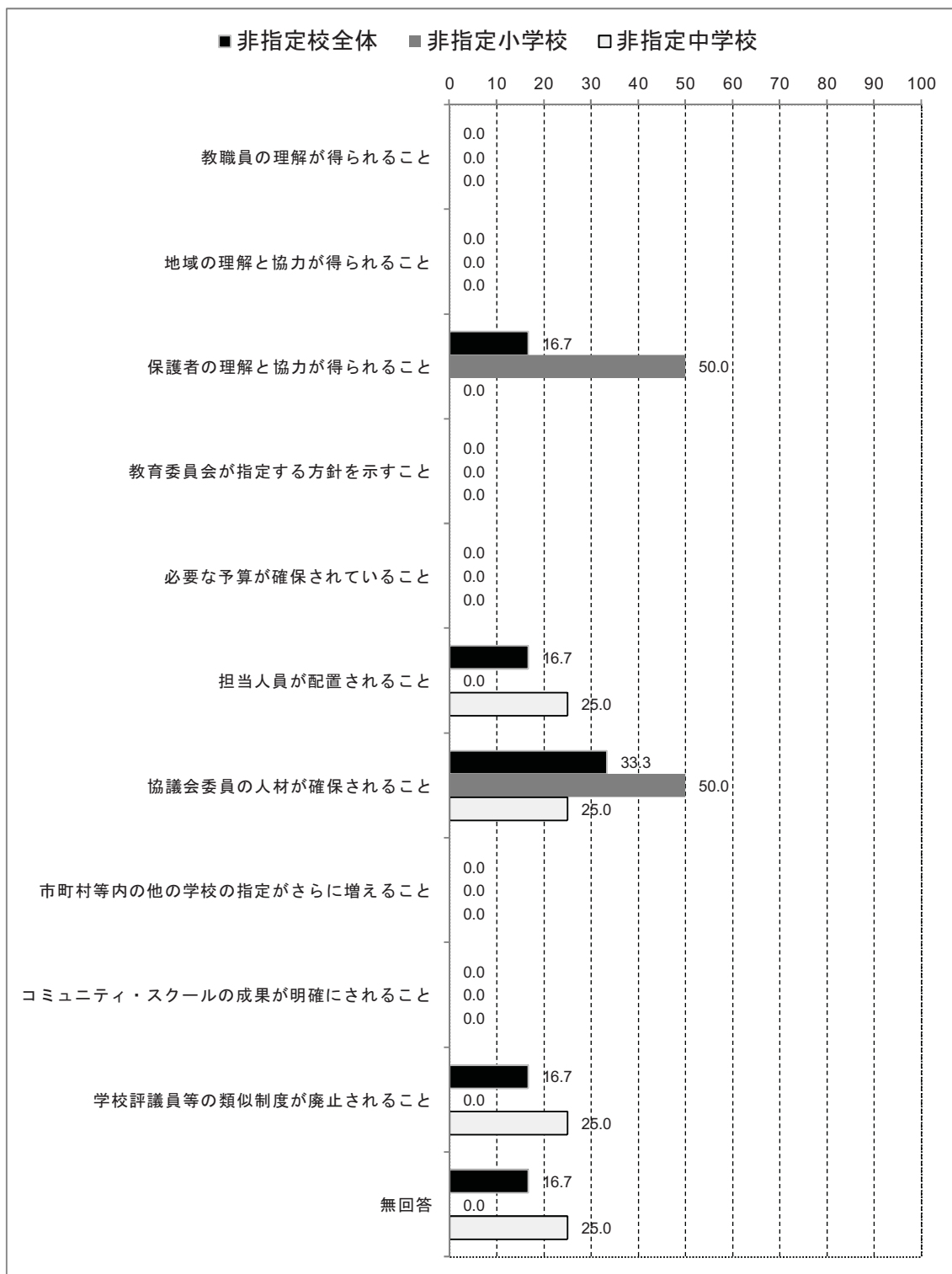
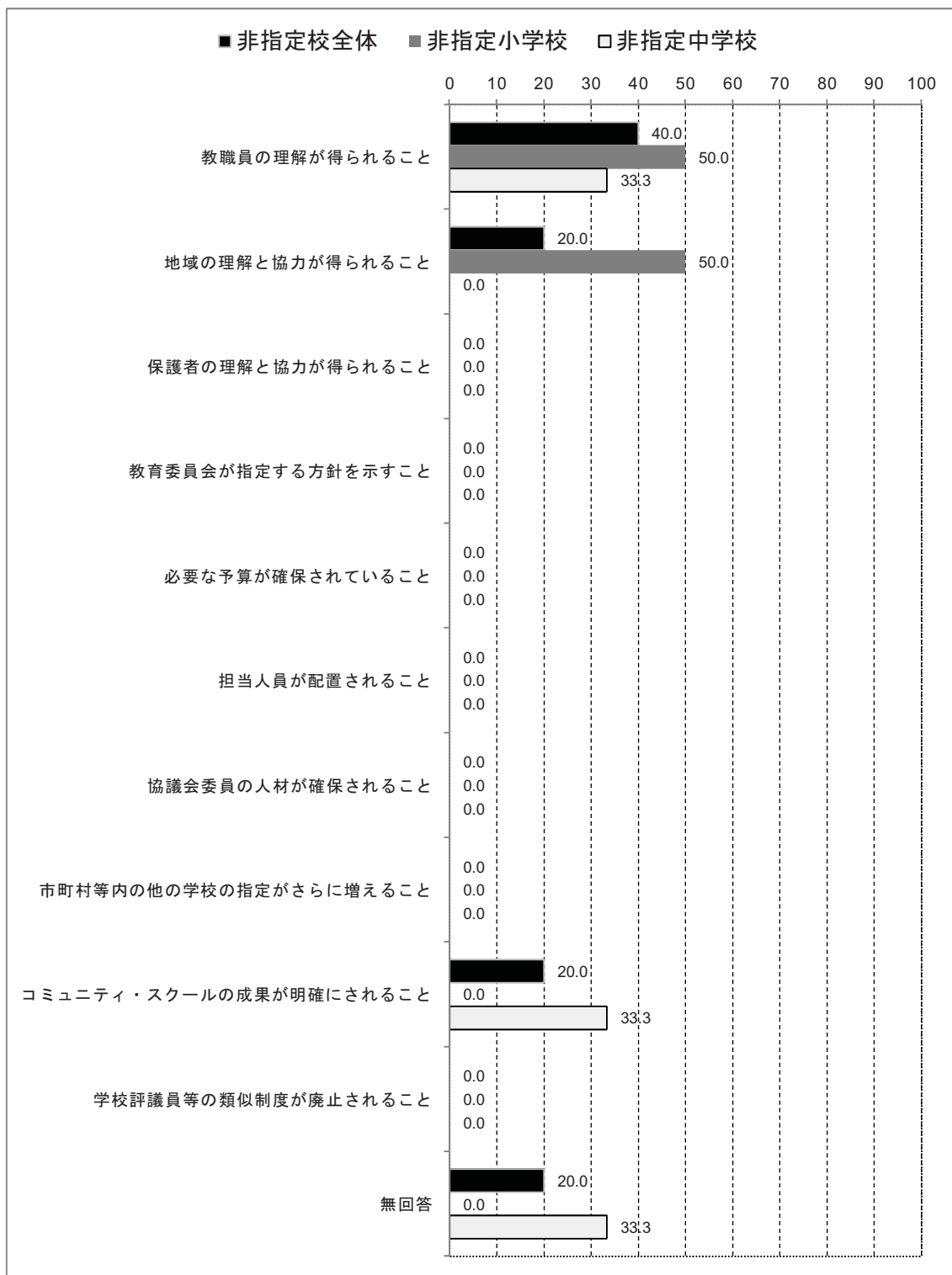




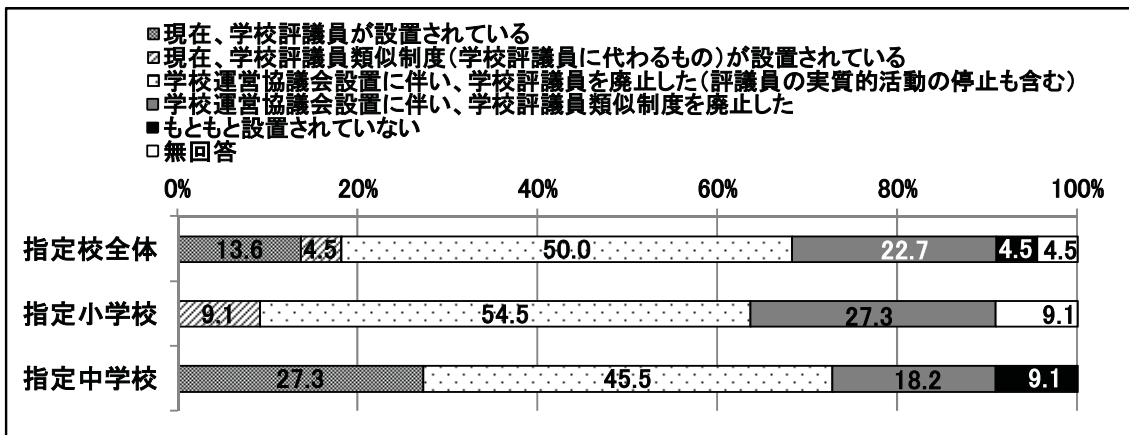
図 1-106 コミュニティ・スクール指定の要望（非指定校のみ：3 番目）



### ■学校評議員または類似制度の設置状況（指定校のみ）

指定校における学校評議員または類似制度の設置状況は、「学校運営協議会設置に伴い、学校評議員を廃止した（評議員の実質的活動の停止も含む）」が最も多く全体で50.0%。次いで「学校運営協議会設置に伴い、学校評議員類似制度を廃止した」が22.7%に上り、7割以上の学校が学校運営協議会の設置を機に、評議員制度等の廃止に踏み切っている。「現在、学校評議員が設置されている」「現在、学校評議員類似制度（学校評議員に代わるもの）が設置されている」は、全体で18.1%にとどまっている。校種別では、小学校の方が学校評議員の廃止に踏み切った所が多い。

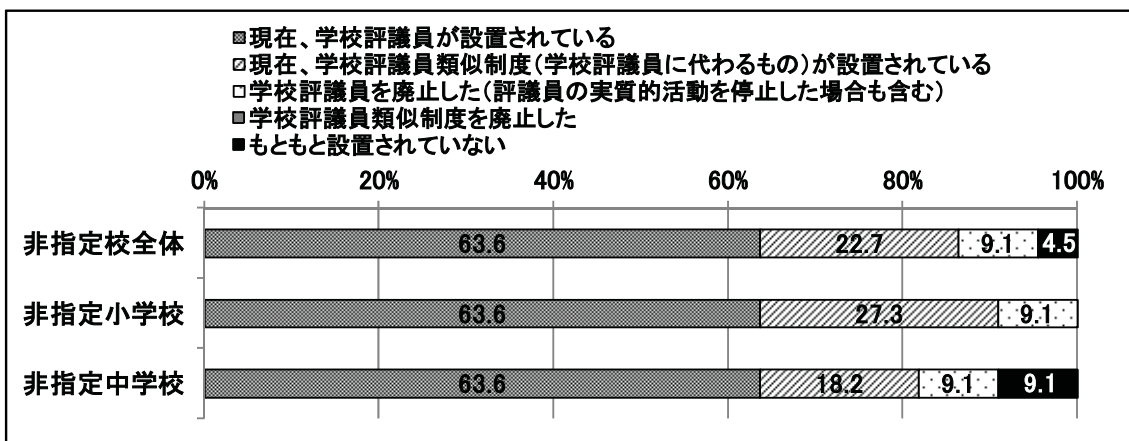
図 1-107 学校評議員または類似制度の設置状況（指定校のみ）



### ■学校評議員または類似制度の設置状況（非指定校のみ）

非指定校における学校評議員または類似制度の設置状況は、「現在、学校評議員が設置されている」が最も多く全体で63.6%。次いで「現在、学校評議員類似制度（学校評議員に代わるもの）が設置されている」が22.7%に上り、8割以上の学校が学校評議員もしくはそれに類似する制度を設置している。「学校評議員を廃止した（評議員の実質的活動を停止した場合も含む）」は全体の9.1%。なお、校種別の差はほとんど出ていない。

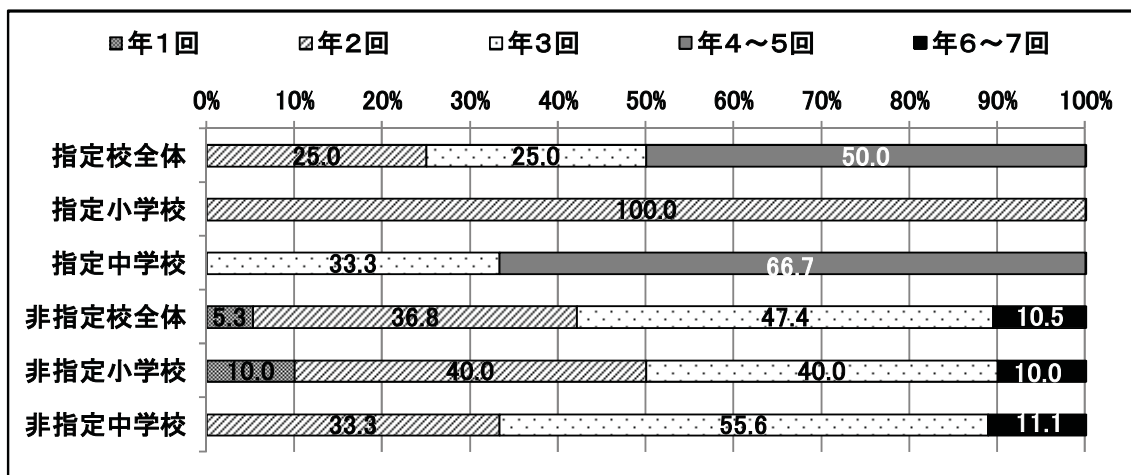
図 1-108 学校評議員または類似制度の設置状況（非指定校のみ）



### ■学校評議員または類似制度の年間の実施回数

学校評議員制度を存続している学校のうち、年間の実施回数については、指定校全体では「年4～5回」が最も多く50.0%。以下、「年2回」「年3回」がそれぞれ25.0%となっている。一方、非指定校全体では、「年3回」が最も多く47.4%。以下、「年2回」が36.8%、「年6～7回」が10.5%と続いている。全体的に、非指定校の方が実施回数が多い。

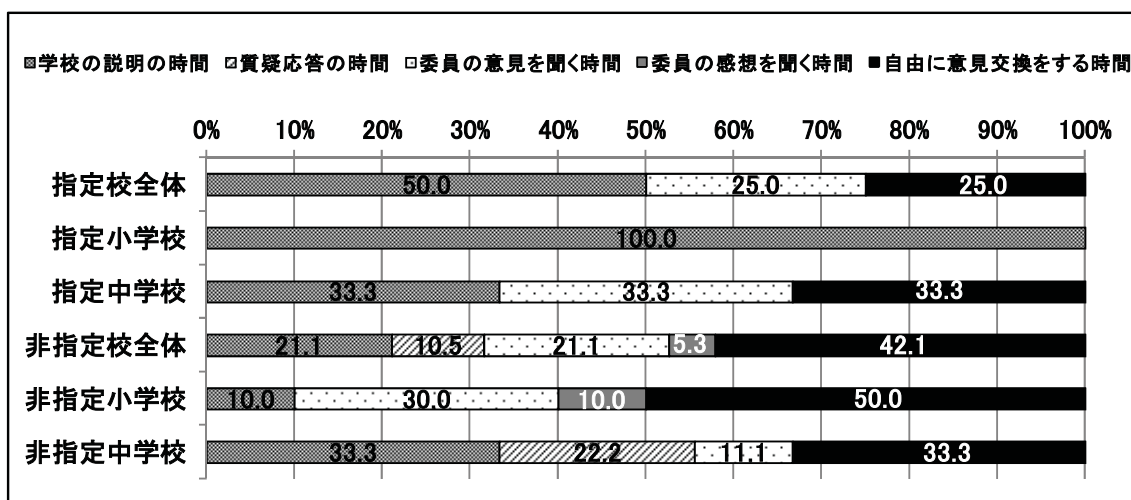
図 1-109 学校評議員または類似制度の年間の実施回数



### ■学校評議員の会議の場での主要議題

学校評議員制度を存続している学校のうち、会議の場での主要議題については、指定校全体では「学校の説明の時間」が最も多く50.0%。次いで「委員の意見を聞く時間」と「自由に意見交換をする時間」がいずれも25.0%となっている。非指定校全体では、「自由に意見交換をする時間」が最も多く42.1%。次いで「学校の説明の時間」と「委員の意見を聞く時間」がいずれも21.1%、「質疑応答の時間」が10.5%、「委員の感想を聞く時間」が5.3%と続いている。

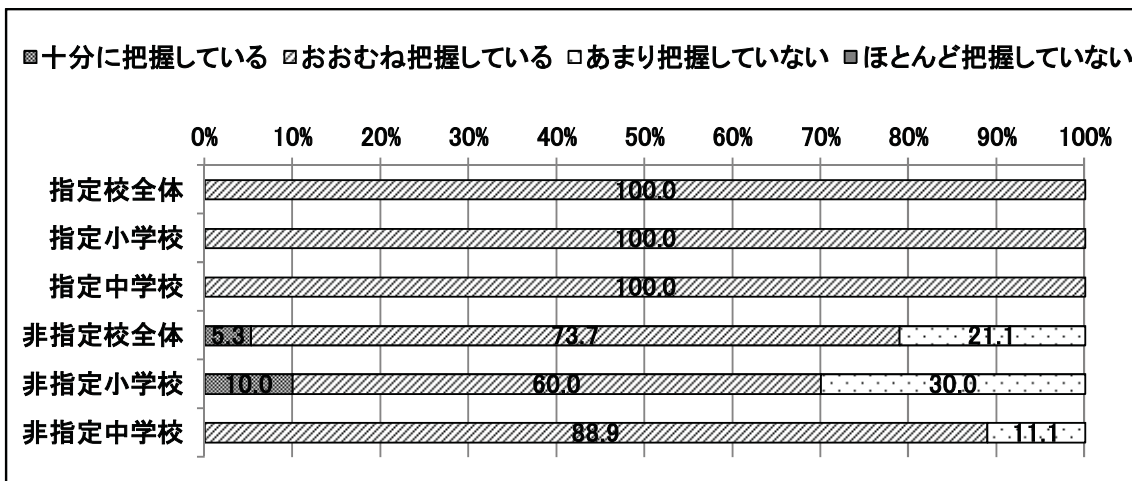
図 1-110 学校評議員の会議の場での主要議題



### ■学校評議員の学校の実情や実態把握

学校評議員制度を存続している学校のうち、どの程度学校評議員が学校の実情や実態を把握しているかについては、指定校全体ではすべての学校が「おおむね把握している」と回答。非指定校全体では「おおむね把握している」が最も多く73.7%、「あまり把握していない」が21.1%「十分に把握している」が5.3%となっている。

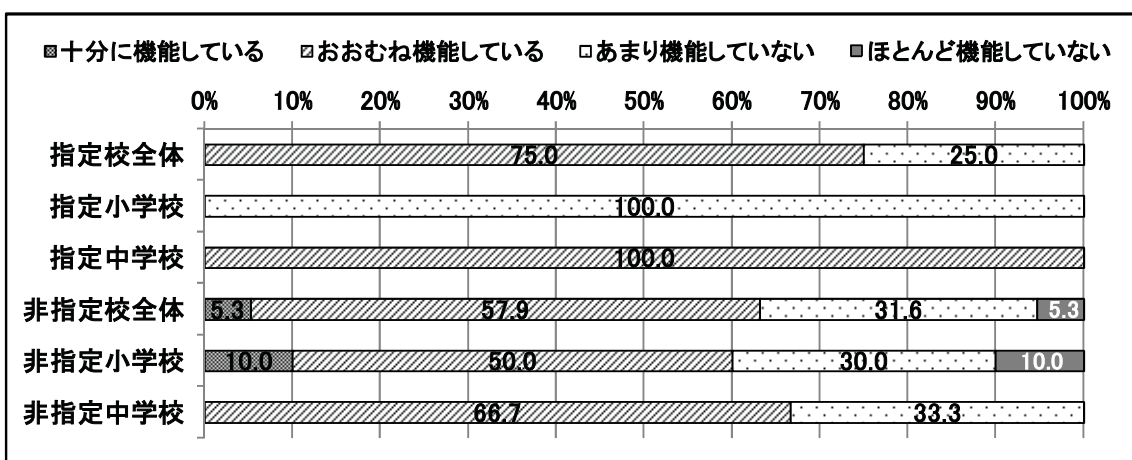
図 1-111 学校評議員の学校の実情や実態把握



### ■学校評議員制度の地域ニーズ反映の機能

学校評議員制度を存続している学校のうち、評議員制度がどの程度地域ニーズの反映に機能しているかについては、指定校全体では「おおむね機能している」が最も多く75.0%。次いで「あまり機能していない」が25.0%となっている。非指定校全体では、「おおむね機能している」が最も多く57.9%。以下、「あまり機能していない」が31.6%、「十分に機能している」と「ほとんど機能していない」がいずれも5.3%となっている。

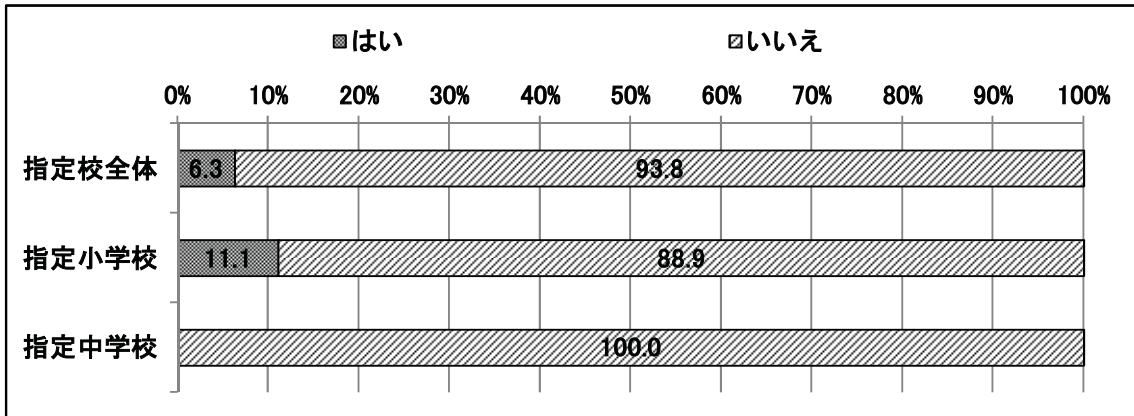
図 1-112 学校評議員制度の地域ニーズ反映の機能



■学校評議員または類似制度の廃止時期（指定校のみ）

学校評議員制度を廃止した指定校のうち、回答した校長自身が着任後の廃止（「はい」）は6.3%。着任以前の廃止（「いいえ」）が93.8%となっている。

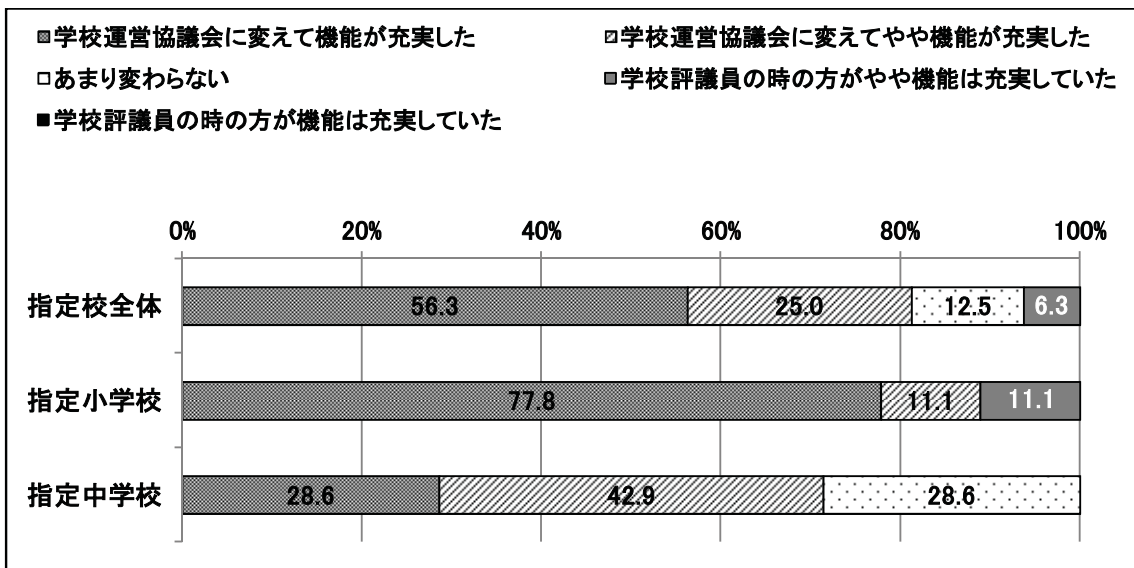
図 1-113 学校評議員または類似制度の廃止時期(校長自身が着任する以前か:指定校のみ)



■学校経営における地域ニーズを学校運営に反映させる機能の学校運営協議会と学校評議員比較（指定校のみ）

指定校のうち、学校経営における「学校運営協議会制度」と「学校評議員制度」の比較については、「学校運営協議会に変えて機能が充実した」が全体の56.3%に上り、最も多い。次いで「学校運営協議会に変えてやや機能が充実した」が25.0%と、肯定的な意見が全体の80%以上に上っている。特に小学校では、77.8%の校長が「充実した」と回答するなど、学校運営協議会が、地域ニーズの反映という点で、学校評議員制度よりも効果を発揮している様子が伺える。

図 1-114 学校経営における地域ニーズを学校運営に反映させる機能の学校運営協議会と学校評議員比較（指定校のみ）





## 調査結果② 教職員

調査対象は小中学校の教職員 939 名。内訳は小学校が 407 名で中学校が 532 名。小学校の教職員 407 名のうちコミュニティ・スクールの指定校に勤務する者が 205 名で、非指定校勤務が 202 名。中学校は、532 名のうちコミュニティ・スクールの指定校勤務が 252 名で、非指定校が 280 名。

### ■性別・年代

回答した教職員の性別は、全体で男性が 48.8%、女性が 50.4%（無回答が 0.9%）。校種別では、小学校で女性が多く 62.2%に上り、中学校では男性がやや多く 57.5%となっている。年代については、「50代」が最も多く全体で 26.3%、以下「40代」26.1%、「30代」22.0%、「20代」20.1%、「60代」3.8%と続いている。

図 2-1 性別

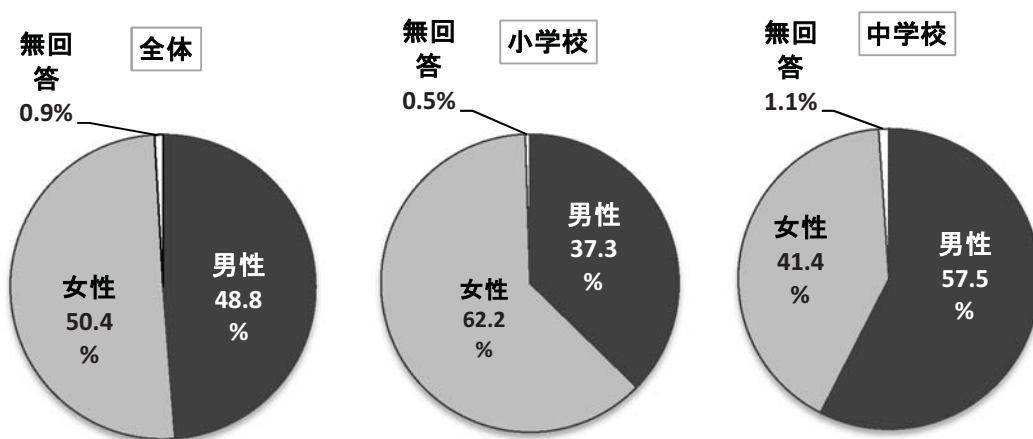
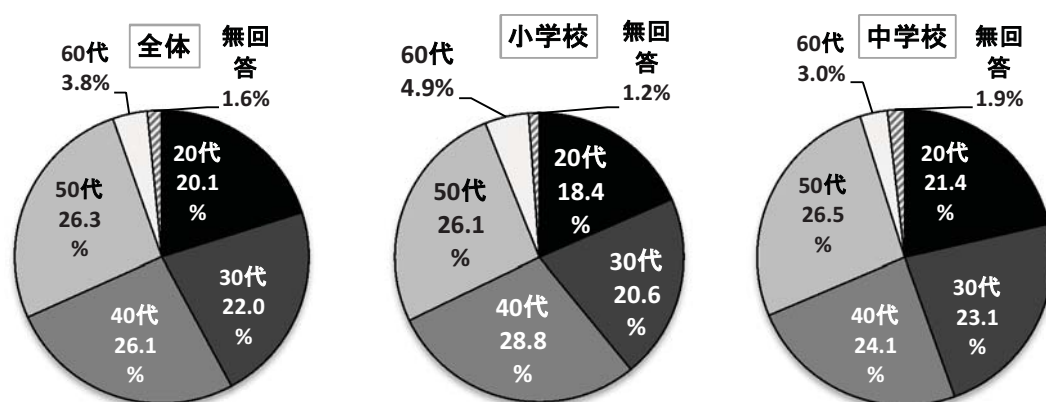


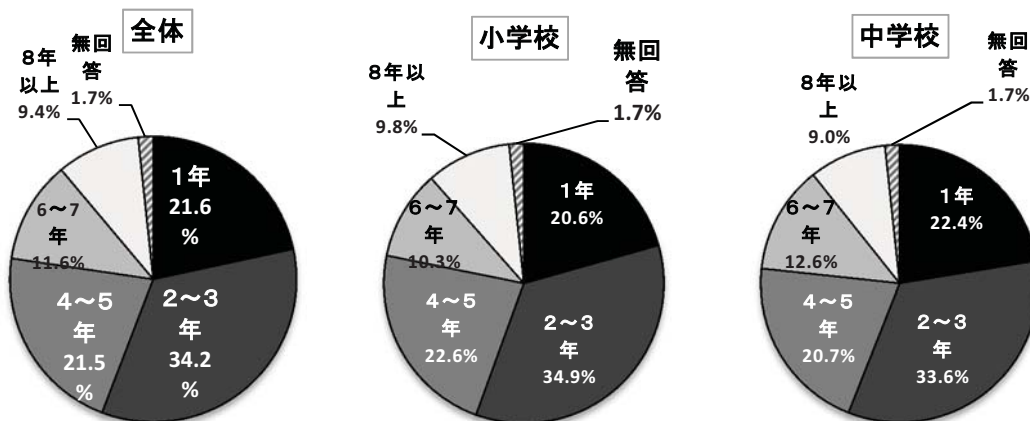
図 2-2 年代



■勤務校での勤務年数

回答した教職員の勤務校での勤務年数は、「2～3年」が最も多く34.2%。以下、「1年」21.6%、「4～5年」21.5%、「6～7年」11.6%、「8年以上」9.4と続いている。

図 2-3 勤務年数

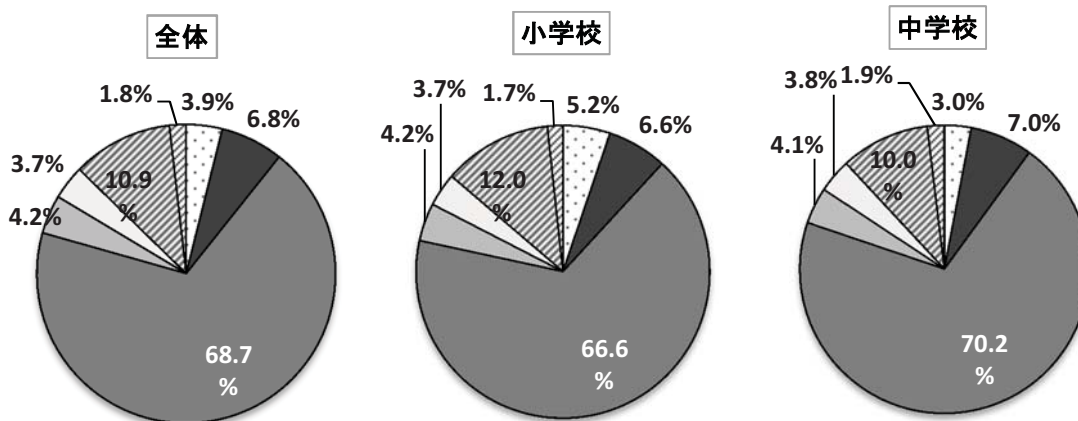


■学校における役職

回答した教職員の学校における役職は、「教諭（主任教諭含む）」が最も多く68.7%。その他はいずれも10%以下となっている。

図 2-4 学校における役職

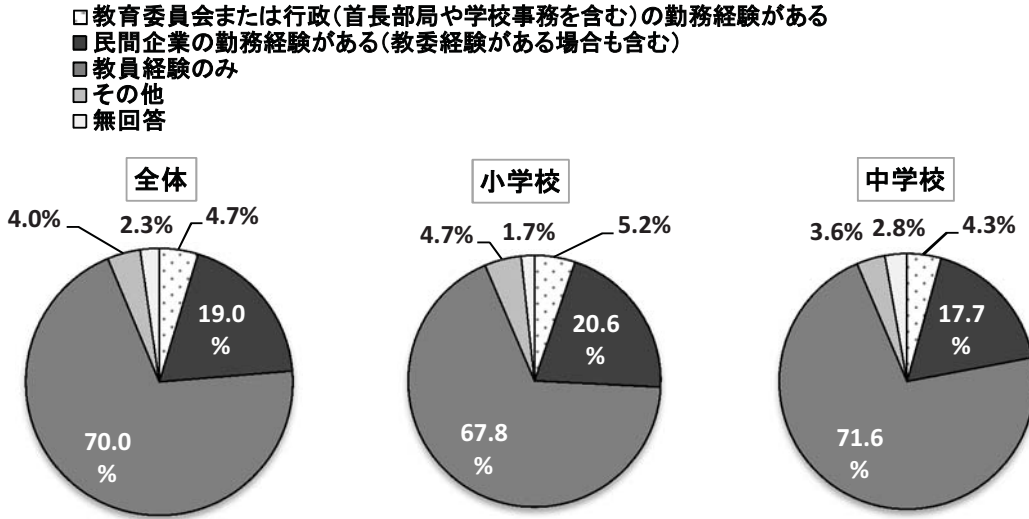
- 教頭(又は副校長)
- 教諭(主任教諭含む)
- 学校事務職員
- ▨ 無回答
- 主幹教諭・指導教諭(総括教諭・主席等)
- ▨ 養護教諭(主幹・主任養護教諭を含む)
- ▨ その他



## ■勤務経歴

回答した教職員の勤務経歴は「教員経験のみ」が圧倒的に多く70.0%。「民間企業の勤務経験がある（教委経験がある場合も含む）」は19.0%、「教育委員会または行政（首長部局や学校事務を含む）の勤務経験がある」は4.7%となっている。

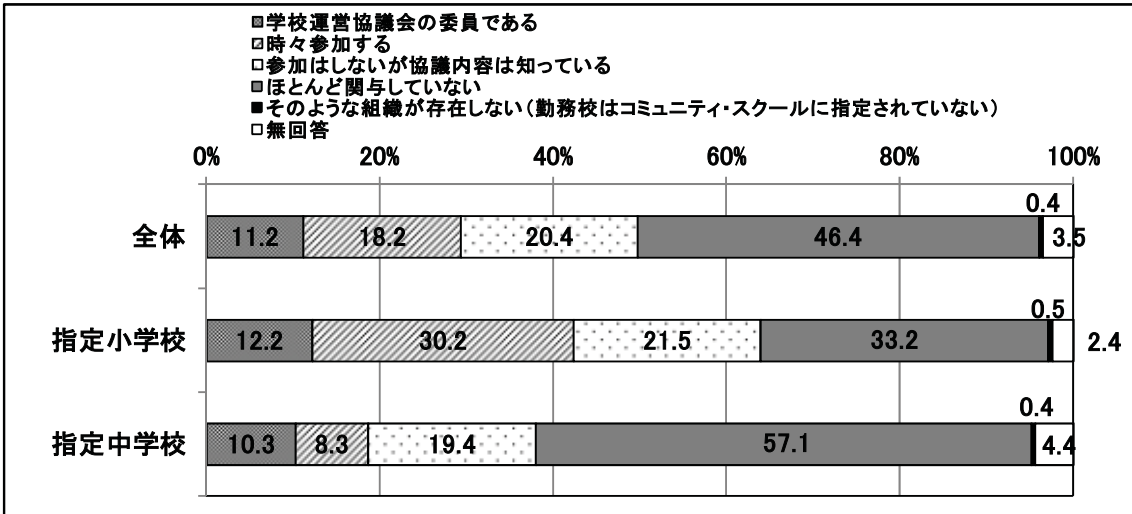
図 2-5 勤務経歴



## ■学校運営協議会について（指定校のみ：質問項目 F7）

回答した教職員と学校運営協議会との関わりについては、「ほとんど関与していない」が最も多く全体の46.4%。以下、「参加はしないが協議内容は知っている」20.4%、「時々参加する」18.2%、「学校運営協議会の委員である」11.2%と続いている。校種別では「学校運営協議会の委員である」「時々参加する」の合計が、小学校で42.4%に対し中学校18.6%にとどまるなど、小学校の教職員の方が積極的に学校運営協議会に関与している様子が伺える。

図 2-6 学校運営協議会について

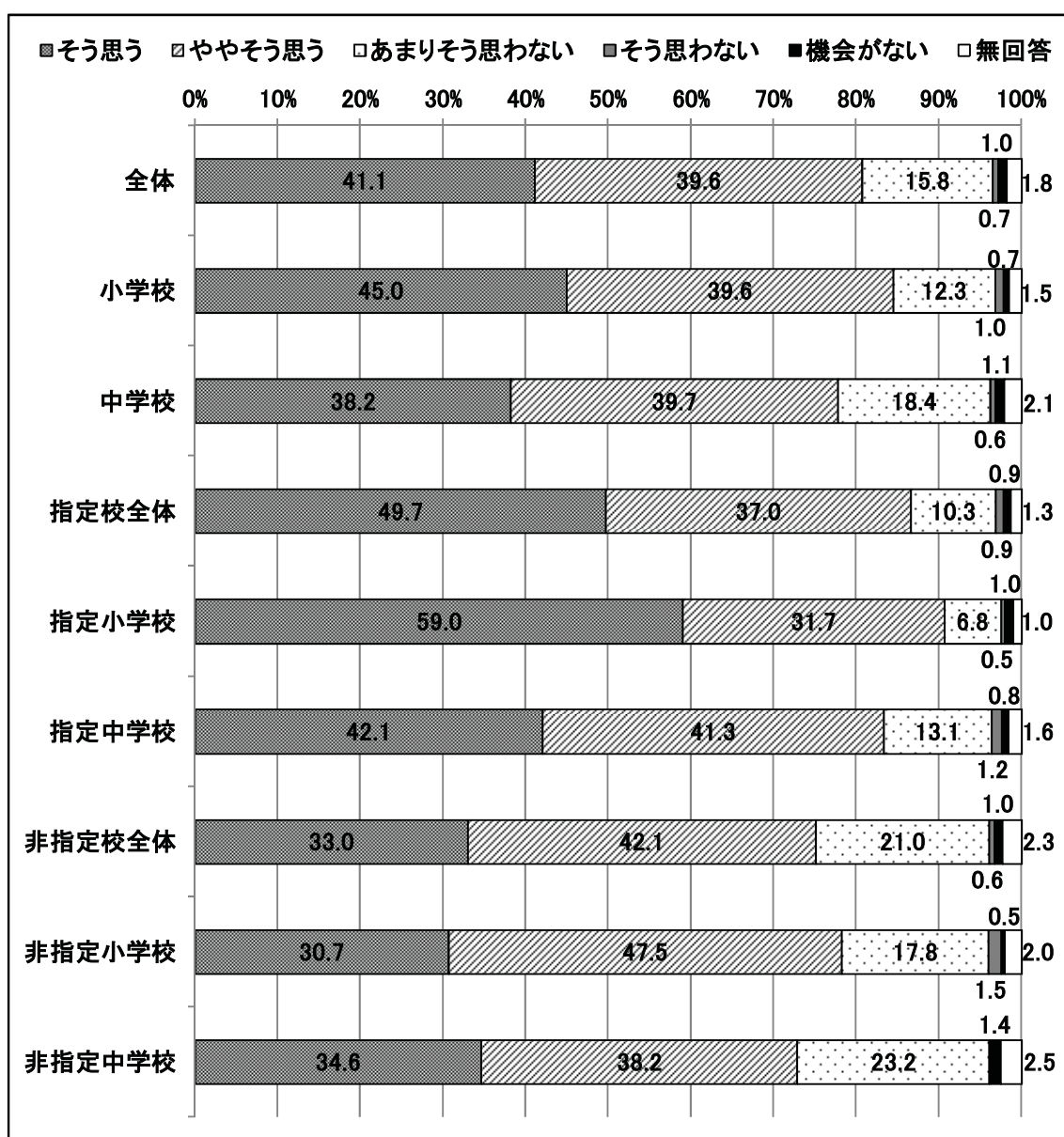


## I 学校と保護者や地域の方とのかかわりについて

### ■「保護者が学校に来る機会が多い」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の41.1%と最も多い。「ややそう思う」も39.6%に上り、合わせて80.7%に上る。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員が指定校全体で49.7%に上り、非指定校の33.0%を上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方が少なく、指定校においてより多くの保護者が学校を訪れている様子が伺える。

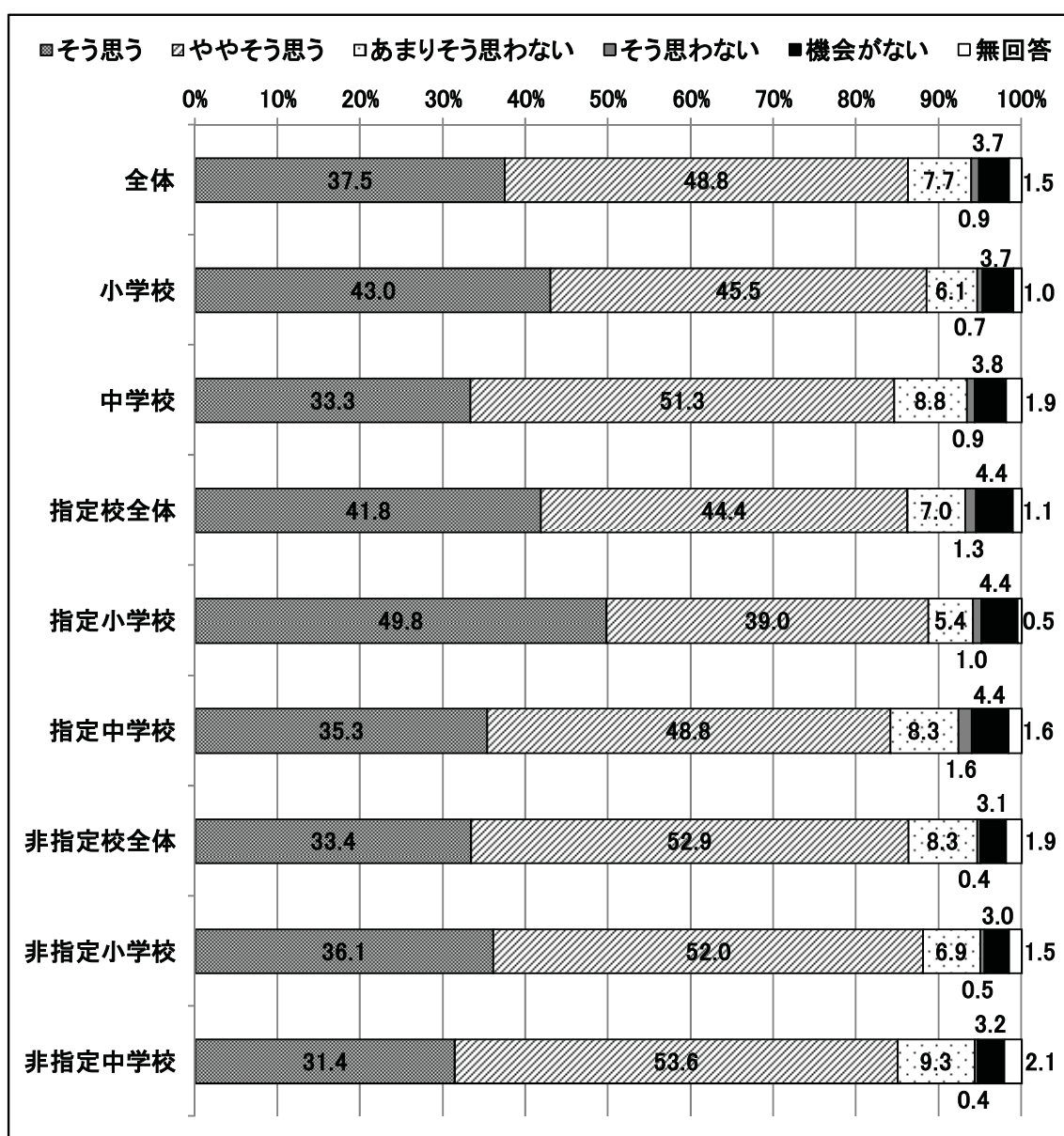
図 2-7 「保護者が学校に来る機会が多い」



■「保護者とよく話をするようにしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の37.5%。「ややそう思う」が48.8%に上り、合わせて86.3%に上る。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員が指定校全体で41.8%に上り、非指定校の33.4%を上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方がやや少なく、指定校において教職員が保護者とよく話をしている様子が伺える。

図 2-8 「保護者とよく話をするようにしている」

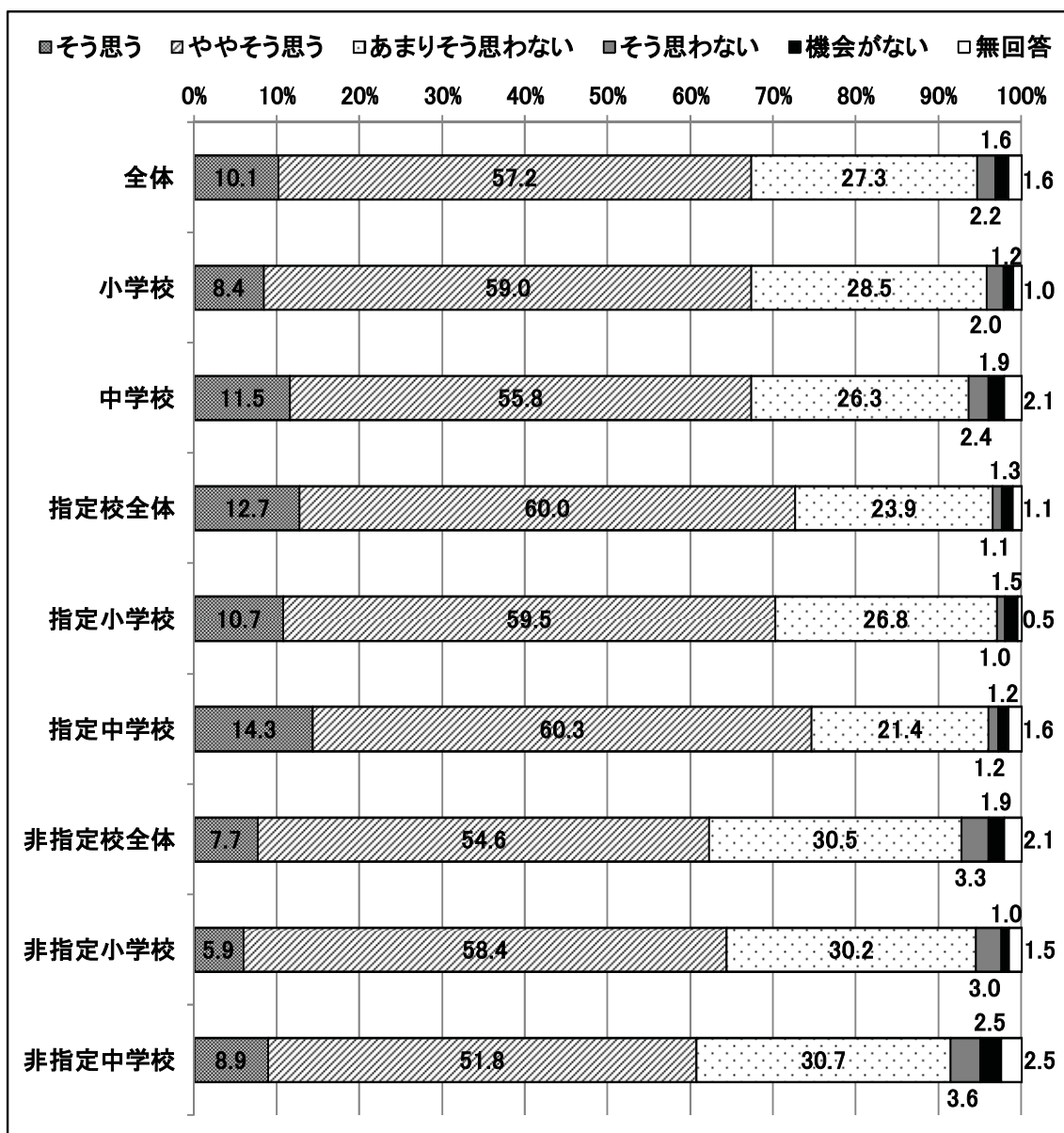




■「保護者は学校の様子や状況をよく把握している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の10.1%。「ややそう思う」が57.2%と最も多く、以下「あまりそう思わない」27.3%、「そう思わない」2.2%、「機会がない」1.6%と続いている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」と回答した教職員の合計が指定校全体で72.7%に上り、非指定校の62.3%を上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方がやや少なく、指定校の保護者の方が学校の様子や状況をよく把握できている様子が伺える。

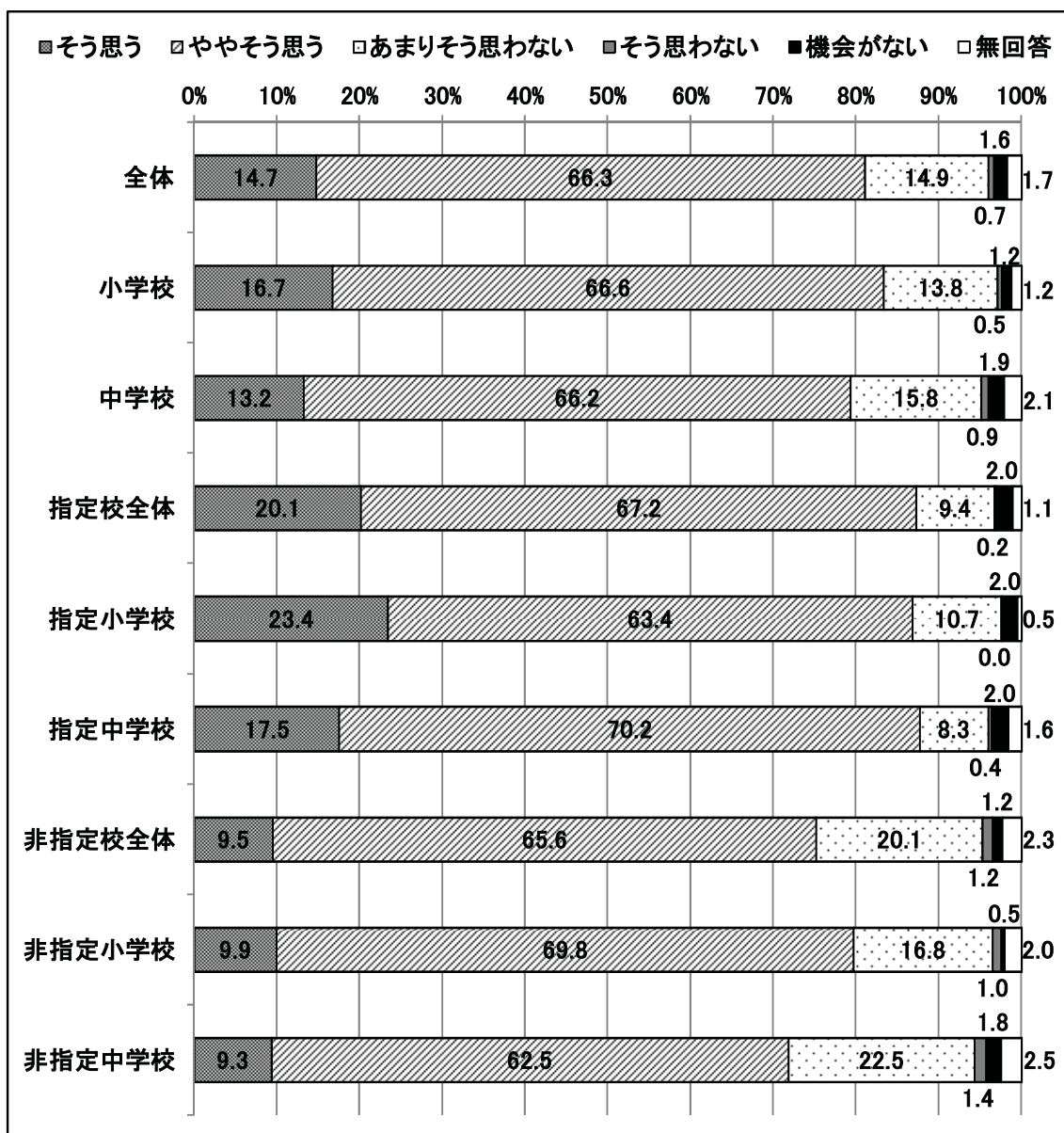
図 2-9 保護者は学校の様子や状況をよく把握している



■「学校は保護者や地域の意見やニーズをよく把握している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の14.7%。「ややそう思う」が66.3%と最も多く、「あまりそう思わない」は14.9%、「そう思わない」は0.7%、「機会がない」は1.6%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員の割合が指定校全体で20.1%に上り、非指定校の9.5%を大きく上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方が少なく、指定校において学校が保護者や地域の意見・ニーズをよく把握できている様子が伺える。

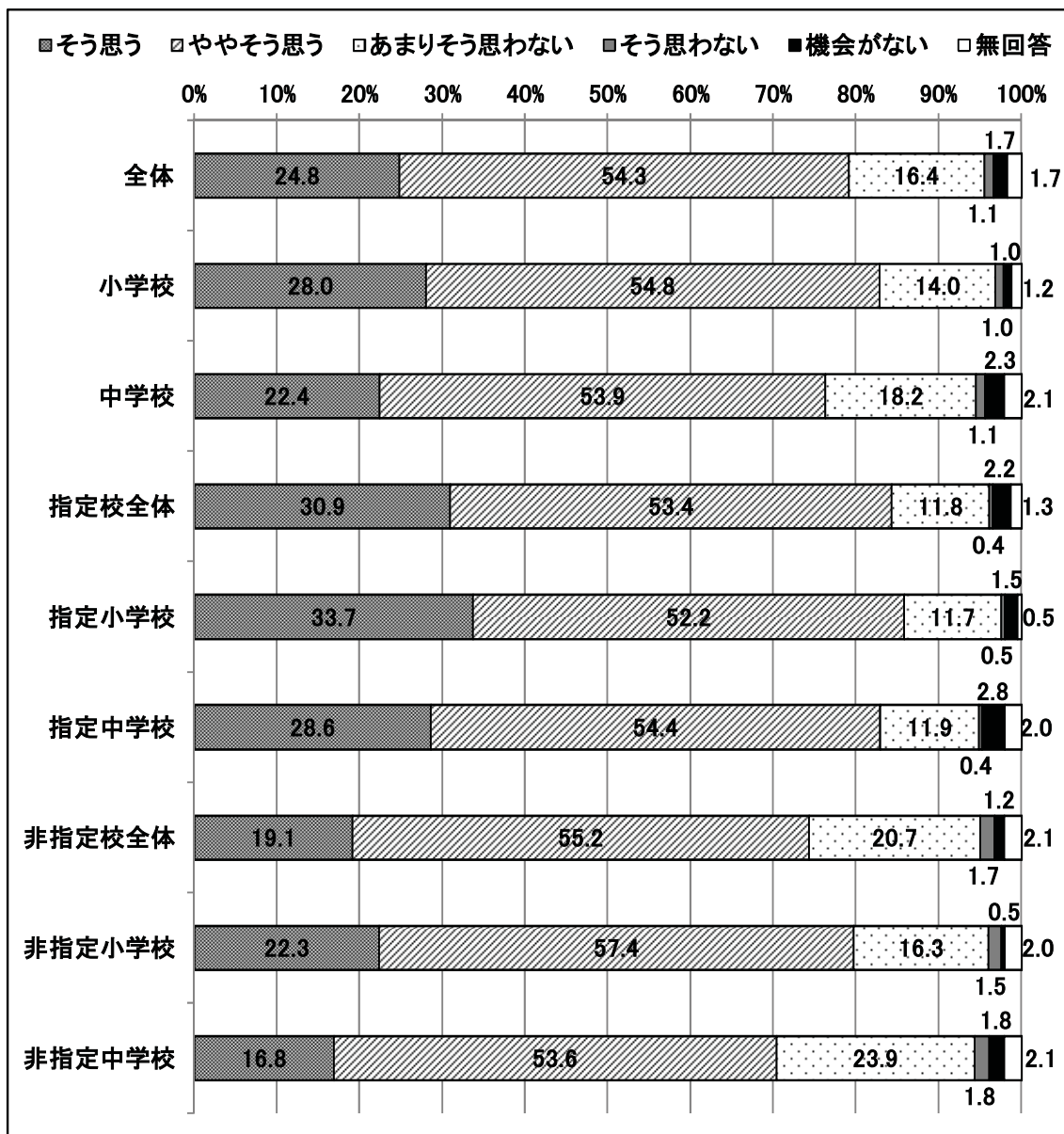
図 2-10 「学校は保護者や地域の意見やニーズをよく把握している」



■「学校の課題解決に保護者や地域の方が協力してくれている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の24.8%。「ややそう思う」が54.3%と最も多く、「あまりそう思わない」は16.4%、「そう思わない」が1.1%、「機会がない」が1.7%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員の割合が指定校全体で30.9%に上り、非指定校の19.1%を大きく上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方が少なく、指定校において学校の課題解決に保護者や地域が協力している様子が伺える。

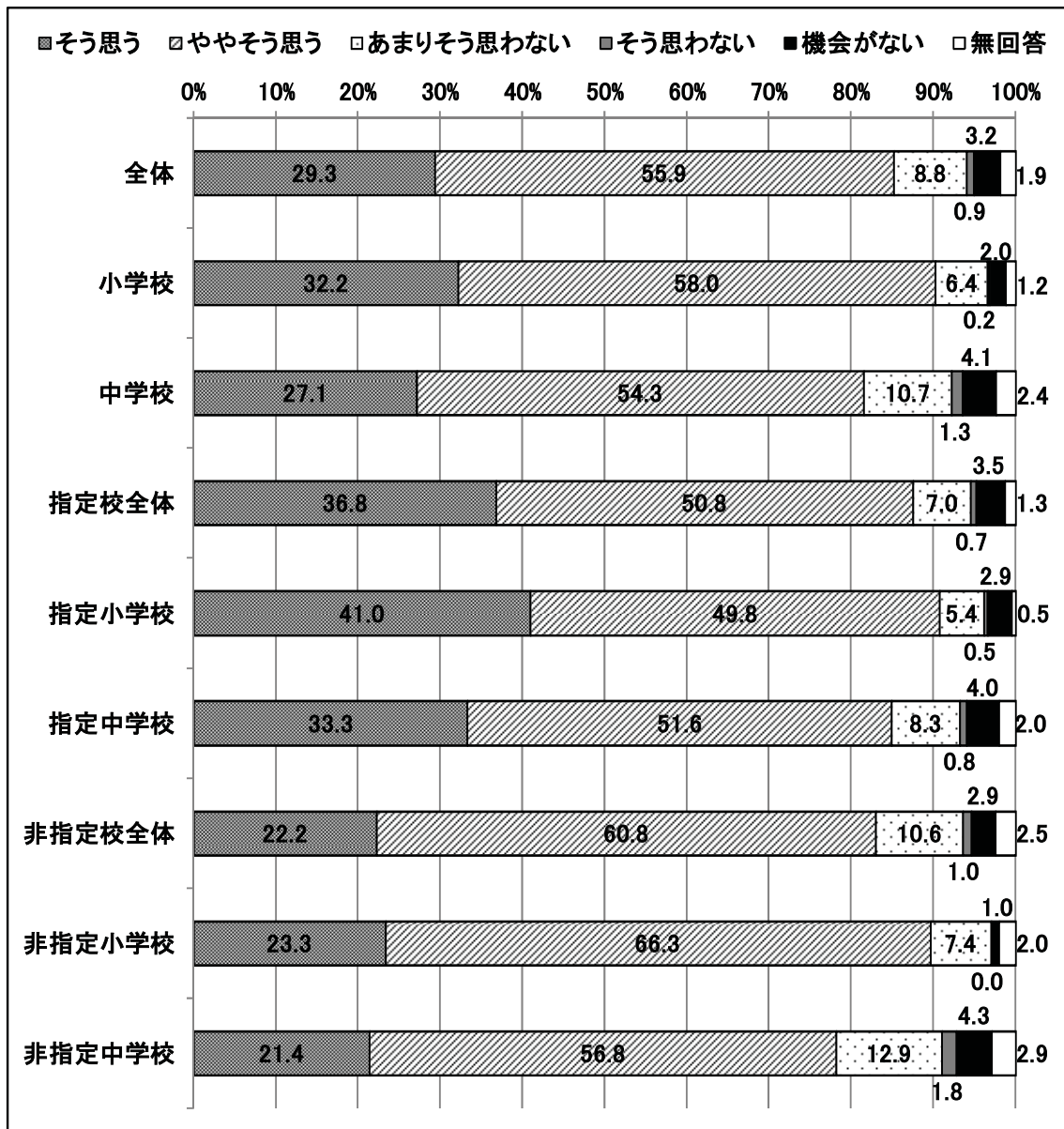
図 2-11 「学校の課題解決に保護者や地域の方が協力してくれている」



■「保護者からの学校評価等のアンケートの意見を尊重している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の29.3%。「ややそう思う」が55.9%と最も多く、「あまりそう思わない」は8.8%、「そう思わない」は0.9%、「機会がない」は3.2%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員の割合が指定校全体で36.8%に上り、非指定校の22.2%を大きく上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方がやや少なく、指定校において保護者からの学校評価等のアンケートの意見がよく尊重されている様子が伺える。

図 2-12 「保護者からの学校評価等のアンケートの意見を尊重している」

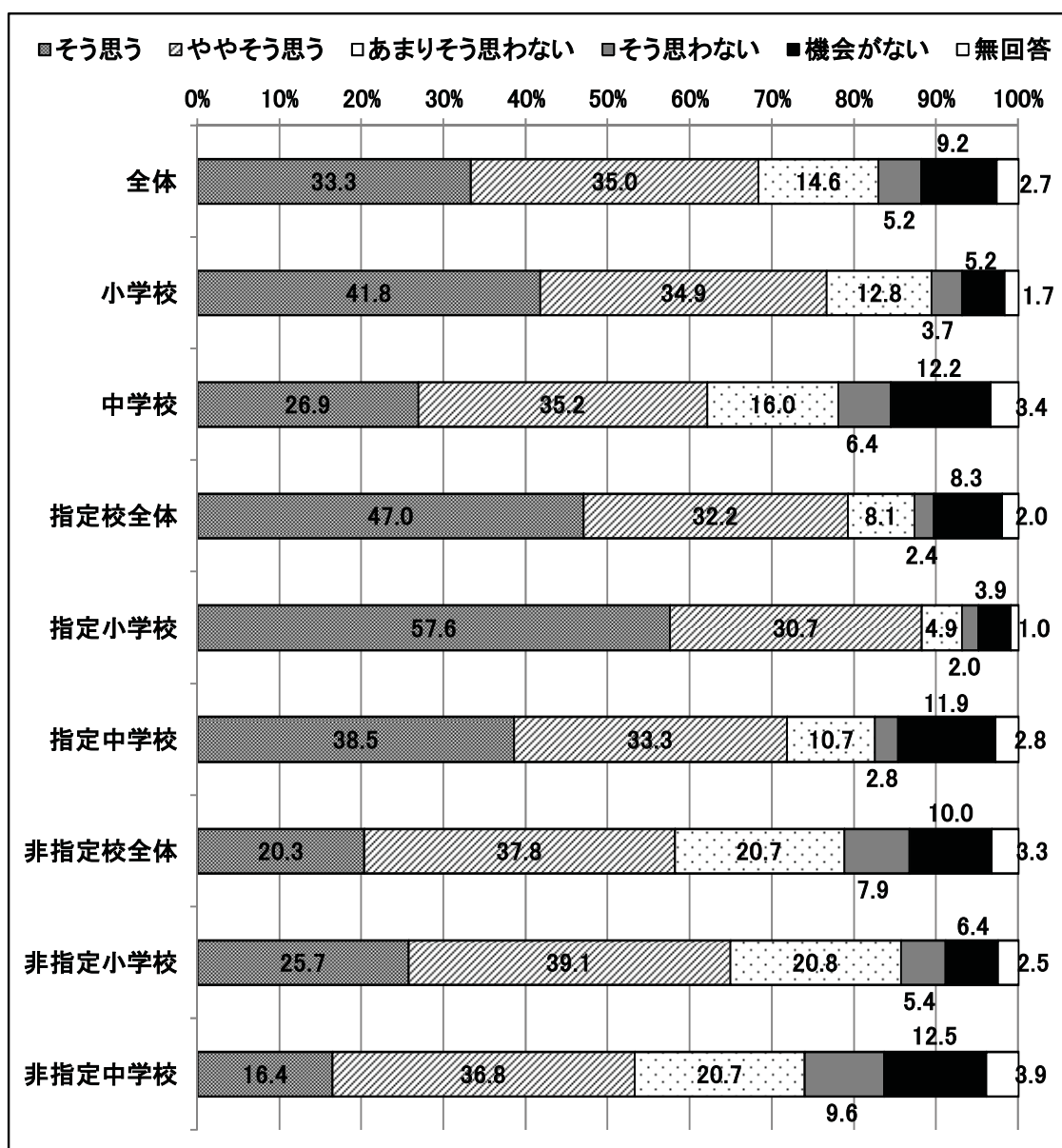




### ■「学習支援ボランティアが教育活動に参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の33.3%。「ややそう思う」が35.0%と最も多く、「あまりそう思わない」は14.6%、「そう思わない」は5.2%、「機会がない」は9.2%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員の割合が指定校全体で47.0%に上り、非指定校の20.3%を大きく上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方がやや少なく、指定校において学習支援ボランティアの参加が活発に行われている様子が伺える。

図 2-13 「学習支援ボランティアが教育活動に参加している」

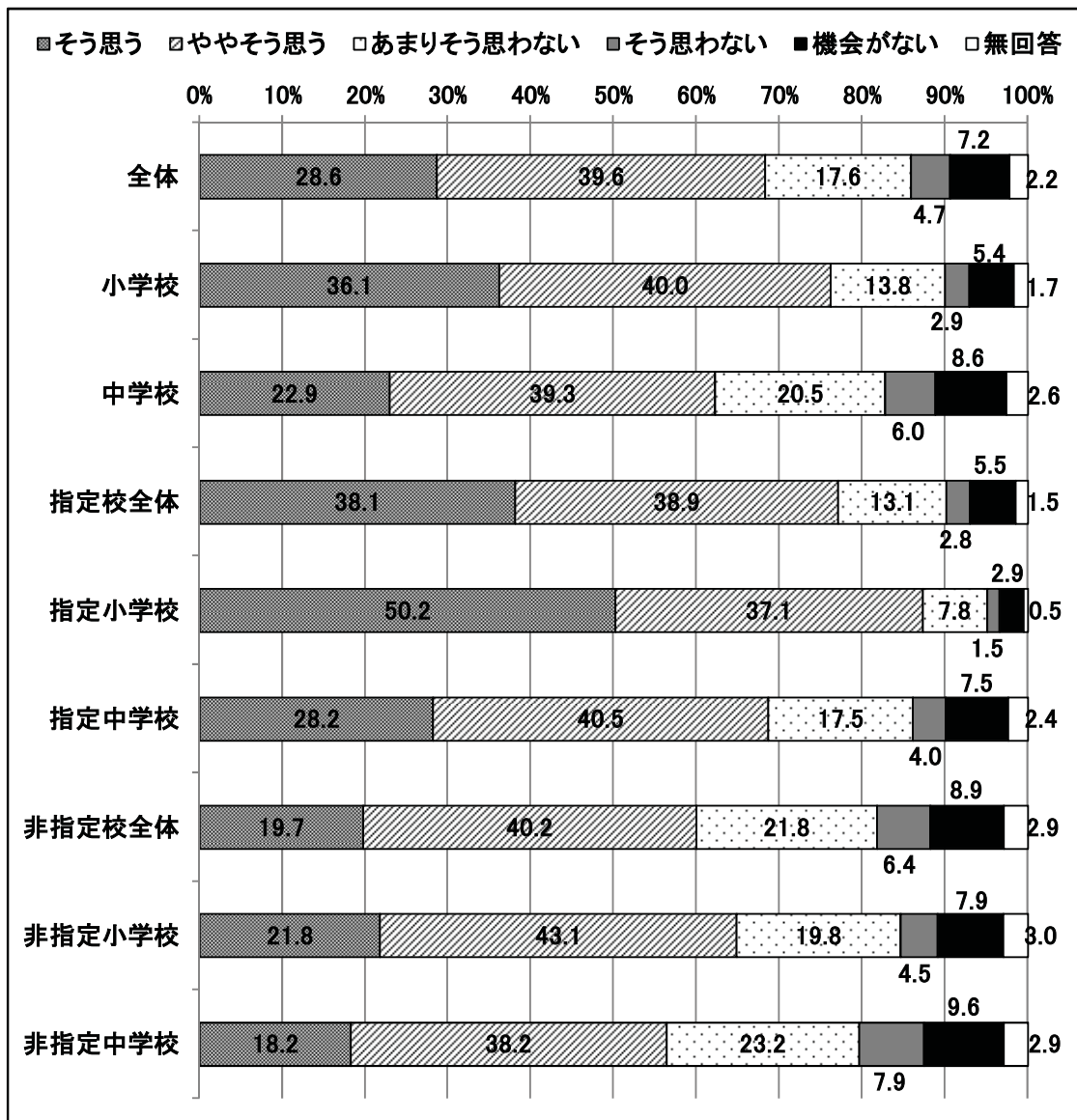




■「学習以外のボランティアが教育活動に参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した学校は全体の28.6%。「ややそう思う」が39.6%と最も多く、「あまりそう思わない」は17.6%、「そう思わない」は4.7%、「機会がない」は7.2%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した教職員の割合が指定校全体で38.1%に上り、非指定校の19.7%を大きく上回っている。また「あまりそう思わない」と回答した教職員の割合も指定校の方がやや少なく、指定校において学習以外のボランティアが積極的に教育活動に参加している様子が伺える。

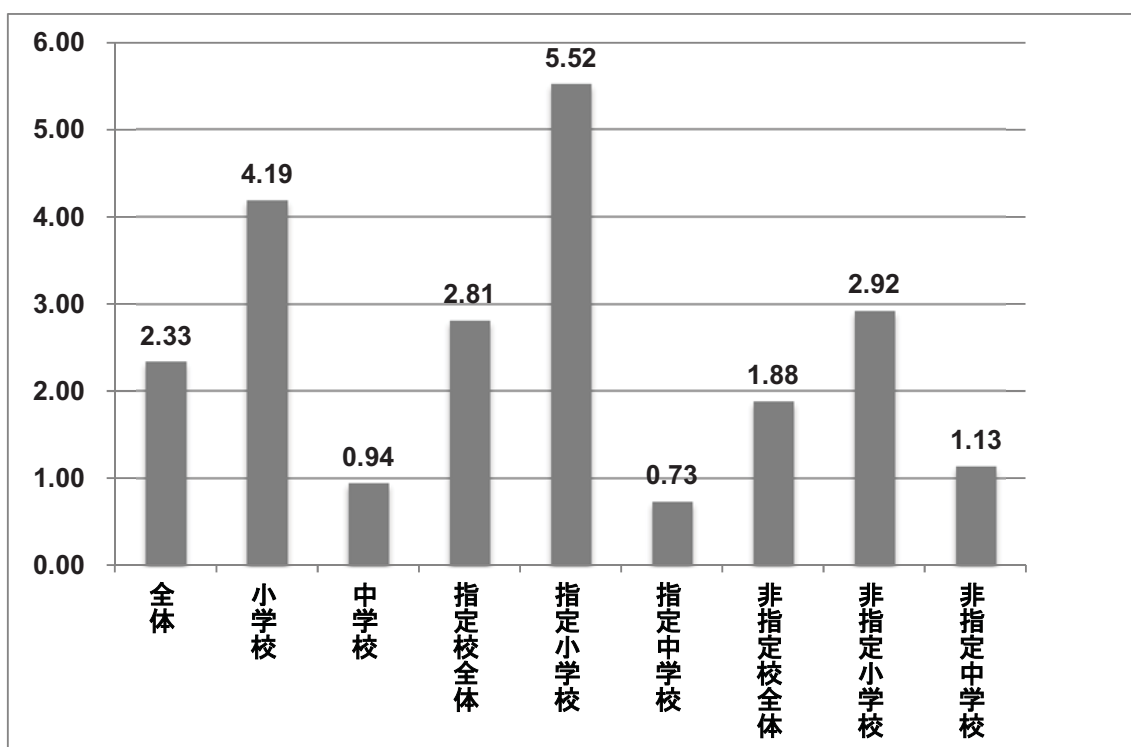
図 2-14 「学習以外のボランティアが教育活動に参加している」



### ■学校支援ボランティアをひと月あたりの活用数

1ヵ月あたりにどの位の学校支援ボランティアを活用しているかについては、全体平均で2.33人。校種別では、小学校4.19人に対し、中学校0.94人と小学校の方が積極的に活用されている。指定校と非指定校との比較では、指定校2.81人に対し、非指定校1.88人と指定校の方が多く、特に小学校では指定校5.52人、非指定校2.92人と、大きな差が出ていることが分かる。

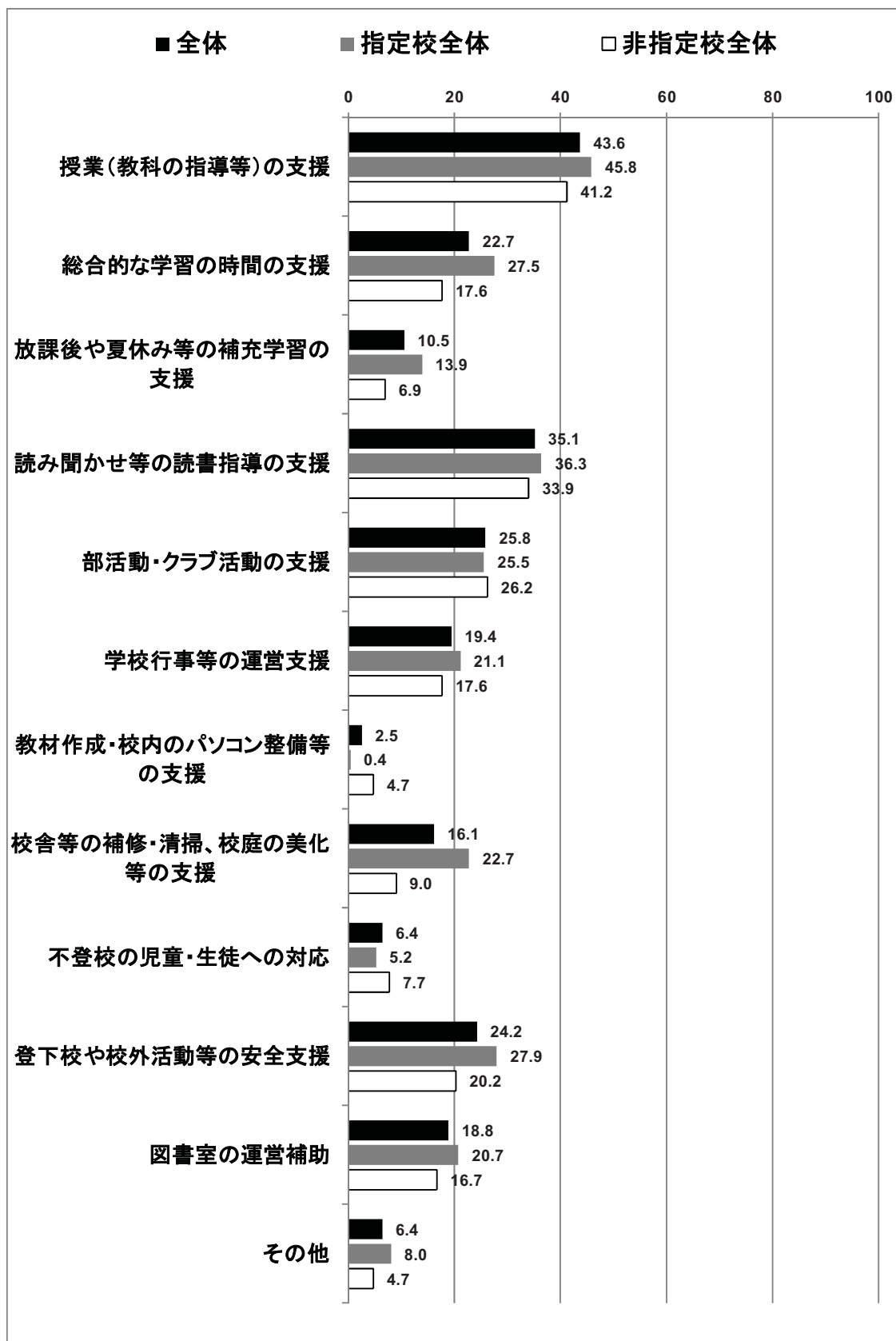
図 2-15 学校支援ボランティアをひと月あたりの活用数（月平均）



### ■活用している学校支援ボランティアの種類

どのような形で学校支援ボランティアを活用しているか（複数回答可）については、「授業（教科の指導等）の支援」が最も多く、全体で43.6%。以下、「読み聞かせ等の読書指導の支援」35.1%、「部活動・クラブ活動の支援」25.8%、「登下校や校外活動等の安全支援」24.2%と続いている。指定校と非指定校との比較では、概ねどの項目も指定校の方が上回っているが、特に「総合的な学習の時間の支援」「校舎等の補修・清掃、校庭の美化等の支援」などの項目で、指定校が非指定校を大きく上回っている。

図 2-16 活用している学校支援ボランティアの種類（活用している割合＝％）

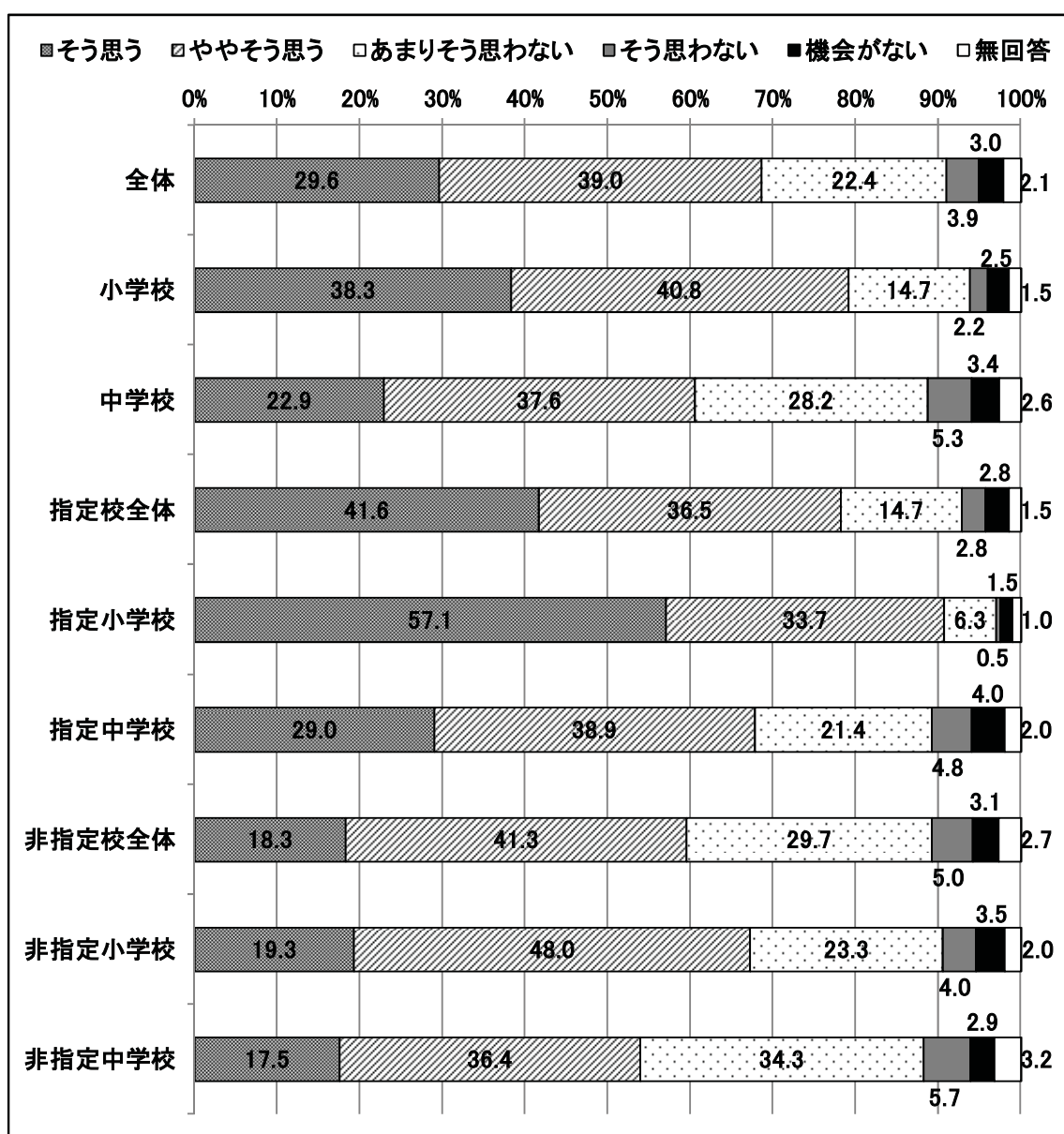


## Ⅱ あなたと地域との関係について

### ■「地域の方（保護者以外）が学校に来る機会が多い」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の29.6%。「ややそう思う」が最も多く39.0%、「あまりそう思わない」は22.4%、「そう思わない」は3.9%、「機会がない」は3.0%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で41.6%、非指定校で18.3%と大きな差が出るなど、全体的に指定校の方が地域の人たちがよく学校に来ている様子が伺える。

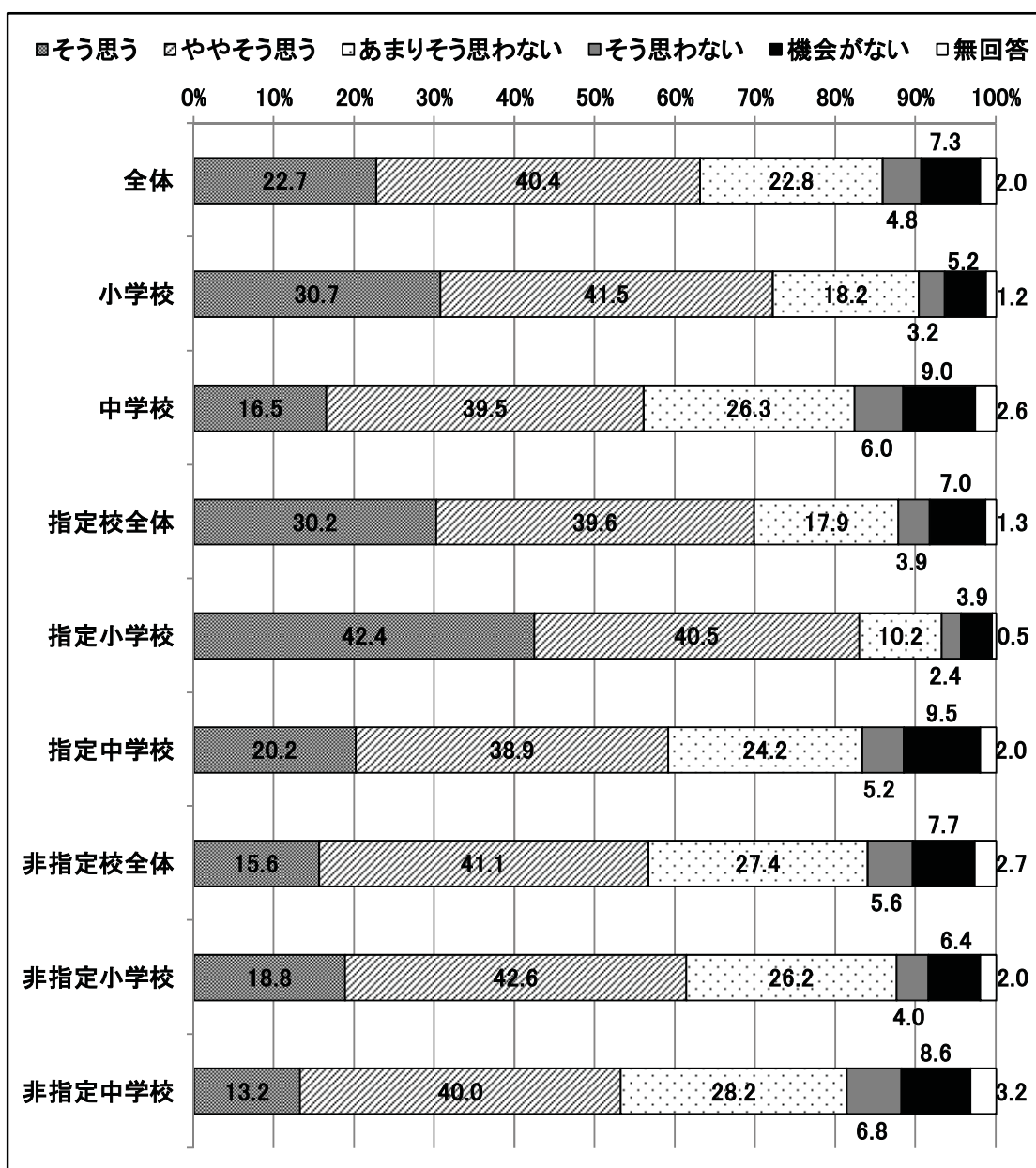
図 2-17 地域の方（保護者以外）が学校に来る機会が多い



### ■「地域の方とよく話をするようにしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の22.7%。「ややそう思う」が最も多く40.4%、「あまりそう思わない」は22.8%、「そう思わない」は4.8%、「機会がない」は7.3%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で30.2%、非指定校で15.6%と大きな差が出るなど、全体的に指定校の教職員の方が、地域の人たちとよく会話している様子が伺える。

図 2-18 地域の方とよく話をするようにしている

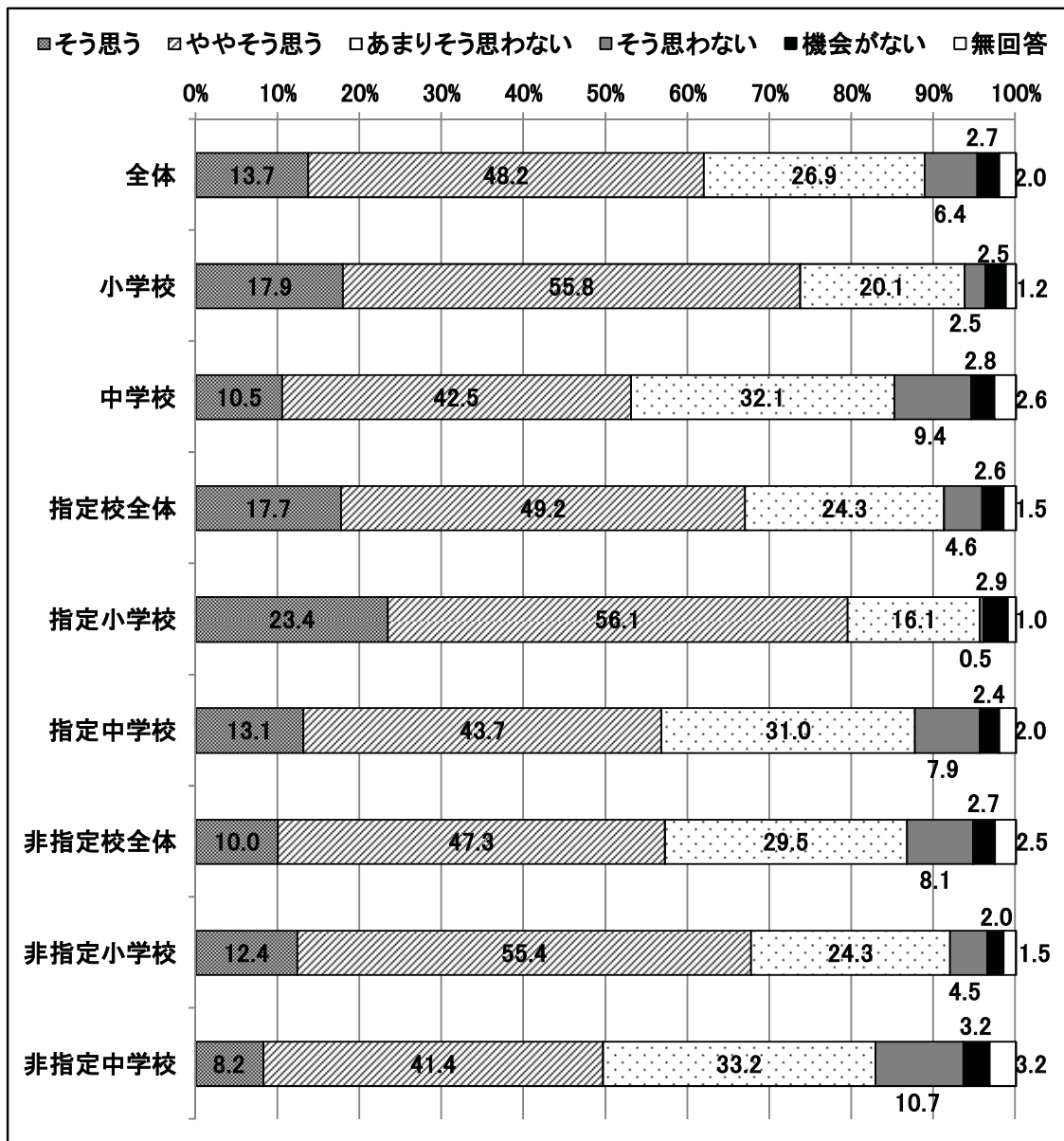




■「地域の行事やイベントなどの情報を把握している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の13.7%。「ややそう思う」が最も多く48.2%、「あまりそう思わない」は26.9%、「そう思わない」は6.4%、「機会がない」は2.7%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で17.7%、非指定校で10.0%となるなど、全体的に指定校の教職員の方が、地域の行事やイベントの情報をよく把握している様子が伺える。

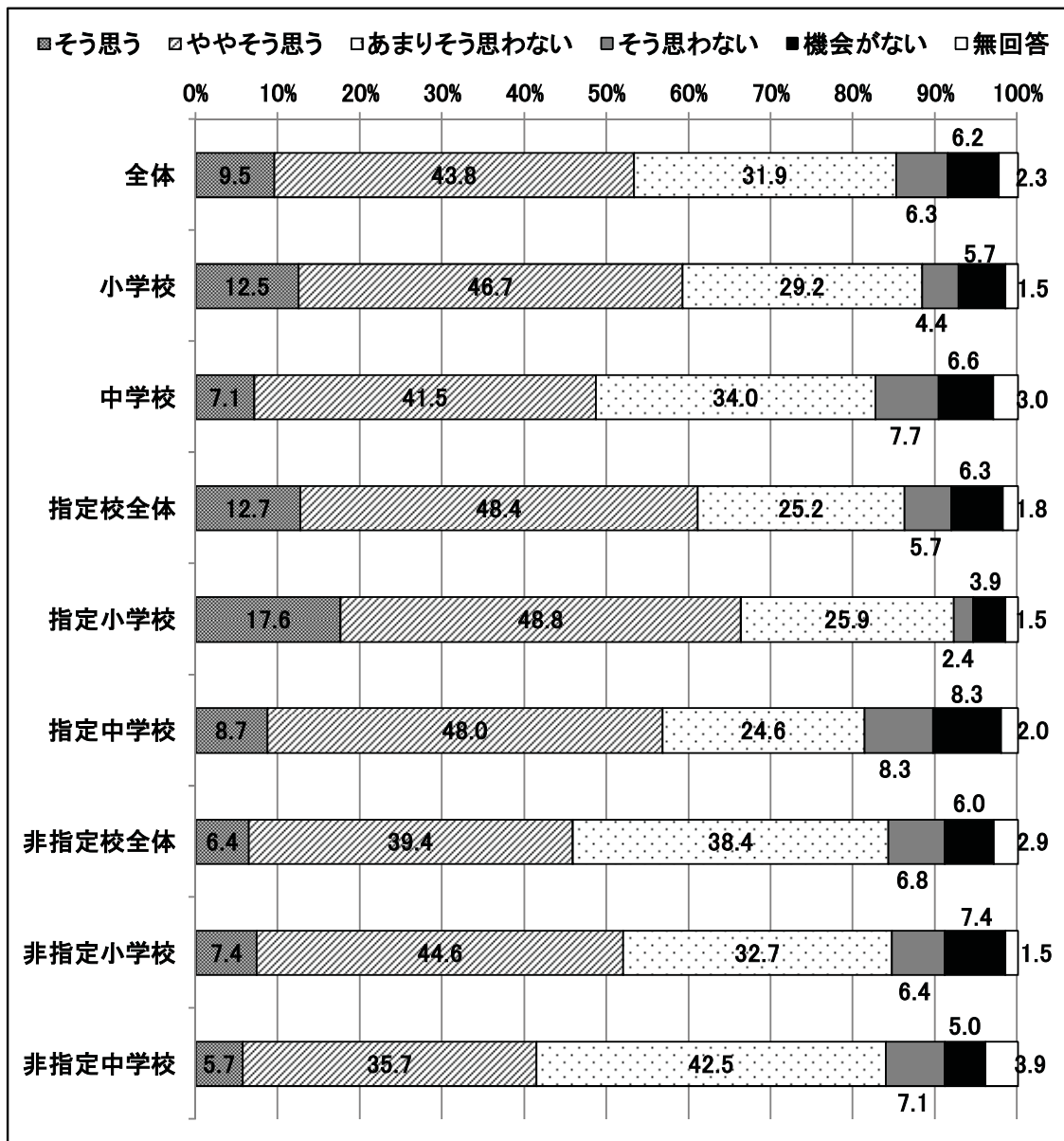
図 2-19 地域の行事やイベントなどの情報を把握している



■「子どもの事について、地域や関係機関と協議や情報共有をしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の9.5%。「ややそう思う」が最も多く43.8%、「あまりそう思わない」は31.9%、「そう思わない」は6.3%、「機会がない」は6.2%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で61.1%、非指定校で45.8%となるなど、全体的に指定校の教職員の方が、地域の人たちと子どものことについて情報共有が図っている様子が伺える。

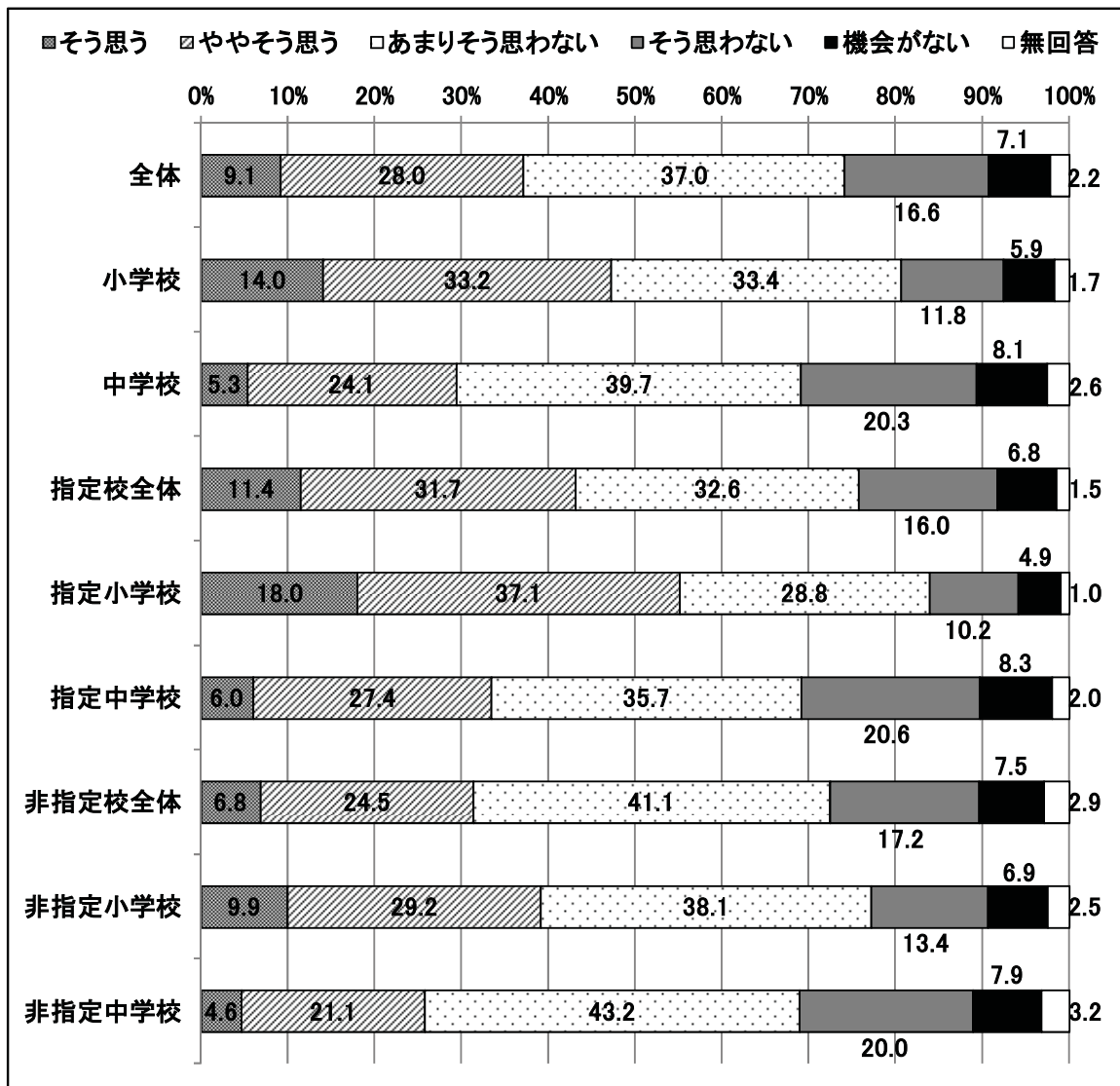
図 2-20 子どもの事について、地域や関係機関と協議や情報共有をしている



■「あなた自身はよく地域の行事に参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の9.1%。「ややそう思う」が28.0%、「あまりそう思わない」が最も多く37.0%、「そう思わない」は16.6%、「機会がない」は7.1%となっている。全体的に高くはないが、指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で43.1%、非指定校で31.3%となるなど、全体的に指定校の教職員の方が、地域の行事によく参加している様子が伺える。

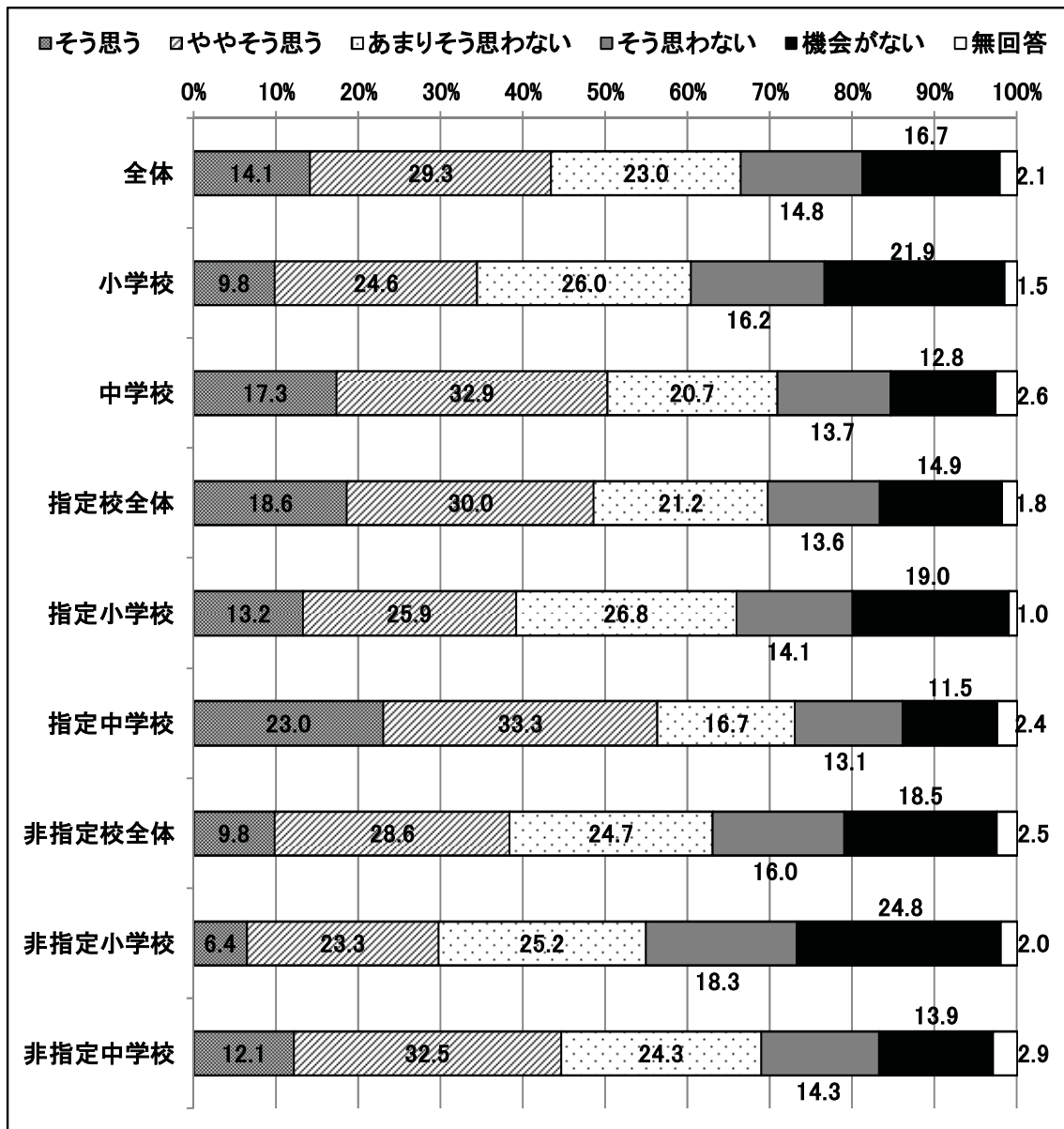
図 2-21 あなた自身はよく地域の行事に参加している



■「健全育成のために地域と学校と一緒にパトロール等を行う際にあなたも参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の14.1%。「ややそう思う」が29.3%で最も多く、「あまりそう思わない」は23.0%、「そう思わない」は14.8%、「機会がない」は16.7%となっている。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で48.6%、非指定校で38.4%となるなど、全体的に指定校の教職員の方が、地域の行事によく参加している様子が伺える。

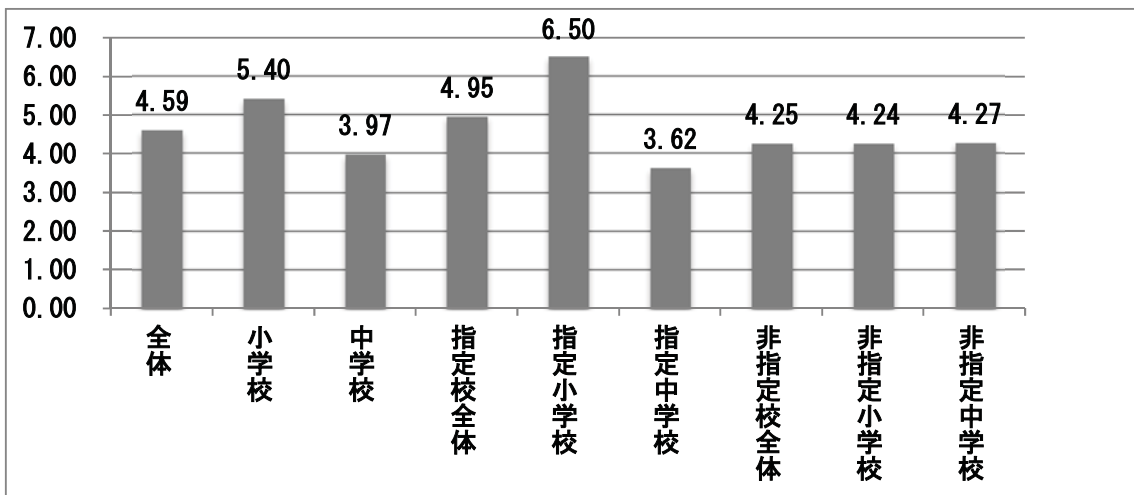
図 2-22 健全育成のために地域と学校と一緒にパトロール等を行う際にあなたも参加している



■過去1年で出会った地域住民数（保護者を除く）

過去1年間で出会った地域住民の数（保護者を除く）は、全体平均で4.59人。校種別では小学校5.40人、中学校3.97人と小学校の方がやや多い。指定校と非指定校との比較では、指定校4.95人、非指定校4.25人と指定校の方がやや高く、小学校では指定校6.50人、中学校4.25人とやや開きが出ている。一方で、中学校では指定校3.62人、非指定校4.27人と非指定校の方が若干多くなっている。

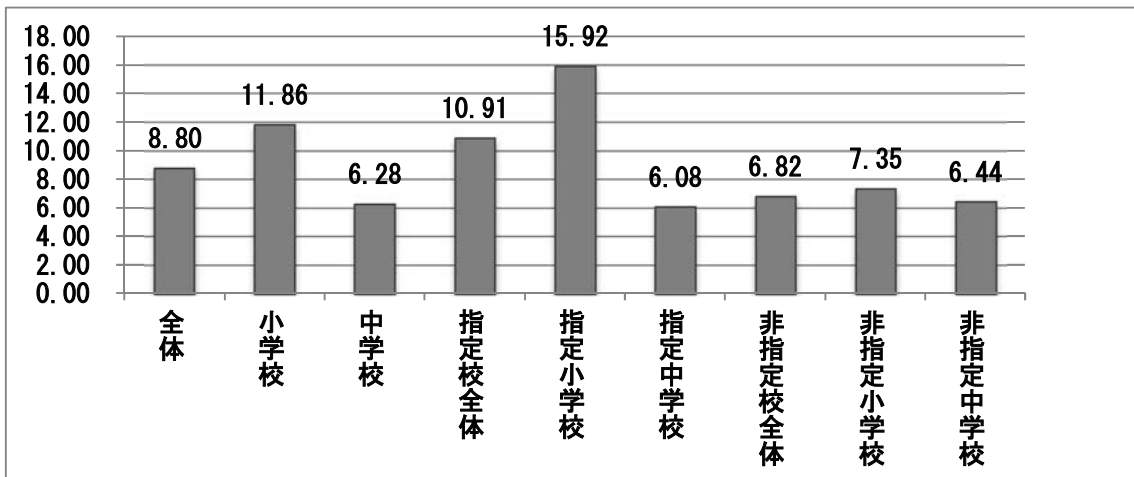
図2-23 過去1年で出会った地域住民数（保護者を除く）



■挨拶をしてくれる地域住民数

挨拶をしてくれる地域住民の数は、全体平均で8.80人。種別では小学校11.86人、中学校6.28人と小学校の方が多。指定校と非指定校との比較では、指定校10.91人、非指定校6.82人と指定校の方がやや高く、特に小学校では指定校15.92人、非指定校7.35人とやや開きが出ており、全体的に指定校の方が挨拶をしてくれる地域住民が多い様子が伺える。

図2-24 挨拶をしてくれる地域住民数

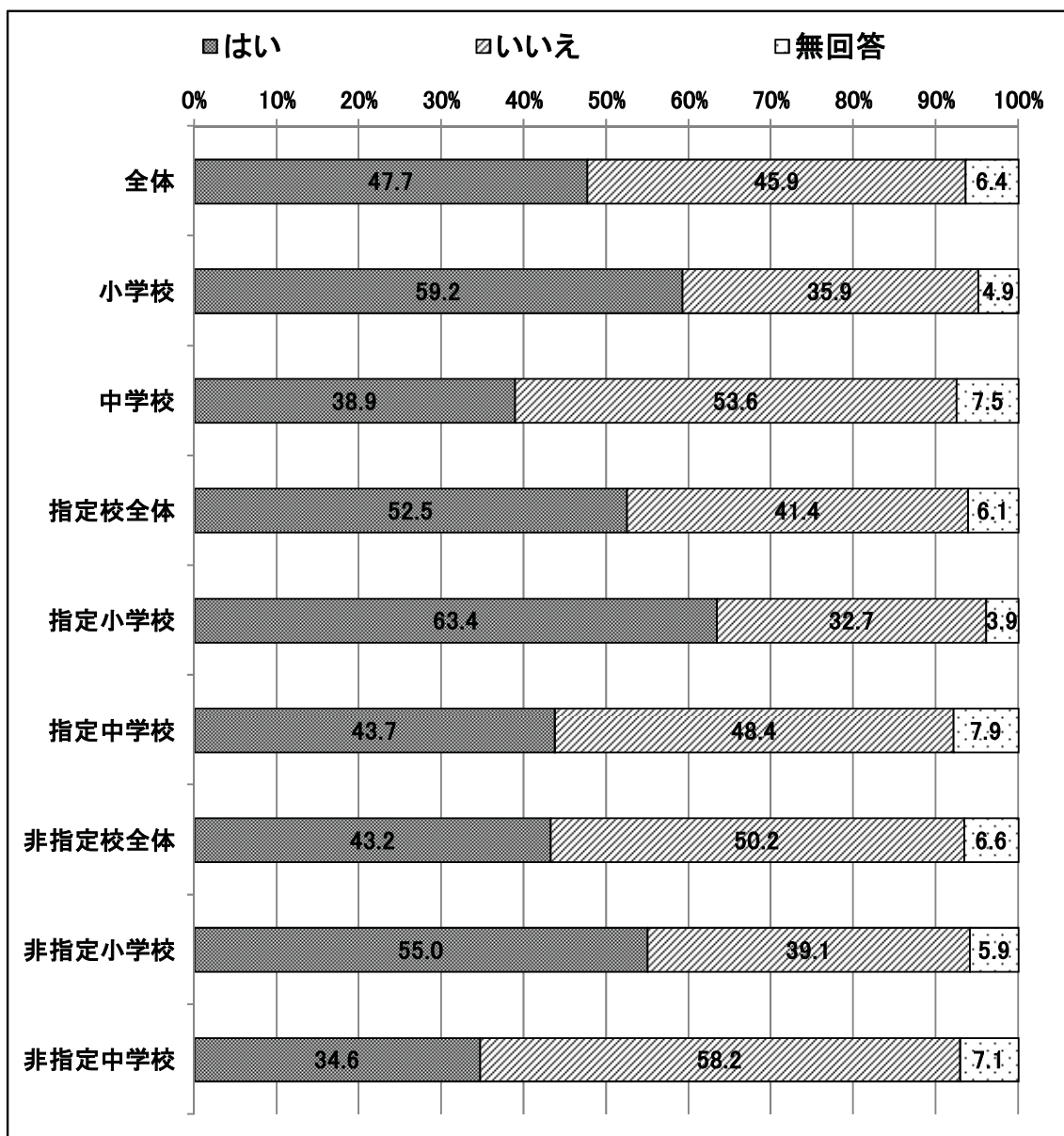




■学区内の町会長や自治会長の名の既知

学区内の町会長や自治会長の名前を知っているか否かについては、「はい」が全体で47.7%、「いいえ」が45.9%とほぼ拮抗している。校種別では、「はい」が小学校59.2%、中学校38.9%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「はい」が指定校52.5%、非指定校で43.2%となるなど、指定校の方がやや高くなるなど、指定校の教職員の方が学区内の町会長や自治会長の名前をよく知っている様子が伺える。

図 2-25 学区内の町会長や自治会長の名の既知

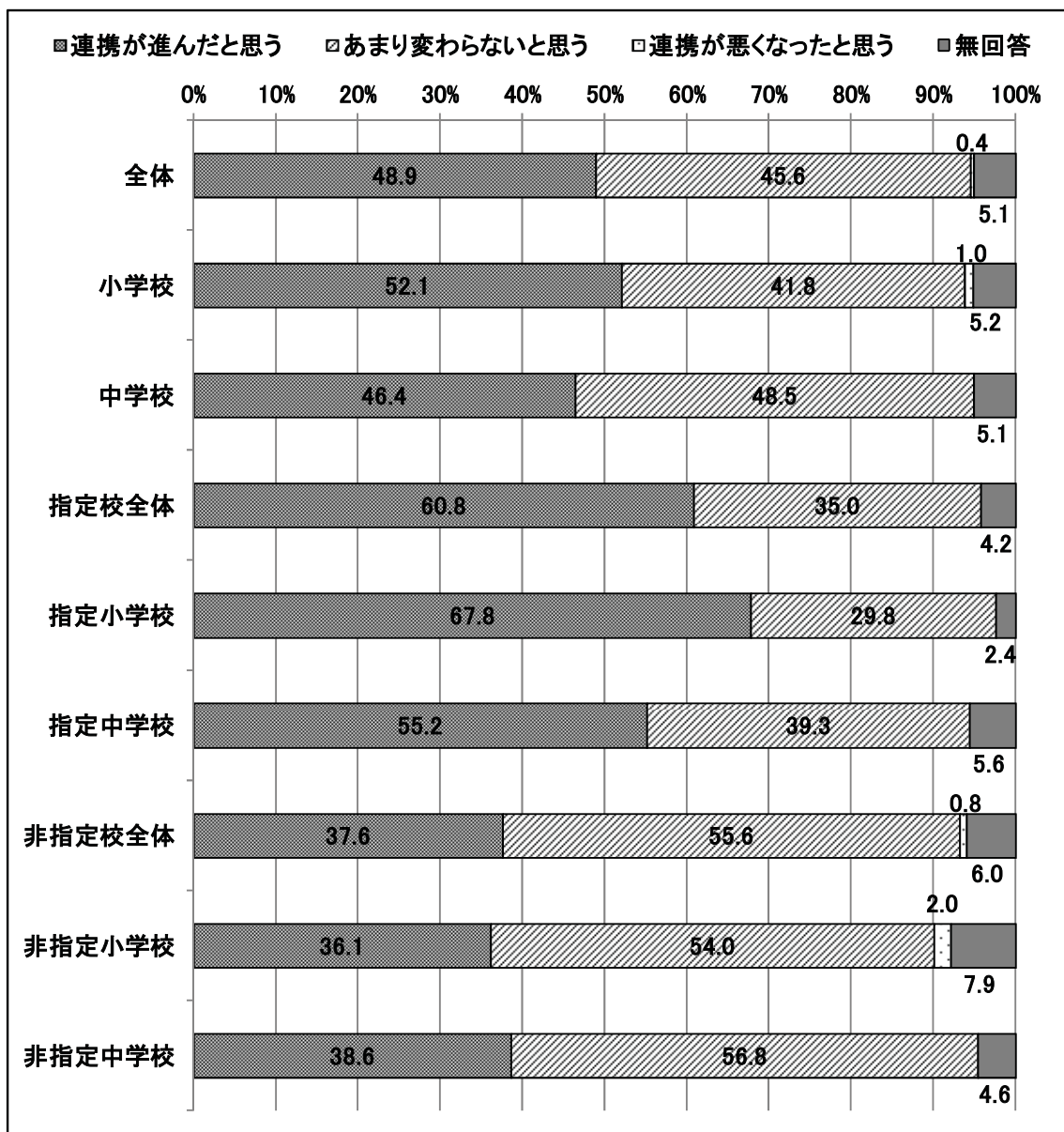


### Ⅲ 連携の進展について

#### ■勤務校と地域との連携の進捗に対する認識

学校と地域との連携がどの程度進んだかと思うかについては、「連携が進んだと思う」が全体の48.9%。「あまり変わらないと思う」が45.6%、「連携が悪くなったと思う」が0.4%となっている。校種別では、小学校の方がやや「連携が進んだと思う」と回答した教職員が多い。指定校と非指定校との比較では、「連携が進んだと思う」が指定校で60.8%、非指定校で37.6%と大きな差が出ており、指定校の教職員の方が地域との連携が進んだという認識を強く持っている様子が伺える。

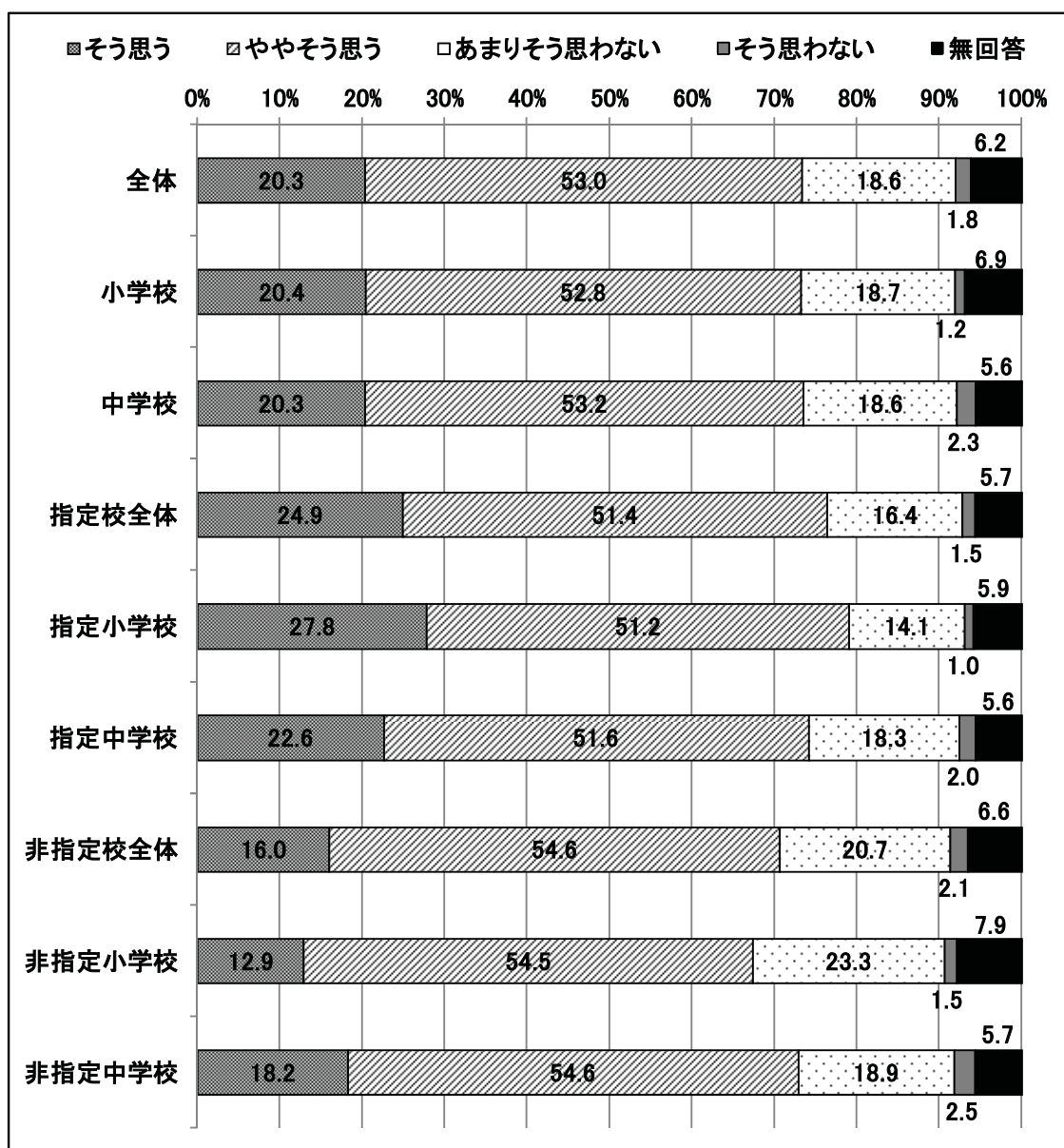
図 2-26 勤務校と地域との連携の進捗に対する認識



### ■「授業や行事が改善・充実された」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の20.3%。「ややそう思う」が最も多く53.0%、「あまりそう思わない」が18.6%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で24.9%、非指定校で16.0%と差が生じるなど、指定校の方が授業や行事が改善・充実に向かっている様子が伺える。

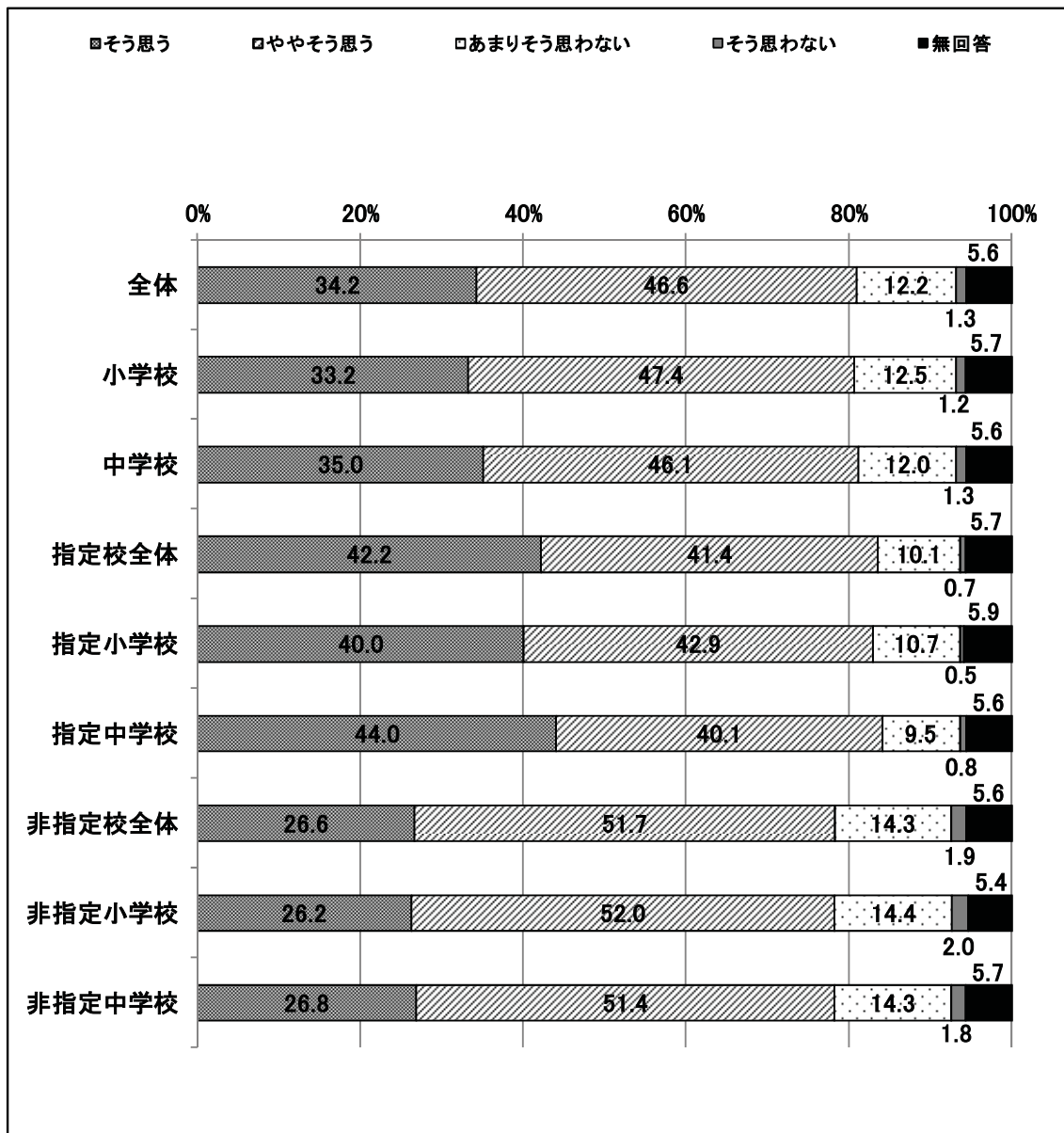
図 2-27 「授業や行事が改善・充実された」



■「学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の34.2%。「ややそう思う」が最も多く46.6%、「そう思う」が34.2%、「あまりそう思わない」が12.2%、「そう思わない」が1.3%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で42.2%、非指定校で26.6%と差が生じるなど、指定校の方が学校便りやホームページを通じた情報発信が活発化している様子が伺える。

図 2-28 「学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった」

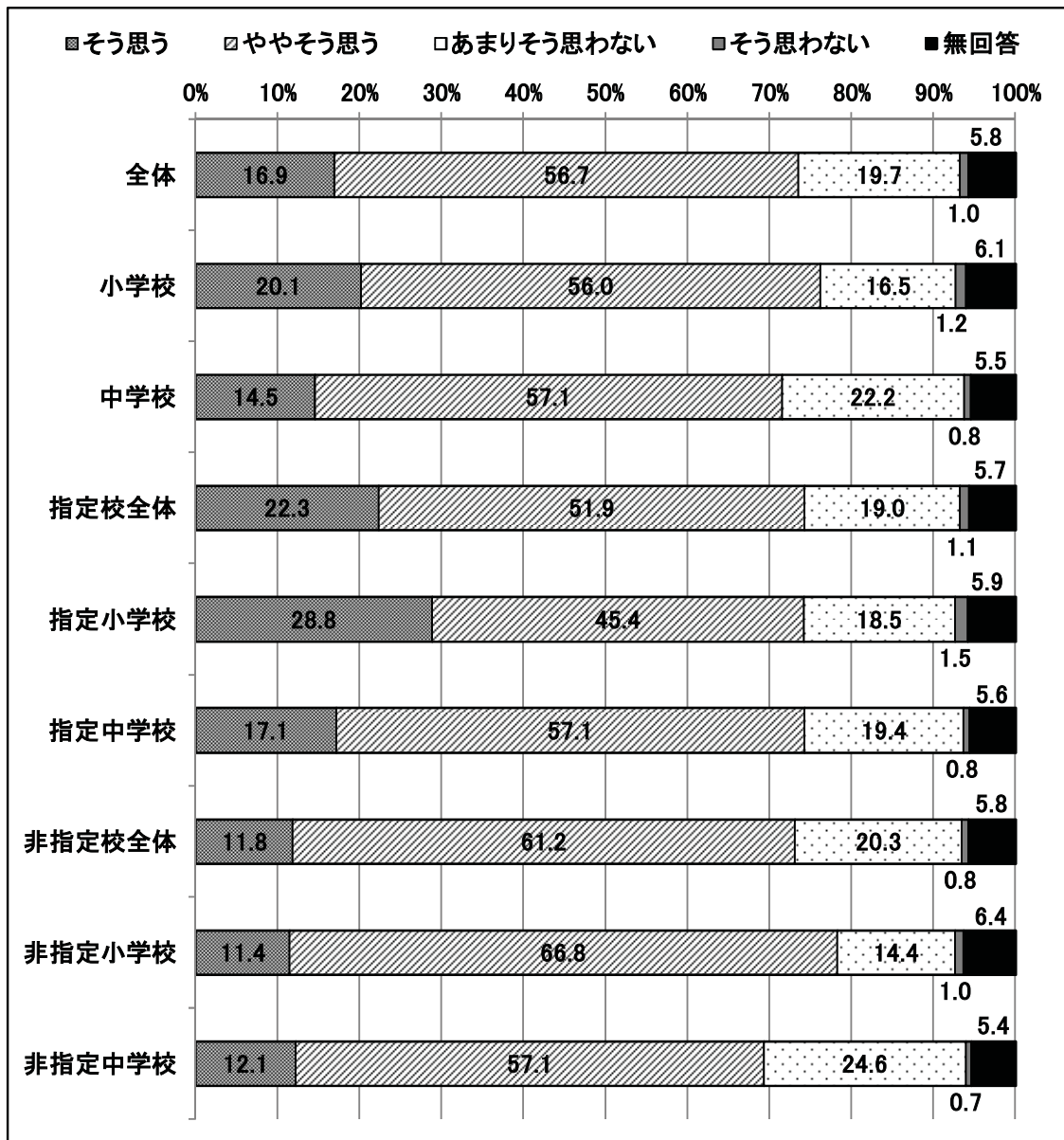




■「保護者や地域の方が子どものことを相談しやすい学校になった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の16.9%。「ややそう思う」が最も多く56.7%、「あまりそう思わない」が19.7%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で20.1%、中学校で14.5%とやや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で22.3%、非指定校で11.8%となるなど、指定校の方が保護者や地域の方が子どものことで相談しやすい学校となりつつある様子が伺える。

図 2-29 「保護者や地域の方が子どものことを相談しやすい学校になった」

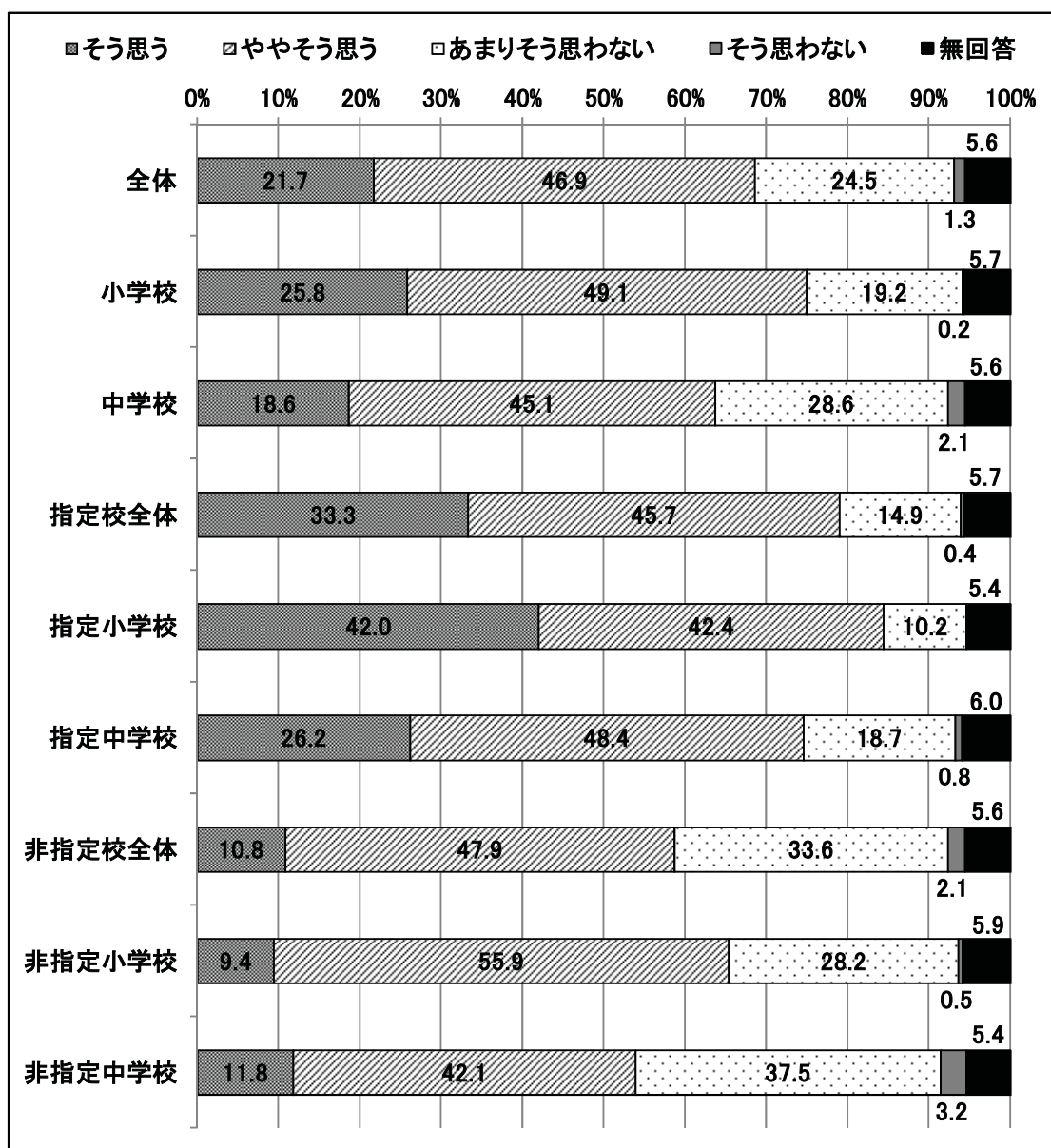




### ■「地域の特色を活かした学校づくりが進んだ」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の21.7%。「ややそう思う」が最も多く46.9%、「あまりそう思わない」が24.5%、「そう思わない」が1.3%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校25.8%、中学校18.6%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で33.3%、非指定校で10.8%と圧倒的に指定校の方が高く、学校の特色づくりが推進されている様子が伺える。

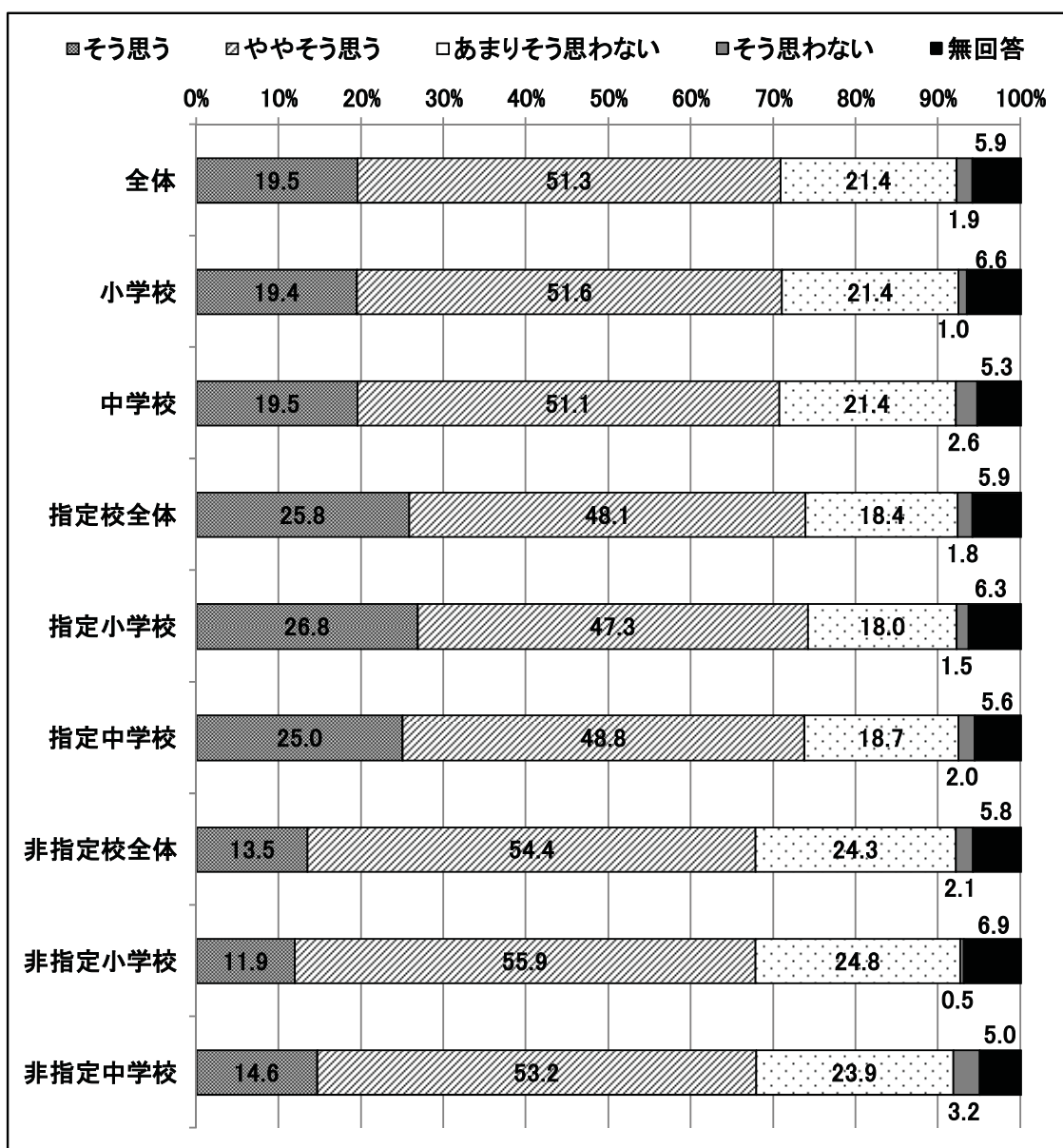
図 2-30 「地域の特色を活かした学校づくりが進んだ」



### ■「学校が活性化した」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の19.5%。「ややそう思う」が最も多く51.3%、「あまりそう思わない」が21.4%、「そう思わない」が1.9%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で25.8%、非指定校で13.5%となるなど、指定校の方が学校の活性化が進んでいる様子が伺える。

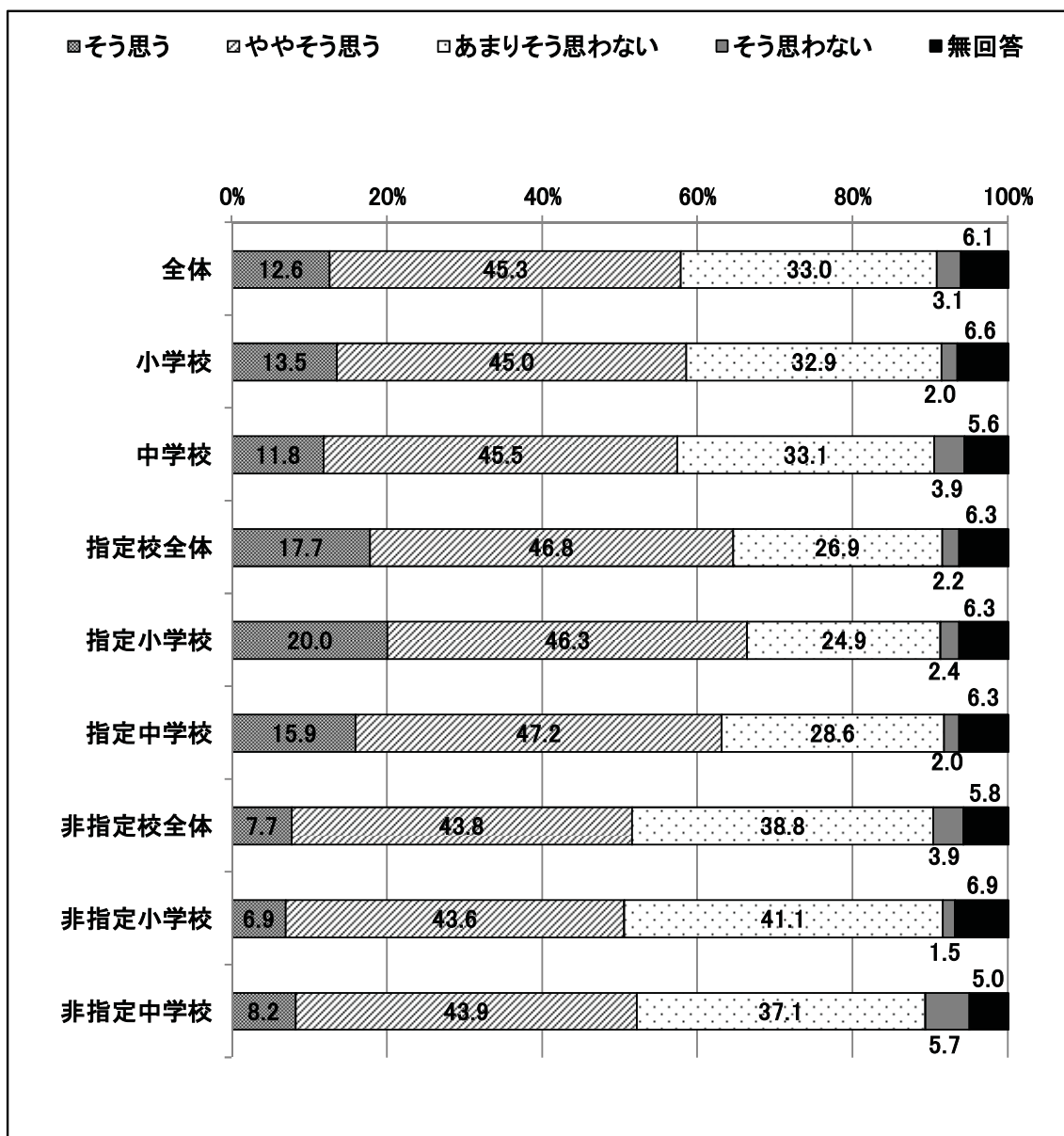
図 2-31 「学校が活性化した」



■「新たな教育活動を行いやすくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の12.6%。「ややそう思う」が最も多く45.3%、「あまりそう思わない」が33.0%、「そう思わない」が3.1%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で17.7%、非指定校で7.7%となるなど、指定校の方が新たな教育活動を進めやすくなってきている様子が伺える。

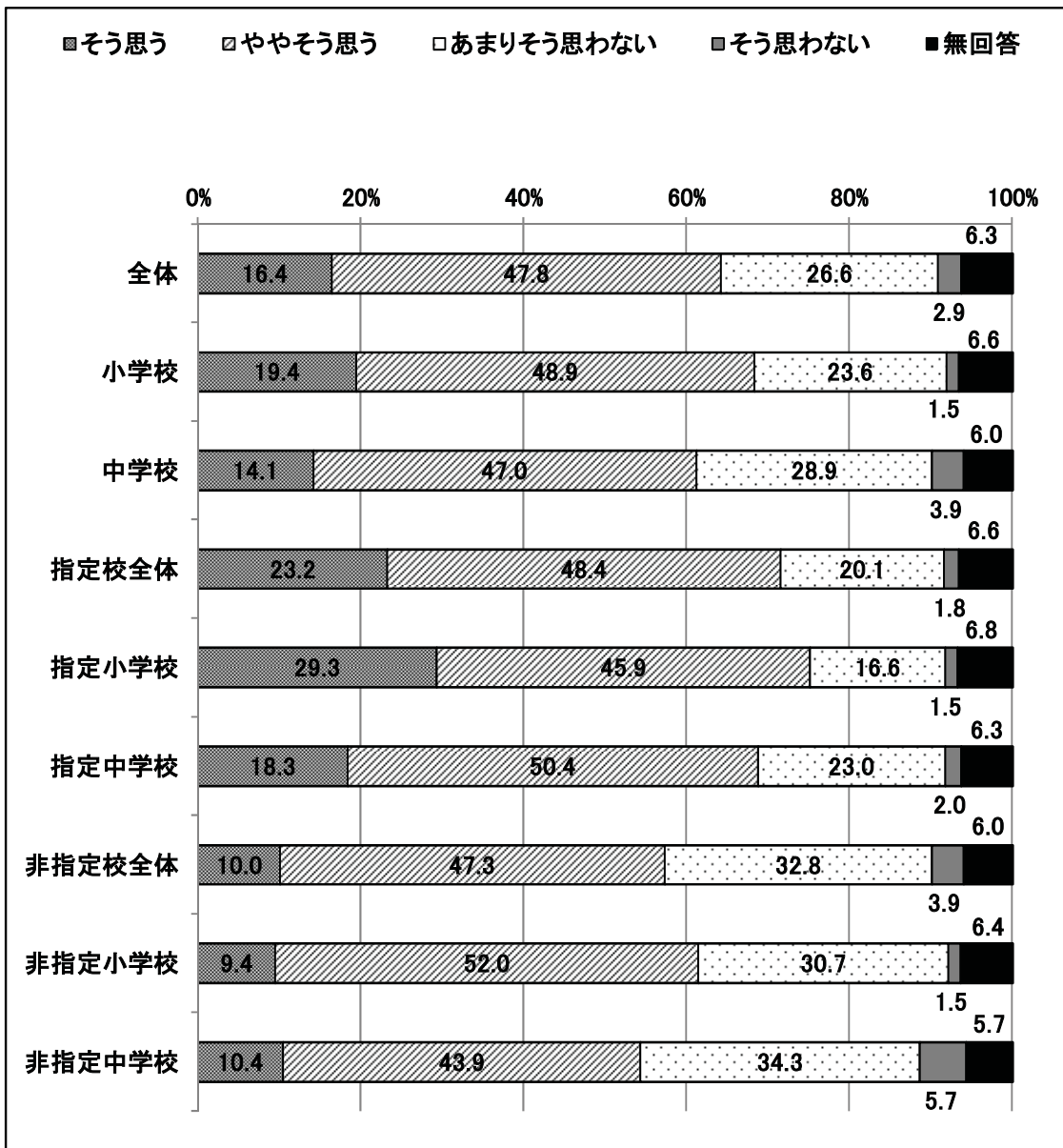
図 2-32 「新たな教育活動を行いやすくなった」



■「地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の16.4%。「ややそう思う」が最も多く47.8%、「あまりそう思わない」が26.6%、「そう思わない」が2.9%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校19.4%、中学校14.1%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で23.2%、非指定校で10.0%となるなど、指定校の方が地域の大人が学校に入ることによって健全育成の効果が出てきている様子が伺える。

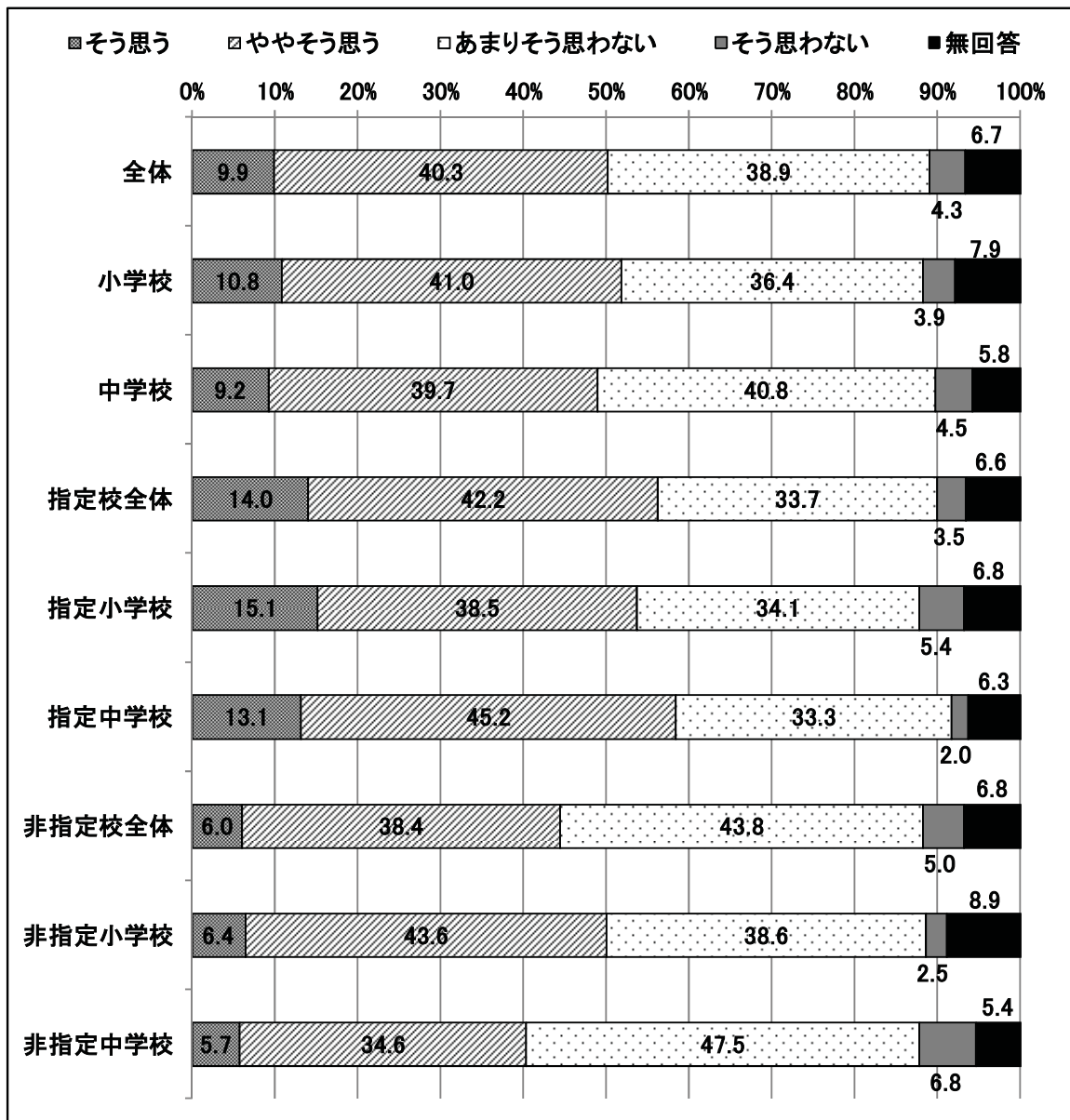
図 2-33 「地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている」



■「児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の9.9%。「ややそう思う」が最も多く40.3%、「あまりそう思わない」が38.9%、「そう思わない」が4.3%となっている。校種別差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で56.2%、非指定校で44.4%となるなど、指定校の方が問題行動が減少してきている様子が伺える。

図 2-34 「児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた」

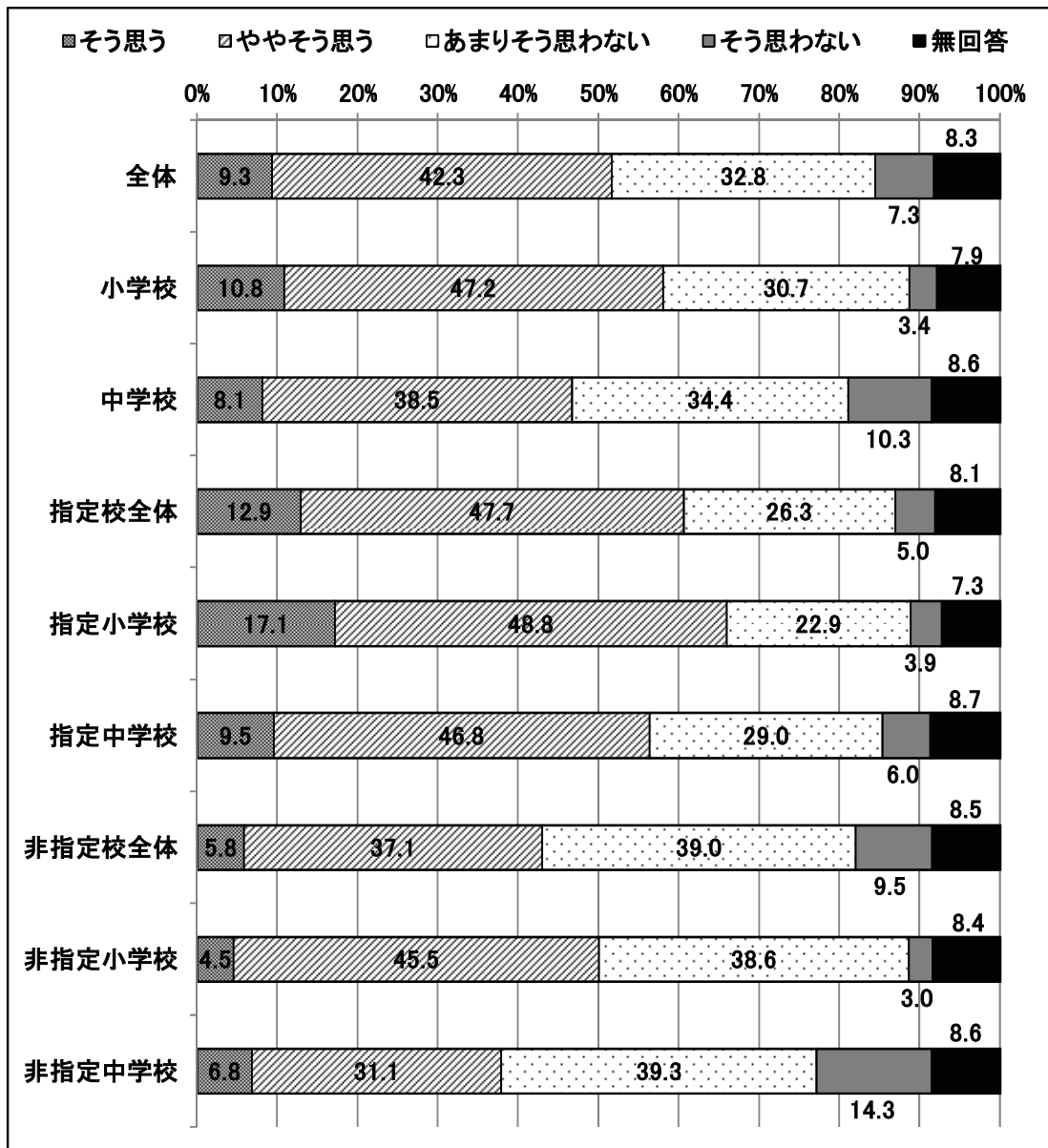




■「学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の9.3%。「ややそう思う」が最も多く42.3%、「あまりそう思わない」が32.8%、「そう思わない」が7.3%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校10.8%、中学校8.1%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で60.6%、非指定校で42.9%となるなど、指定校の方が学習ボランティア等の成果を実感している教職員が多い様子が伺える。

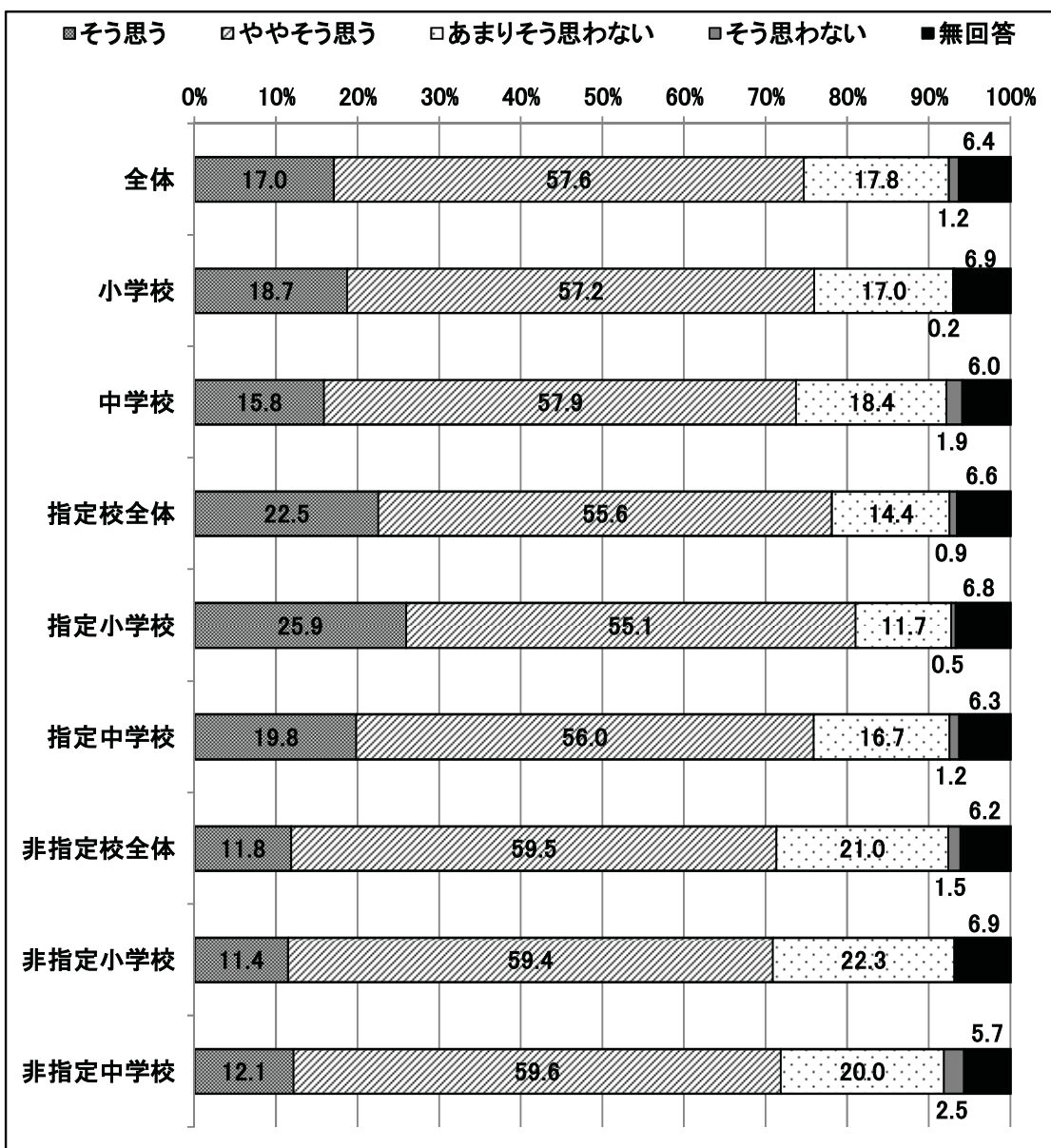
図 2-35 「学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている」



■「地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の17.0%。「ややそう思う」が最も多く57.6%、「あまりそう思わない」が17.8%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校18.7%、中学校15.8%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で22.5%、非指定校で11.8%となるなど、指定校の方が地域や保護者の意向を意識して職務を行っている様子が伺える。

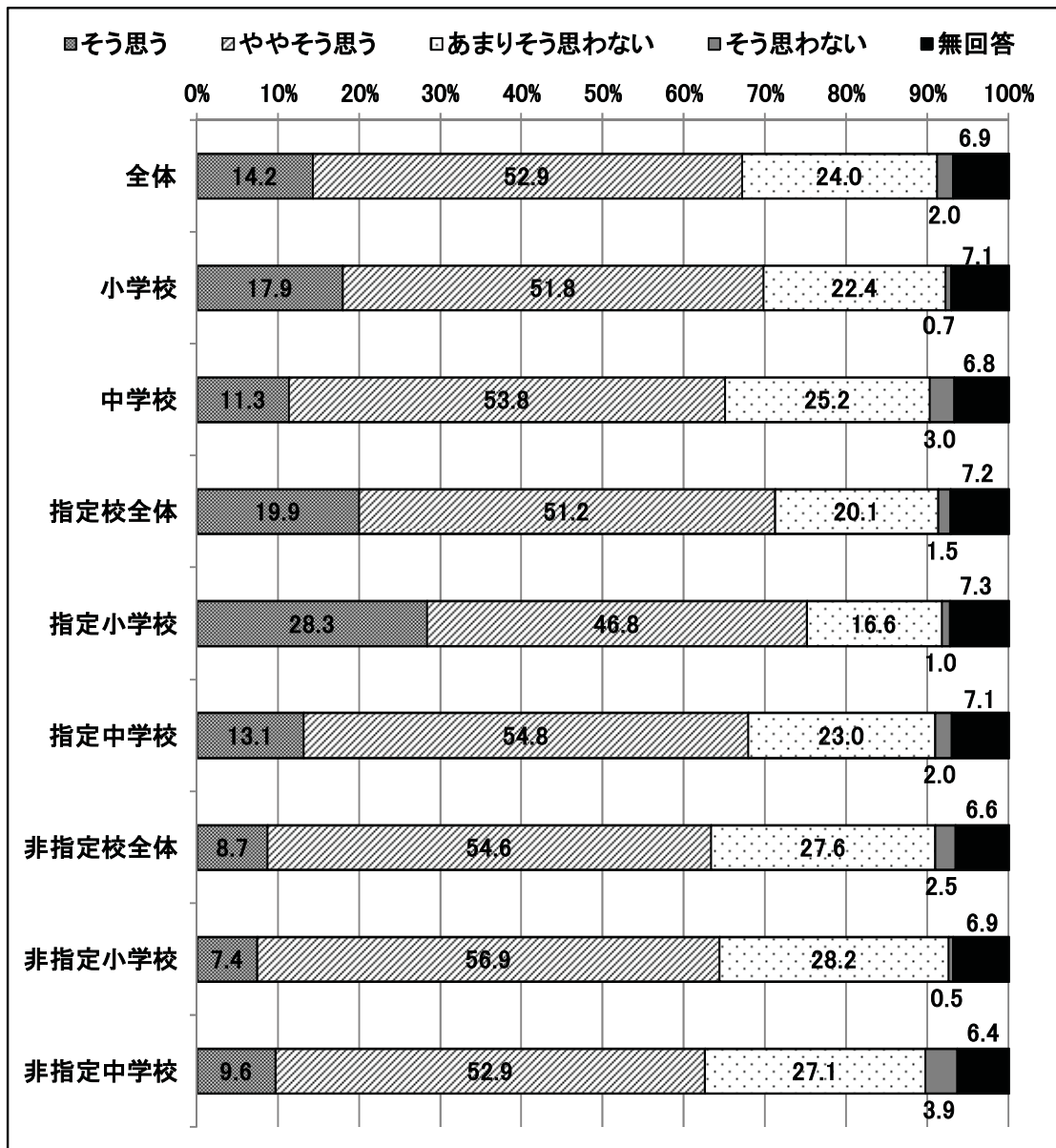
図 2-36 「地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった」



■「地域や保護者を教育のパートナーとして信頼できるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の14.2%。「ややそう思う」が最も多く52.9%、「あまりそう思わない」が24.0%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校17.9%、中学校11.3%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で19.9%、非指定校で8.7%となるなど、指定校の教職員の方が、地域や保護者とのパートナーシップが深まっている様子が伺える。

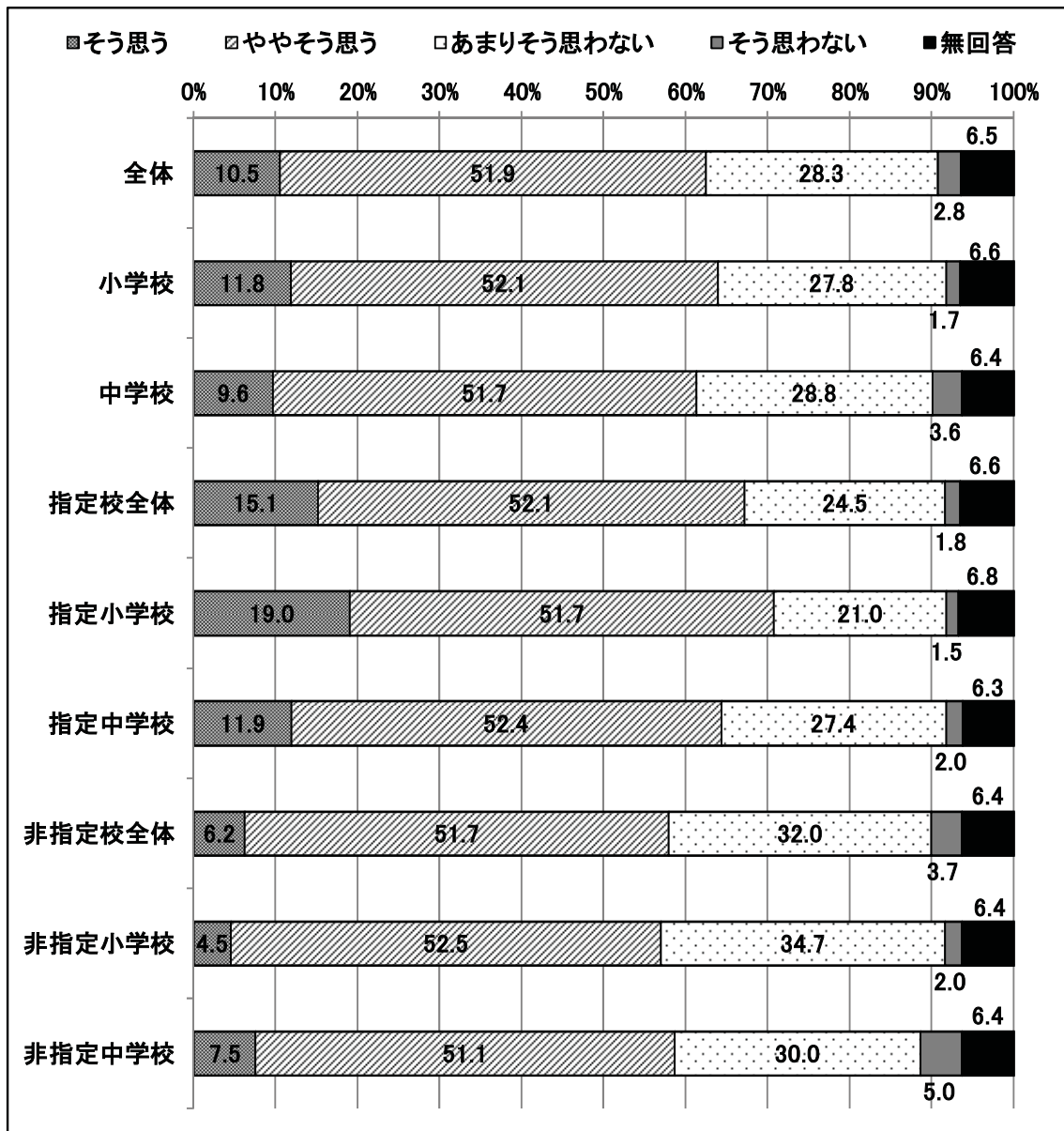
図 2-37 「地域や保護者を教育のパートナーとして信頼できるようになった」



■「地域の課題を当事者として受けとめられるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の10.5%。「ややそう思う」が最も多く51.9%、「あまりそう思わない」が28.3%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校11.8%、中学校9.6%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で15.1%、非指定校で6.2%となるなど、指定校の教職員の方が、地域の課題を当事者として受け止めるようになってきている様子が伺える。

図 2-38 「地域の課題を当事者として受けとめられるようになった」

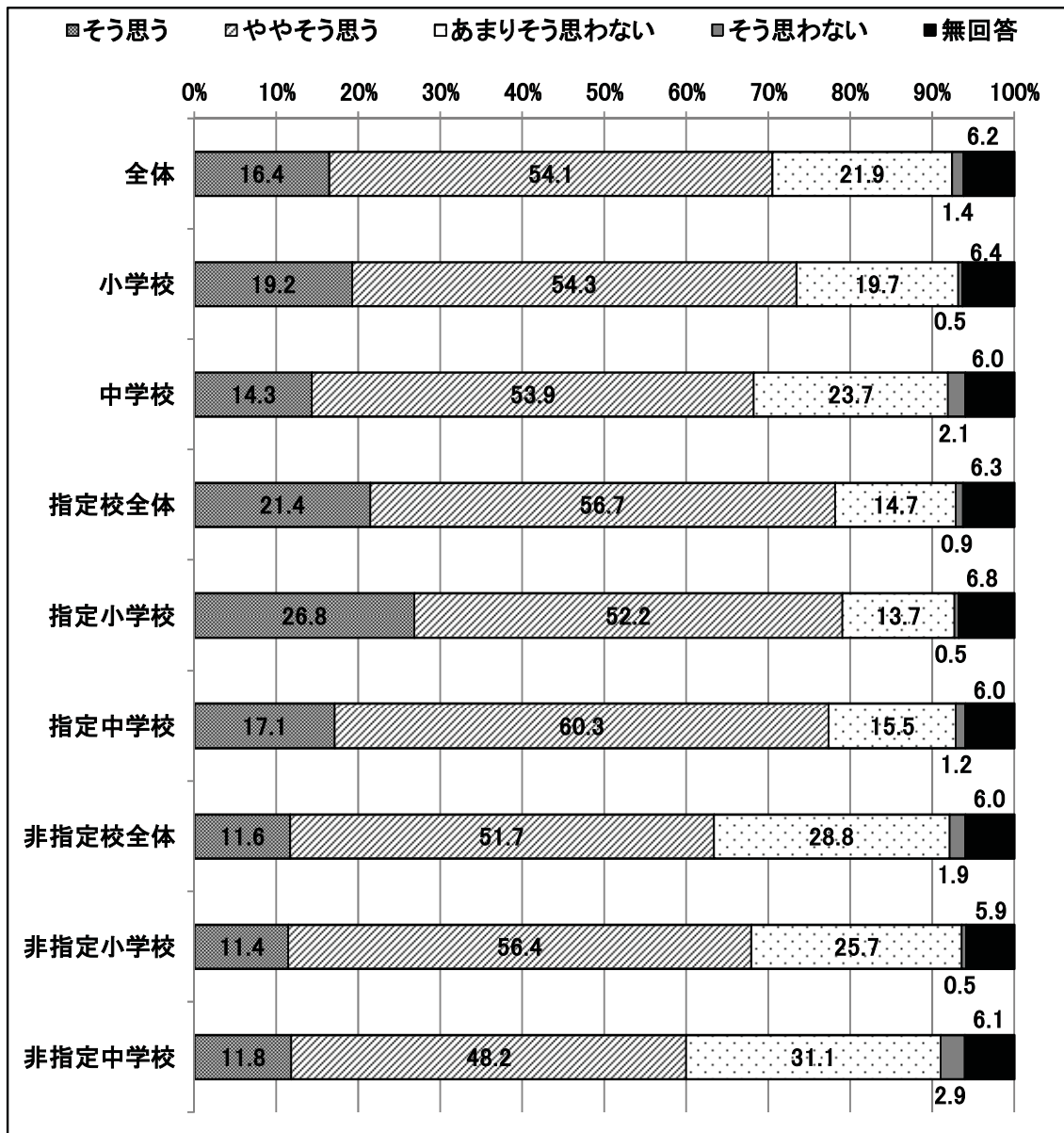




### ■「学校と地域の風通しが良くなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の16.4%。「ややそう思う」が最も多く54.1%、「あまりそう思わない」が21.9%、「そう思わない」が1.4%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校19.2%、中学校14.3%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で21.4%、非指定校で11.6%となるなど、指定校の教職員の方が、学校と地域との風通しの良さを認識している様子が伺える。

図 2-39 「学校と地域の風通しが良くなった」

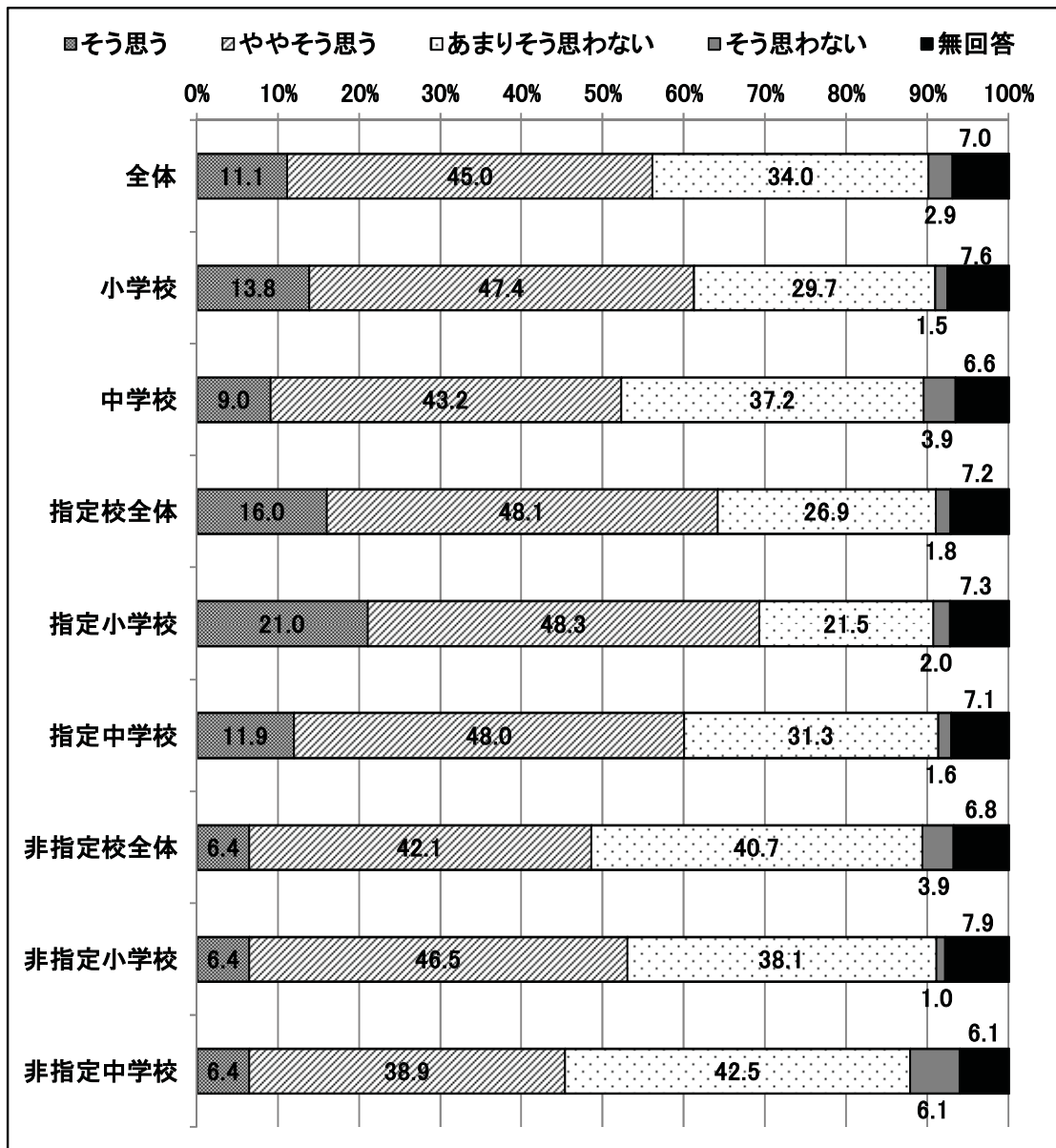




■「児童・生徒が地域のことに興味をもつようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の11.1%。「ややそう思う」が最も多く45.0%、「あまりそう思わない」が34.0%、「そう思わない」が2.9%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校13.8%、中学校9.0%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で64.1%、非指定校で48.5%となるなど、指定校の教職員の方が、地域の児童・生徒への関心の高まりを感じている様子が伺える。

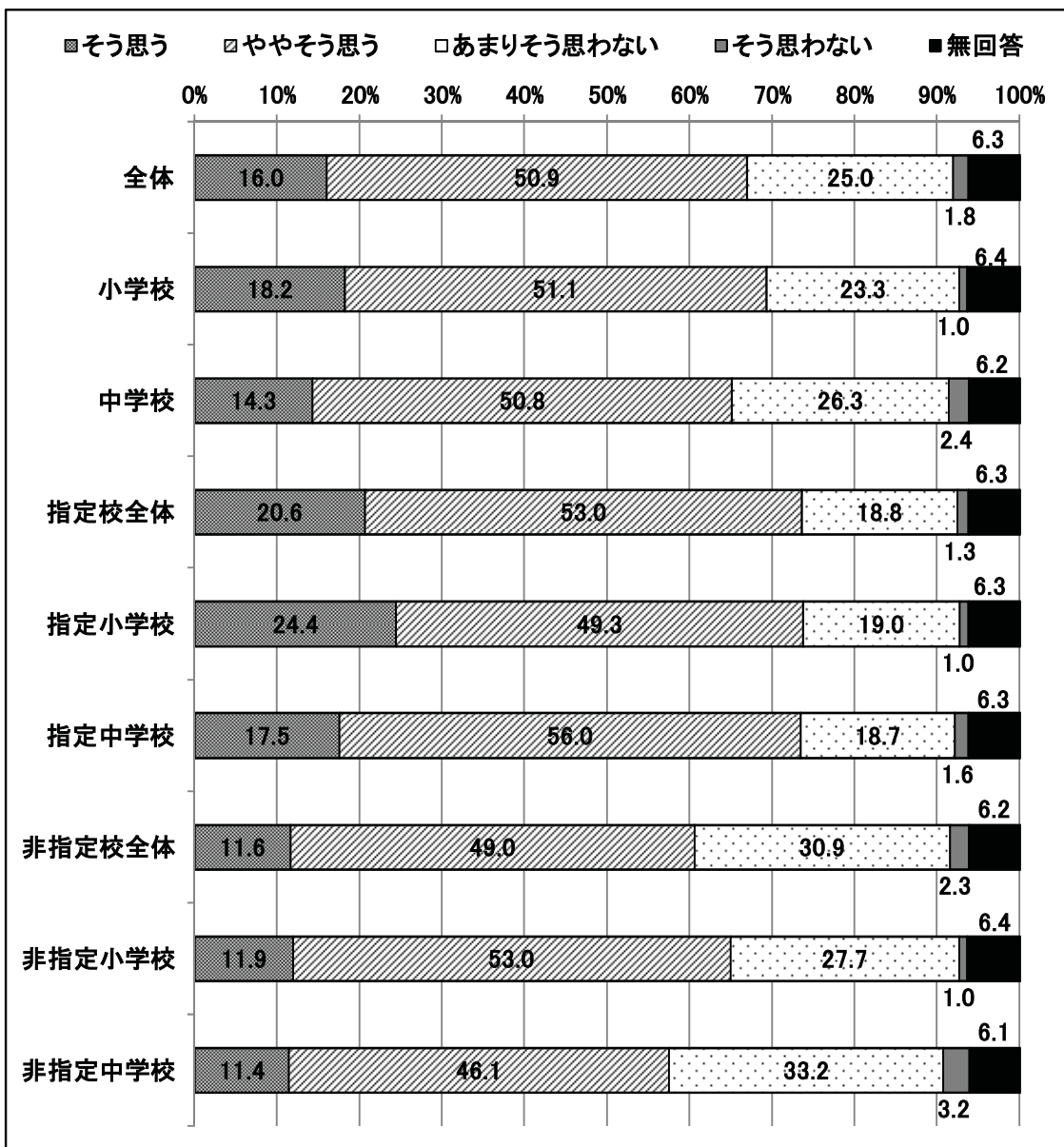
図 2-40 「児童・生徒が地域のことに興味をもつようになった」



■「児童・生徒が地域行事に参加するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の16.0%。「ややそう思う」が最も多く50.9%、「あまりそう思わない」が25.0%、「そう思わない」が1.8%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校18.2%、中学校14.3%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で20.6%、非指定校で11.6%となるなど、指定校の方が児童・生徒の地域行事への参加が増えている様子が伺える。

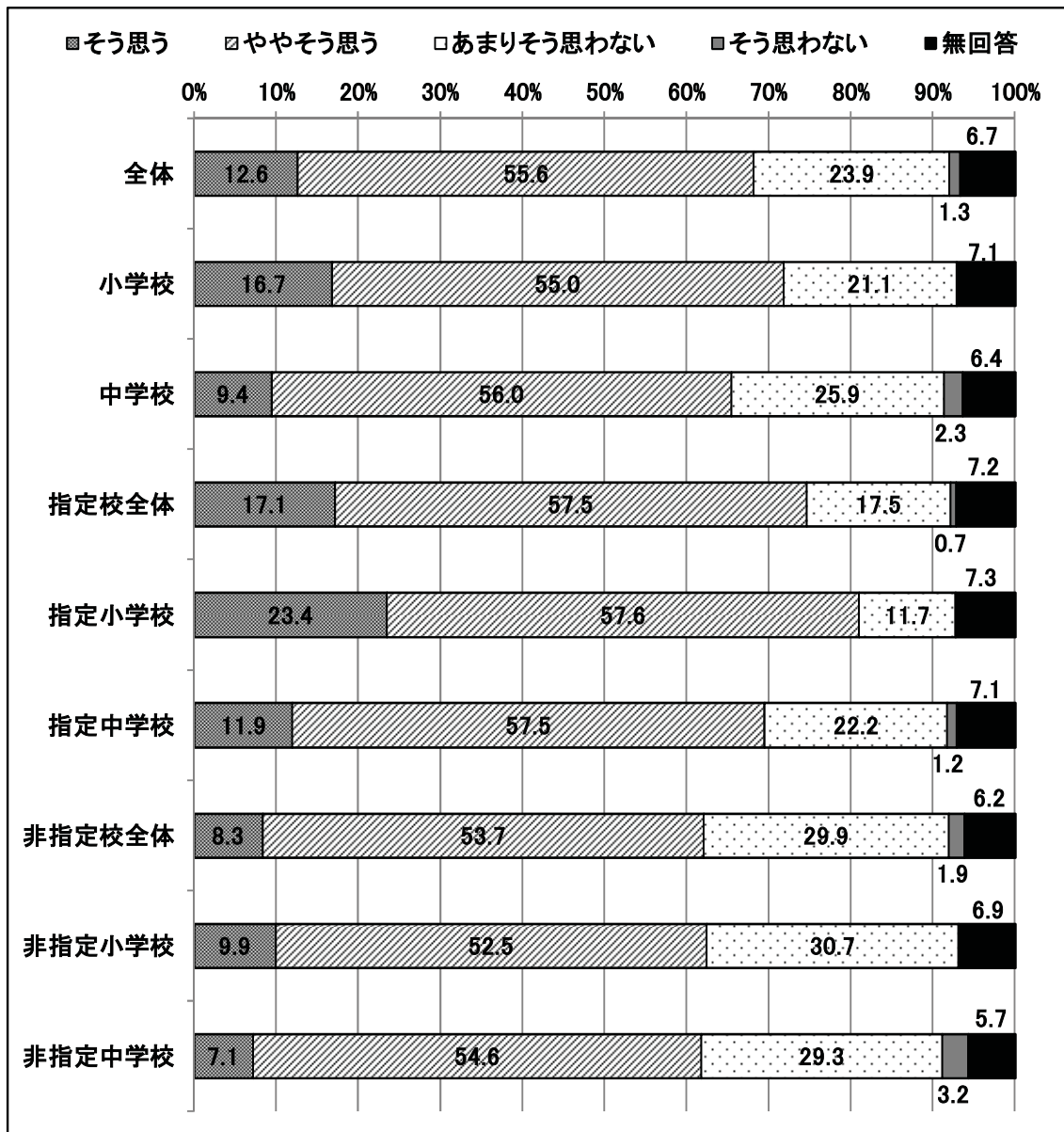
図 2-41 「児童・生徒が地域行事に参加するようになった」



■「教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の12.6%。「ややそう思う」が最も多く55.6%、「あまりそう思わない」が23.9%、「そう思わない」が1.3%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校16.7%、中学校9.4%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で17.1%、非指定校で8.3%となるなど、指定校の方が、地域や保護者の願いや意見が教育活動に反映されている様子が伺える。

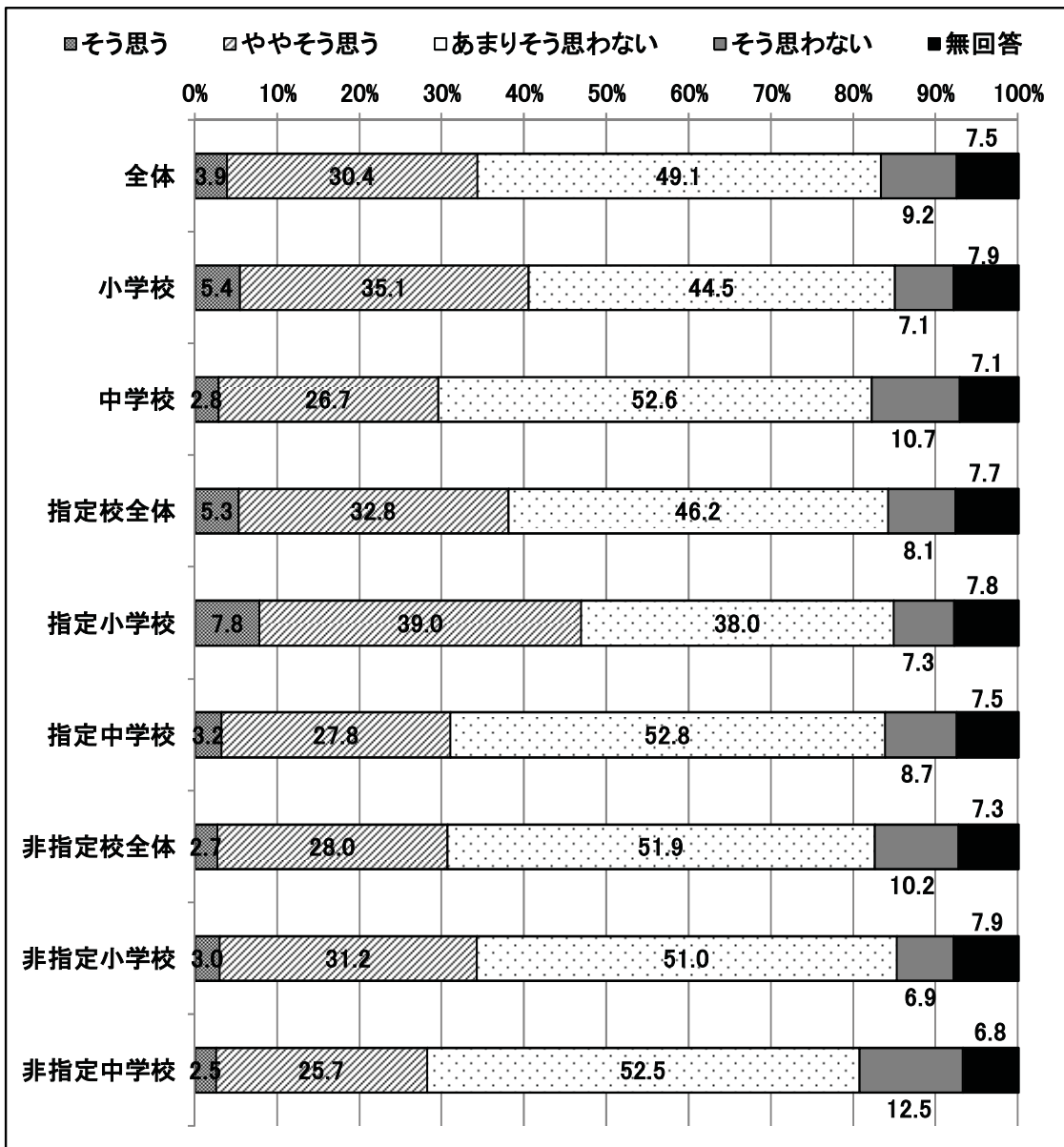
図 2-42 「教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった」



■「地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の3.9%。「ややそう思う」が30.4%、「あまりそう思わない」が最も多く49.1%、「そう思わない」が9.2%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校5.4%、中学校2.8%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で38.1%、非指定校で30.7%となるなど、指定校の方が地域の方が近所の子どもたちを叱っている様子が伺える。

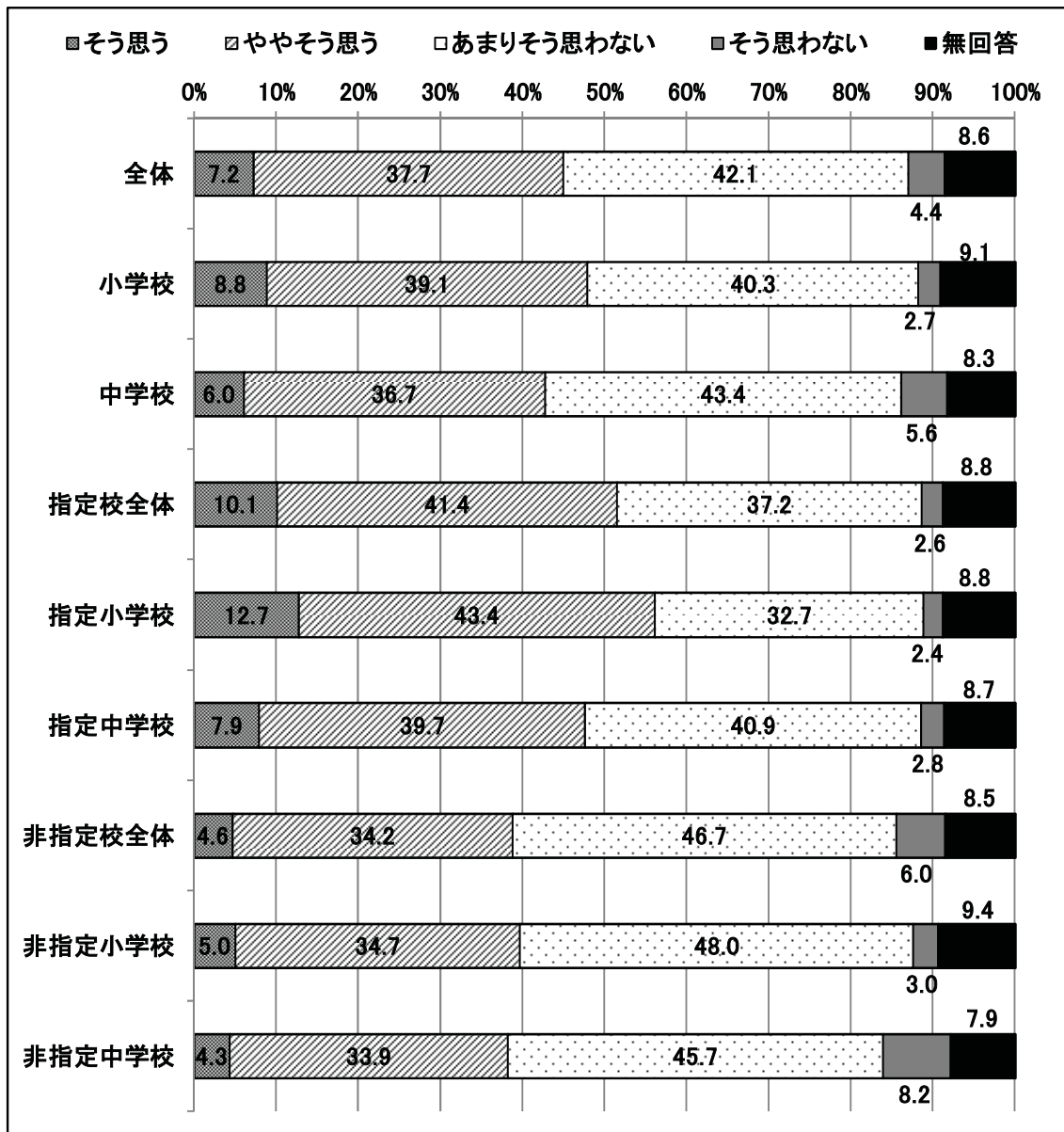
図 2-43 「地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった」



■「地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の7.2%。「ややそう思う」が37.7%、「あまりそう思わない」が最も多く42.1%、「そう思わない」が4.4%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校8.8%、中学校6.0%となるなど、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で51.5%、非指定校で38.8%となるなど、指定校の方が地域団体同士の連携が促進されている様子が伺える。

図 2-44 「地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた」

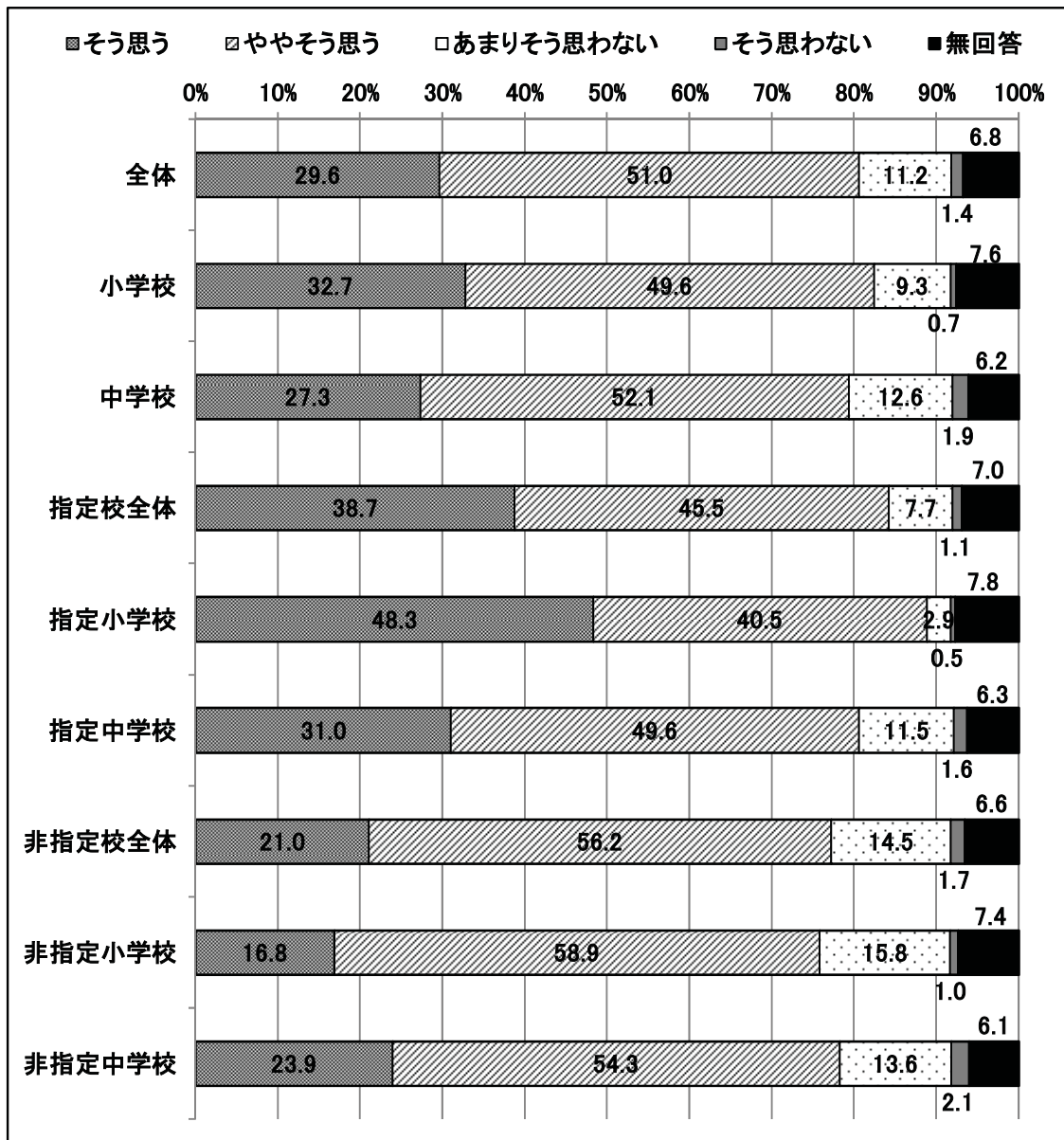




■「保護者や地域の方が学校に入ってくることに違和感をもたなくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の29.6%。「ややそう思う」が最も多く51.0%、「あまりそう思わない」が11.2%、「そう思わない」が1.4%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校32.7%、中学校27.3%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で38.7%、非指定校で21.0%となるなど、指定校の方が、保護者や地域の方が学校に入ってくることに違和感を覚えていない様子が伺える。

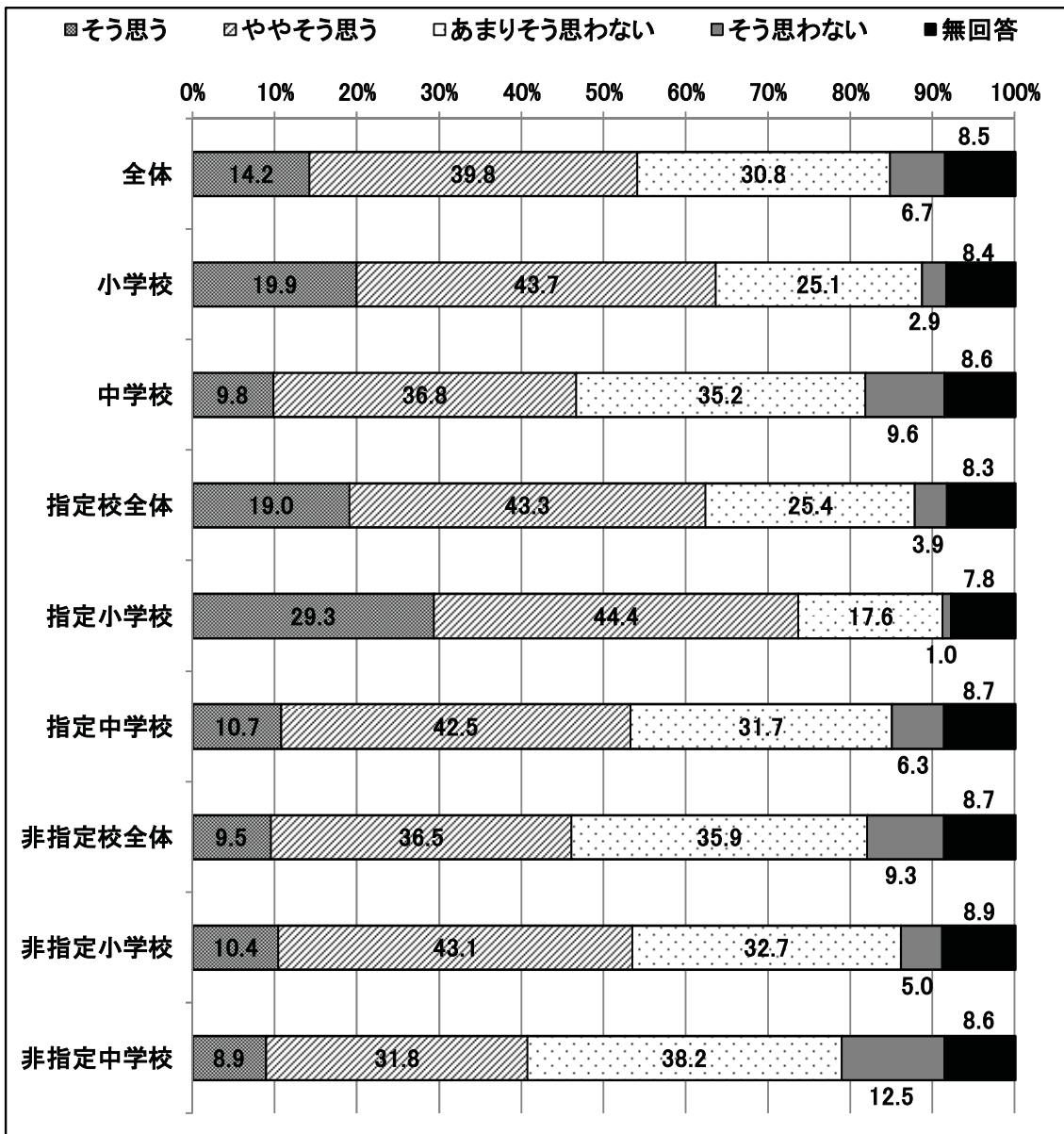
図 2-45 「保護者や地域の方が学校に入ってくることに違和感をもたなくなった」



■「学習支援ボランティアを活用することに積極的になった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の14.2%。「ややそう思う」が最も多く39.8%、「あまりそう思わない」が30.8%、「そう思わない」が6.7%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校19.9%、中学校9.8%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で62.3%、非指定校で46.0%となるなど、指定校の教職員の方が、学習支援ボランティアの活用に積極的である様子が伺える。

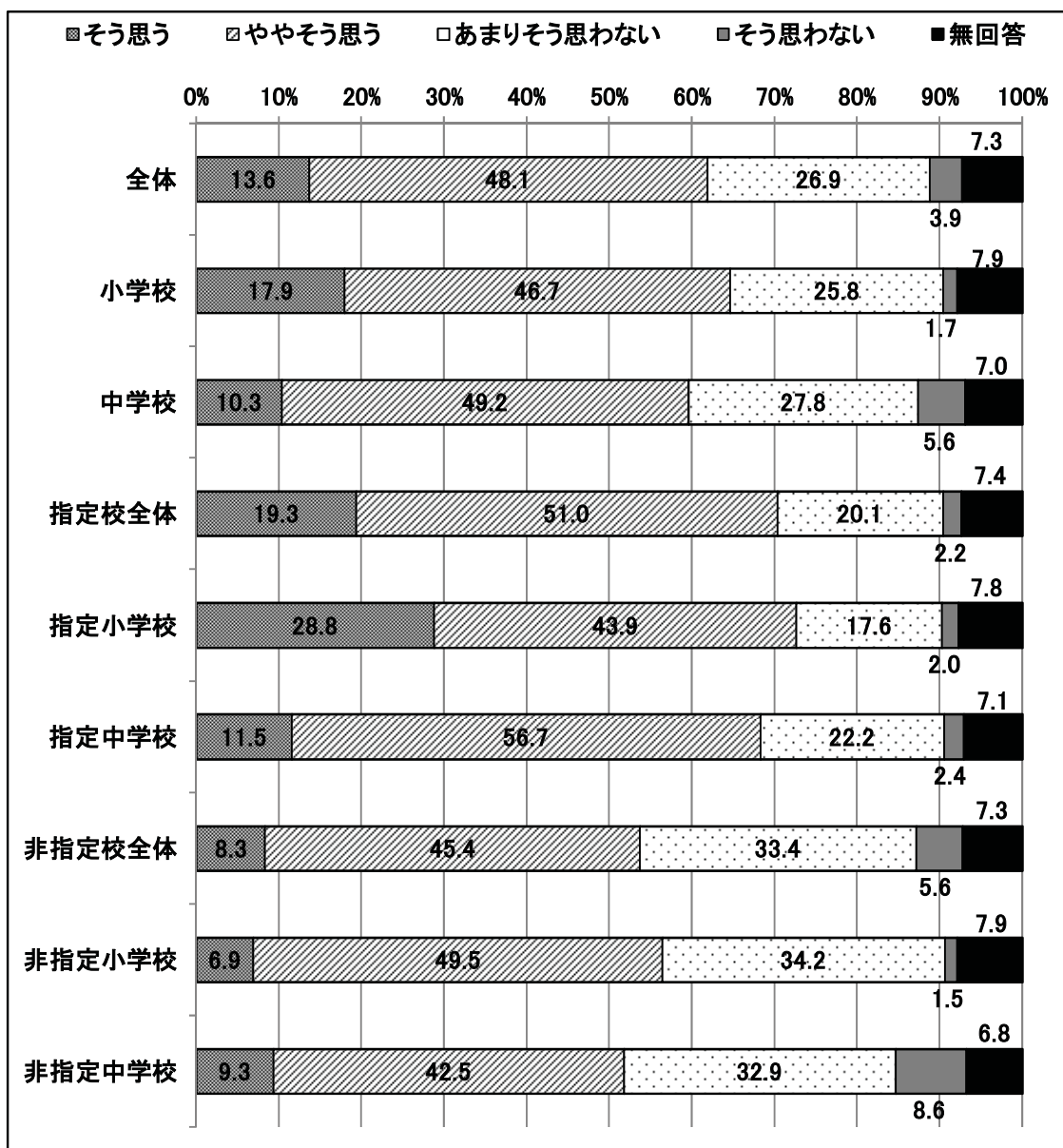
図 2-46 「学習支援ボランティアを活用することに積極的になった」



■「学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の13.6%。「ややそう思う」が最も多く48.1%、「あまりそう思わない」が26.9%、「そう思わない」が3.9%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校17.9%、中学校10.3%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で70.3%、非指定校で53.7%となるなど、指定校の教職員の方が、学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなったと実感している様子が伺える。

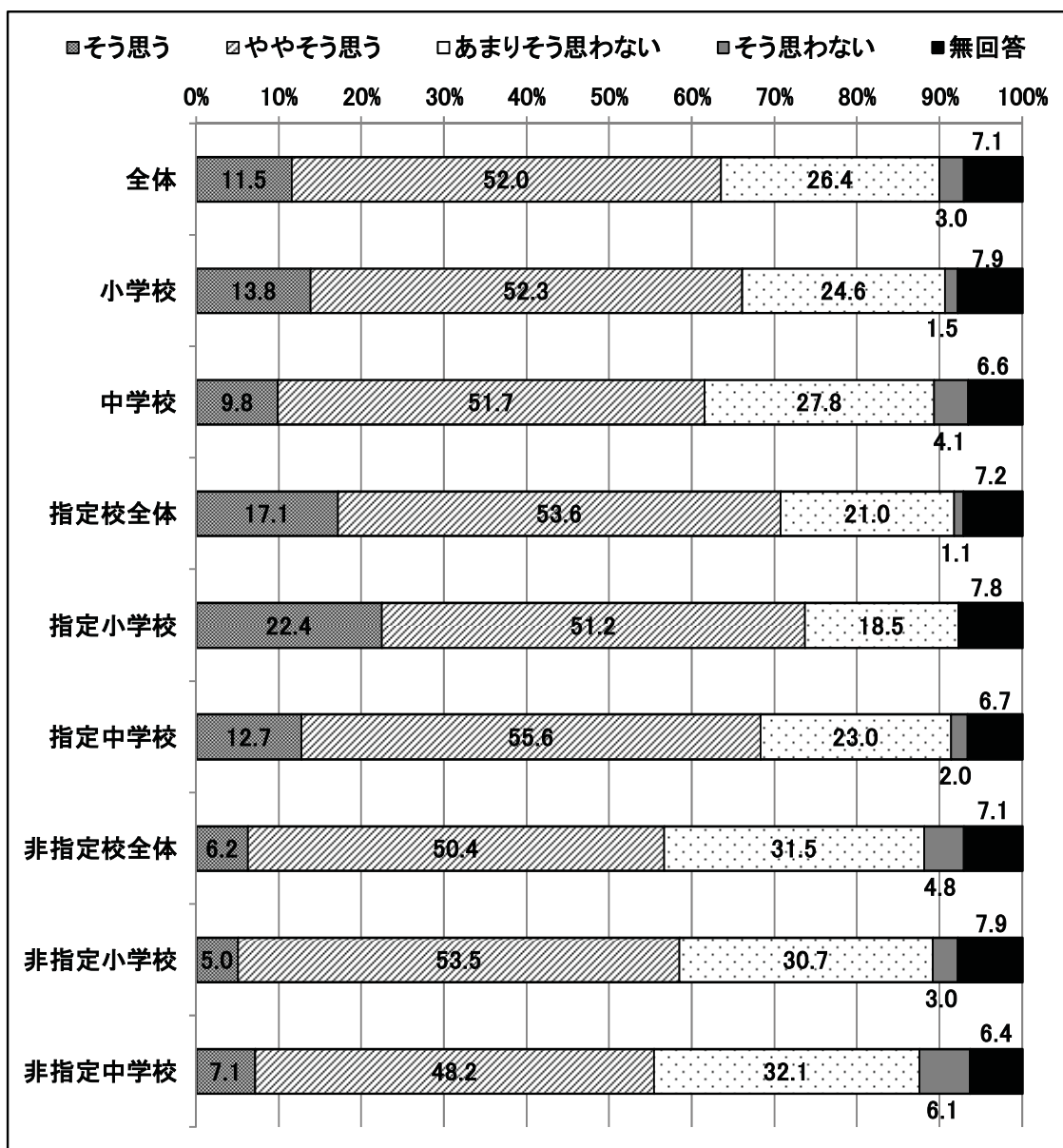
図 2-47 「学校の課題解決のために地域に協力を求めやすくなった」



■「保護者や地域の方が学校の課題解決に取り組んでくれるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の11.5%。「ややそう思う」が最も多く52.0%、「あまりそう思わない」が26.4%、「そう思わない」が3.0%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校13.8%、中学校9.8%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校で70.7%、非指定校で56.6%となるなど、指定校の方が、保護者や地域の方が学校の課題解決に対して意欲的な様子が伺える。

図 2-48 「保護者や地域の方が学校の課題解決に取り組んでくれるようになった」

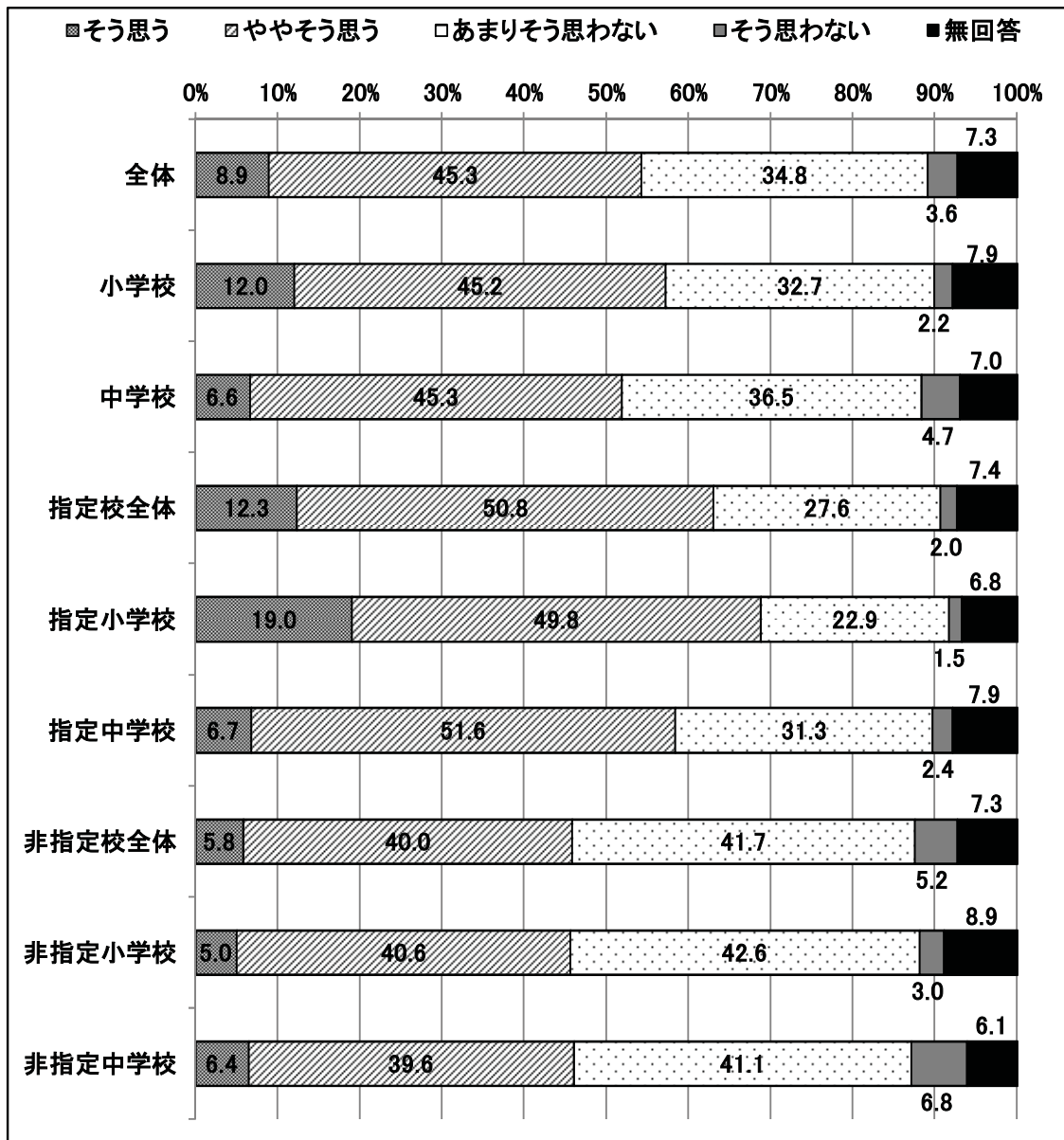




■「保護者や地域の方の地域での活躍の様子がよく分かるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した教職員は全体の8.9%。「ややそう思う」が最も多く45.3%、「あまりそう思わない」が34.8%、「そう思わない」が3.6%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校12.0%、中学校6.6%となるなど、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校で12.3%、非指定校で5.8%となるなど、指定校の教職員の方が、保護者や地域の方の地域での活躍をよく把握している様子が伺える。

図 2-49 「保護者や地域の方の地域での活躍の様子がよく分かるようになった」





### 調査結果③ 保護者

調査対象は小中学校の保護者 1,105 名。内訳は小学校に子どもを通わせる保護者が 528 名で中学校が 577 名。小学校 528 名のうちコミュニティ・スクールの指定校が 273 名で、非指定校勤務が 255 名。中学校は、577 名のうちコミュニティ・スクールの指定校が 311 名で、非指定校が 266 名。

#### ■性別・年代

回答した保護者の性別は、全体で男性が 8.4%、女性が 90.6%（無回答が 1.0%）と、女性が圧倒的に多い。この割合は、小学校と中学校、指定校と非指定校間においても、大きな差はない。年代については、「40代」が最も多く全体で 68.0%、以下「30代」21.7%、「50代」7.9%、「20代」と「60代」0.5%、「70代」が 0.3%と続いている。校種別に見ると、中学校の方がやや年齢構成が高い。

図 3-1 性別

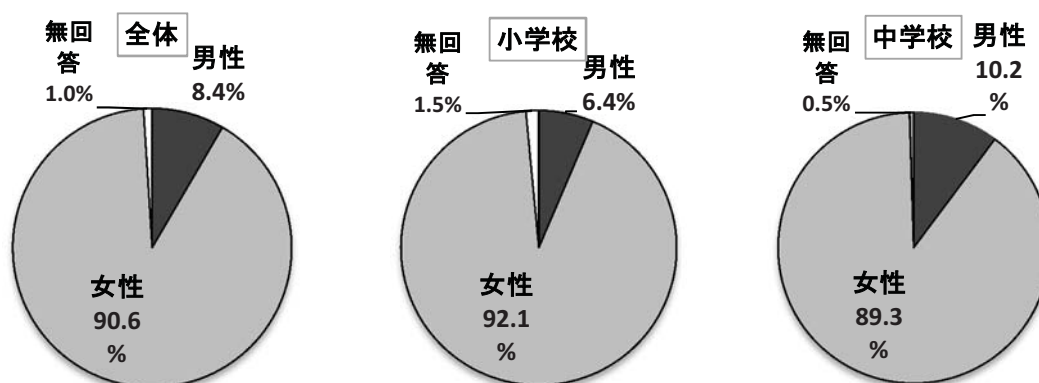
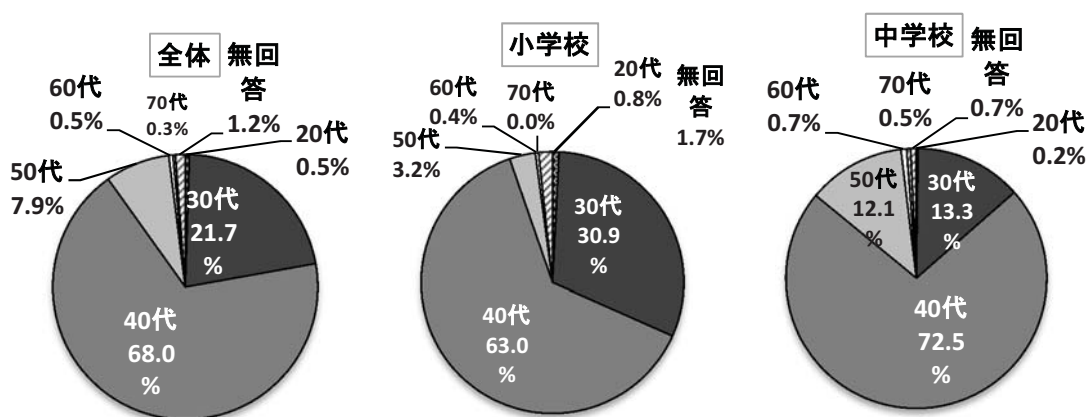


図 3-2 年代

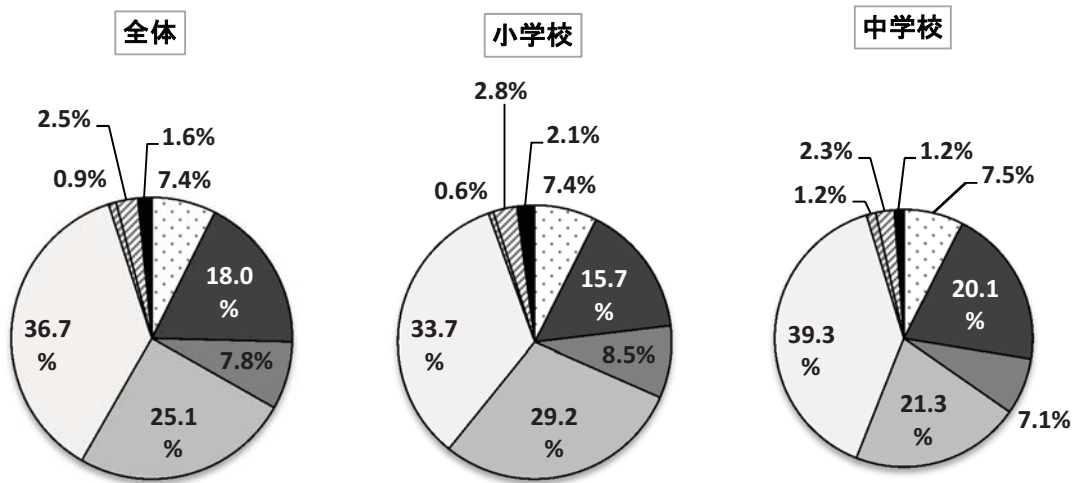


## ■職業

回答した保護者の職業は、「パート・アルバイト」が最も多く 36.7%。以下、「専業主婦・主夫」25.1%、「民間会社員」18.0%、「自営業」7.8%、「公務員・団体職員(NPO等を含む)」7.4%、「就業していない」0.9%と続いている。

図 3-3 職業

- 公務員・団体職員(NPO等を含む)
- 民間会社員
- 専業主婦・主夫
- パート・アルバイト
- その他
- 無回答
- 自営業
- 就業していない

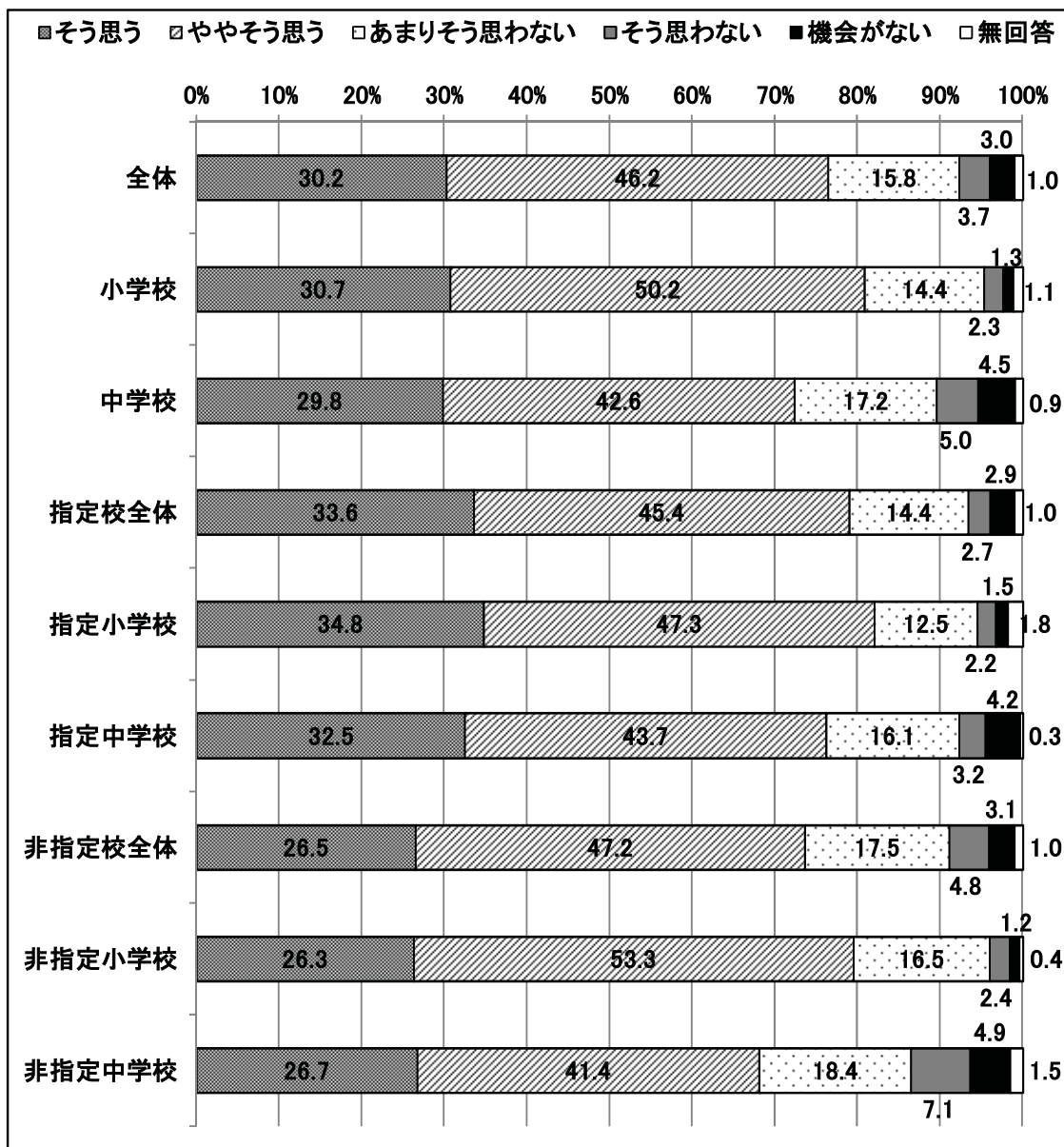


## I 学校とのかかわりについて

### ■「子どもが通う学校に積極的に足を運ぶようにしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の30.2%。「ややそう思う」が46.2%と最も多く、「あまりそう思わない」が15.8%、「そう思わない」が3.7%、「機会がない」が3.0%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で80.9%、中学校で72.4%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で33.6%に上り、非指定校の26.5%を上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、積極的に学校へ足を運んでいる様子が伺える。

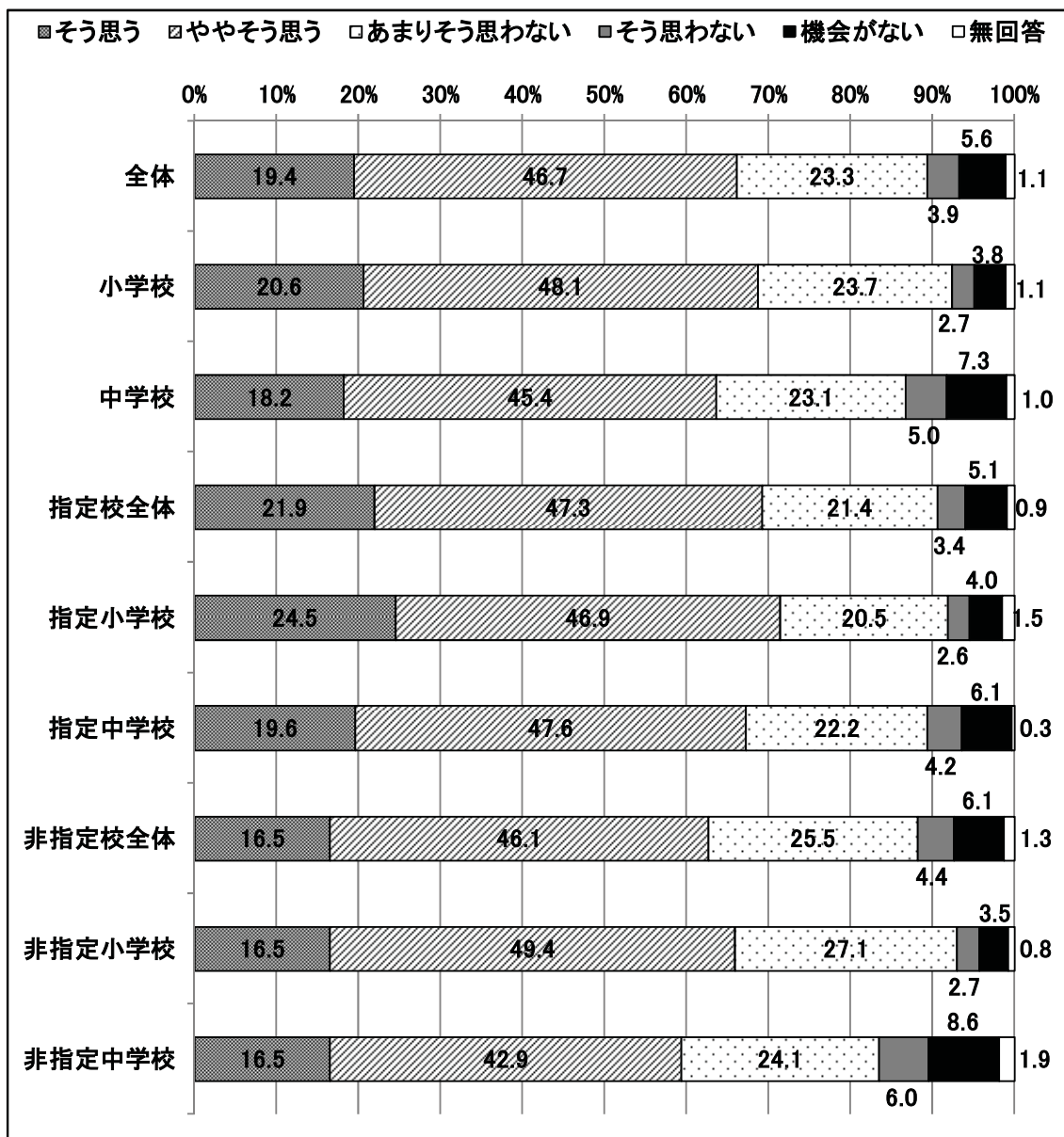
図 3-4 「子どもが通う学校に積極的に足を運ぶようにしている」



■「学校の先生方とはよく話をするようにしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の19.4%。「ややそう思う」が46.7%と最も多く、「あまりそう思わない」が23.3%、「そう思わない」が3.9%、「機会がない」が5.6%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で68.7%、中学校で63.6%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」と回答した保護者が指定校全体で69.2%に上り、非指定校の62.6%を少しだけ上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が教員とよく話をしている様子が伺える。

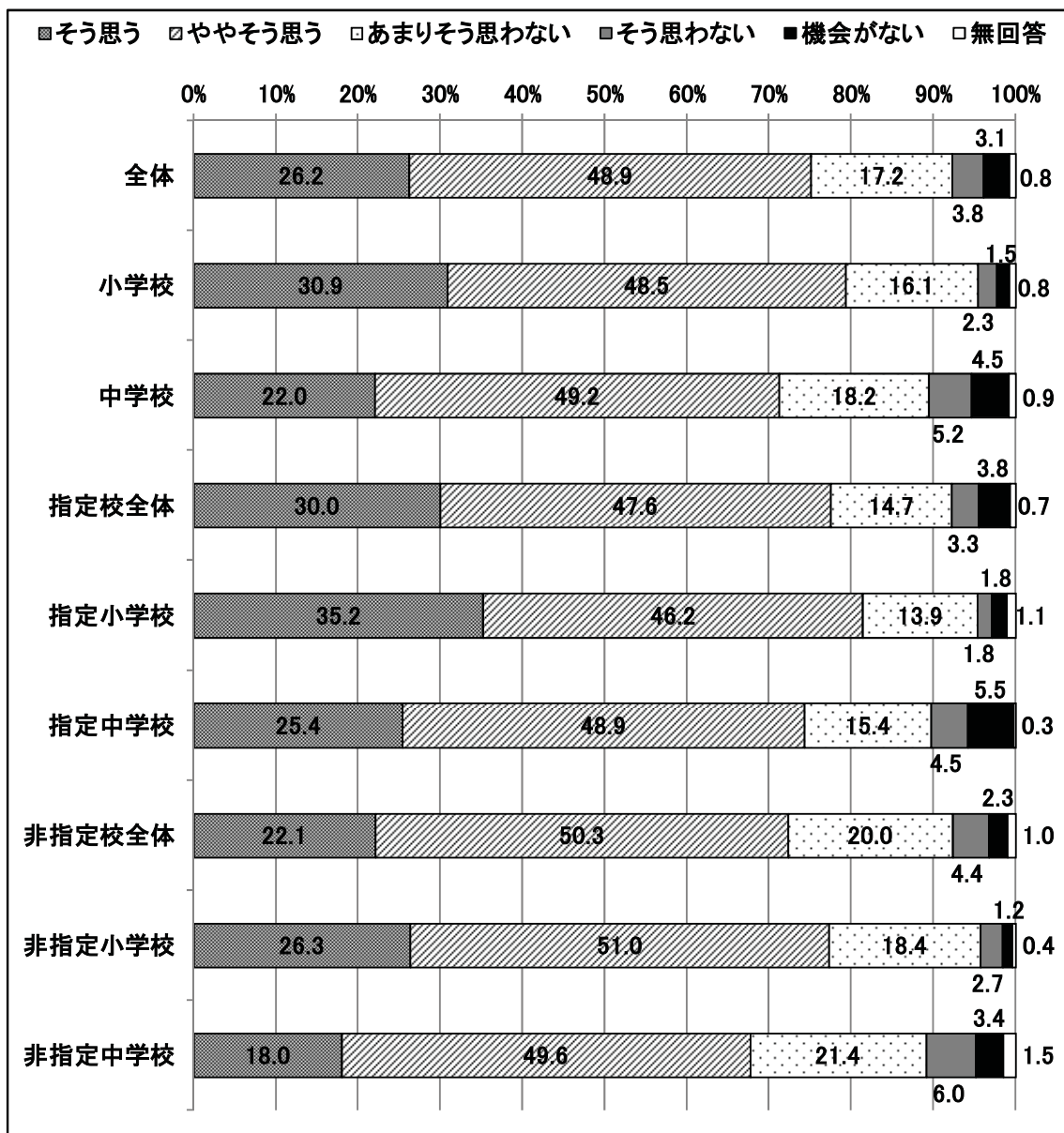
図 3-5 「学校の先生方とはよく話をするようにしている」



■「学校公開等に参加して学校の様子をよく把握するようにしている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の26.2%。「ややそう思う」が48.9%と最も多く、「あまりそう思わない」が17.2%、「そう思わない」が3.8%、「機会がない」が3.1%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で30.9%、中学校で22.0%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で30.0%に上り、非指定校の22.1%を少しだけ上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が学校公開等に足を運び、学校の様子をよく把握している様子が伺える。

図 3-6 「学校公開等に参加して学校の様子をよく把握するようにしている」

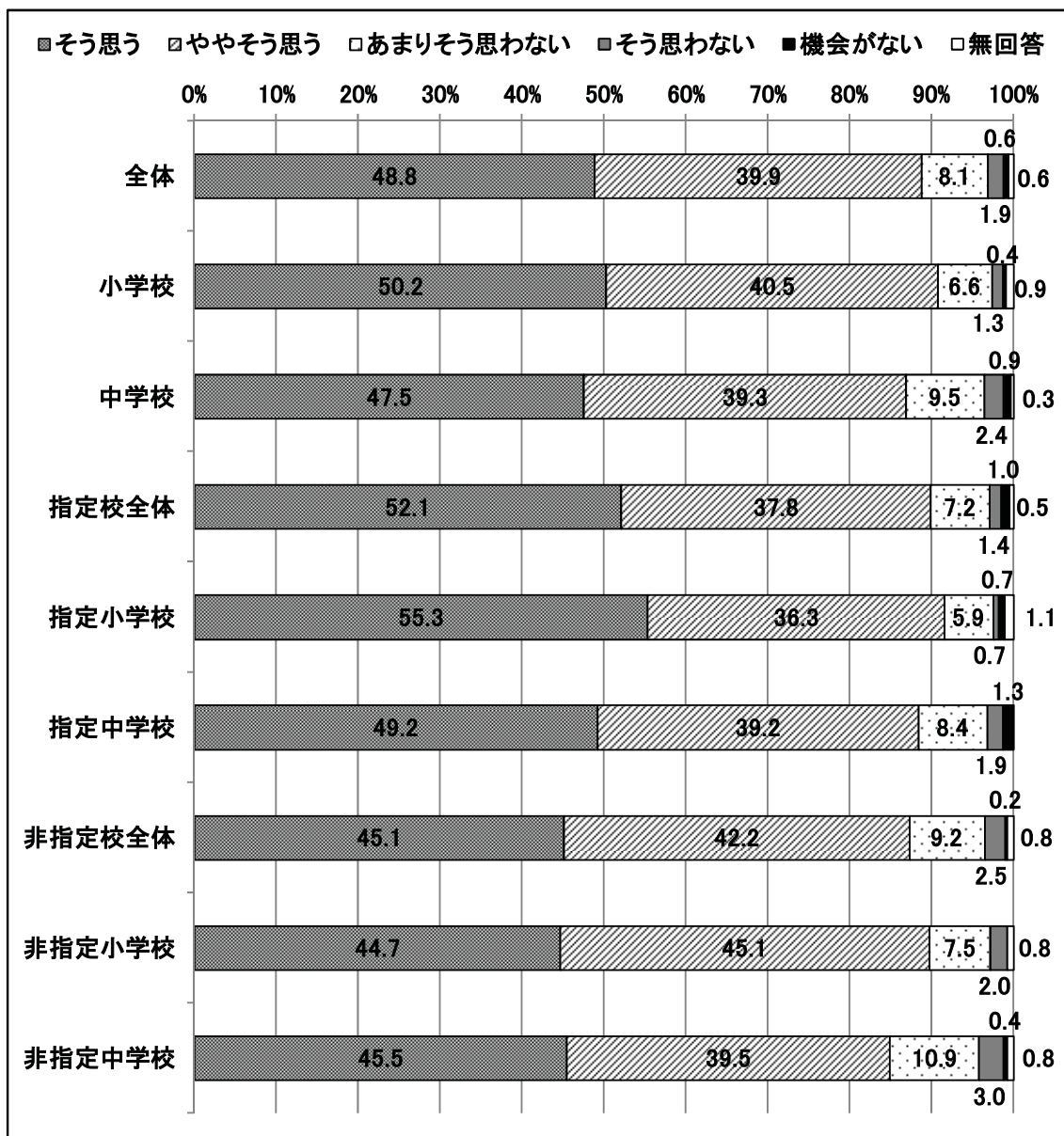




■「学校だよりなどの学校からのお便りはよく読んでいます」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の48.8%と最も多い。「ややそう思う」が39.9%、「あまりそう思わない」が8.1%、「そう思わない」が1.9%、「機会がない」が0.6%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で90.7%、中学校で86.8%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で52.1%に上り、非指定校の45.1%をやや上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が学校だよりなどによく目を通している様子が伺える。

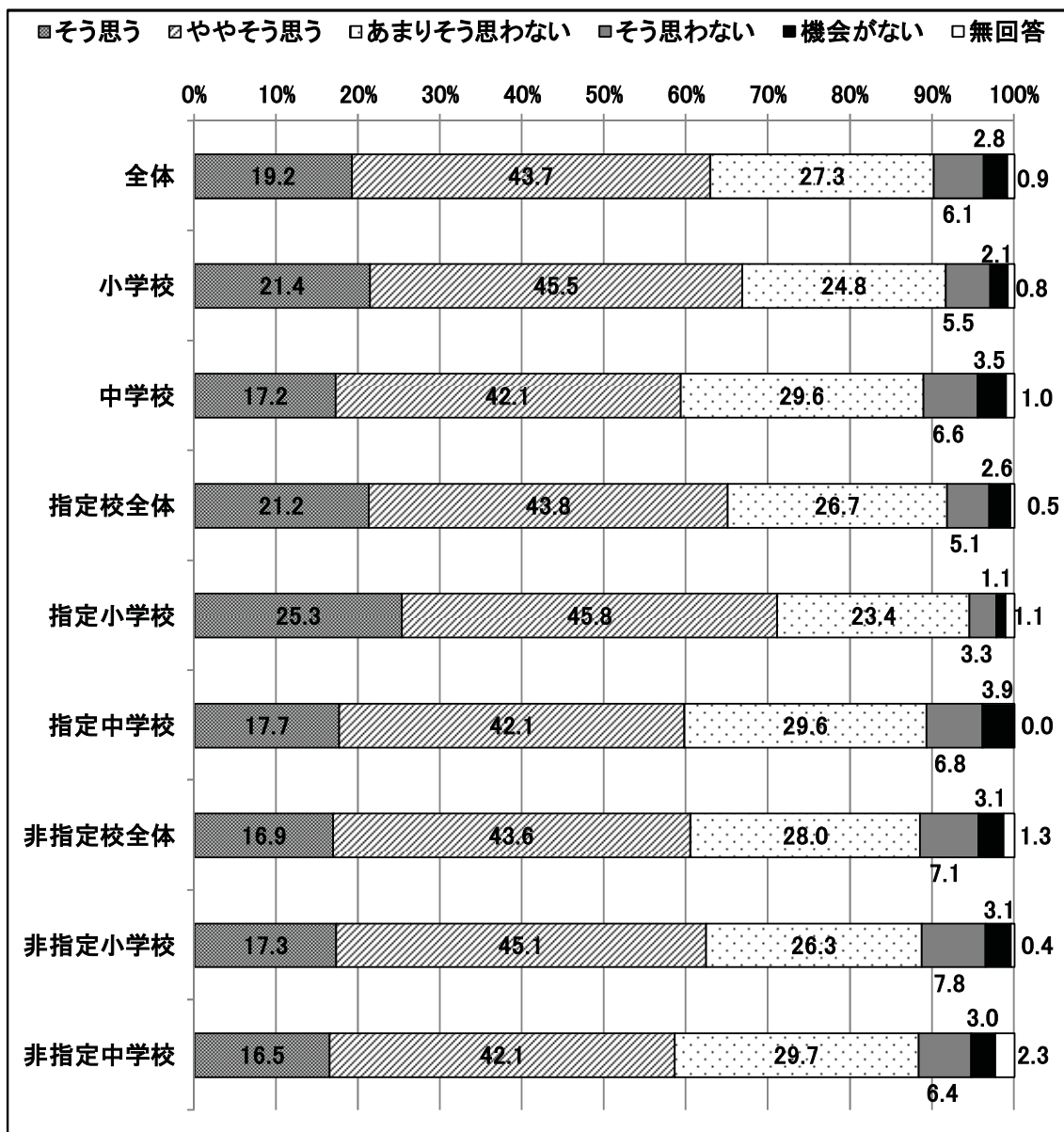
図 3-7 「学校だよりなどの学校からのお便りはよく読んでいます」



■「学校評価等のアンケートで保護者としての意見を伝えている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の19.2%。「ややそう思う」が43.7%で最も多く、「あまりそう思わない」が27.3%、「そう思わない」が6.1%、「機会がない」が2.8%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で66.9%、中学校で59.3%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で21.2%に上り、非指定校の16.9%をわずかながら上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が学校評価等のアンケートを通じて意見を伝えている様子が伺える。

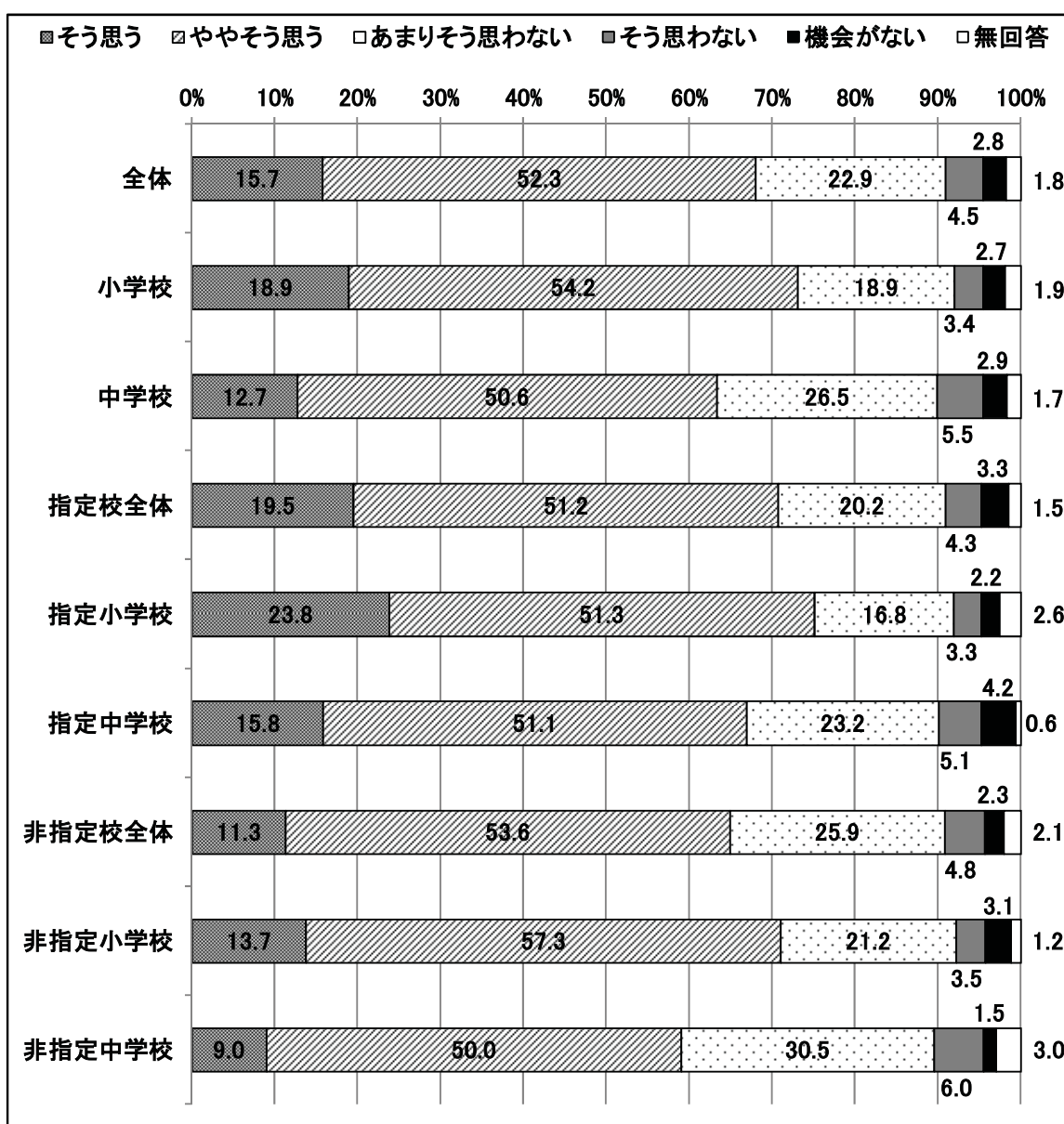
図 3-8 「学校評価等のアンケートで保護者としての意見を伝えている」



■「学校は保護者や地域の意見やニーズをよく聞いてくれる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の15.7%。「ややそう思う」が52.3%で最も多く、「あまりそう思わない」が22.9%、「そう思わない」が4.5%、「機会がない」が2.8%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で73.1%、中学校で63.3%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で19.5%に上り、非指定校の11.3%を上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、学校が意見やニーズをよく聞いてくれるという認識を持っている様子が伺える。

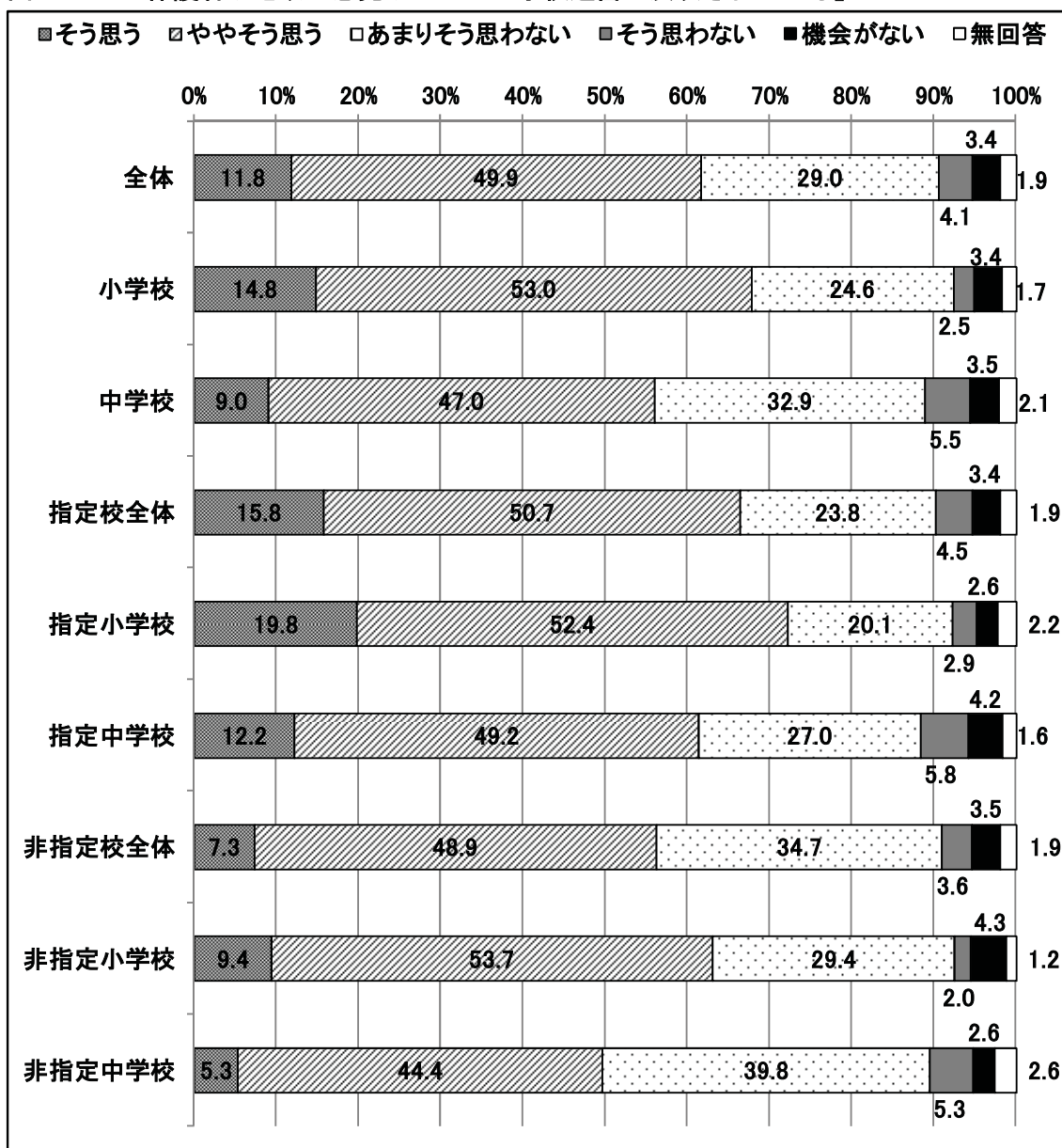
図 3-9 「学校は保護者や地域の意見やニーズをよく聞いてくれる」



■「保護者や地域の意見やニーズが学校運営に反映されている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の11.8%。「ややそう思う」が49.9%で最も多く、「あまりそう思わない」が29.0%、「そう思わない」が4.1%、「機会がない」が3.4%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で67.8%、中学校で56.0%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で15.8%に上り、非指定校の7.3%を上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、自分たちの意見やニーズが学校運営に反映されているという認識を持っている様子が伺える。

図 3-10 「保護者や地域の意見やニーズが学校運営に反映されている」

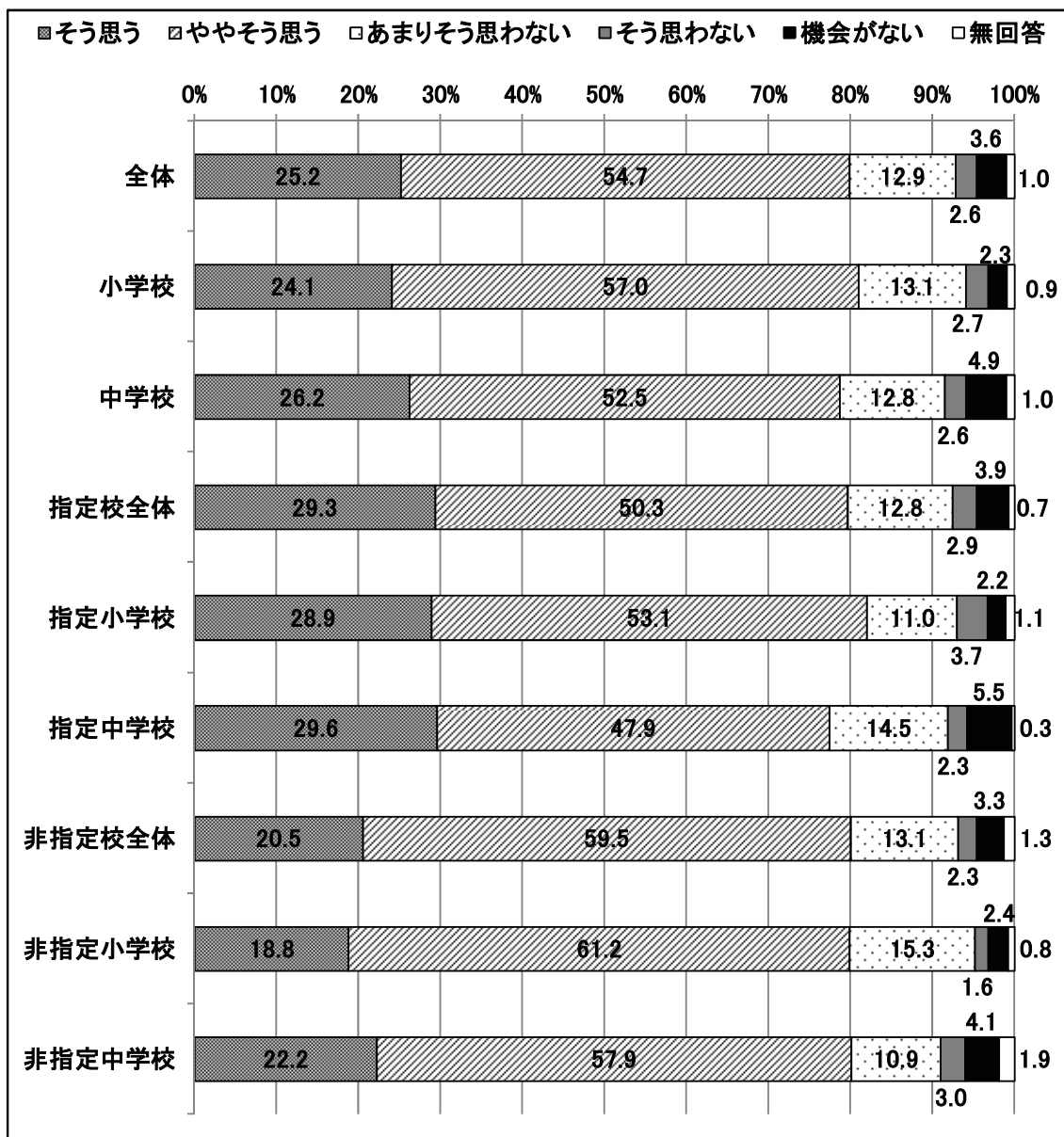




■「学校の課題解決に保護者として積極的に協力していきたい」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の25.2%。「ややそう思う」が54.7%で最も多く、「あまりそう思わない」が12.9%、「そう思わない」が2.6%、「機会がない」が3.6%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で29.3%に上り、非指定校の20.5%を少しだけ上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、学校の課題解決に協力的な姿勢である様子が伺える。

図 3-11 「学校の課題解決に保護者として積極的に協力していきたい」

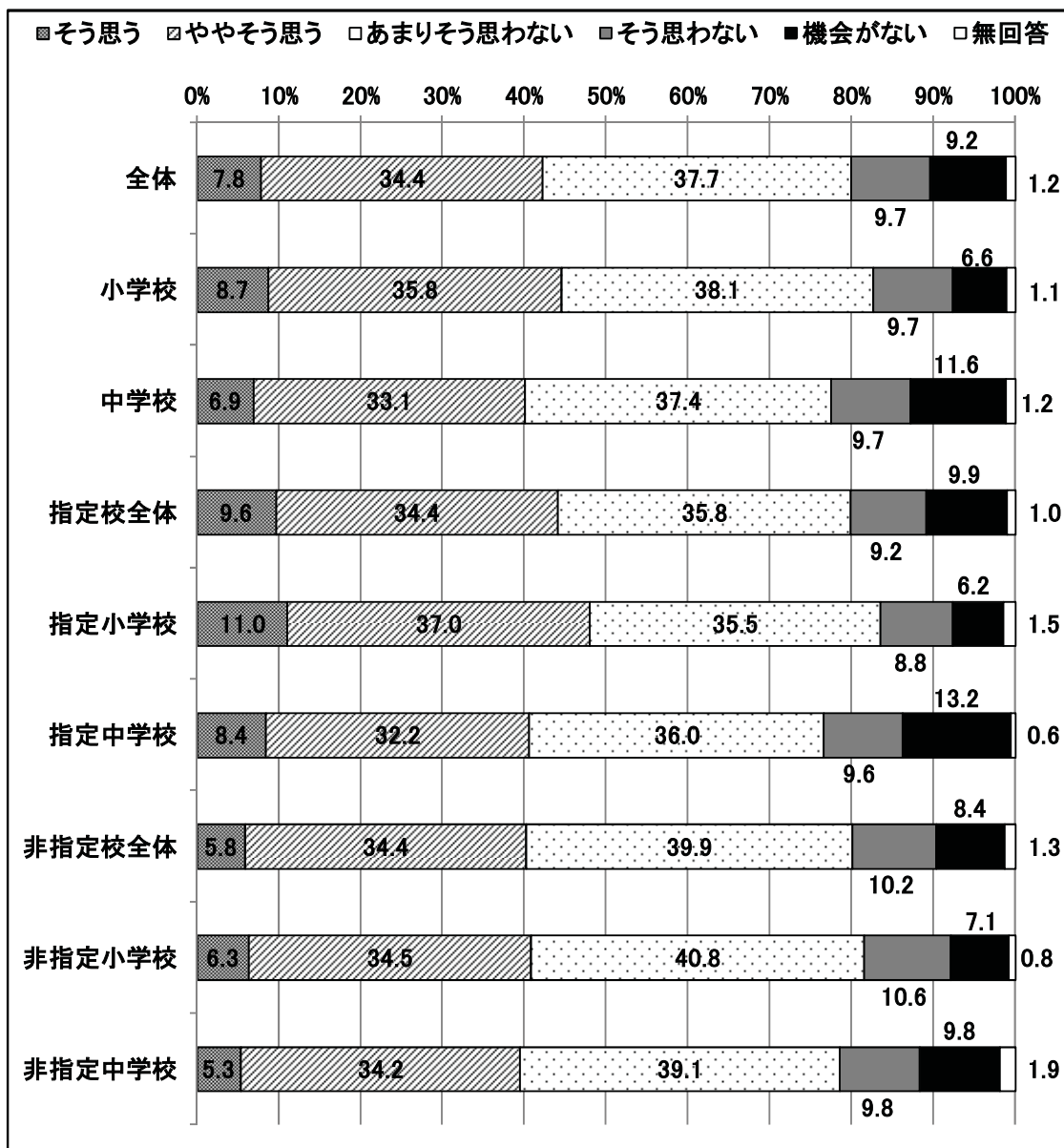




■「学習支援の学校支援ボランティアとして参加していきたい」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の7.8%。「ややそう思う」が34.4%、「あまりそう思わない」が37.7%で最も多く、「そう思わない」が9.7%、「機会がない」が9.2%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で44.5%、中学校で40.0%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で9.6%に上り、非指定校の5.8%を上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、学習支援のボランティア参加に意欲的な様子が伺える。

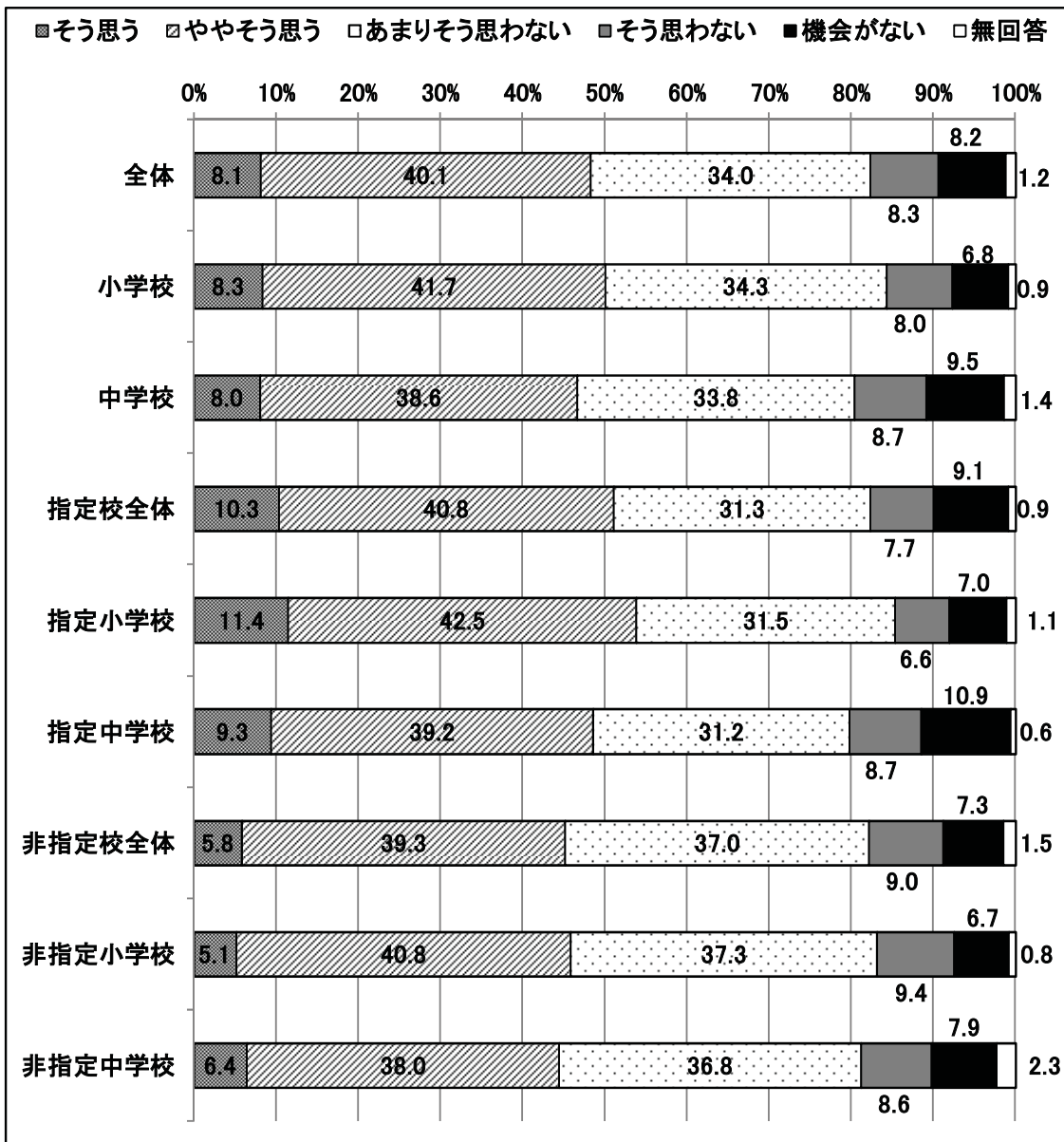
図 3-12 「学習支援の学校支援ボランティアとして参加していきたい」



■「学習以外の学校支援ボランティアとして参加していきたい」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の8.1%。「ややそう思う」が40.1%で最も多く、「あまりそう思わない」が34.0%、「そう思わない」が8.3%、「機会がない」が8.2%となっている。校種別の差はほとんど出ていない。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」と回答した保護者が指定校全体で10.3%に上り、非指定校の5.8%を上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、学習以外の学校ボランティアへの参加に意欲的な様子が伺える。

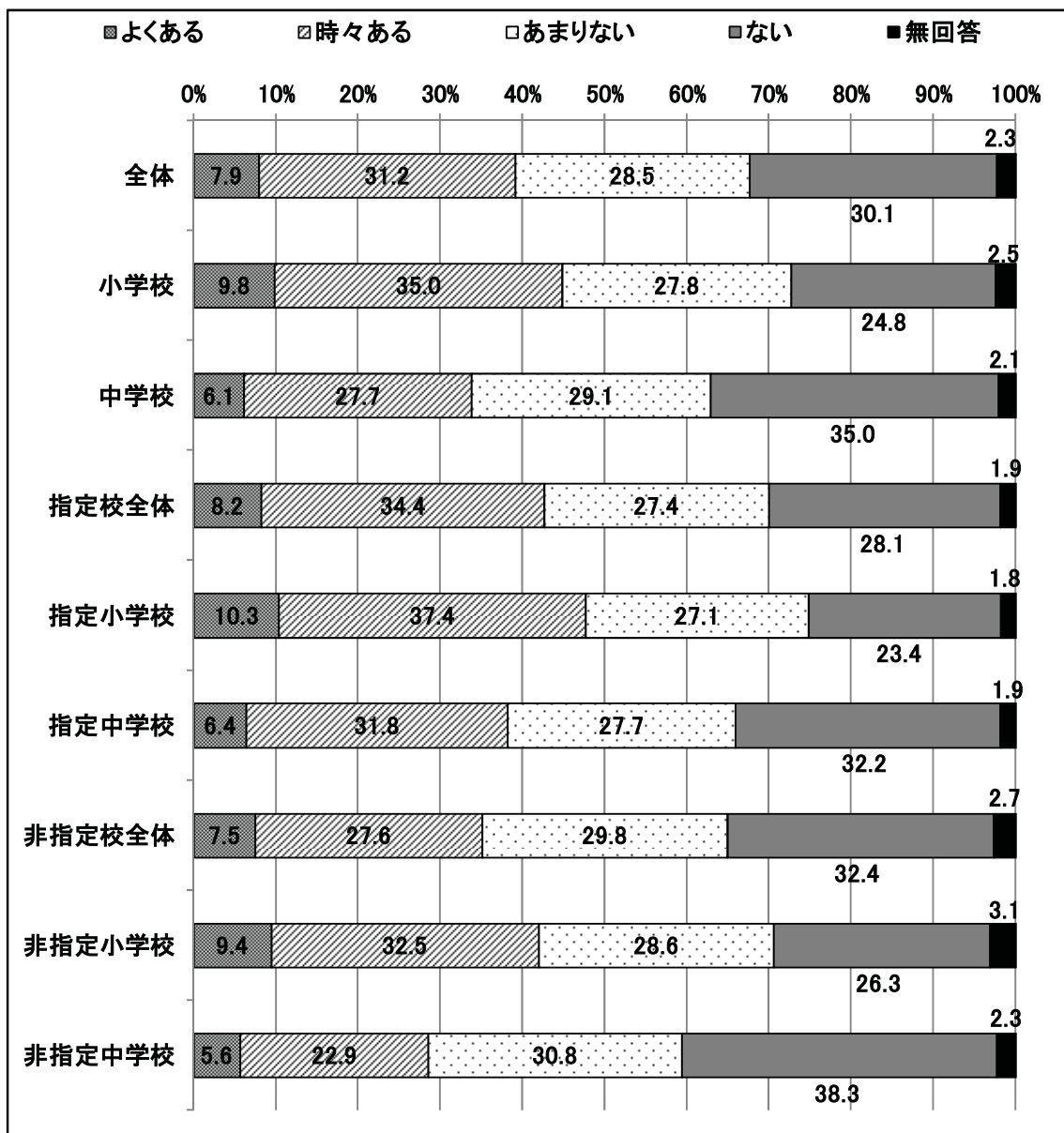
図 3-13 「学習以外の学校支援ボランティアとして参加していきたい」



### ■学校支援ボランティアの有無

学校支援ボランティアとして学校を支援したことがあるかについては、「よくある」と回答した保護者が全体で7.9%。「時々ある」が31.2%で最も多く、「あまりない」が28.5%、「ない」が30.1%となっている。校種別では、「よくある」「時々ある」の合計が小学校で44.8%、中学校で33.8%とやや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「よくある」「時々ある」と回答した保護者が指定校全体で42.6%に上り、非指定校の35.1%をやや上回っている。全体的に、指定校の保護者の方が、学校支援ボランティアに参加している様子が伺える。

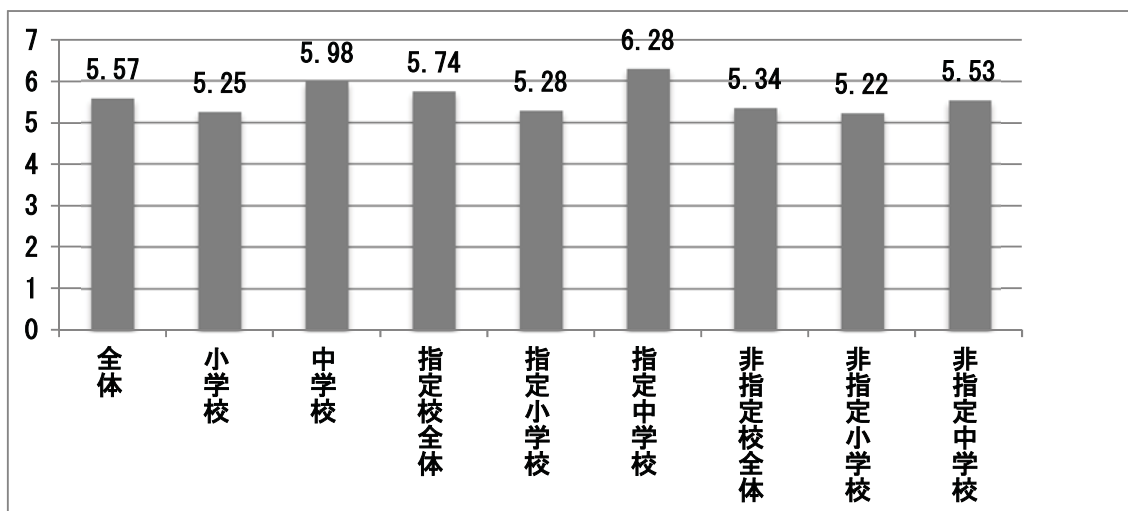
図 3-14 学校支援ボランティアの有無



### ■学校支援ボランティアの開始時期

学校支援ボランティアを何年前から開始したかについては、全体平均で5.57年。校種別では、小学校で5.25年、中学校で5.98年と、やや中学校の方が早い。指定校と非指定校との比較では、やや指定校の方が早く、特に中学校では指定校6.28年、非指定校5.53年と少々差が出ている。

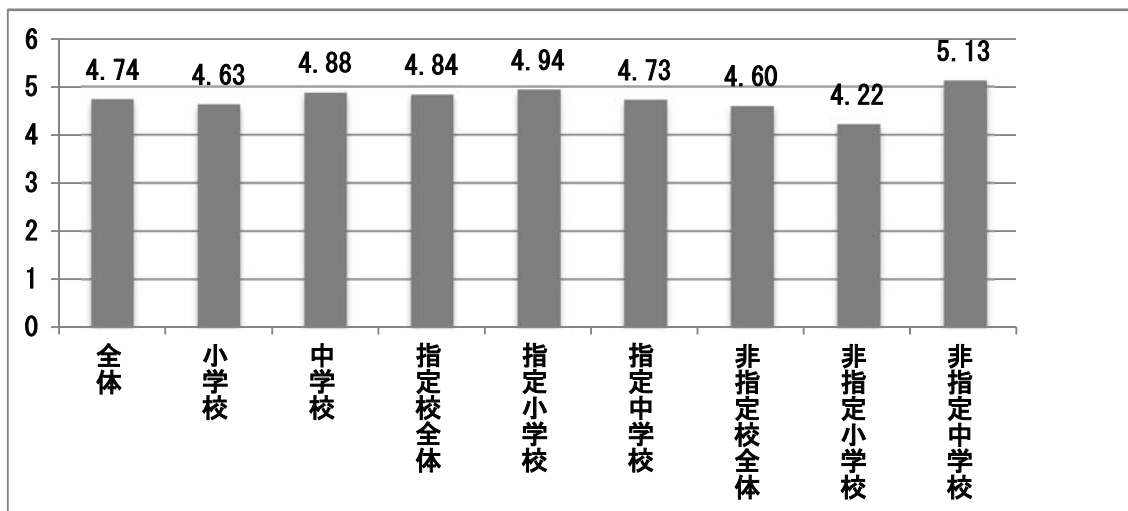
図3-15 学校支援ボランティアの開始時期（何年前から開始したか）



### ■学校支援ボランティアの参加回数

学校支援ボランティアへの1年あたりの参加回数については、全体平均で4.74回。校種別では、小学校で4.63回、中学校で4.88回と、わずかながら中学校の方が多い。指定校と非指定校との比較では、指定校4.84回、非指定校4.6回とわずかながら指定校の方が多い。

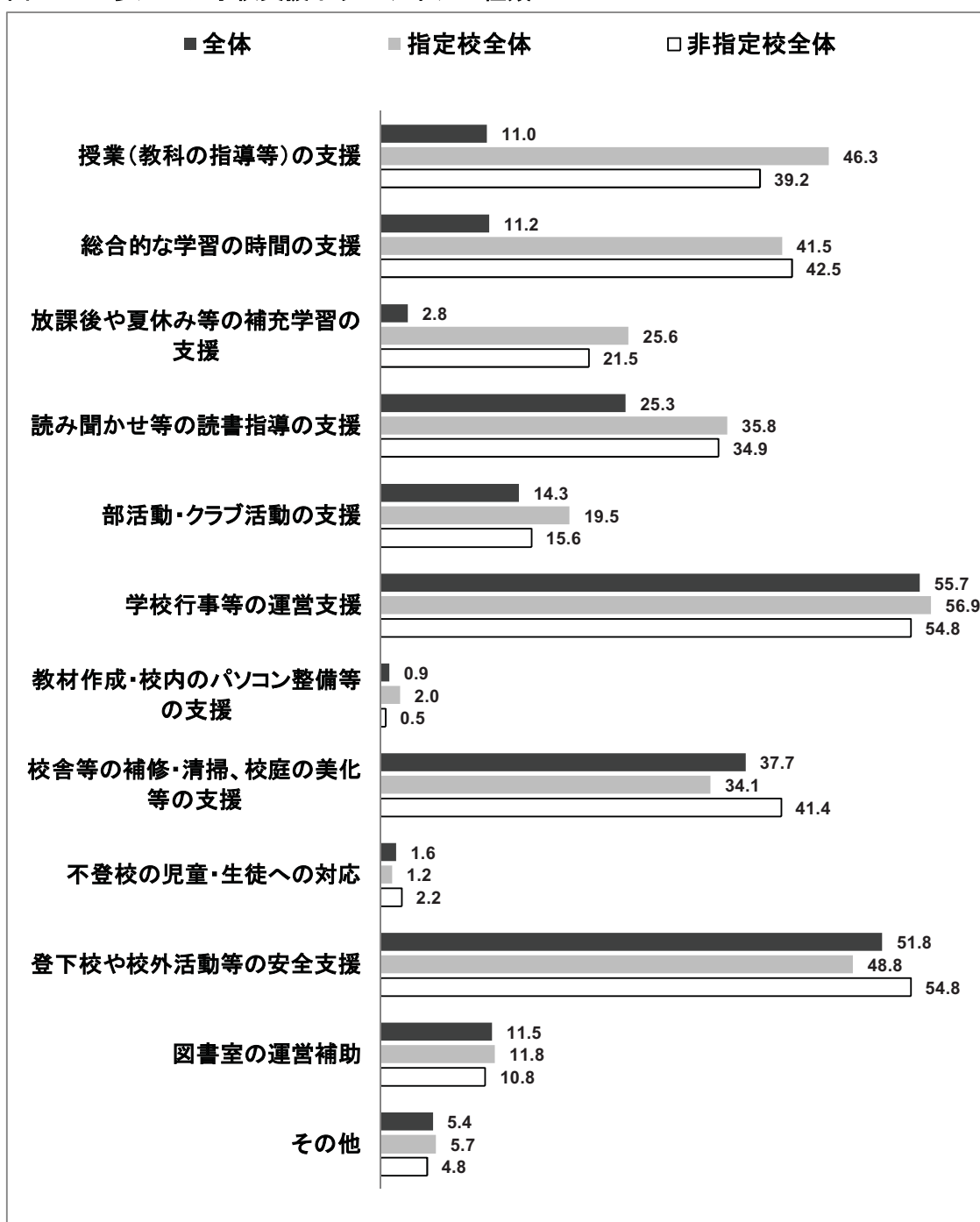
図3-16 学校支援ボランティアの参加回数（年平均：人）



### ■参加した学校支援ボランティアの種類

どのような形で学校支援ボランティアに参加したか（複数回答可）については、「学校行事等の運営支援」が最も多く全体で55.7%。以下、「登下校や校外活動等の安全支援」51.8%、「校舎等の補修・清掃、校庭の美化等の支援」37.7%、「読み聞かせ等の読書指導の支援」25.3%と続いている。指定校と非指定校との比較では、多くのボランティア種目で指定校の方が上回っているが、中には非指定校の方が上回っている種目もある。

図 3-17 参加した学校支援ボランティアの種類



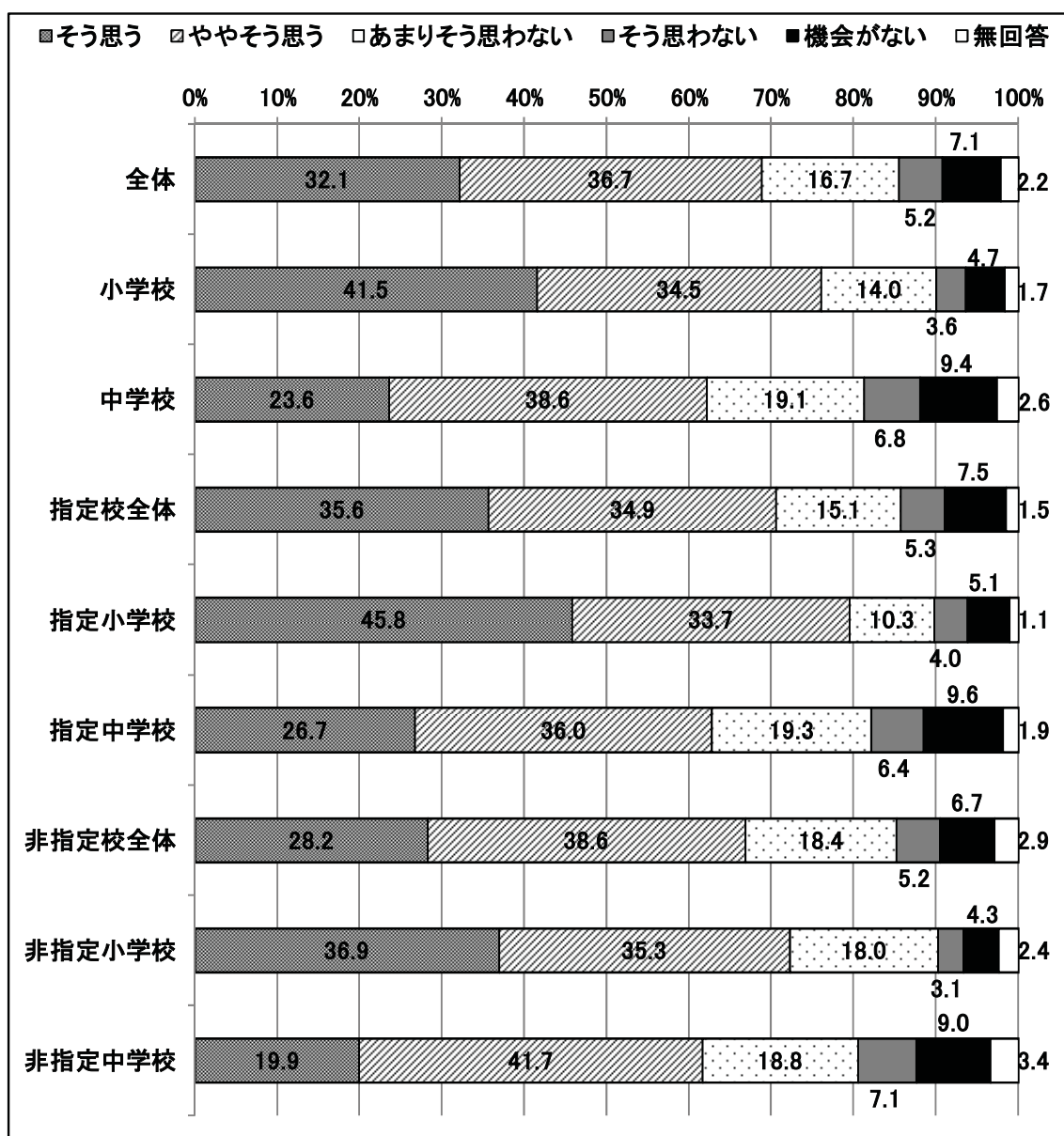


## Ⅱ 地域について

### ■「地域行事に子どもを参加させている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の32.1%。「ややそう思う」が最も多く36.7%、「あまりそう思わない」は16.7%、「そう思わない」は5.2%、「機会がない」は7.1%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で41.5%、中学校で23.6%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で35.6%、非指定校で28.2%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域行事に子どもを参加させている様子が伺える。

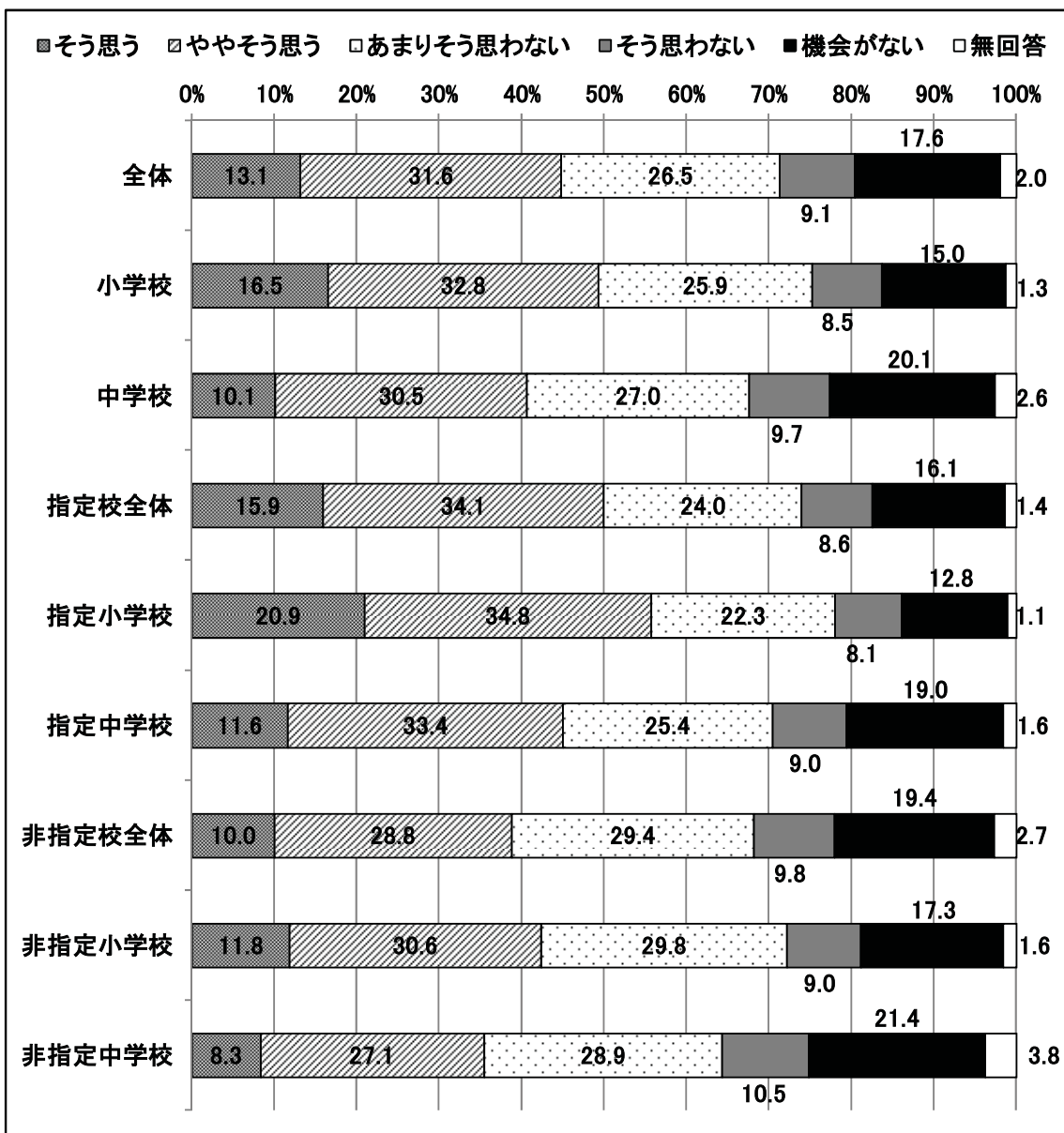
図 3-18 地域行事に子どもを参加させている



■「子どもの事について、地域の方と話し合う機会がある」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の13.1%。「ややそう思う」が最も多く31.6%、「あまりそう思わない」は26.5%、「そう思わない」は9.1%、「機会がない」は17.6%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で16.5%、中学校で10.1%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で50%、非指定校で38.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、子どものことについて地域と話し合いを行っている様子が伺える。

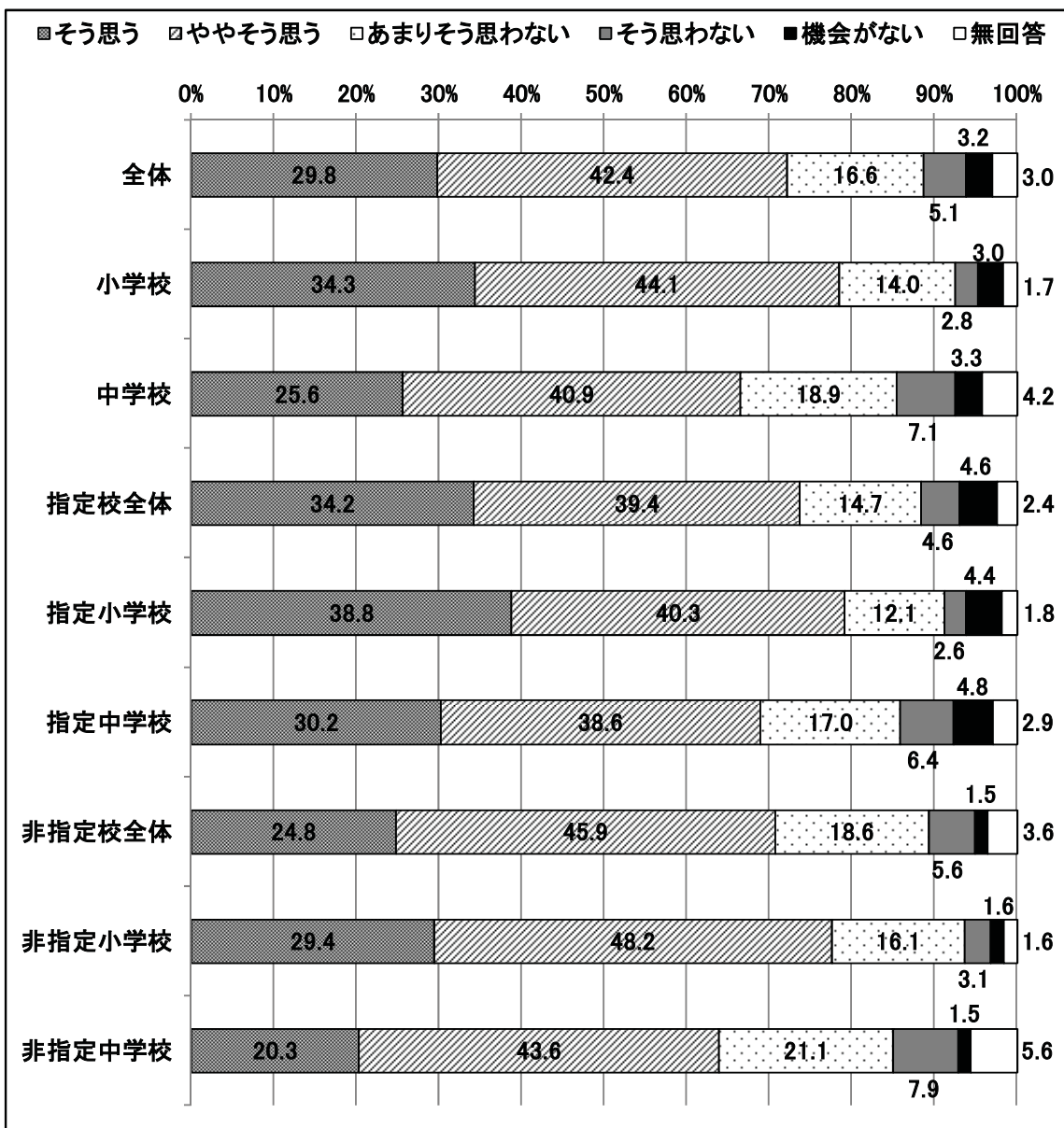
図 3-19 「子どもの事について、地域の方と話し合う機会がある」



■「地域の行事やイベントなどの情報は学校に伝わってくる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の29.8%。「ややそう思う」が最も多く42.4%、「あまりそう思わない」は16.6%、「そう思わない」は5.1%、「機会がない」は3.2%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で34.3%、中学校で25.6%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で34.2%、非指定校で24.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域の行事やイベントなどの情報が学校に伝わっている様子が伺える。

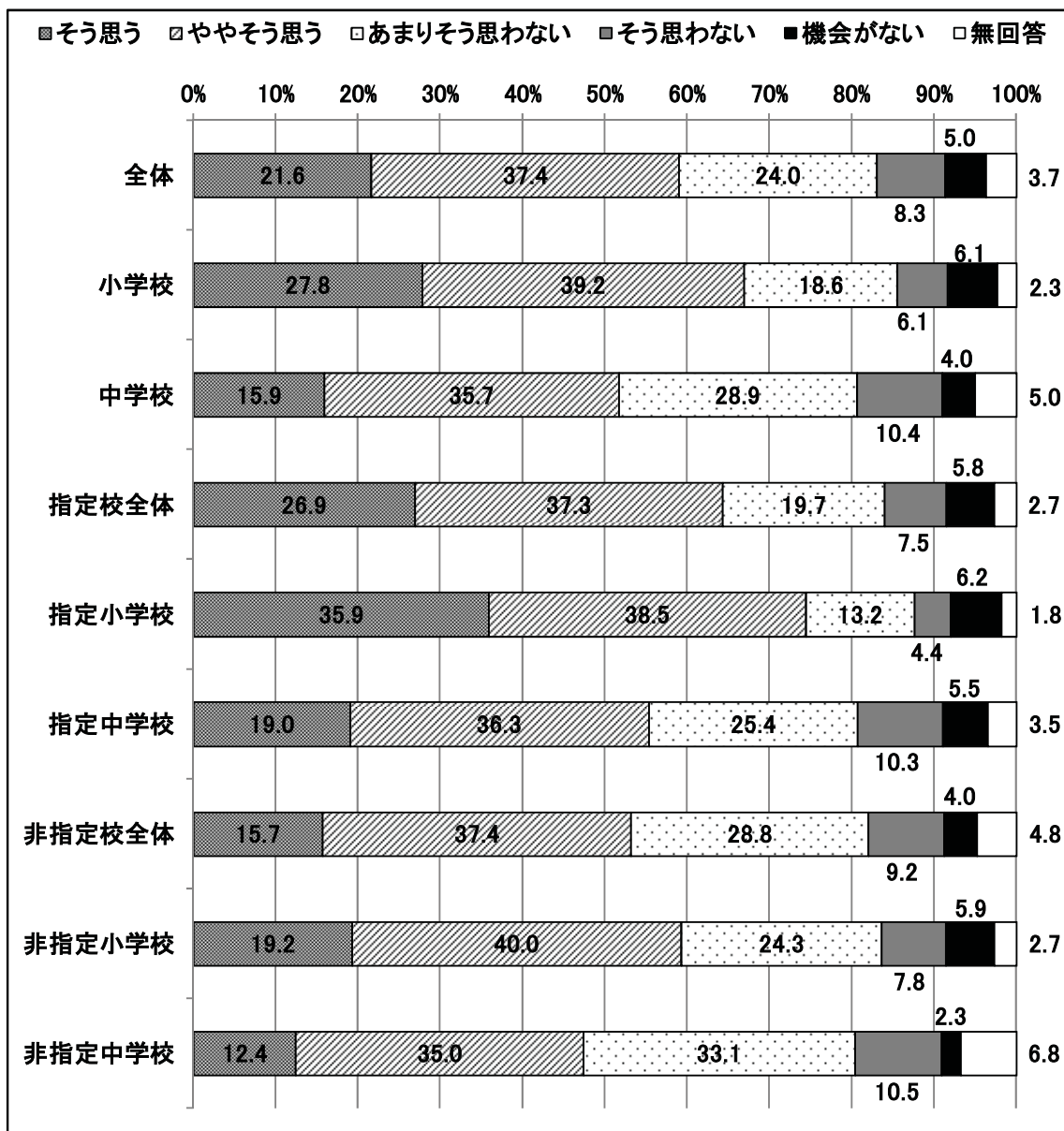
図 3-20 「地域の行事やイベントなどの情報は学校に伝わってくる」



■「学校の先生方は地域の行事に参加してくれる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の21.6%。「ややそう思う」が最も多く37.4%、「あまりそう思わない」は24.0%、「そう思わない」は8.3%、「機会がない」は5.0%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で27.8%、中学校で15.9%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で26.9%、非指定校で15.7%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校教員が地域の行事に参加してくれると感じている様子が伺える。

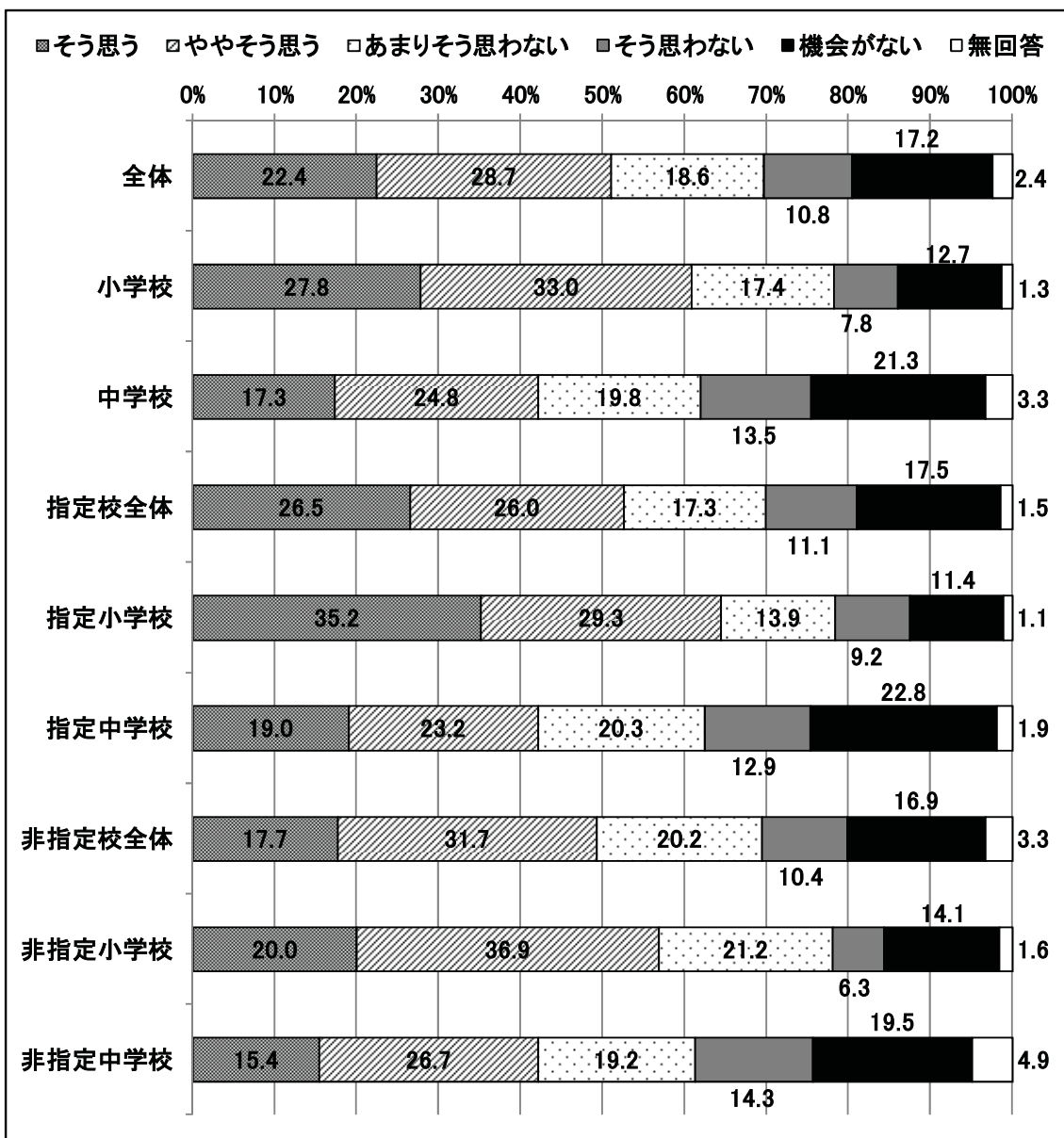
図 3-21 「学校の先生方は地域の行事に参加してくれる」



■「健全育成のために地域と学校と一緒にパトロール等を行う際にあなたも参加している」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した人は全体の22.4%。「ややそう思う」が最も多く28.7%、「あまりそう思わない」は18.6%、「そう思わない」は10.8%、「機会がない」は17.2%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で27.8%、中学校で17.3%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で26.5%、非指定校で17.7%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、健全育成のためのパトロール等に参加している様子が伺える。

図 3-22 「健全育成のために地域と学校と一緒にパトロール等を行う際にあなたも参加している」

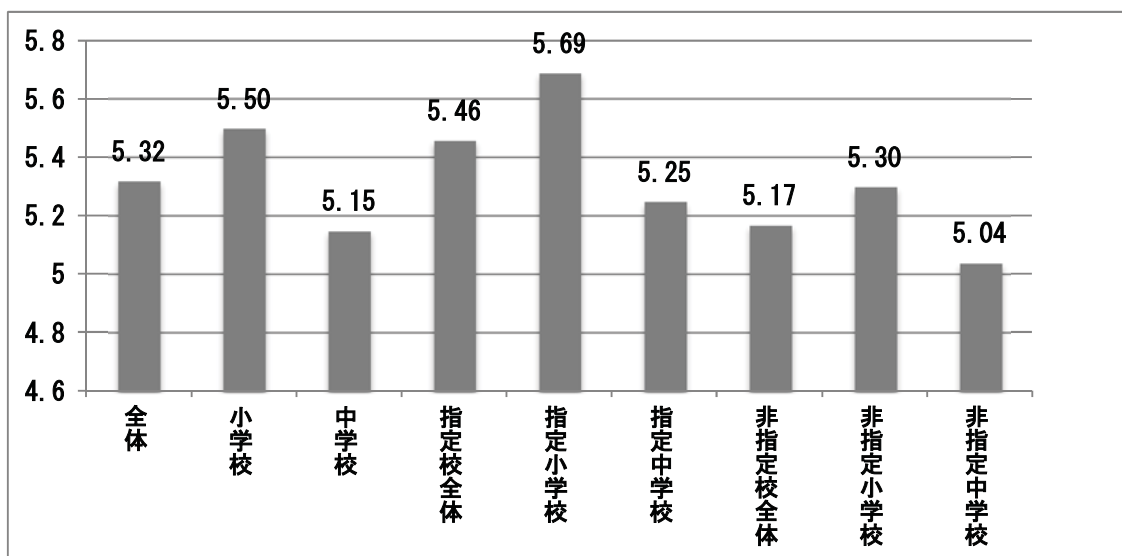




### ■過去1年で出会った地域住民数

過去1年で出会った地域住民の数については、全体平均で5.32人。校種別では、小学校5.50人、中学校5.15人と、わずかながら小学校の方が多い。指定校と非指定校との比較では、指定校5.46人、非指定校5.17人と、わずかながら指定校の方が多くなっている。

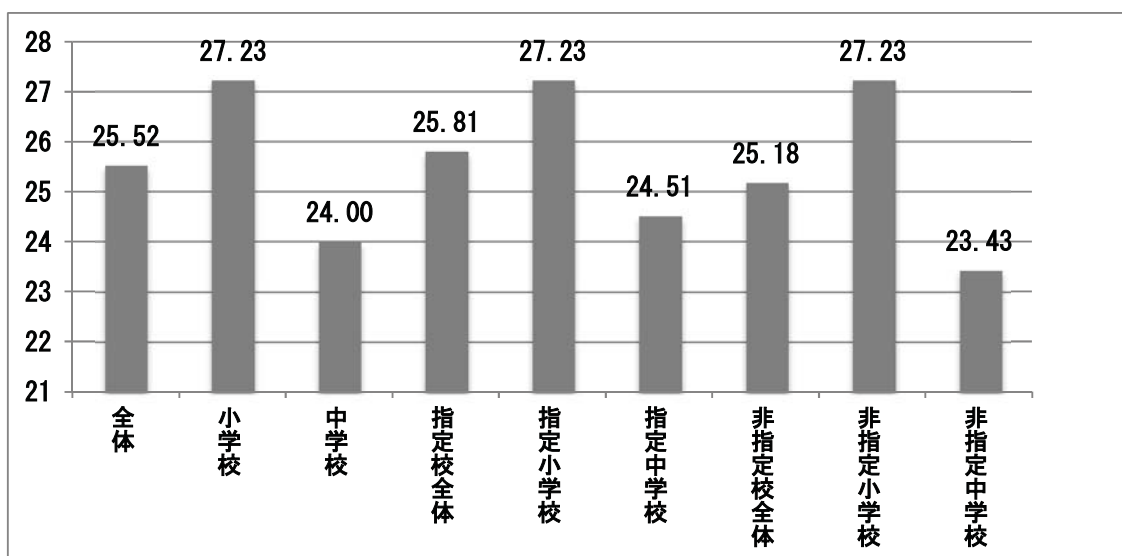
図3-23 過去1年で出会った地域住民数



### ■挨拶をしてくれる地域住民数

地域で挨拶をしてくれる人の数は、全体平均で25.52人。校種別では、小学校27.23人、中学校24.00人と、わずかながら小学校の方が多い。指定校と非指定校との比較では、指定校25.81人、非指定校25.18人と、目立った差は出ていない。

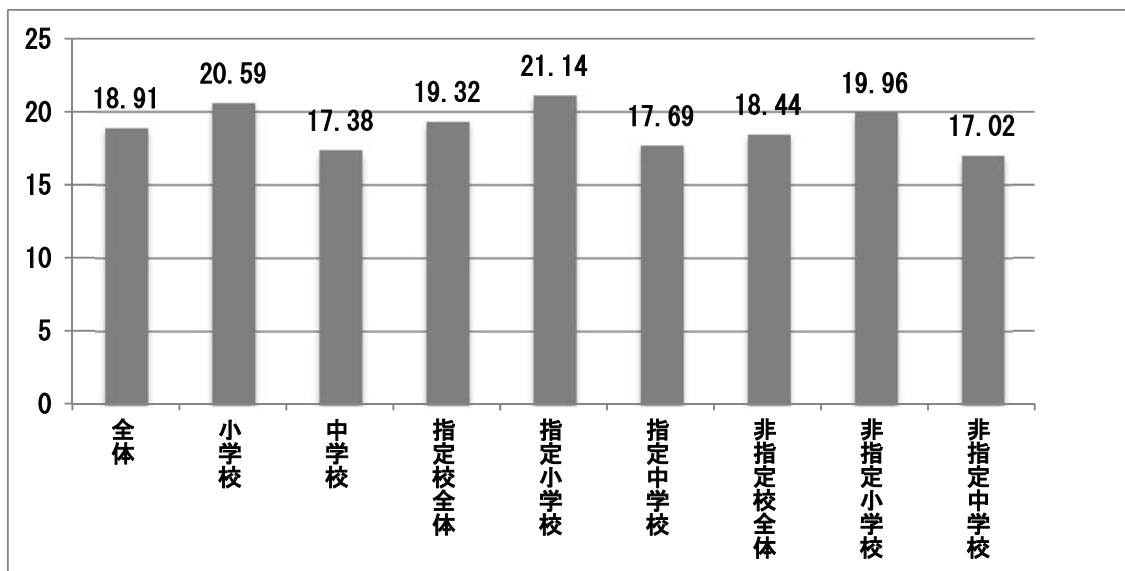
図3-24 挨拶をしてくれる地域住民数



### ■親子両方の名の既知の組数

保護者・子どもの両方が名前を知っている数は、全体平均で 18.91 組。校種別では、小学校 20.59 組、中学校 17.38 組と、わずかながら小学校の方が多い。指定校と非指定校との比較では、指定校 19.32 組、非指定校 18.44 組と、わずかながら指定校の方が多い。

図 3-25 親子両方の名の既知の組数

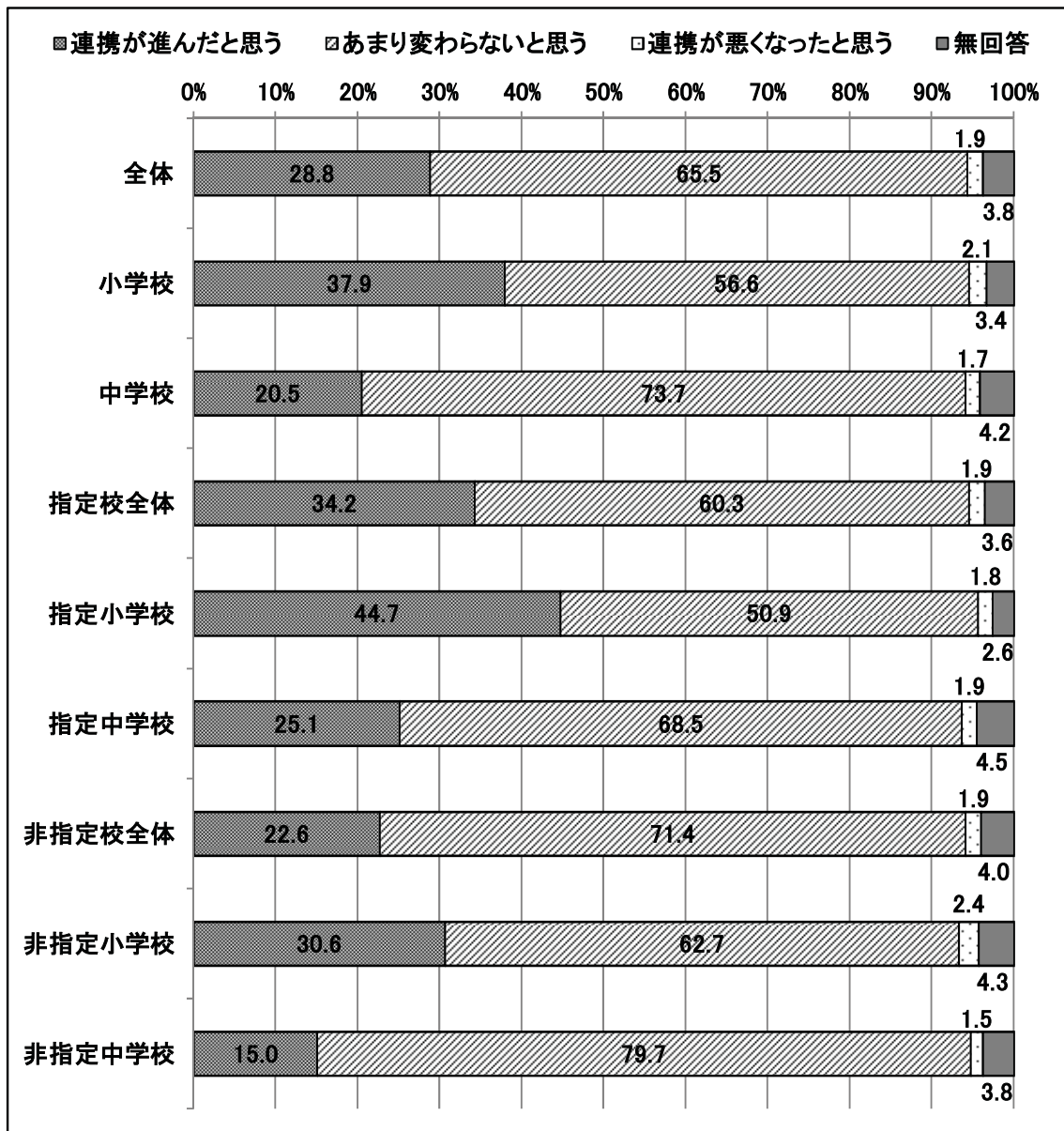


### Ⅲ 連携の進展について

#### ■学校と地域との連携の進捗に対する認識

学校と地域の連携がどの程度進んだかについては、「連携が進んだと思う」と回答した人が全体の28.8%。「あまり変わらないと思う」が最も多く65.5%、「連携が悪くなったと思う」が1.9%となっている。校種別では、「連携が進んだと思う」が小学校で37.9%、中学校で20.5%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「連携が進んだと思う」が指定校全体で34.2%、非指定校で22.6%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校と地域の連携が進んだと感じている様子が伺える。

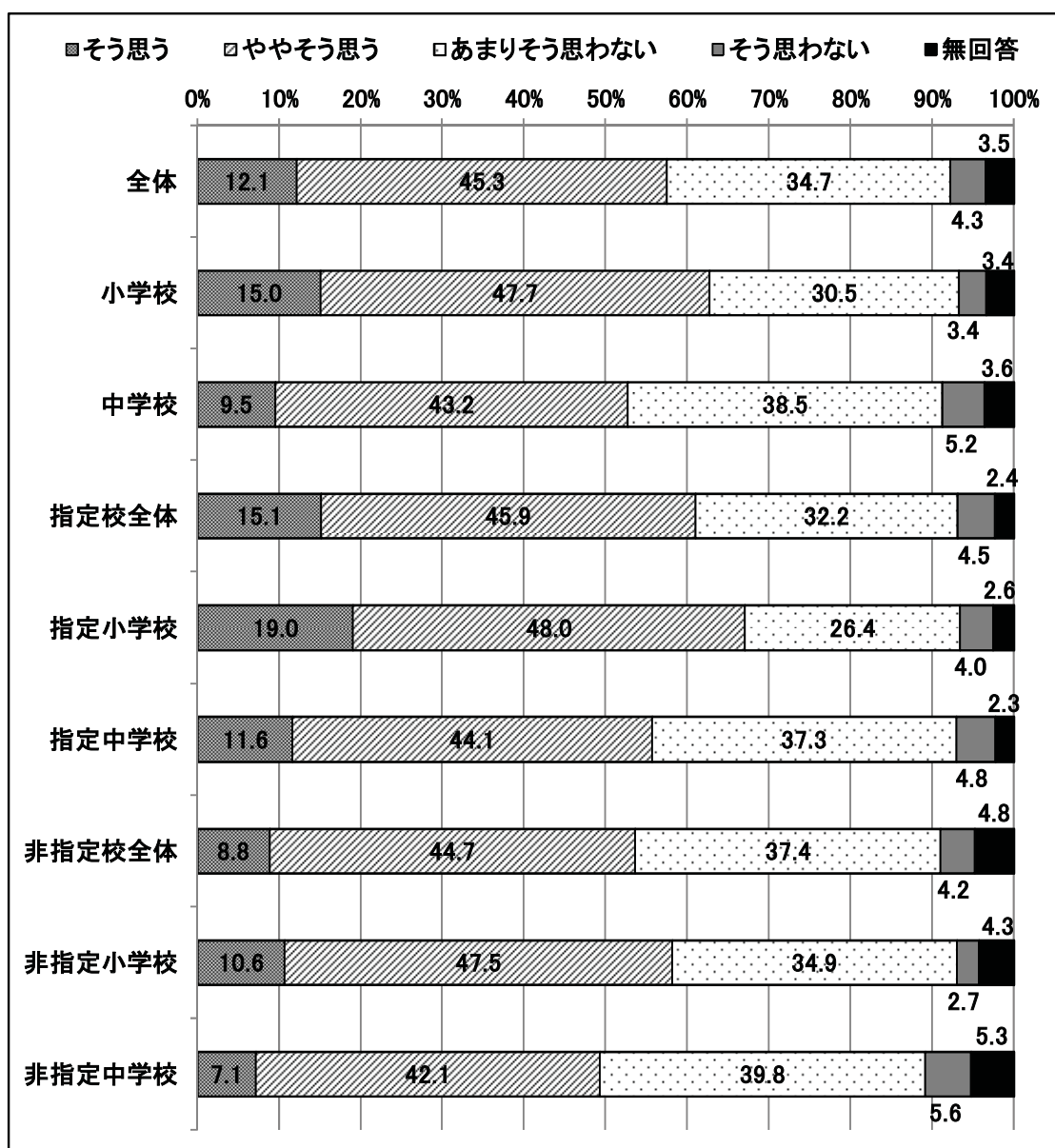
図 3-26 学校と地域との連携の進捗に対する認識



### ■「授業や行事が改善・充実された」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の12.1%。「ややそう思う」が最も多く45.3%、「あまりそう思わない」が34.7%、「そう思わない」が4.3%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で62.7%、中学校で52.7%とやや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で61.0%、非指定校で53.5%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、授業や行事が改善・充実されたと感じている様子が伺える。

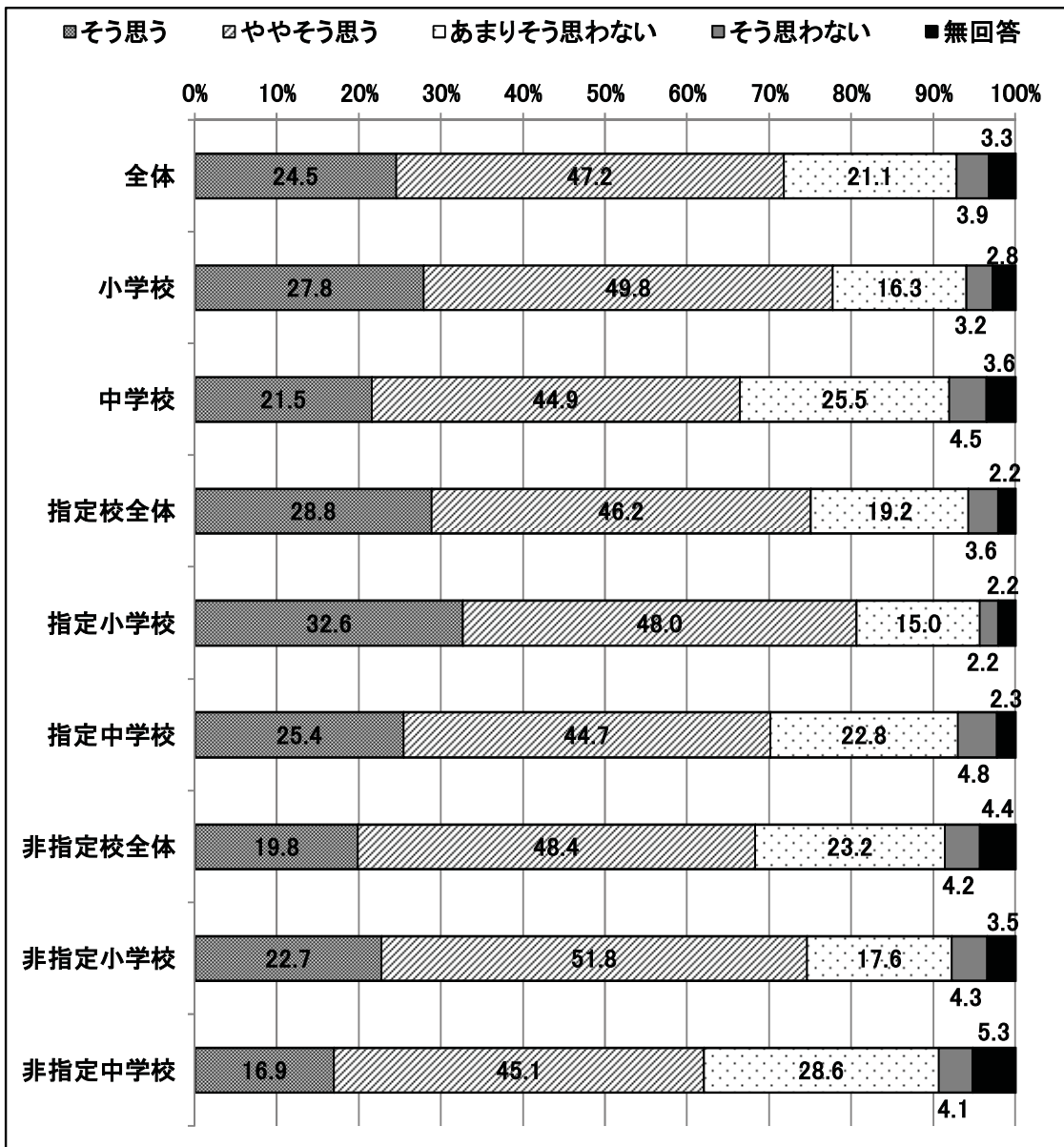
図 3-27 授業や行事が改善・充実された



■「学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の24.5%。「ややそう思う」が最も多く47.2%、「あまりそう思わない」が21.1%、「そう思わない」が3.9%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で27.8%、中学校で21.5%とやや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で28.8%、非指定校で19.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校からの情報発信の活発化を感じている様子が伺える。

図 3-28 学校便りやホームページ等で学校から情報をより発信するようになった

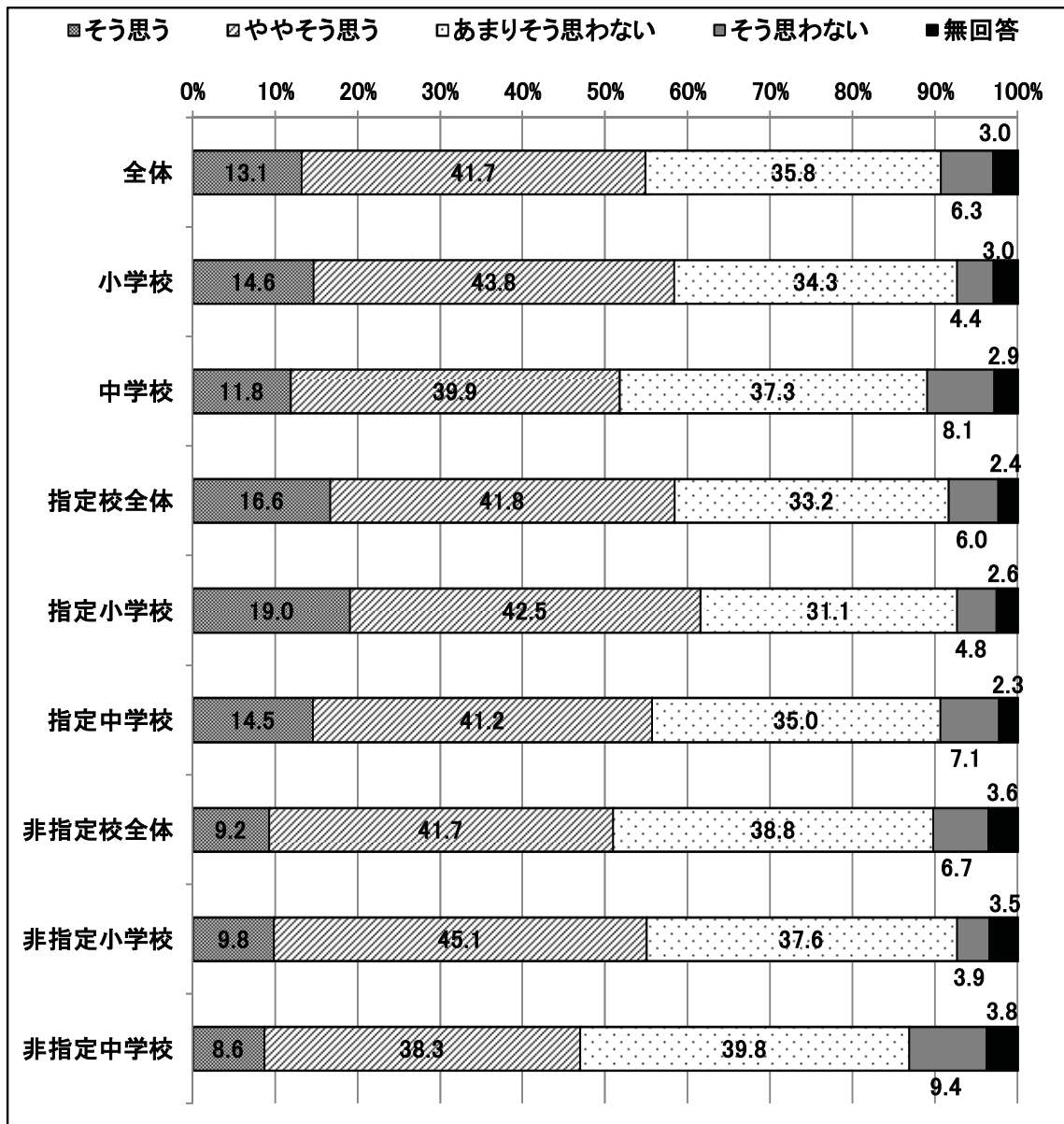




■「保護者や地域の方が子どものことを相談しやすい学校になった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の13.1%。「ややそう思う」が最も多く41.7%、「あまりそう思わない」が35.8%、「そう思わない」が6.3%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で58.4%、中学校で51.7%とやや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で16.6%、非指定校で9.2%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校への相談のしやすさを感じている様子が伺える。

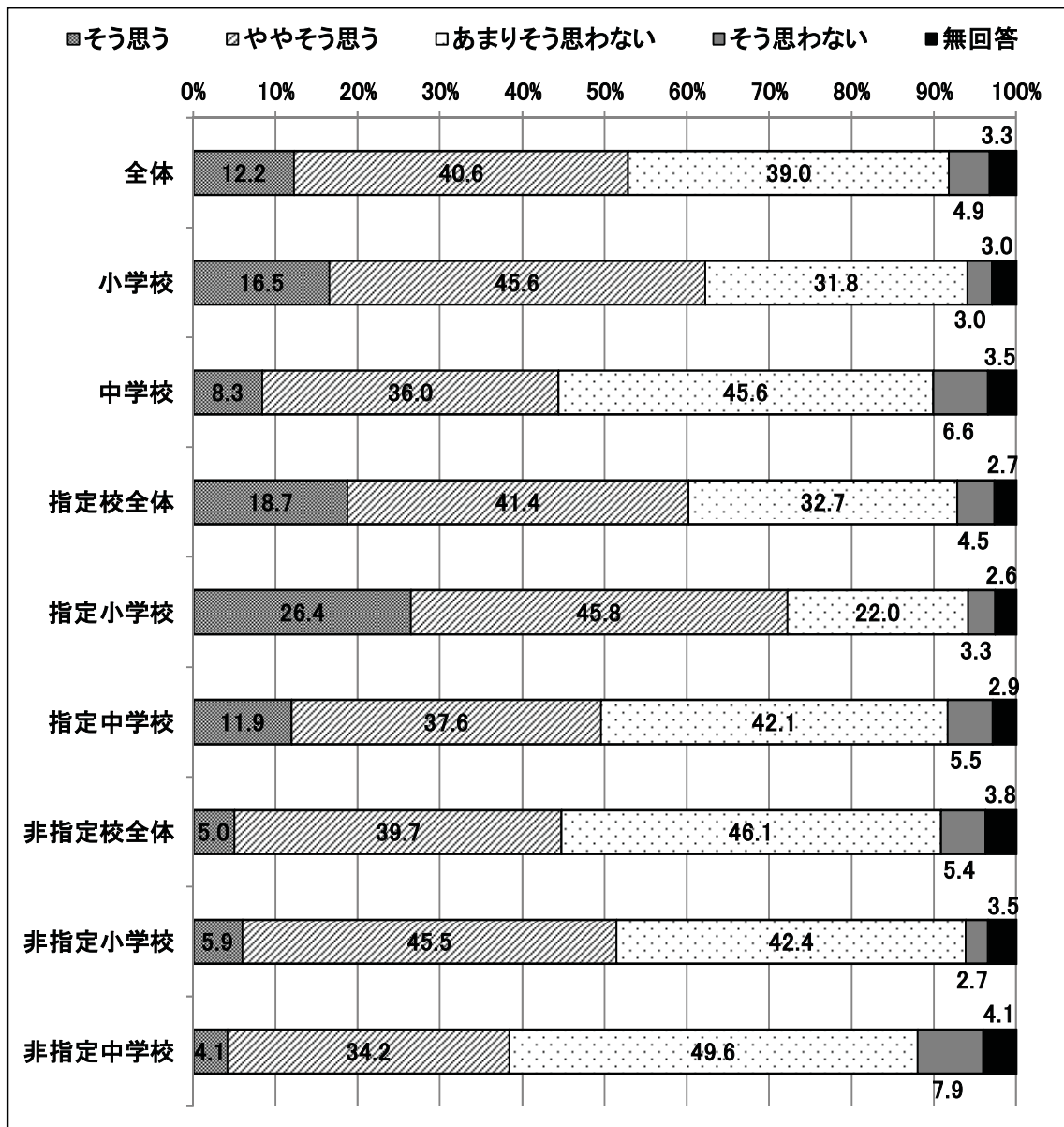
図 3-29 保護者や地域の方が子どものことを相談しやすい学校になった



■「地域の特色を活かした学校づくりが進んだ」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の12.2%。「ややそう思う」が最も多く40.6%、「あまりそう思わない」が39.0%、「そう思わない」が4.9%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で62.1%、中学校で44.3%と小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で60.1%、非指定校で44.7%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域の特色を生かした学校づくりが進んだと認識している様子が伺える。

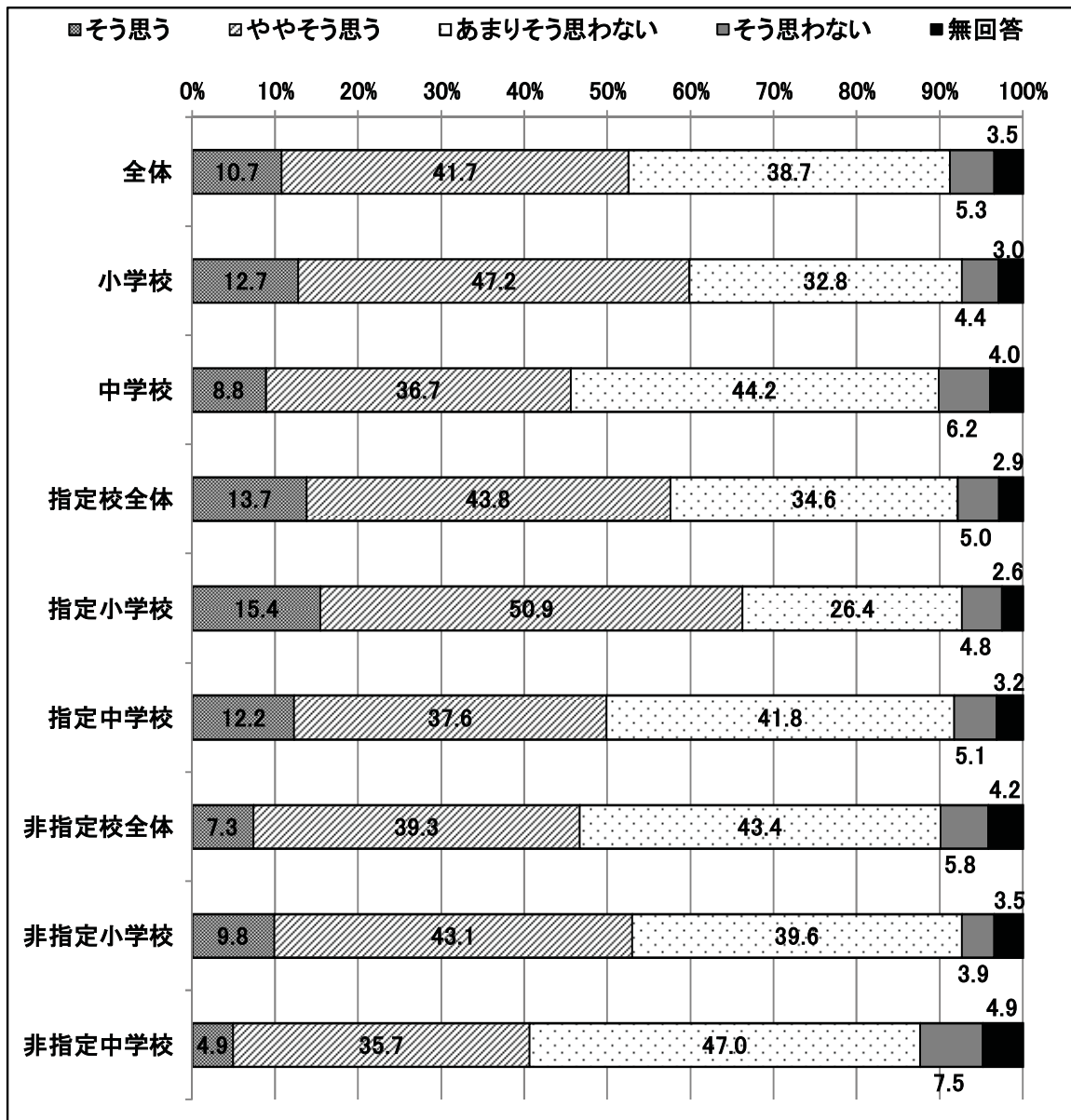
図 3-30 地域の特色を活かした学校づくりが進んだ



### ■「学校が活性化した」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の10.7%。「ややそう思う」が最も多く41.7%、「あまりそう思わない」が38.7%、「そう思わない」が5.3%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で59.9%、中学校で45.5%と小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で57.5%、非指定校で46.6%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校が活性化したと認識している様子が伺える。

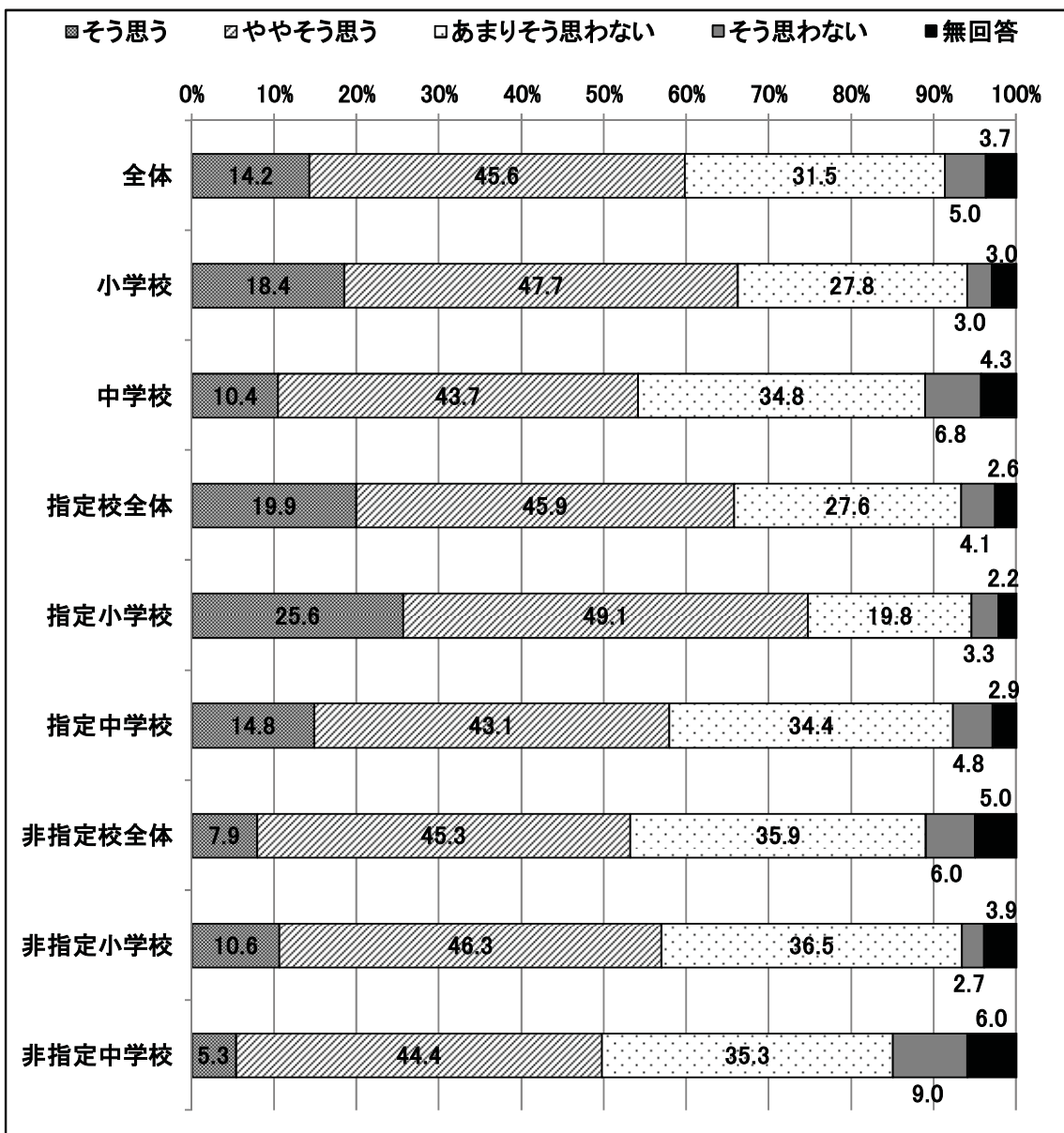
図 3-31 学校が活性化した



■「地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の14.2%。「ややそう思う」が最も多く45.6%、「あまりそう思わない」が31.5%、「そう思わない」が5.0%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で66.1%、中学校で54.1%と小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で19.9%、非指定校で7.9%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域の大人が学校に入ることによる健全育成の効果を感じている様子が伺える。

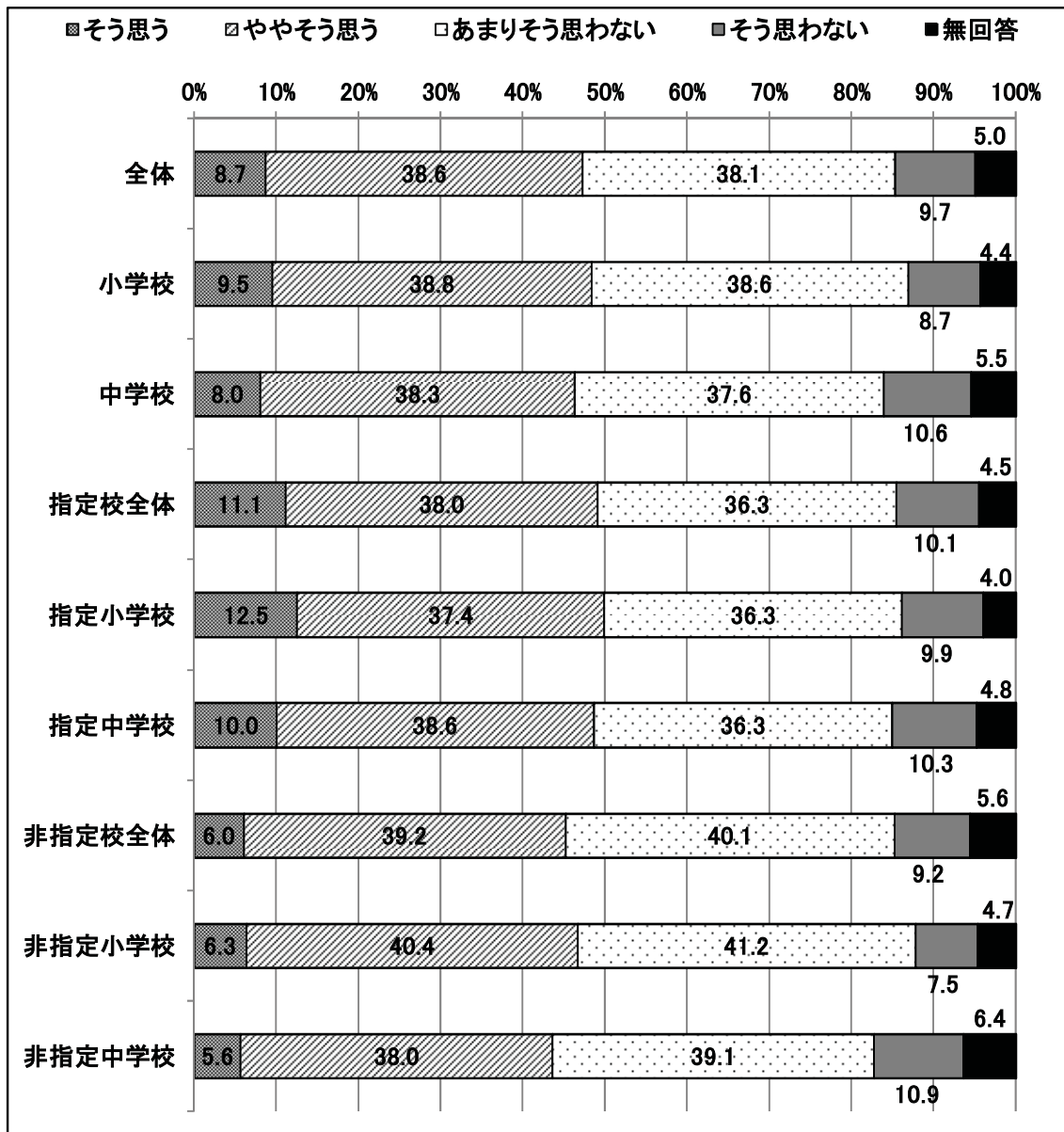
図 3-32 地域の大人が学校に入ることにより健全育成に効果が出ている



■「児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の8.7%。「ややそう思う」が最も多く38.6%、「あまりそう思わない」が38.1%、「そう思わない」が9.7%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で9.5%、中学校で8.0%と、わずかながら小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で11.1%、非指定校で6.0%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、児童生徒の問題行動が減少してきたと感じている様子が伺える。

図 3-33 児童・生徒のいじめなどの問題行動が少なくなってきた

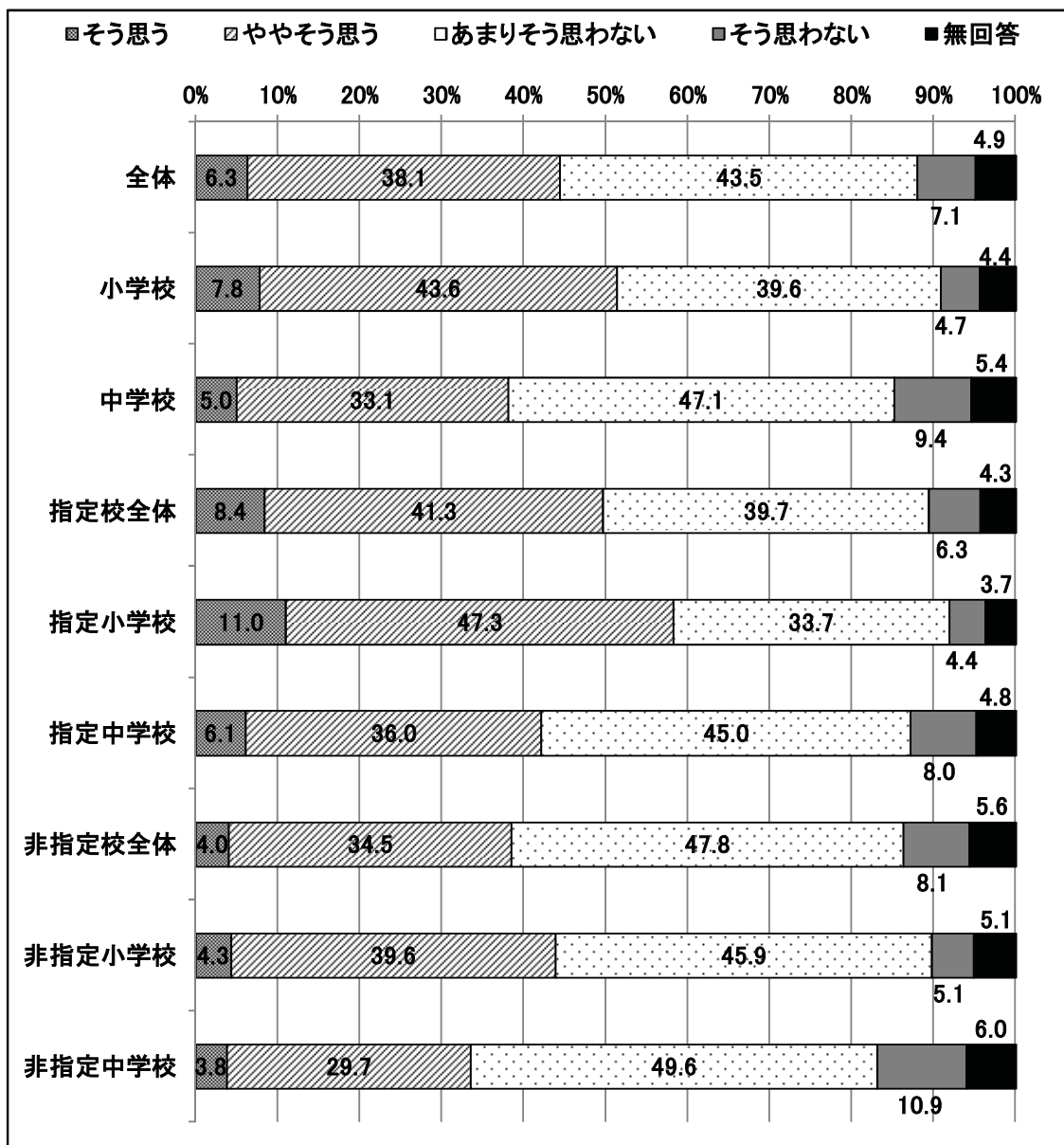




■「学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の6.3%。「ややそう思う」が38.1%、「あまりそう思わない」が最も多く43.5%、「そう思わない」が7.1%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で51.4%、中学校で38.1%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で49.7%、非指定校で38.5%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学習ボランティア等の支援による学力の定着・向上の効果を実感している様子が伺える。

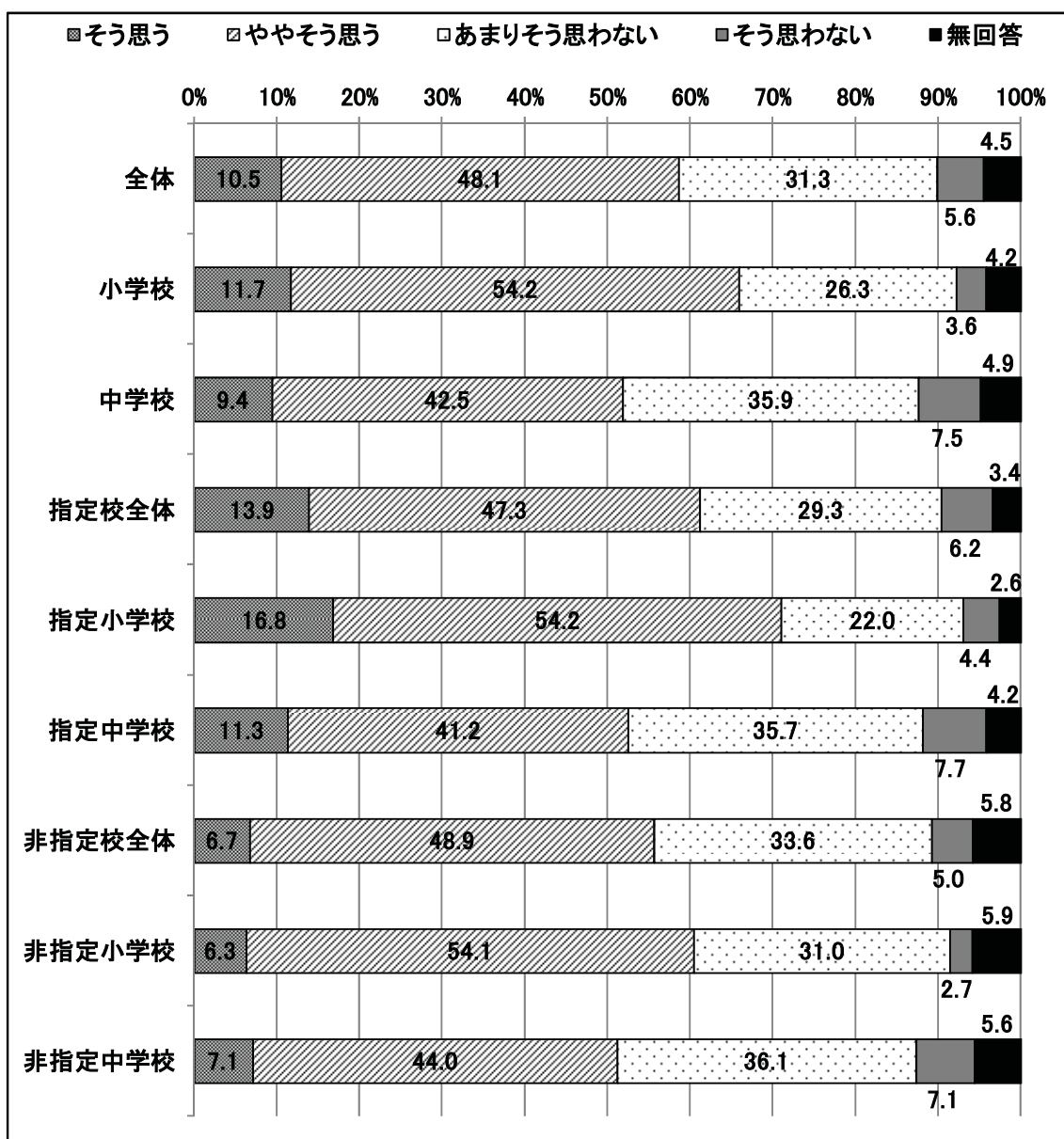
図 3-34 学習ボランティア等の支援により学力の定着や向上に効果が出ている



■「学校の先生は地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の10.5%。「ややそう思う」が最も多く48.1%、「あまりそう思わない」が31.3%、「そう思わない」が5.6%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で65.9%、中学校で51.9%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で13.9%、非指定校で6.7%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、教員の地域・保護者を意識した職務遂行を実感している様子が伺える。

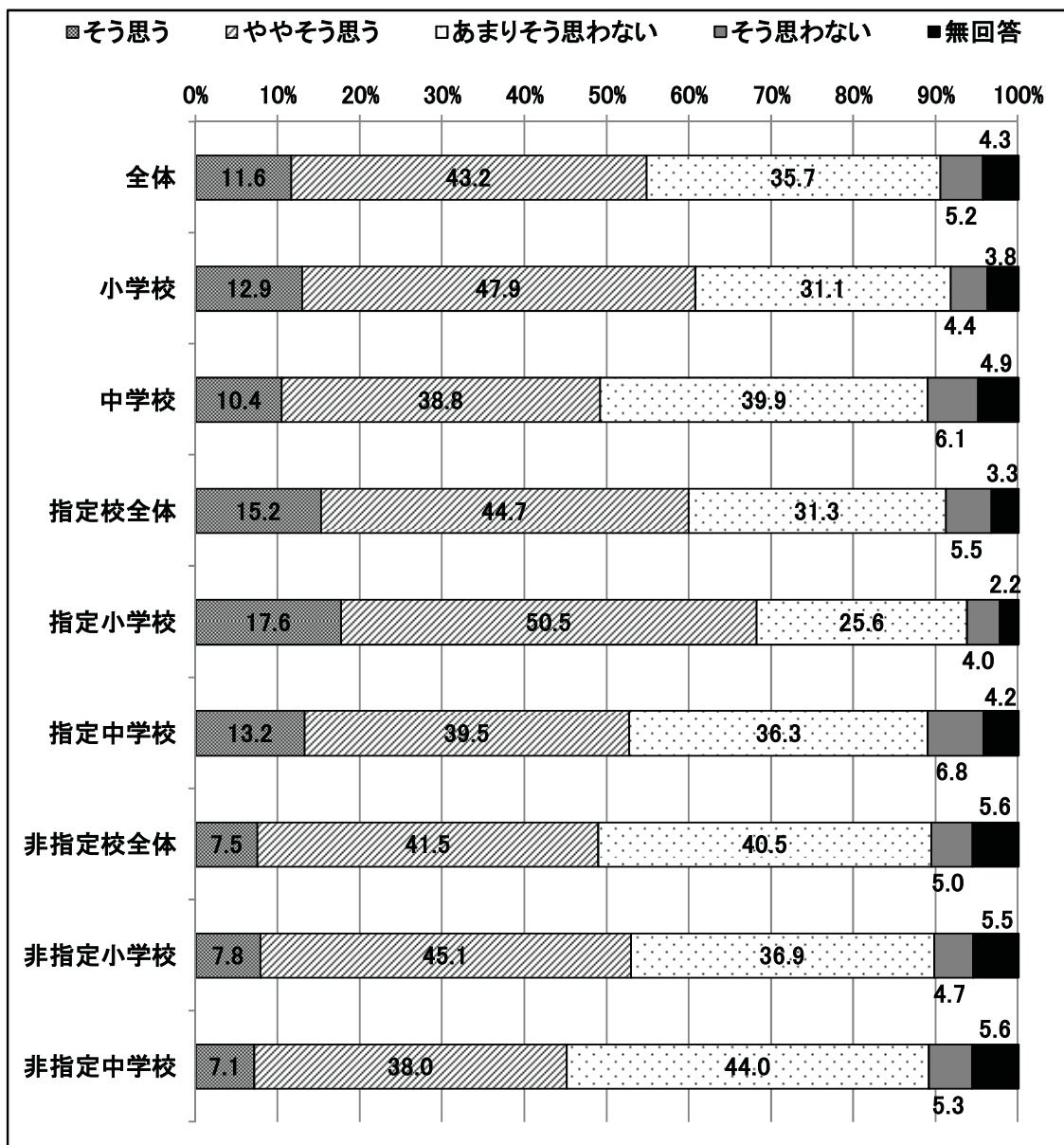
図 3-35 学校の先生は地域や保護者の意向を意識して職務を行うようになった



### ■「学校と地域の風通しが良くなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の11.6%。「ややそう思う」が最も多く43.2%、「あまりそう思わない」が35.7%、「そう思わない」が5.2%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で60.8%、中学校で49.2%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で59.9%、非指定校で49.0%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校と地域の風通しが良くなったと感じている様子が伺える。

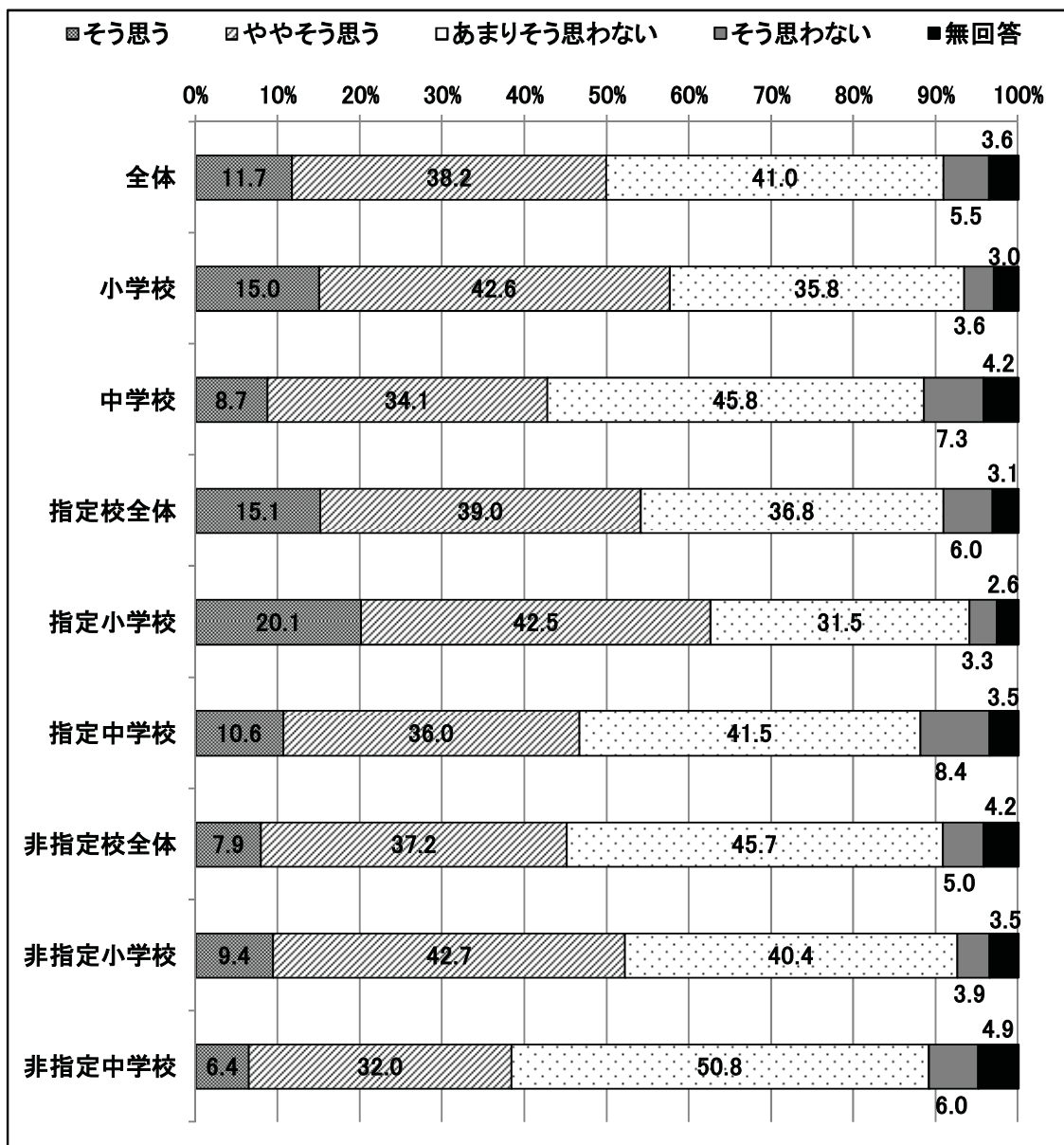
図 3-36 学校と地域の風通しが良くなった



■「子どもが自分の住む地域に関心をもつようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の11.7%。「ややそう思う」が38.2%、「あまりそう思わない」が最も多く41.0%、「そう思わない」が5.5%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で57.6%、中学校で42.8%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で54.1%、非指定校で45.1%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、子どもの地域への関心の高まりを感じている様子が伺える。

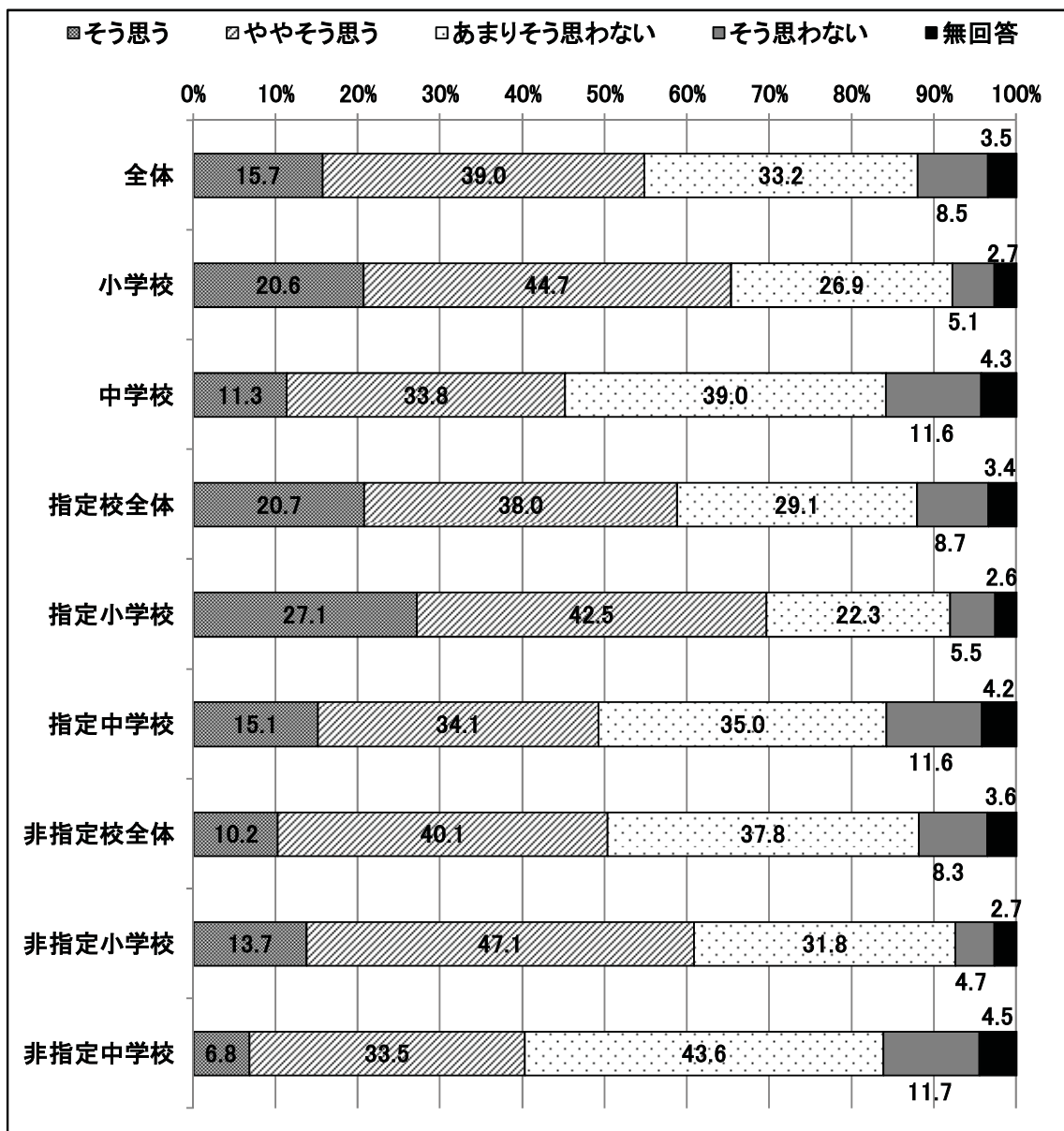
図 3-37 子どもが自分の住む地域に関心をもつようになった



■「子どもが地域行事に参加するようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の15.7%。「ややそう思う」が最も多く39.0%、「あまりそう思わない」が33.2%、「そう思わない」が8.5%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で65.3%、中学校で45.1%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で20.7%、非指定校で10.2%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、子どもの地域行事への参加が増えたと実感している様子が伺える。

図 3-38 子どもが地域行事に参加するようになった

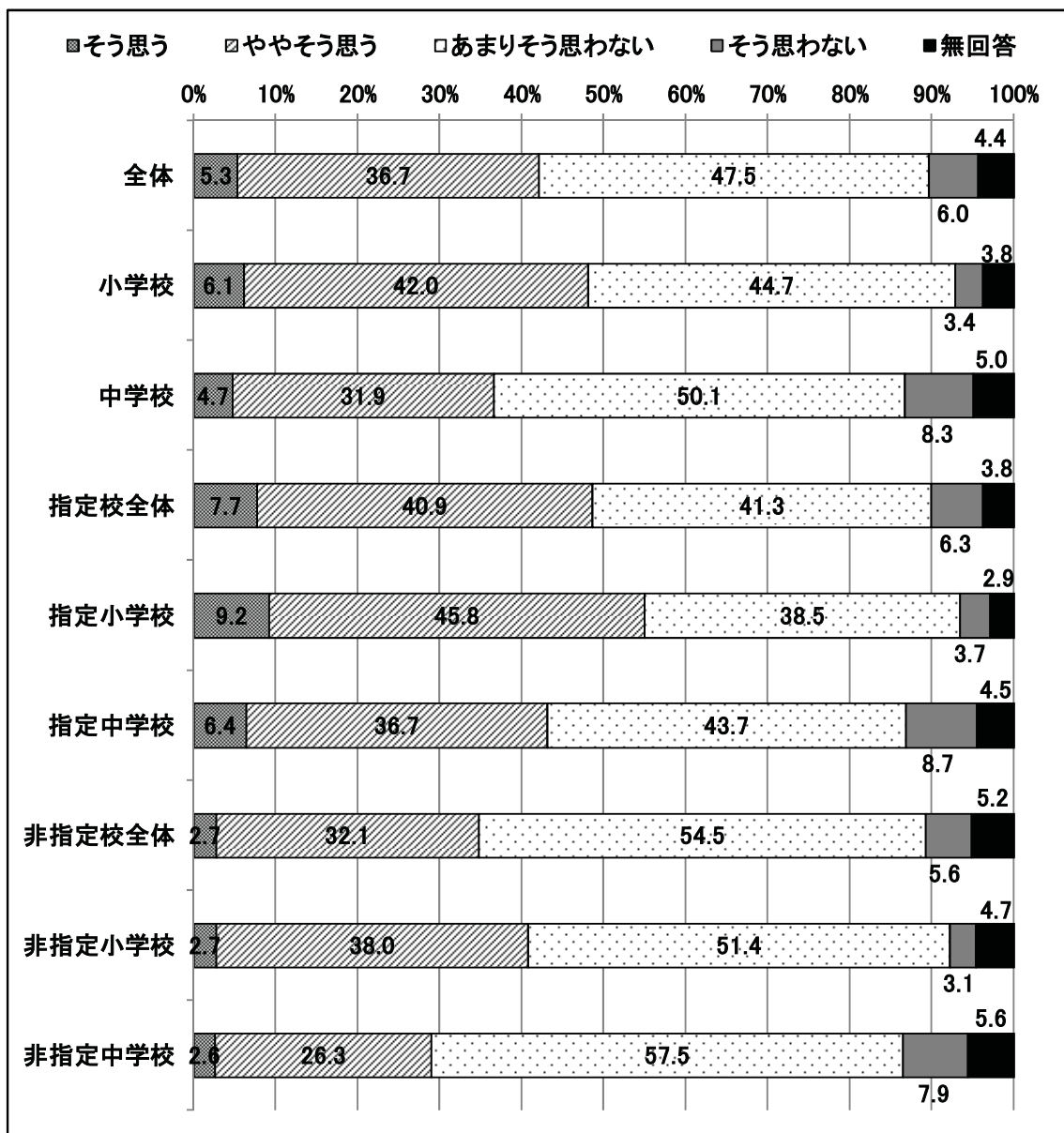




■「教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の5.3%。「ややそう思う」が36.7%、「あまりそう思わない」が最も多く47.5%、「そう思わない」が6.0%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で48.1%、中学校で36.6%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で48.6%、非指定校で34.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域や保護者の願い・意見の教育活動への反映を実感している様子が伺える。

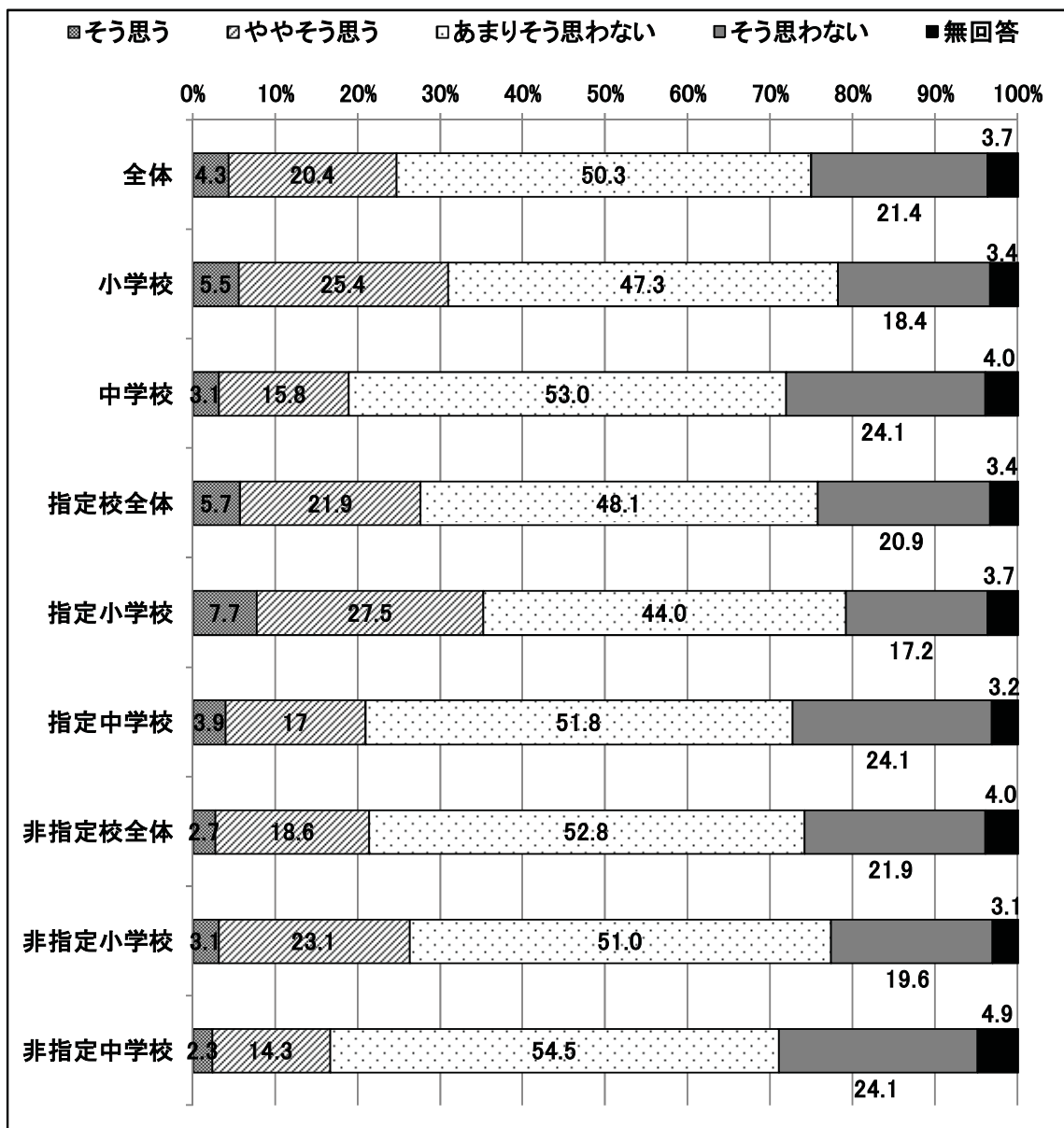
図 3-39 教育活動に地域や保護者の願いや意見が反映されるようになった



■「地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の4.3%。「ややそう思う」が20.4%、「あまりそう思わない」が最も多く50.3%、「そう思わない」が21.4%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で30.9%、中学校で18.9%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で27.6%、非指定校で21.3%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域の方が子どもを叱ってくれると認識している様子が伺える。

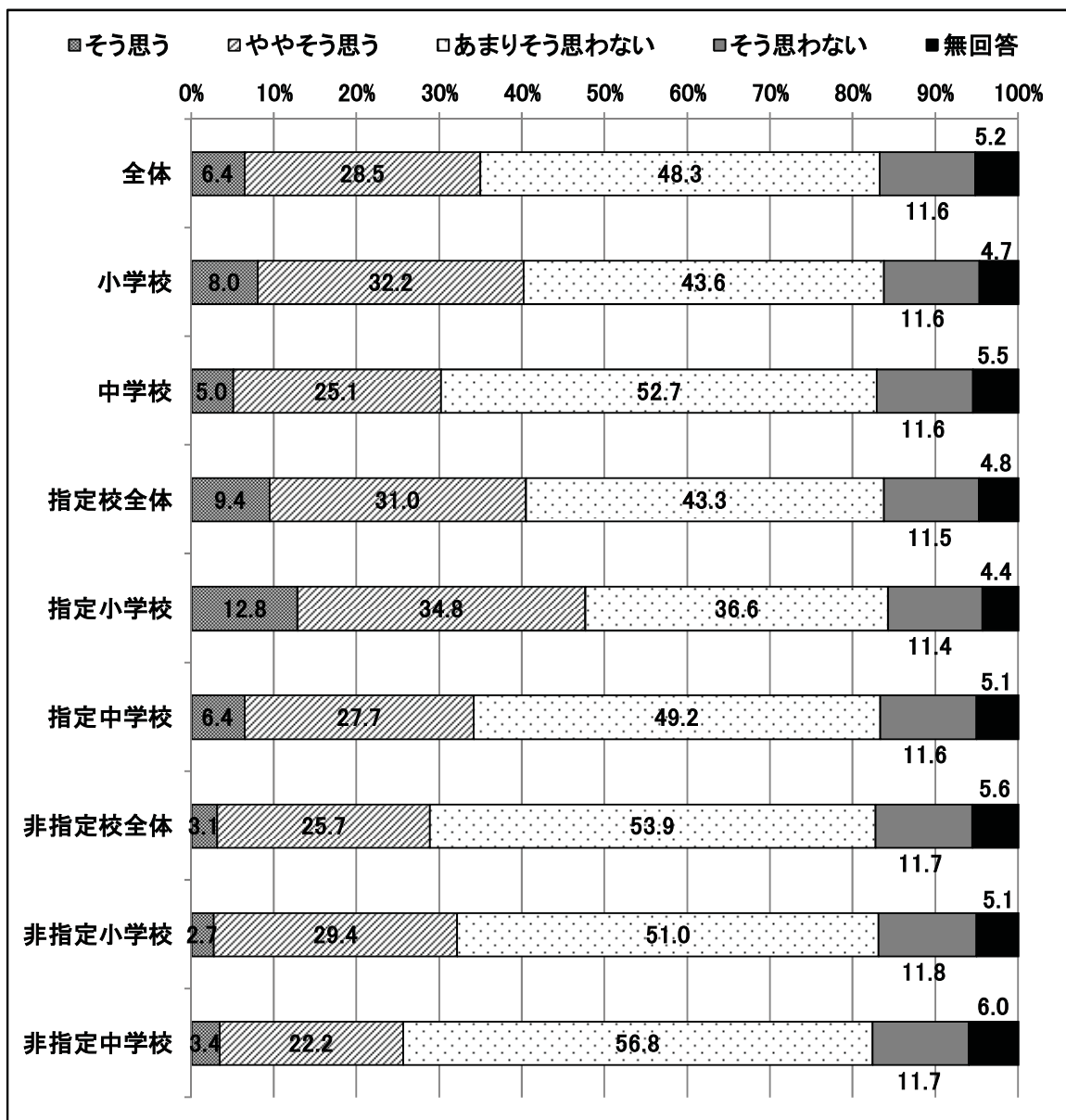
図 3-40 地域の方は近所の子どもも叱ってくれるようになった



■「地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の6.4%。「ややそう思う」が28.5%、「あまりそう思わない」が最も多く48.3%、「そう思わない」が11.6%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で40.2%、中学校で30.1%と、小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が指定校全体で40.4%、非指定校で28.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、地域団体同士の連携が進んだと感じている様子が伺える。

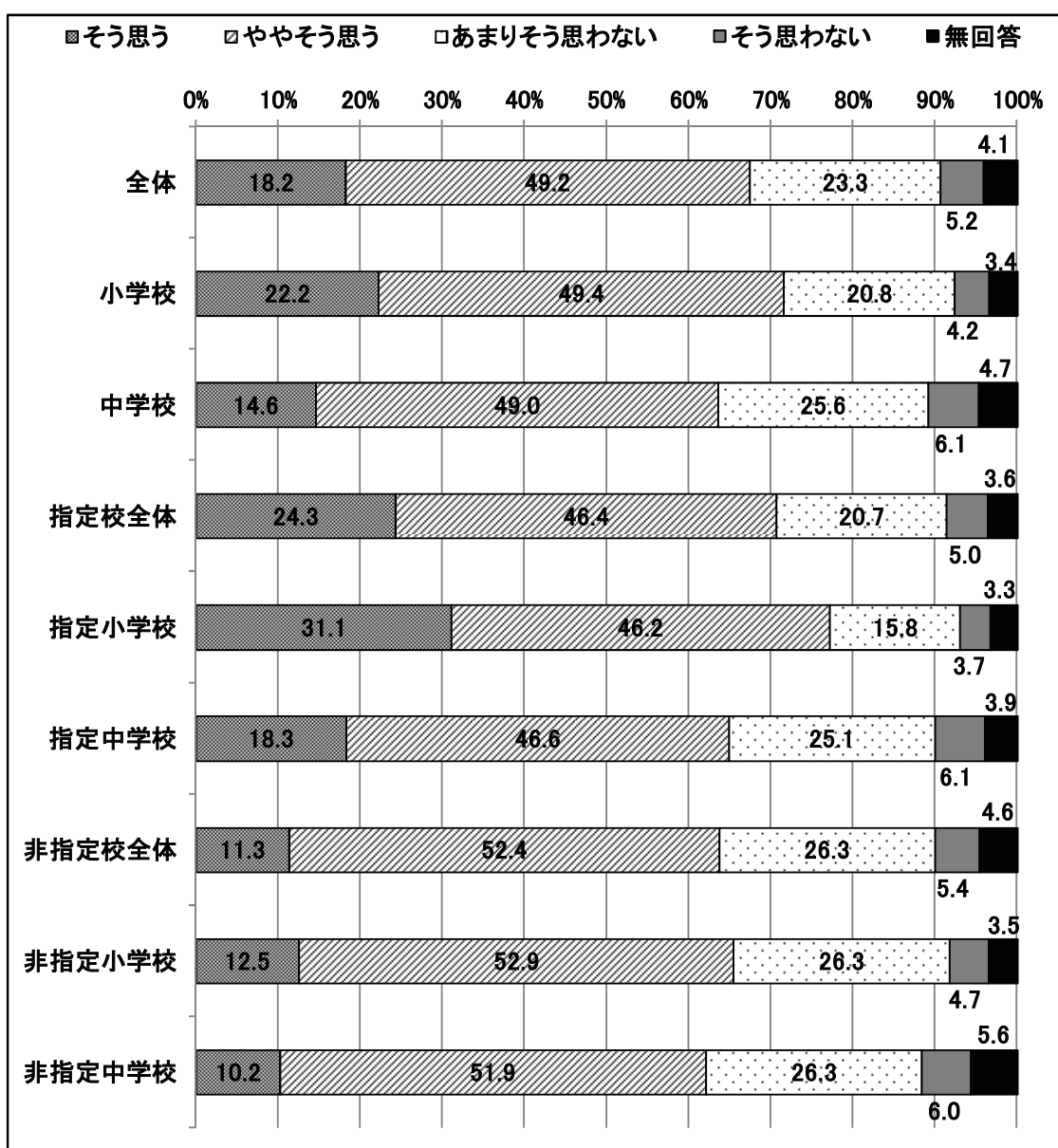
図 3-41 地域にある、いろいろな地域団体同士の連携が進んできた



■「保護者や地域の方が学校に入っていくことに違和感をもたなくなった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の18.2%。「ややそう思う」が最も多く49.2%、「あまりそう思わない」23.3%、「そう思わない」が5.2%となっている。校種別では、「そう思う」が小学校で22.2%、中学校で14.6%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で24.3%、非指定校で11.3%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、保護者や地域の方が学校に入っていくことに違和感を持っていない様子が伺える。

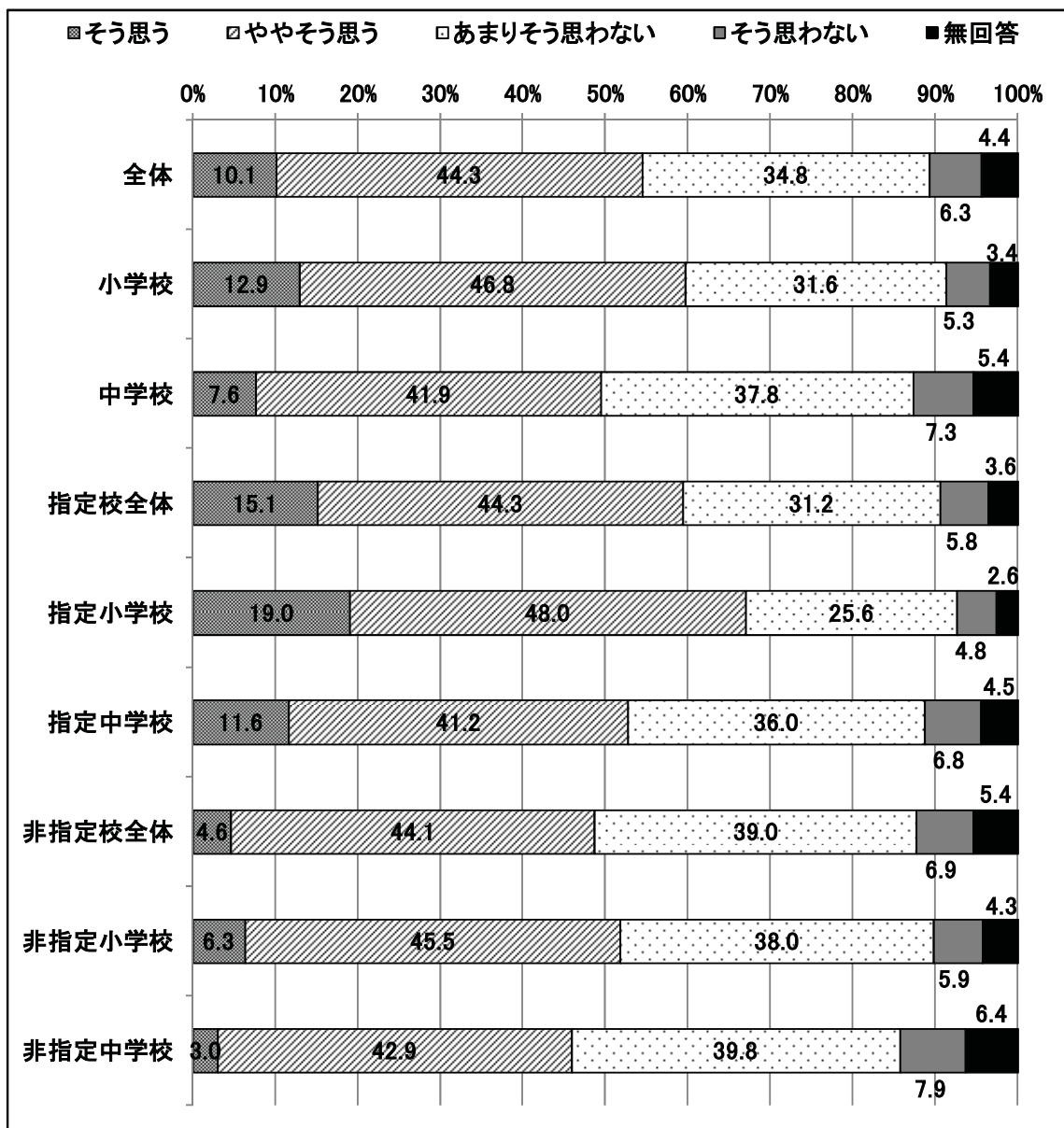
図 3-42 保護者や地域の方が学校に入っていくことに違和感をもたなくなった



■「保護者や地域の方が地域の課題解決に積極的に取り組んでいる」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の10.1%。「ややそう思う」が最も多く44.3%、「あまりそう思わない」が34.8%、「そう思わない」が6.3%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で59.7%、中学校で49.5%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で15.1%、非指定校で4.6%となるなど、全体的に指定校の方が、保護者や地域の方が地域の課題解決に積極的な様子が伺える。

図 3-43 保護者や地域の方が地域の課題解決に積極的に取り組んでいる





■「学校の活動に自分も進んで協力しようと思うようになった」

標題の質問に対し、「そう思う」と回答した保護者は全体の13.9%。「ややそう思う」が最も多く51.7%、「あまりそう思わない」が26.2%、「そう思わない」が5.2%となっている。校種別では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が小学校で68.2%、中学校で63.3%と、やや小学校の方が高い。指定校と非指定校との比較では、「そう思う」が指定校全体で18.5%、非指定校で8.8%となるなど、全体的に指定校の保護者の方が、学校の活動に対し協力的な姿勢が伺える。

図 3-44 学校の活動に自分も進んで協力しようと思うようになった

